332.1
Z32z

社會科學

實業之世界社編輯局編纂

財界三十年譜

中卷

實業之世界社藏版

332.1B32g

例言

一、中卷は、大正七年より昭和二年までの十年間の生きた財政經濟界の資料を蒐集編纂して上梓するに至つた。約一ケ年に近き本社調査部の全員の協力と倦まざる努力によつて完成したもので、これを上卷の内容と比較すると、わが國力の發展と世界情勢の漸く複雜多様となるに連れ、資料は遙かに豐富となり、從つてその資料の取捨選擇と、明確を期する點において、上卷の編纂當時以上の新たなる苦心と努力を要することゝなつた。

一、北海道、臺灣、朝鮮等の國家の施設が漸次進展するに伴つて、財政その他に關する商工關係の法令は殆ど各月にわたつて發布されるやうな狀態となつてゐるので、これを全部採錄することは煩雜であるのみならず、國内の法令に準據して發布されたものも尠くないので、それらの點を斟酌し、重要ならざるものは、省略することゝした。

一、大正の中葉は歐洲大戰の終末を告げ、わが財界に大きな影響を與へ、殊に金融界に空前の波紋を投するに至つたので、この點については周到な用意と調査に全力を傾注し、銀行の破綻、取付等に關しては單に大都市と限らず、地方の關係銀行商工業等についても資料を蒐集し採錄することゝした。

一、軍事方面においてはロシア過激派の東漸に對しシベリアに出兵し、更に尼港における邦人虐殺事件等勃發し、有史以來の不祥事をみるに至つた。この間の事情は、出來得る限り明確を期し、資料の取捨に考慮を費した。

一、關東大震災に關しては、わが國空前の大慘事で、その波及するところ極めて甚大であつたので、その受けた損害と、如

国立国会図書館
28.4.22
29450
5

何にしてこれを復興して行つたかといふ事實に焦點を置き、細心の注意を佛つて資料を按配することゝした。

一、政界においては原敬の暗殺、わが國最初の普選の實施等々あり、大正年代の爛熟期の如何に多端であつたかを生きた事實によつて表現するため細心の注意を拂つた。

一、昭和初頭は、臺灣銀行救濟の緊急勅令案が樞密院において否決されたゝめ、若槻内閣の辭職となり、全國の主要銀行三十九行が休業するといふ、財界空前の波瀾を惹起するに至つたので、この點に關しては、財界、政界、金融界等の個々の關係を考慮し、多くの文獻をも參酌し、明確を期することゝした。

一、本書の資料蒐集の方針としては、上卷の方針を踏襲すると共に、なほ一段の新工夫を凝らし、大體左の如き基準に據つたものである。

政治・行政	(イ)内閣の更迭、閣員の異動 (ロ)議會 (ハ)豫算(可決せるもの、若くは閣議において決定せるもの) (ニ)法令(主として商工關係)租稅の改廢、關稅の改廢 (ホ)國庫補助金の増減 (ヘ)通商條約 (ト)政黨大會の宣言決議 (チ)その他重要なる事項。
銀行・會社	一般財界關係又は財界に關聯したる事業を中心とし、單なる業績を避け、創立、解散、増資、減資、組織變更、整理、外資借入、社債、合併、買收、利上、利下、取付、破綻、重役異動等を採錄して銀行會社の動靜を明示した。
經濟團體	財界の動向を指示する各種經濟團體の決議、宣言、陳情、請願、その他各種の事項。
社會	勞働爭議及び財政經濟に關する紛爭、その他文化並に廣汎に亘る社會施設等に關する資料。

災害	火災、地震、噴火、爆發、風水害等にして被害甚大なるもの及び財界、特に保險に關係あるもの。
人事	財界重要人物の動き、死亡等。
支那事情	我國と特殊の關係にあるを以て、重要なる出來事は財界關係以外のものも採錄。
世界事情	我國と直接關係ある政治經濟その他の重要事項。
統計	(イ)日本銀行兌換券發行高 (ロ)東京組合銀行金利表 (ハ)東京交換所手形交換高 (ニ)外國爲替相場 (ホ)銀塊相場 (ヘ)外國貿易月表 (ト)東京株式取引所定期相場 (チ)東京米穀取引所定期相場 (リ)東京卸賣物價指數の九項目。

一、資料は時事新報、中外商業新報、東京朝日新聞、官報等を中心として蒐集し、なほ官廳の公刊物、業界の機關誌、會社の年史その他を參照して修正增補し、取捨選擇をなし、出來得る限り資料の正確と完璧を期するため、更に直接銀行會社について調査に手を盡し、進んで當時の關係者を探ねて資料を仰いだものも尠くない。しかし資料が極めて廣汎にわたつてゐるので、參考とすべき材料の缺如等により、或種の資料においては、なほ明確を缺くものがあるので、一層調査の徹底を期し、讀者をして疑問の餘地無からしめるよう手を盡したのであるが、多くの資料中には幾分の不分明の點あるを免れない。この點は調査に當つた當事者の努力と誠意を酌んで諒せられたい。

一、各年末の末尾に採錄した統計は、主として「銀行通信錄」に據るものであるが「外國爲替相場」は橫濱正金銀行の爲替相場、「銀塊相場」は倫敦經育發信の電報、「東京株式取引所定期相場」は當限相場を採錄、「東京卸賣物價指數」は日本銀行

の調査に據るものである。但し「東京株式定期相場」に於ては、時代の進展に連れて花形株の異動せるもの多々ある故、上卷に採錄したものとは、銘柄において多分の異動を生じてゐる故、取捨をなしたので、從つて新しい銘柄が上場されることゝなつた。

一、法令、條約、宣言、決議、陳情、請願等で、餘りに長文に亘るものは、資料の均衡を得るために全文の採錄を許さぬところから、往々要約に止めたものもあるが、重要なものは全文を採錄した。

一、會社の記事中、その大部分は株式會社であるから、便宜上「株式」の二字を省略した。從つて單に「何々會社」とあるのは、凡て株式會社であり、「合資會社」と「合名會社」は明記することゝした。

一、統計中、大正十二年九月の大震災のために缺如してゐるものは、當時の公刊物によつて出來得る限り資料を蒐集し、なほ調査を重ねて正確を期したのであるが、株式と期米は、九、十の兩月は取引所休場のため缺除となつてゐる故、この點を諒されたい。

一、卷末に附した索引は、項目別に基き年月日順に分類したものであるが、索引であると同時に、分類別の總目次を兼ねたものであつて、この點において新機軸であると信ずる。

財界三十年譜（中卷）目次

大正七年一月……一
同　二月……六
同　三月……一〇
同　四月……一五
同　五月……二二
同　六月……三〇
同　七月……三五
同　八月……四三

同　九月……五〇
同　十月……五六
同　十一月……六三
同　十二月……六七
同　統計……七三
大正八年一月……八三
同　二月……八五
同　三月……八九
同　四月……九四
同　五月……九九
同　六月……一〇五
同　七月……一一一

同　八月……一一七
同　九月……一二三
同　十月……一二九
同　十一月……一三五
同　十二月……一四〇
同　統計……一四七
大正九年一月……一五七
同　二月……一六三
同　三月……一六八
同　四月……一七五
同　五月……一八二
同　六月……一八九

同　七月……一九二
同　八月……一九七
同　九月……二〇三
同　十月……二〇八
同　十一月……二一一
同　十二月……二一〇
同　統計……二一六
大正十年一月……二二五
同　二月……二二八
同　三月……二三二
同　四月……二三七
同　五月……二四二

同　六月……二五九
同　七月……二六二
同　八月……二七〇
同　九月……二七七
同　十月……二八二
同　十一月……二八九
同　十二月……二九二
同　統計……三〇〇
大正十一年一月……三〇九
同　二月……三一一
同　三月……三一四
同　四月……三二〇

同　五月……三三〇
同　六月……三三七
同　七月……三四五
同　八月……三五二
同　九月……三五七
同　十月……三六〇
同　十一月……三六八
同　十二月……三六七
同　統計……三七一
大正十二年一月……三八一
同　二月……三八七
同　三月……三九四

同　四月……四〇一
同　五月……四〇八
同　六月……四一四
同　七月……四二一
同　八月……四二四
同　九月……四三七
同　十月……四三五
同　十一月……四四四
同　十二月……四五三
同　統計……四五七
大正十三年一月……四六五
同　二月……四七三

同　三月……四八一
同　四月……四九〇
同　五月……四九四
同　六月……四九九
同　七月……五〇四
同　八月……五〇八
同　九月……五一三
同　十月……五一四
同　十一月……五二一
同　十二月……五二九
統計……五三七

大正十四年一月……五四七

同　二月……五五〇
同　三月……五五四
同　四月……五五七
同　五月……五六三
同　六月……五六九
同　七月……五七五
同　八月……五八〇
同　九月……五八五
同　十月……五九〇
同　十一月……五九七
同　十二月……六〇四
統計……六一三

大正十五年一月……六三三
同　二月……六二六
同　三月……六二一
同　四月……六三七
同　五月……六四三
同　六月……六四七
同　七月……六五三
同　八月……六五八
同　九月……六六四
同　十月……六七〇
同　十一月……六七九
昭和元年十二月……六八六
同　統計……六九三

昭和二年一月……七〇三
同　二月……七〇九
同　三月……七一四
同　四月……七二〇
同　五月……七二八
同　六月……七三四
同　七月……七四〇
同　八月……七四九
同　九月……七五八
同　十月……七六八
同　十一月……七七七
同　十二月……七八六

同　統　計……一二
財界三十年譜中卷索引……七九六
……八〇七

大正七年（紀元二五七八年、西暦一九一八年）

【一月】

一　日（火）

◇**露國銀行パタビヤ支店設置**
露行は爪哇島バタビヤに支店を設置し本日開業した

◇**過激派政府、軍參謀に婦人を任命**
レーニンの組織せる露國過激派政府は軍司令官其他の首脳部異動に當り英斯科軍管區參謀にワレンチ夫人を任命した

二　日（水）

◇**過激派政府、銀行國有令を公布**
露國過激派政府は銀行國有令を公布し軍隊の手にある市及び私立銀行の在庫金銀貨を正貨準備金とするため帝國銀行に搬送した

三　日（木）

◇**村井銀行の組織變更と增資**
合名會社村井銀行は本日臨時總會を開き資本金二百萬圓の株式組織に變更し、更に資本金を一千萬圓に增資する件を可決し、左の役員を選任した

▽取締役（頭取）村井吉兵衛、村井彌市郎、村井彌吉、村井貞雄、村井貞之助、村井貞次郎　▽監査役上野榮三郎、松原重榮

◇**森村彌太郎死去**
森村銀行頭取諸葛小彌太は糖尿病に罹り錄倉に於て療養中本日死去、享年五十七。山口縣長府の出身で明治三十年英國より歸朝後、合名會社森村銀行の創立に當り大正六年十月同行頭取に就任し現在に至った

四　日（金）

◇**支那政府へ關稅剩餘金を交付**
對支四國銀行は支那政府の請求により關稅剩餘金五千萬兩を上海に於て交付し、殘額百五十萬兩は本月十一、十八、二十五日の三回に分割し交付することに決定した

五　日（土）

◇**瑞典、芬蘭獨立を承認**
瑞典は芬蘭の獨立を承認した

◇**米國政府、軍備省新設案を提出**
米國政府は軍需品の管理及びその供給促進を目的とする軍需省新設案を議會に提出した

◇**米國政府、造船費八億弗を議會に要求**
米國政府は造船費として八億弗の追加豫算案を議會に提出した

六　日（日）

◇**過激派、ケレンスキーの財産を沒收**
露國過激派政府はケレンスキーの銀行預金三十一萬七千留を沒收し該金額を前年六月十八日の騷動に於ける罹災者救濟資金に充當することに決定した

七　日（月）

◇**日比谷商店の組織變更**
合資會社日比谷商店は株式會社日比谷商店（資本金二百萬圓）に組織を變更し本日の總會に於て左の役員を選任した
▽取締役社長日比谷新次郎▽取締役日比谷次郎、津田五郎、福原長太郎、日比谷祐藏　日比谷平吉▽監査役定塚門次郎、島田宏

◇**獨逸、芬蘭共和國を承認**
獨逸は芬蘭共和國を承認した

八　日（火）

◇**神戸丸船員の同盟下船**
高岡市丸二汽船會社所有船神戸丸（二一五一噸）は八幡製鐵所原料鐵石を積載し蕪港に航行中機關部員十二名と甲板部員六名合計十八名は船長兵頭直一に對し食費給料二割値上を要求して拒絶されたため門司入港と同時に同盟下船した

◇ロックフエラー氏國五十萬弗寄附
米國の富豪ロックフエラーは、戰爭事務費としてロックフエラー財團に五百五十萬弗を寄附した

十　日（木）

◇日英兩國元首、元帥親號御交換
一月一日新年に際し　天皇陛下並に英國皇帝には御親電をもつて元帥親號御交換あらせられたる旨本日宮內省より發表された

◇東洋ペイント會社の創立
同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開催左の役員を決定した
▽取締役社長小山田信藏▽專務取締役鈴木八郎右衞門▽取締役片岡辰次郎、小口長藏勝山直久▽監査役西村龍雲、玉置譯太郎、馬見潤五郎

◇住友銀行營業店開設
同行は紐育に支店を開設し本日開業した

◇横濱電線會社の增資
同社は株主總會を開き資本金二百五十萬圓を五百萬圓に倍額增資の件を決定した

◇支那國會組織法、參議院を通過
支那參議院は支那國會組織法第二讀會を開會して同法を可決、更に參議院議員選舉法を可決した

◇露國、對獨戰爭繼續を宣言
露獨媾和談判決裂の結果、過激派政府は各政黨と妥協し、憲法會議の名を以て對獨戰爭繼續を宣言し、同時に十五歲より五十歲迄の男子を召集した

十一日（金）

◇村井銀行會社の創立
村井合名會社は銀行、鑛業、汽船の各部を擧して來たが各部獨立の株式會社に組織を變更することゝなり本日鑛業部を株式會社村井鑛業會社（資本金二百萬圓）として創立することに決定し、左の役員を選任した
▽取締役（社長）村井吉兵衞、池田寅次郎、村井彌吉、村井貞之助、植松巳之助、村井弘三郎▽監査役村井眞雄、村井五郎

十二日（土）

◇横濱船渠會社會長の更迭
同社取締役會長原六郎は、會長を辭任して平取締役となり、取締役坂本一が會長に就任した

十三日（日）

◇浦塩へ帝國軍艦派遣
帝國政府は浦塩在留邦人保護のため、同港に向け軍艦を派遣した旨、海軍省より發表された

◇山下汽船會社新嘉坡に支店開設
同社は新嘉坡に支店を開設し本日開業した

十四日（月）

◇國庫證券五千萬圓發行
政府は國庫證券五千萬圓を左の條件を以て發行する旨本日の官報を以て告示した
▽發行價格九十五圓七十五錢▽利率年五分▽償還期限大正十一年十二月一日迄▽拂込期日一月三十日▽代用應募大正六年二月十日發行露國大藏省證券は額面金額を以て拂込金に代用することを得、優先に之を募入する

◇東京農商銀行重役拘引さる
東京府南千住町東京農商銀行は大正六年六月破產の宣告を受け淸算中のところ、無擔保にて百三十萬圓の貸出あること判明し同行取締役支配人山本金次郎は詐欺破產として東京地方裁判所に拘引された

◇過激派水兵、海軍將校を虐殺
セバストポールに於て、露國過激派水兵は海軍將官四名以下將校六十名を虐殺した

◇過激派政府、露國債全部を破棄
露國國有財產高等會議に於て露國帝國政府により發行されたる國債全部及び外人所有の國債全部を破棄するに決定した旨公布した

十五日（火）

◇東洋製糖、大東島拓殖を合併
同社は臨時株主總會を開催し大東島拓殖會社（資本金三十萬圓）を合併し資本金一千二百萬圓を一千二百三十萬圓に增資と決定した

十六日（水）

◇長野實業銀行二百萬圓に增資
長野市の同行は株主總會を開催し、現在資本金六十萬圓を二百萬圓に增資を決定した

◇愛知農商銀行の倍額增資
名古屋市の同行は本日株主總會を開催し、資本金五十萬圓を百萬圓に增資を決定した

◇阿波農工銀行の增資
阿波農工銀行は本日の株主總會に於て資本金四十五萬圓を八十萬圓に增資を決定した

◇神戶取引所の增資申請
同取引所は資本金八十萬圓を三百萬圓に增資認可方を主務省へ申請した

十七日（木）

◇浦塩市會、日本軍艦入港に抗議
浦塩市會は日本軍艦入港に對し左の如き抗議を日本領事館に申込んだ
浦塩自治國は當地方官憲に對し豫報及び同意なくして日本軍艦の入港せるについては露西亞共和國中央官憲の解決に俟つべきものなるが、當市會は地方人民の代表者として露西亞共和國の主權を侵害したるものとして抗議する義務あり

◇滿洲製粉會社の三倍增資
同社は本日株主總會を開催し臨時資及び山東省濟南の工場建設資金に充當するため資本金百萬圓を三百萬圓に增資を決定した

十八日（金）

◇大東ビルブローカー銀行の創立
同行は資本金五十萬圓で設立、創立總會を開催し左の役員を決定した
▽取締役頭取中山佐一▽取締役井出鄕助、安川濱之助、菅野洋吉、小山登▽監査役小田政義、中山登一、高山永三郎

◇勝田汽船會社の創立
神戶の海運業者勝田銀次郎は資本金一千萬圓の勝田汽船會社を創立し從來の事業一切を繼承することとなつたが、本日創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役社長村田彌太郎▽取締役勝田銀次郎、青木音松▽監査役中川周吉

十九日（土）

◇英國大藏省證券一億圓引受
大藏省預金部は聯合與國の財政援助と對外投資による金融調節及び印度棉花買入資金に充當するため英國政府及び英蘭銀行と、英國大藏省證券一億圓引受の契約成立、內二千萬圓を以て我が米貨及留貨二百萬磅と交換し、殘額八千萬圓は利率年五分五厘、期限一箇年の條件にて發行し、代金は日本の手を以て米國に爲替送金することに決定した

◇帝國電燈、小樽・北海道兩電氣を合併
同社は本日臨時株主總會を開催し小樽電氣會社（資本金五十萬圓）及び北海道電氣會社（資本金三十萬圓）を合併し資本金三百五十五萬圓を五百六十萬圓に增資を決定した

◇絲山銀行の二十倍增資と商號變更
長崎縣佐世保市の絲山銀行は本日の株主總會に於て資本金十萬圓を二百萬圓に增資し、商號を佐世保商業銀行に改稱と決定した

◇中華滙業銀行の創立
日支合辦を以て北京に設立された中華滙業銀行（資本金一千萬圓）は本日創立總會を開

き左の役員を選任し、二月一日から開業するに決定した

▽總裁（前駐日支那公使）陸宗輿▽專務理事（前日銀支店長）柿內常次郎▽理事（鮮銀理事）木村雄次（豪銀理事）山成喬六（興銀副總裁）小野英二郎（前露連使）姚煜、（段秘書）曾越蔺（前農商務次官）劉垣▽監事（三井專務理事）早川千吉郎（農商總長）王克敏（三十四銀行頭取）小山健三、曹汝霖任放屬

二十日（日）

◇五十銀行の借額增資

土浦の同行は本日の株主總會に於て資本金七十五萬圓を百五十萬圓に增資を決定した

◇相馬銀行の五倍增資

福島縣相馬郡中村町の同行は本日の株主總會に於て資本金十萬圓を五十萬圓に增資を決定した

二十一日（月）

◇北海道地價調査取扱規定公布

北海道地價調査に關する取扱規定（全文十四條）が大藏省令第二號を以て公布された

◇兵庫農工債券五十萬圓發行

兵庫農工銀行は左の條件で農工債券五十萬圓を發行した

▽募集額五十萬圓▽利子年六分▽價格額面▽償還方法二年据置二十ヶ年以內償還▽應募期日自一月二十一日至同月二十五日

二十二日（火）

◇三井合名會社の職制變更

同社は社員總會を開催し參事、理事長、副理事長の職別を廢し、新に理事長、副理事長、參與の職制を設置し、左の通り決定した

▽理事長團琢磨▽副理事長早川千吉郎▽理事有賀長文、福井菊三郎▽參與波多野承五郎、石川八十井

◇三井物産の五倍增資と役員改選

同社は本日開催の株主總會に於て資本金二千萬圓を一億圓に增資するに決定し、增加資本金八千萬圓の內五千萬圓は直ちに拂込むこととし、その拂込に充當するため大正六年下期利益金の外に別途配當金として從來の積立金の內法定積立金、時局準備積立金並に船舶修繕積立金を除き特別積立金は之を株主に配當することを決議し、取締役、監査役を左の如く改選した

▽取締役（社長）三井源右衞門、三井養之助、福井菊三郎、安川雄之助、藤村義朗、小林正直、南條金雄、川村貞次郎▽監査役三井高精、小室三吉、間鳩與喜、北村七郎

◇三井銀行重役の更迭

同行は本日の株主總會に於て、取締役三名監査役一名補缺選擧の結果、取締役に福井菊三郎、菊本直次郎、間島弟彥、監査役に金原仙四郎が當選し、常務取締役早川千吉郎は三井合名の副理事長に就任の結果平取締役となり、菊本直次郎が常務取締役に決定した

◇東神倉庫會社の二倍半增資

同社は株主總會に於て資本金二百萬圓を五百萬圓に增資を決定した

◇白系露西亞、獨立を宣言

白系露西亞陸兵及び水兵（波蘭の東方、露帝國の西部に住む露人）並に白露地方及び都市代表者はミンスクに集合し、過激派政府代表委員の西部地方に對する壓迫及び地方會議委員の多數を武力捕縛せるに對し西部地方の獨立及び過激派代表を認めざることに決し全白露の農民、勞働者、兵士一般を糾合し過激派政府代表委員に對し宣言した

二十三日（水）

◇日米金融新協定成立す

帝國政府特派財政經濟委員目賀田種太郎男及び横濱日本銀行紐育代理店監督役は、紐育聯邦準備銀行と相互關係を締結するため米國側と交涉の結果、日銀と聯銀は戰事及び戰後に亘り兩國金融關係につき一般的了解の下に相互關係を設け今後必要の場合互に商議を行ふべき旨の協定成立した

◇米價の暴騰

本日の東京米穀市場に於ける定期米は二十四圓九十八錢の高値を現出した

▽二十一日當限二十四圓二十四錢、中限二十四圓十一錢、先限二十四圓三十八錢▽二十二日當限二十四圓十九錢、中限二十四圓三十錢、先限二十四圓五十八錢

二十五日（金）

◇不動貯金銀行の五倍增資

不動貯金銀行は臨時株主總會を開催し、資本金十萬圓を五十萬圓に增資を決定した

◇帶鋼綵漫會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開催し左の役員を決定した

▽取締役瀨川光行、田中伊三郎、佐藤藤佐南條三、岡文造▽監査役小幡貞吉、大葉久吉、小林勝三郎

◇百十三銀行の借額增資

函館の百十三銀行は本日の株主總會に於て資本金百萬圓を二百萬圓に增資を決定した

◇三十八銀行の借額增資

姫路市の三十八銀行は本日の株主總會に於て資本金四百萬圓を八百萬圓に增資するに決定した

◇三重農工銀行の借額增資

同行は本日の株主總會に於て資本金を四百萬圓に增資を決定した

◇兼村商事會社の創立

同社（資本金二百萬圓）は本日創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役社長森村開作▽專務取締役廣瀨實光▽取締役村井保固、大倉和親、田中貫▽監査役田中幸三郎

二十六日（土）

◇米買占の團半に取引停止處分

期米買占の張本人津市米穀仲買人岡半右衞門は本日三重縣廳に召喚され買占に關する業務書類の取調をうけ、不正手段にて米穀買占を行つたこと判明し三ヶ月間の取引停止處分に附された

二十八日（月）

◇各地米穀取引所の立會休止

東京取引所は臨時總會を開催し、米價騰貴の抑壓策並に暴利取締令に對する協議を行ひ岡半に對する政府の戒告處分の結果、買方の恐慌により立會開始を不穩と認め、增證據金を百石につき五十圓を徵收することを決議し立會を休止した。尙ほ大阪、名古屋、津、四日市の各米穀取引所も、同じく岡半の戒告處分による買方恐慌のため立會不能となり休會した

◇高田商業會社の創立

同社（資本金一千萬圓）は本日創立總會を開催し左の役員を決定した

▽取締役社長高田釜吉▽取締役田口義三郎池上兎喜衞、高田信太郎、池田嘉二、高田錄、柳谷巳三▽監査役石川愼一、松田好生下田申二

◇三十四銀行の增資

大阪の同行は本日株主總會を開催し、資本金一千三十萬圓を二千五十萬圓に增資の件を可決した

二十九日（火）

◇鐵機鑛礦會社の增資

同社は本日重役會を開催し資本金百二十萬

圓を六百萬圓に增資を決定した
三十日（水）
◇北海製鐵會社の五倍增資
同社は株主總會に於て資本金三百萬圓を一千五百萬圓に增資を決定した
三十一日（木）
◇實業家關收氏二死去
本日午後一時四十分東京芝區高輪の自邸で死去した、享年七十。氏は大分縣人泰藏の次男として生れ幼名を鐵之助と呼び、福澤諭吉の家庭に寄食して慶應義塾を卒業し、明治六年生絲貿易商の事業に着目し、横濱に生絲貿易會社を創立して故中上川彦次郎の認むるところとなり、鐘淵紡績會社に專務取締役として招聘され、後三井鑛業部に入り、その經營の任に當り、更に三越の前身三井呉服店に專務理事として入社した。實業界から隱退の後濟生會の理事として社會事業に盡瘁し、石田三成が後世の史家に奸臣の如く誤つて傳へられてゐるのを慨し、「石田三成論」（筆者は三上博士）を著し知己に頒布するなど、一種事業家に似合はぬ風格を備へてゐた
◇鑛業條例改正案可決
同法は株主總會に於て、資本金七十二萬圓を百四十四萬圓に增資するに決定した（日不詳）

【二　月】

一　日（金）
◇旭農業信託會社の創立
同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役小林友太郎、田原貞顯▽監査役關田辰五郎
二　日（日）
◇豐國紡績會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は本日創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役社長豐田佐吉▽常務取締役豐田利三郎▽取締役藤野龜之助▽監査役兒玉一造
◇相談役伊藤忠兵衞、田中丸善藏、大隈信常
◇ドイツ陸軍、軍需工場を管理
伯林衛戍總督は、各種重要工場職工罷業者七十萬人を算し軍需品製造不可能の狀態なるため、これ等工場を陸軍の監督下に置き、被雇者にして十一日午前中に復職せざる者は軍法會議に附すべし、との布告を發した
六　日（水）
◇加奈陀政府、石炭節約令を公布
同政府は石炭節約の目的を以てクベック、オンタリオ兩州に對し二月九日より三日間各製造工場の休業を命じ、軍事上重要ならざる建物の暖房を禁じ、又三月末まで劇場、娯樂場等に每週月曜閉鎖の總督令を公布した
◇露國勞兵會大會に於て、過激派政府を勞農政府と改稱することに決した
七　日（木）
◇支那四鄕鐵道借款
同借款は本日北京に於て財政總長王克敏、交通總長曹汝霖と正金銀行代表者竹內金平との間に、左の條件を以て契約成立した
▽借款金二百六十萬圓▽利子年六分▽擔保四鄕鐵道財産全部▽償還期限一ケ年
◇米國財務省證券三十億弗發行
同法を以て償還の條件にて同省證券三十億弗を發行した
八　日（金）
◇利庫鑛山會社の創立
同社（資本金百萬圓）は創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役島村安藏、津田辰次郎、熊城鐘三郎▽監査役小林長兵衞、大谷權次郎
◇露國軍鳥司令ニコラス太公死去
前露軍總司令ニコラス・ニコラウイツチ太公はタシケントに於て死去した
九　日（土）
◇桑式會社機田商會の創立
同社（資本金三百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役社長機田昇次郎▽取締役森盛一郎
織田佐太郎▽監査役織田庄一郎、橫井孝助
◇獨逸、ウクライナと媾和成立
獨逸とウクライナとの間に媾和條約が成立し本日調印された
◇濱米財務使節賀田男一行歸朝
日米經濟提携の目的をもつて渡米中の財務使目賀田種太郎男一行は本日橫濱入港のコレア丸で歸朝した
十　日（日）
◇東洋加工紙會社の創立
同社は資本金二百萬圓を以て設立、本日創立總會を開催し左の役員を決定した
▽取締役中村傳三郎、土屋興、長食巳之吉、井上周、長倉信一、南鄕三郎、中村愛作、小西辰藏▽監査役內田英雄、平瀨三七雄、井上朝司
◇日本鬼業銀行總裁の更迭
同行總裁志立鐵次郎は就任五箇年に及び後進に途を開くため辭任し、日本銀行理事土方久徵が後任總裁に任命された
◇侯爵蜂須賀茂韶死去
舊德島藩主侯爵蜂須賀茂韶は本日午前二時心臟麻痺にて死去、享年七十三。特命全權公使、元老院議官、東京府知事、文部大臣等に

た。尙「媾和を與へよ、パンを與へよ」と絶叫する各工場の同盟罷業者は五十萬人の多きに達し、警官隊と衝突し死傷者を出したが、ペルリン司令官の抑壓的訓令と取締によつて五日に至り稍々平穩に歸した
四　日（月）
◇暴利取締品中に穀粉類を追加
本日農商務省令を以て大正六年同省令第二十號第一條中「米穀類」の下に「穀粉類」の追加を公布した
◇朝鮮の勞働者募集取締規則公布
朝鮮總督府は勞働者募集取締規則を本日の官報を以て公布した
◇應援陸戰隊、浦鹽に上陸
居留民保護のため派遣せられたる帝國海軍陸戰隊は浦鹽に上陸した
五　日（火）
◇今治銀行の二倍半增資
愛媛縣今治町の今治銀行は本日の株主總會で資本金百萬圓を二百五十萬圓に增資を決定した
◇東洋油脂工業會社の創立
東洋油脂工業會社（資本金百萬圓）は大阪商業會議所に於て本日創立總會を開き、左の

役員を選任した
▽取締役原眞一、原根忠兵衞、山本藤助、岩崎清七、田中唯一郎、松尾廣吉、西依六八▽監査役綠田勝太郎、松尾寬三、西村惣四郎▽相談役伊藤忠兵衞、田中丸善藏、大隈信常
◇ドイツ陸軍、軍需工場を管理
伯林衛戍總督は、各種重要工場職工罷業者七十萬人を算し軍需品製造不可能の狀態なるため、これ等工場を陸軍の監督下に置き、被雇者にして十一日午前中に復職せざる者は軍法會議に附すべし、との布告を發した
六　日（水）
◇加奈陀政府、石炭節約令を公布
同政府は石炭節約の目的を以てクベック、オンタリオ兩州に對し二月九日より三日間各製造工場の休業を命じ、軍事上重要ならざる建物の暖房を禁じ、又三月末まで劇場、娯樂場等に每週月曜閉鎖の總督令を公布した
◇露國勞兵會大會に於て、過激派政府を勞農政府と改稱することに決した
七　日（木）
◇支那四鄕鐵道借款
同借款は本日北京に於て財政總長王克敏、交通總長曹汝霖と正金銀行代表者竹內金平との間に、左の條件を以て契約成立した
▽借款金二百六十萬圓▽利子年六分▽擔保四鄕鐵道財産全部▽償還期限一ケ年
◇米國財務省證券三十億弗發行
米國財務省は每半ケ月每に五億弗宛の割賦法を以て償還の條件にて同省證券三十億弗を發行した
八　日（金）
◇利庫鑛山會社の創立
同社（資本金百萬圓）は創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役島村安藏、津田辰次郎、熊城鐘三郎▽監査役小林長兵衞、大谷權次郎
◇露國軍鳥司令ニコラス太公死去
前露軍總司令ニコラス・ニコラウイツチ太公はタシケントに於て死去した
九　日（土）
◇桑式會社機田商會の創立
同社（資本金三百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役社長機田昇次郎▽取締役森盛一郎
織田佐太郎▽監査役織田庄一郎、橫井孝助
◇獨逸、ウクライナと媾和成立
獨逸とウクライナとの間に媾和條約が成立し本日調印された
◇濱米財務使節賀田男一行歸朝
日米經濟提携の目的をもつて渡米中の財務使目賀田種太郎男一行は本日橫濱入港のコレア丸で歸朝した
十　日（日）
◇東洋加工紙會社の創立
同社は資本金二百萬圓を以て設立、本日創立總會を開催し左の役員を決定した
▽取締役中村傳三郎、土屋興、長食巳之吉、井上周、長倉信一、南鄕三郎、中村愛作、小西辰藏▽監査役內田英雄、平瀨三七雄、井上朝司
◇日本鬼業銀行總裁の更迭
同行總裁志立鐵次郎は就任五箇年に及び後進に途を開くため辭任し、日本銀行理事土方久徵が後任總裁に任命された
◇侯爵蜂須賀茂韶死去
舊德島藩主侯爵蜂須賀茂韶は本日午前二時心臟麻痺にて死去、享年七十三。特命全權公使、元老院議官、東京府知事、文部大臣等に

歷任し、現に樞密顧問官であつた
十三日（水）
◇鹽島電燈會社の增資
同社は臨時株主總會を開き資本金三百四十六萬圓を六百萬圓に增資の件を可決した
十四日（木）
◇內閣彈劾決議案否決さる
本日衆議院に憲政會提案の內閣彈劾決議案が上程されたが、採決の結果二百四十一票對百十七票を以て否決された
◇樺太製紙會社の創立
同社は資本金十萬圓を以て設立され、本日創立總會を開き、左の役員を決定した
▽取締役稻垣洋一郎、小倉基、酒井靜雄、內野五郎三、野中萬助▽監査役中山神右衞門、南波繪吉
◇露獨戰線の鐵量全部撤退
露國勞農政府は露獨戰線に於ける露軍全部の撤退を命じたる旨布告した
十五日（金）
◇富士製紙會社々債四百萬圓發行
同社は本日臨時株主總會を開催し、社債四百萬圓を左の條件を以て發行することに決定した

▽總額四百萬圓▽發行價格額面▽利率年六分五厘▽五箇年据置十箇年償還
◇下野鐵瓦會社の創立
同社（資本金五十萬圓）は本日創立總會を開催し左の役員を決定した
▽取締役平沼久三郎、齋藤松司、進藤久哲長尾忠國、早川昇策▽監査役須賀英祺、八卷知道、功刀通之介
◇安東銀行の十倍增資と改稱
滿洲安東縣の安東銀行は本日株主總會に於て資本金十萬圓を百萬圓に增資し、同時に商號を滿洲商業銀行と改稱することに決定した
◇伊藤銀行の十倍增資
名古屋市の伊藤銀行は臨時株主總會を開き資本金十萬圓を百萬圓に增資を決定した
◇土乃鑛讀會社の創立
同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を選任した
▽取締役榎本泰之助、池田旭、太田恒壽郎松方正熊、岩倉道俱▽監査役岩下家一、北垣守
◇石川島造船五百萬圓に增資
資本金二百四十萬圓の同社は、二百六十萬圓を增資して資本金五百萬圓となつた

◇米國、貿易制限令を公布
米國大統領ウイルソンは輸出入品のすべてに亘り戰時通商局の特許を要する貿易制限令を公布し本日より實施した
十七日（日）
◇高砂銀行の二倍宇增資
兵庫縣高砂町の同行は臨時總會に於て資本金二十萬圓を五十萬圓に增資を決定した
◇日本毛絲會社職工の同盟罷業
日本毛絲會社岐阜工場染化部職工二十名は最低賃銀日給四十五錢の二割引上げを會社に要求したが拒絕されたので同盟罷業を行つた
十八日（月）
◇富山銀行の二倍宇增資
富山市の同行は株主總會を開き資本金百萬圓を二百五十萬圓に增資を決定した
◇橫濱取引所理事長の辭任
同取引所理事長大谷嘉兵衞は一身上の都合により本日辭任した
◇製鐵所長官押川則吉自殺す
製鐵所長官押川則吉は、去る十二日衆議院本會議に於て鋼片拂下問題に關し農商務大臣伸小路廉が「東海興業會社と十ケ年間三萬トン相當の鋼片拂下契約をなしたが本契約は破

棄するに至るかも知れぬ」と答辯したのに對し、獨占的契約に非ずと反對の答辯をなして遂に衝突するに至り、東京府大崎町長者丸の自邸に引籠り中のところ、本日午前九時五十分その居室に於て縊死を遂げた。享年五十七原因は八幡製鐵所の疑獄問題に對する責任から自決するに至つたものである。氏は鹿兒島縣に生れ明治十年農商務省御用係を振出しに各縣の知事を歷任し、明治四十一年農商務次官、大正三年六月製鐵所長官に任命されたものである
十九日（火）
◇關東州の實業試驗場規程公布
關東廳當府は實業試驗場規程を本日の官報を以て公布した
◇鐘淵製紙會社の創立
同社は資本金五十萬圓にて創立されたが、本日創立總會を開催し、左の役員を選任した
▽取締役社長內野五郎三▽專務取締役初田伴藏▽取締役坪田庄市、近藤金五郎、櫻井信之助、中川金兵衞、澤田兵太郎、戶室庄三郎、山田外茂吉▽監査役山本留次、田村磯吉、林屋次三郎、寺岡進
◇淺水製菓會社の借額增資

同社は臨時株主總會を開き、資本金六十萬圓を倍額の百二十萬圓に增資と決定した
◇獨逸、露國に休戰條約破棄を通告
獨逸はペトログラード政府の行爲に鑑み露獨休戰條約は二月十日を以て破棄せられたるものと見做すと露國側に通告した
二十日（水）
◇淺野セメント社債四百萬圓募集
同社は本日臨時株主總會を開催し、川崎及北海道第二工場建設資金として社債四百萬圓募集を決定した
◇小田原電鐵會社の增資
同社は本日臨時株主總會を開催し資本金二百二十萬圓を三百三十萬圓に增資と決定した
二十一日（木）
◇浦賀船渠職工六千五百名罷業
神奈川縣の浦賀船渠會社職工五千三百十四名中本工場職工三千七百十二名、河間分工場職工千六百二名、外に伍長六百九十九名、組長百四十九名及び常雇四百名は會社に對し物價騰貴による賃銀三割値上を要求したるも拒絕されたので、一同同盟罷業を決行した。會社はこれに對抗するため强硬態度を執り職工側に對し無期休業を申渡した

二十三日（土）
◇米、麥、小麥粉の輸出制限令公布
農商務省は穀類價格調節のため大正三年同省令第二十二號戰時中物品輸出取締に關する件を改正し第一條中「調合肥料」の下に「米麥、小麥粉」を追加し該品の輸出に關しては許可制とすべきことを本日の官報で公布した
◇露國前參謀總長機銃さる
露國前參謀總長ヤヌスケウッチ將軍は赤衞兵のため逮捕され露都に護送の途中列車內にて慘殺された
二十四日（日）
◇浦賀船渠會社の罷業解決
同社罷業團代表と會社側代表とは大塚神奈川縣警察部長、松田檢事立會の下に會見し、左の條件にて四日間に亘る罷業は解決をつげ二十五日より出勤することに決定した
▽會社突然の休業は穩當ならざるも職工側に於て暴擧を企つるやも圖られざるによりたるものにして遺憾の意を表する
▽增給の件については或る時期を以て容るるも要求額については會社の任意とする
二十五日（月）
◇會計檢査院長の更迭

会計檢査院長子爵田尻稻次郎辭任し、その後任には同院第二部長中根敬藏が榮進した

◇駐米大使の更迭

本日駐米大使の更迭が行はれ特命全權大使佐藤愛麿は米國駐劄を免ぜられ、正三位勳一等子爵石井菊次郎が特命全權大使に任ぜられ米國駐劄を仰付けられた

◇日本鑄鋼會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開催し左の役員を選任した

▽取締役廣田誠一、笠井眞太郎、赤尾藤吉郎、草谷市作、内藤文四郎、宇佐美鷹夫▽監査役岡野喜太郎、渡邊登三郎、德田昂平

◇德島紡績會社の同盟罷業

德島紡績鯛島分工場織布部職工一千名は賃銀二割値上を會社に要求したるも拒絶され同盟罷業を決行した

二十六日（火）

◇東京倉庫會社、三菱倉庫と改稱

東京倉庫會社は臨時總會に於て社制を變更し、三月一日より商號を三菱倉庫會社と改稱することに決定した

二十七日（水）

◇鐵鑛所長官の後任決定

押川則吉の自殺により空席中の八幡製鐵所長官に拓殖局長官白仁武が任命された。尚ほ拓殖局長官には法制局長官兼内閣恩給局長有松英義が兼任と決定した

【三　月】

一　日（金）

◇米價二十六圓臺を突破

本日の東京米穀取引所期米相場は本場立會に於て新甫は二十六圓六錢の高値を示した

◇日本製毛會社の創立

同社は資本金五十萬圓を以て設立、本日創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役近藤榮八、黒石辨一、今村品太郎宮崎初五郎、兼松寅之助、田中彌一、水岡彌兵衛▽監査役江口彌一郎、田村善平、宮崎辰二

◇成田銀行、日出銀行を合併

千葉縣成田町の成田銀行（資本金六十二萬圓）は本日臨時株主總會を開催し、東京日本橋大傳馬町の日出銀行（資本金五十萬圓）を合併し、資本金を百十二萬圓に增資することに決定した

二　日（土）

◇日米船舶交換條件の成立

日米兩政府、日本造船業者間に於て交涉中の船舶交換問題は本日左の條件にて成立した

（一）日本政府は内國一般の傭船料を以て十五萬噸の船舶を傭船し、之れを四、五兩月國際傭船率を以て米國政府に提供し、内國一般の傭船率との差額並に内國航路保險料と歐洲航路保險料との差額約一千八百萬圓は日本政府に於て負擔す

（二）日本造船業者及船主は米國船舶管理

局に對し目下建造中の船舶十三萬噸を本年五月より十二月に至る期間に提供し、交換條件として船一噸に對し鐵一噸の割合を以て鋼鐵の供給を受くべし

（三）日本造船業者は二十三萬四千噸の船舶竣造計劃を樹てこれを明年中に米國船舶管理局に提供すべく右船舶に對しては船二噸に對し鐵一噸の割合を以て米國より鋼鐵の供給を受くべし

尚日本の米國に提供すべき船舶は合計六十六隻にして一隻の平均噸數は約八千噸である

◇日本コナミルク會社の創立

同社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役會長池上仲三郎▽專務取締役岡根親光▽常務取締役西澤龜太郎▽取締役廣瀨千秋、山口久四郎、川名正吉郎、津田毅一宮澤信▽監査役瀨川昌者、田中齊樹、小西供助

◇栗太銀行の二倍半增資

滋賀縣栗太郡草津町の栗太銀行は本日臨時總會を開催し、資本金二十萬圓を五十萬圓に增資を決定した

◇大洲鐵行の倍額增資

愛媛縣喜多郡大洲町の同行は本日臨時總會を開催し、資本金六十萬圓を百二十萬圓に倍額增資を決定した

◇德島紡績會社の罷業解決

同社職工一千名の賃銀二割値上要求に端を發し二月二十五日以來六日間に亘る同盟罷業に對し幹旋の結果、會社及び職工側は何れも無條件にて調停に應ずることに決定した

三　日（日）

◇内田駐露大使引揚げ

露國ヴオログダに在る日本、米國、支那、露國、ブラジルの外交官は滯在すべきや否やに關し協議の結果、米國、露國、ブラジルの外交官は引揚げに決定し、内田大使以下館員十三名は支那公使一行と共に本日同地を出發した。尚ほ陸海軍武官は當分滯留することとなつた

◇露獨媾和條約調印發表さる

本日の獨逸公報は、露國との媾和條約は調印を了し、露西亞に於ける軍事行動は停止された旨發表した

四　日（月）

◇日本護謨火災保險會社の創立

同社は資本金百萬圓を以て設立されたが、本日創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役平賀敏、鈴木重隆、山本藤助、井上周、清水榮次郎▽監査役高砂長兵衛、近藤喜祿、市川誠夫

五　日（火）

◇東洋臨海紡績會社の創立

同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役松本彌左衛門、井坂孝、中澤彦吉鈴木章之、飯田一馬▽監査役大濱忠三郎、片山次雄、鈴木濟美

◇南海鐵道、和泉電力を合併

南海鐵道會社（資本金一千三百六十萬圓）は臨時株主總會を開き、和泉電力會社（資本金八十四萬圓）を合併し、資本金一千四百四十四萬圓に增資する件を決定した

◇押川前製鐵所長官に一萬圓贈與

前製鐵所長官押川則吉の自殺原因につき瀆職事件に關係あるものとして東京地方裁判所に於て取調中の處、大阪市會議員田中省三が鋼鐵一千噸拂下に對する謝禮として一萬圓を押川長官に贈賄したること判明、田中省三は

贈賄罪として東京地方裁判所の公判に附せられた

六　日（水）

◇八幡製鐵所中心の贈賄事件發表

かねて記事掲載禁止中の八幡製鐵所を中心として九州鐵道管理局、各炭坑及び大阪東京の實業家にまつはる贈收賄疑獄事件は大正六年九月より關係者百三十八名を檢擧取調中のところ內八十五名の檢事終結し公判に附することに決定、本日解禁發表された。檢擧されたる重なる關係者は左の人々である

▽九州鐵道管理局關係、鐵道院參事宇佐美寬爾、同局參事太田恒二、幸袋驛長土屋十五郎、芳雄驛長成瀨福松、同驛助役川本雅問、元中間驛長川邊信次、飯塚驛長西郷春喜、熊本驛長柴田秋雄、長崎驛長森七郎、戸畑驛長萱井要次郎

▽製鐵所關係、二瀨出張所書記川上積、元販賣課長渡邊友英

▽關岡鐵務署關係、技師有田榮、監督官補谷口嘉道、同岩澤嘉吉、同安部定雄、同矢柄弘之

▽實業家關係、貝島鑛業會社々員早原廣勝大川造船所技師長小田吾一、同支配人橋本安太郎、大阪製鐵所取締役山口務、同木村錄之助、久保田鐵工所營業部長柴柳新二、日本造船所社長桝巴陸龍、關岡鑛業會社取締役高津龜太郎

七　日（木）

◇大天丸、獨逸潛航艦に撃沈さる

松昌洋行所有船大天丸（五千八百噸、船長小川幸吉）は伊太利政府の御用船としてジブラルタルを通過し伊太利エヂオに向つて航行中獨逸潛航艦に撃沈されたが、乘組員は幸ひ全員救助された。保險は伊太利政府に於て百六十萬圓、船主二百萬圓の契約がある

◇日本製紙會社の創立

同社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役原亮一郎、三樹一平、鹿嶋長次郎大葉久吉、野間清治▽監査役橋本信次郎、石川正作、江草重忠

九　日（土）

◇鳥栖電鐵公司の借額增資

同社は臨時株主總會を開き、資本金五十萬圓を百萬圓に增資と決定した

◇鐵濱正金銀行副頭取の更迭

同行副頭取山川勇木は勇退して平取締役となり、取締役梶原仲治が副頭取に昇任した

十　日（日）

◇北儀銀行の借額增資

兵庫縣加古郡北條町の同行は本日の臨時總會に於て資本金五十萬圓を百萬圓に增資を決定した

十一日（月）

◇臨時國庫證券增發法公布

臨時國庫證券法中第二條「二億圓」を「五億圓」に改正の旨本日法律第一號を以て公布した

◇鵜飼代水電社債二百萬圓募集

同社は臨時株主總會に於て、左の條件にて社債二百萬圓募集を決定した

▽募集額二百萬圓▽利率年六分五厘▽發行價格額面百圓につき百圓▽償還方法及期限大正十年迄据置同十一年より同十五年迄に每年五月末日二十萬圓以上五十萬圓以內を抽籤により償還

◇南海鐵道二千二百萬圓に增資

同社は本日の重役會に於て、現資本金一千四百四十四萬圓を二千二百萬圓に增資を決定した

◇マスラ鐵工會社の創立

同社（資本金三百萬圓）は本日創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役河東田經清、增田義一、山口誠太郎、町田豐千代、增原熊太郎、岡部文男、前島彌▽監査役平田初熊、森盛一郎、江藤甚三郎

◇日華ペイント會社の創立

同社（資本金十萬圓）は創立總會を開催し左の役員を選任した

▽取締役社長山本彦太郎▽專務取締役茂木克太郎▽取締役岡田勝太郎、中村濱太郎▽監査役鬼式十郎

◇山陽貯蓄銀行重役數名

廣島市の山陽貯蓄銀行元專務取締役神原龜六、取締役桑原伊十郎、行員渡邊健一、串田一太郎に對する行金費消事件發覺し取調中のところ本日數名された

◇勞農政府、首府を萬斯科へ移轉

露國勞農政府は獨逸に壓迫せられ首府を莫斯科へ移轉した

◇民間外債及露軍納司令官更迭

露國勞農政府外務大臣トロッキー及び露軍總司令官クリレンコ將軍は、政治及軍事上の問題につき、勞農政府委員と意見不一致のため辭職した

十二日（火）

◇高崎板紙、上毛製紙を合併

同社（資本金十六萬圓）は、臨時株主總會を開き、上毛製紙を合併し、資本金を三十萬圓とする件を可決した

◇東洋製粉會社の三倍增資

同社は本日の臨時株主總會に於て資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資を決定した

十三日（水）

◇入山採炭會社の六倍增資

同社は臨時株主總會を開催し、資本金百萬圓を六百萬圓に增資を決定した

十四日（木）

◇關東州施行規則の公布

關東都督府令第八號を以て關東州租借地稅關稅規則第五條に依る產地證明規則が公布された

十五日（金）

◇帝國化學工業會社の創立

同社は資本金五十萬圓を以て設立、本日創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役西村直、小原俊二、勝田德松、藤本宮治郎、佐藤長四郎、平野幾三郎、久松大門▽監査役平野豐藏、古川道次

十七日（日）

◇東洋運漕業會社の創立

同社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役森恰、藤田秀雄、秋元定恭、倉地鐵吉、尾崎敬義、飯田邦彥▽監査役春田茂躬、藤井元丈

十八日（月）

◇電話公債三百萬圓の發行

電話事業法による五分利公債額面三百萬圓を左の條件を以て發行する旨本日大藏省告示した

▽償還期限五年据置その翌年より五十年內

▽利率年五分

◇谷口綿布會社の四倍增資

同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金五十萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇東京通關運送會社の創立

同社（資本金二十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役青木久七、山中忠輔、三上熊三郎

▽監査役宇佐美淺治郎

十九日（火）

◇大日本製糖一千萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金三百七十萬圓を一千萬圓に增資と決定した
二十日（水）

◇電氣博覽會、上野に開會
電氣協會主催の電氣博覽會は會期五十日の豫定を以て本日より東京上野の不忍池畔に開催された

◇株式會社大倉洋紙店の設立
大倉文二の個人經營せる大倉洋紙店は資本金三百萬圓の株式組織に變更し、左の役員を決定した
▽取締役（社長）、大倉文二（專務）、大倉邦彥、山本靜雄、横田清緑▽監査役　淵上仁三郎

◇株式會社安藤組の創立
土木建築請負業の安藤組は從來の個人經營を資本金二百萬圓の株式會社に改組し本日その創立總會を開催、左の役員を選任した
▽取締役社長安藤德之助▽取締役　坂本順松本直太郎、高橋清太郎▽監査役　伊藤貞之進

◇勝田證券會社の創立
同社は資本金百萬圓を以て設立、本日創立總會を開き、左の役員を決定した
▽取締役社長勝田銀次郎▽專務取締役鳥地米太郎▽取締役若水德、門司俊治▽監査役後藤彌太郎、楢木音吉

◇愛知セメント會社の三倍增資
同社は本日臨時株主總會を開催し、資本金百萬圓を三百萬圓に增資を決定した
二十二日（金）

◇日本鋼管社債五百萬圓發行
同社は本日臨時株主總會を開催し、舊債の償還及事業擴張資金充當のため社債五百萬圓を左の條件にて發行と決定した
▽利率年六分五厘▽三ヶ年据置五ヶ年以內償還

◇發動機製造會社の借額增資
同社は本日臨時總會を開催し、資本金五十萬圓を百萬圓に增資を決定した
二十三日（土）

◇戰時利得稅法の公布
本日官報を以て戰時利得稅法が公布された

◇大正七年度歲入歲出總豫算を公布
本日官報を以て大正七年度歲入歲出總豫算を左の通り公布した
▽歲入總計七億一千九百五十七萬六千九百七十六圓
▽歲出總計七億一千九百五十七萬六千九百七十六圓
二十四日（日）

◇軍艦靑葉時津風竣工
帝國軍艦時津風（艦長和波豐一少佐、一千二百噸級一等驅逐艦）は演習のため有明灣に向つて航行中、暴風雨のため宮崎縣宮崎郡戶埼沖の暗礁に坐礁、船體を雨曝して沈沒し、乘組員は全員救助された

◇段祺瑞、國務總理就任を辭諾
北京政府國務總理王士珍辭職し、段祺瑞がその後繼に推され、就任を受諾した
二十五日（月）

◇軍用自動車工業補助法の公布
本日の官報を以て軍用自動車工業の奬勵助長を目的とする補助法が公布された

◇大東海上火災保險會社の設立認可
松田助八外八名より申請中の大東海上火災保險會社は本日主務省より認可の免許狀を下附された

◇大倉組常務大倉證身收監さる
八幡製鐵所疑獄事件に關聯し福岡地方裁判所檢事局にて取調中の大倉組常務取締役大倉

發身は豐崎の際で福岡監獄に收容された

◇三井合名理事有賀長文の淸去
三井合名會社理事有賀長文は、支那及び滿洲視察のため本日午後七時東京驛發列車で渡支した

◇內田駐露大使の歸朝
露國の革命により任地を引揚げた內田駐露大使一行は本日午後八時東京驛着列車で歸朝した
二十六日（火）

◇上毛製粉會社の創立
同社は資本金百萬圓を以て設立されたが、本日創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役社長井上保三郎▽專務取締役淸水新一郎▽取締役中島喜藏、松上眞哉▽監査役高田利八、相澤吉平
二十七日（水）

◇第四十議會開會
本日貴族院に於て第四十帝國議會閉院式が擧行された

◇滿鐵稅關人夫の同盟罷業
本日浦鹽港に入港した大阪商船の鳳山丸は稅關人夫が過激派の策動に動かされて同盟罷業を決行したため、郵便物、貨物等の荷役不能に陷つた
二十八日（木）

◇朝鮮製粉會社の創立
同社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開催し、左の役員を選任した
▽取締役安部幸之助、吉村銕之助、吉富璣一▽監査役山口誠太郎、鵜澤宇八
二十九日（金）

◇佐世保輕便鐵道の敷設免許
本日鐵道院は佐世保輕便鐵道會社發起人中倉萬次郎外十一名に對し左の輕便鐵道敷設免許狀を下附した
▽長崎縣北松浦郡山口村より佐世保市城山町間延長八哩六十四鎖▽建設資金五十萬圓

◇大阪三越呉服店の火事
本日午前二時大阪市東區三越呉服店舊館三階より發火、舊館全部を燒失した。損害二十萬圓。保險は舊館建物は千代田其他に六萬五千圓、商品に對し千代田火災に五萬圓、新舊館全部の商品に對して千代田、明治その他に八十萬圓の保險契約があつた
三十日（土）

◇鐵太事業公債法の公布
本日官報を以て、樺太事業公債法が公布され

◇澤井英五、日銀理事に當選
日本銀行は本日臨時總會を開催し、興銀總裁に榮轉せる前理事土方久徵の後任選擧を執行した結果、營業局長深井英五が理事に當選した
三十一日（日）

◇田尻稻次郎、東京市長に當選
本日の東京市長選擧臨時市會に於て商會計檢査院長子爵田尻稻次郎が大多數をもつて當選した

【四　月】

一　日（月）

◇有價證券割賦販賣法公布
本日の官報を以て同法が公布され、九月一日より施行

◇若松炭礦會社の創立
資本金四百萬圓を以て設立された若松炭礦會社は創立總會を開き、左の重役を選任した
▽社長藏內治郎作▽常務取締役桂二郎、安田伊左衞門、松本良七▽取締役橋本太吉、平田喜三郎、副嶋延一、淸浦敬吉▽監査役橋本信次郎、森田淇藏、平川潤亮、關谷兵

助、正親町公和

◇株式會社山叶商會の創立
有價証券賣買業、合資會社鳴島商會（東京所在）の事業一切を繼承し、資本金百萬圓を以て設立された株式會社山叶商會は、創立總會を開き、左の重役を選任した
▽專務取締役前田三平▽取締役北島耳、園川常雄、山口榮吉

◇杉村商會、株式組織に變更
綿布、モスリン問屋、東京日本橋の杉村甚兵衛商店は、從來の個人經營を資本金百萬圓の株式組織に變更し、本日の創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長杉村甚三郎▽常務取締役杉村友次郎杉村米次郎▽取締役藤縄銓次郎、富澤多三郎▽監査役杉村虎四郎▽相談役杉村甚兵衛

◇佛國、米軍の戰闘參加許可
佛國政府は、米軍司令官パシグ將軍よりの戰闘參加希望を許可することに決定した

◇米國下院、大幕僚案を可決す
本日の米國下院は、滿場一致で戰費調達の目的で四十六億弗公債發行の件を可決した

◇露馬法王、獨逸に抗議を發す
羅馬法王は、巴里の砲撃、特に教會の破壞

人民の虐殺に對して獨逸政府に嚴重なる抗議を發した

◇フオツシユ將軍總司令官となる
佛國フオツシュ將軍は、英佛軍總司令官に就任した

四　日（木）

◇東都市、東都電鐵買收を可決
本日の京都市會は、京都電鐵を四百二十五萬圓で買收する件を可決した。京都電鐵でも株主總會を開き、これを可決し、引渡期限は六月三十日と決定した

◇東京電燈會社の創立
資本金百萬圓で創立された同社は、創立總會を開き、左の重役を選任した
▽專務取締役若目田利助▽取締役川北榮夫井原外助▽監査役矢村克、安部繁一

五　日（金）

◇三井物産の石貢輸入
三井物産會社は外米輸入計畫の第一着手として、本日長崎入港の第三多聞丸で、九州各地需要の西貢米四千噸、三萬八千八百三十七袋を輸入した

◇谷口綿布會社の破綻
大阪の同社（資本金二百萬圓）は、臨時株主總會に於て現社名を吉見紡織會社と改稱することに決定した

◇三井男、支那政府より叙勳さる

獨逸は露國に對し、若し露國が赤衛兵の芬蘭に侵入するを防遏し得ざれば獨逸は已むを得ず露獨平和條約に規定したる條件を獲得するの方法に出づべき旨の通牒を發した

四　日（木）

◇東亞興業會社二千萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、事業擴張のため、資本金三百萬圓を二千萬圓に增資と決定した

◇日本電話工業會社の創立
資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き、左の重役を選任した
▽專務取締役川北榮夫
井原外助▽監査役矢村克、安部繁一

五　日（金）

◇三井物産の石貢輸入
三井物産會社は外米輸入計畫の第一着手として、本日長崎入港の第三多聞丸で、九州各地需要の西貢米四千噸、三萬八千八百三十七袋を輸入した

◇谷口綿布會社の破綻
大阪の同社（資本金二百萬圓）は、臨時株主總會に於て現社名を吉見紡織會社と改稱することに決定した

支那の馮總統は男爵三井八郎右衛門に大綬一等嘉禾章を、三井源右衛門に二等嘉禾章を贈與した。右は前年秋支那天津附近に大洪水があり、直隸總督熊希齡を總裁として水害救濟會を組織した際、三井物産棉絲部が百萬元の棉花借款に應じ、罹災民に分配したその功績に對するものである

六　日（土）

◇濱璽渡邊陸戰隊司令官の布告
五日濱璽港に上陸した我海軍陸戰隊司令官は、本日左の如き趣旨を布告した
我軍は露國の內政や、革命に干與するものではない。只政爭が益々激甚となり、白畫日本人が三名殺戮されたので、責任上日本帝國臣民保護のため陸戰隊を揚陸し適當の措置を講ずるものである
因に、英國軍艦サツホークも陸戰隊を上陸せしめ、停車場附近の同國領事館を保護することになつた

◇露貨回收の影響
英國商務省は、特許のある場合の外、三月二十二日以後露貨の輸入を禁止した旨、倫敦の山崎總領事から本日來電があつた。我國の露貨回收は六年度總額一千二百八十三萬六千八百五十圓、そのうち英國への輸出額七百八萬五千百八十一圓で、本年に入つて益々增加の趨勢にあつたが、禁輸の結果我國當業者の蒙る打撃は甚大である

◇東京瓦子會社の減資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金二百五十萬圓を二百萬圓に減資と決定した

◇三菱商事會社の創立
資本金一千五百萬圓を以て設立された同會社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長岩崎小彌太▽常務取締役太田廣吉▽取締役三宅川百太郎、植松京一、三谷一二江口定條、原田芳太郎、橋本正治、澁谷米太郎▽監査役串田萬藏、青木菊雄

◇米國政府、毛織物及紡織機を徵發
米國政府は、軍隊の制服を製造するため、全國の毛織物、紡織機を徵發した

八　日（月）

◇勞農政府、日本軍に無抵抗を命ず
露國勞農政府は、日本軍の浦鹽上陸を曲解し、赤衛軍の編成をなし、日本軍の侵略に抵抗すべしと布告した

九　日（火）

◇南滿洲鐵業會社の創立
資本金三百萬圓を以て設立された同會社は創立總會を開き、左の重役を選任し、本店を大連に、出張所を東京に設置することに決定した
▽社長荒井泰治▽專務取締役高木陸太郎▽取締役大橋新太郎、仲丸一平、林愛作、相生由太郎、飯田邦彥▽監査役山田潤二、八十島親徳、藤崎三郎助

◇村井銀行東都支店長收監さる
京都市會議員瀆職事件が發覺し、これに連座せる村井銀行京都支店長芝原豐三郎は京都監獄に收監された

◇レーニン、對日宣戰を叫ぶ
露國過激派のレーニンは、モスコーに於て露國は日本兵の浦鹽上陸のため、日本に對して宣戰をするやも知れずと演說した

十　日（水）

◇北海電化工業伏木工場の操業開始
北海電化工業會社が富山縣伏木に建設中であつた工場竣工し、本日からカーバイトの製造を開始した。製造能力は月產三百噸である

◇三菱鑛業會社の創立
資本金五千萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長　木村久寿弥太▽常務取締役　重松幾二、烏村金治郎、龍見愛太郎、三谷一二三好重道▽取締役　岩崎小彌太、大石廣吉江口定條▽監査役　串田萬藏、青木菊雄、桐島像一

◇勝太汽船會社の創立

資本金八百萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽取締役大川平三郎、田中榮八郎、白石元治郎、長谷川太郎吉、熊澤一衛、小田桐忠治、藤田好三郎▽監査役小西安兵衛、下郷傳平、渡邊甚吉、岡崎久次郎、松村精一

◇東洋製鋼所の創立

株式會社東洋製鋼所は資本金百萬圓を以て大阪に設立され、創立總會に於て左の役員を選任した

▽取締役山口嘉藏（社長）、藤村忠巳、田艇吉、大島甚三、黒澤浩▽監査役小西喜代松宮崎敬介、越知了一郎▽支配人近藤福三郎

十一日（木）

◇森田製作所の設立

火防協會森田正作の經營に係る事業一切を讓承し、資本金百萬圓を以て大阪に設立された株式會社森田製作所は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽社長名和陽一▽常務取締役森川正作、西尾稲熊▽取締役伊藤彌十郎、黒部捨太郎▽監査役岡勝次郎、花岡平吉、初田勝治

◇倉敷紡績、松山紡績を合併

倉敷紡績（資本金百四十五萬圓）は臨時株主總會を開き、松山紡績（資本金五十萬圓）を合併し、資本金を百九十五萬圓とする件を可決した

◇土佐セメント會社の半額讓渡

同社は臨時株主總會を開き、資本金百萬圓を五十萬圓に減資と決定した

◇東海電氣製造會社の創立

資本金五十萬圓を以て名古屋に設立された同會社は、創立總會を開き、左の重役を選任した

▽社長寒川恒貞▽常務取締役川崎會恒三、下田義雄▽取締役岡本櫻、鯛澤駒吉、青木義雄、高木得三▽監査役三根正亮、高橋正彦、黒父江重兵衛

十二日（金）

◇太平洋貿易會社の改組

横濱市山下町の太平洋貿易合資會社は資本金百萬圓の株式會社に改組、本日の創立總會に於て社長に森本銀太郎、取締役に綿野古二加藤平次郎、林温古、監査役に鈴木敎次郎が當選就任した。同會社は從來主として南米、中米との貿易を營んでゐたが、組織變更と共に歐洲及び北米方面へも事業を擴張する

◇美濃農銀行、營業を停止さる

大垣市の美濃屋銀行（資本金十五萬圓）は不正貸出をなし、預金引出の請求に應ずること能はず、整理も進捗せざるため遂に本日大藏大臣から營業停止を命ぜられた

十三日（土）

◇滿鐵社債、舊鐵引受に決定

滿鐵が鞍山鉄製鐵所の建設資金とするため發行する社債九百八十萬圓中、公募に附する八百萬圓は、日本興業銀行が左の條件で引受と決定した

▽利率年六分▽發行價格百圓に付九十六圓五十錢▽期限五ヶ年据置後十ヶ年間に償還

◇米國、米の輸入禁止を解除す

米國の輸入制限品目プレッドスタッフの中には米をも含んでゐたが、本日「米」を除外する旨發表された

十四日（日）

◇鳥島商業會議所開所式

今回新設された鳥島商業會議所は本日開所式を擧行した

十五日（月）

◇大阪化學工業博覽會開會

會期五十日間の同博覽會は本日から大阪天王寺公園に於て開會された。久原鑛業、住友伸銅所、三菱鍊山、三菱製鍊、日本グリセリン、藤田組等が重なる出品者である

◇横濱に佛國商業會議所設立請願

横濱在留佛人エルバーモンド外四名は、日佛貿易の發展を圖る目的を以て、横濱に佛國商業會議所を設立すべく、神奈川縣廳に請願した

◇神田銀行の創立

資本金二百萬圓を以て設立された同行は、本日創立總會を開き、資本金百萬圓の紅葉屋銀行を合併して資本金三百萬圓となし、左の重役を選任した

▽頭取神田鎌藏▽取締役三好海三郎、高木捨次郎▽監査役清水景吉

◇三共株式會社の借額增資

藥品製造販賣の同社は臨時株主總會を開き資本金二百三十萬圓を四百六十萬圓に增資と決定した

◇日本綿花會社の借額增資

日本綿花會社は、臨時株主總會を開き、現在の資本金五百萬圓を一千萬圓に增資と決定した

◇電氣製鋼會社の五借增資

電氣製鋼會社は臨時株主總會を開き、事業擴張のため、現在の資本金五十萬圓を二百五十萬圓に增資と決定し、代表取締役に鯛澤桃介を選任した

◇東京勸產火災保險會社の創立

資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役根岸練次郎、藤崎三郎助、浦邊襄夫、内山敬三郎、鍵富三作、反野茂作▽監査役守屋善兵衛、佐藤甚九郎、神谷忠雄

◇展見屋商店、株式組織に變更

大阪の紐類製造販賣商見辰屋商店は從來の個人經營を資本金五十萬圓の株式組織に變更本日の創立總會に於て、左の重役を選任した

▽社長山本壯▽專務取締役河村草雄▽取締役岡本武次、望月政友、鈴木文哉、小林安太郎▽監査役太田西子郎、名出茂一郎、斎藤和平太

十六日（火）

◇日英の浦鹽揚兵と駐露米國大使の意見

日本及英國の海軍陸戰隊の浦鹽上陸に關し米國駐露大使フランシスは、日英海兵の浦鹽上陸は何等政治的意味を持つものに非ず、單に同地に於ける日英の利益保護を目的としたるものなり、露國政府及び新聞紙は餘りにもこの事件を過大視する感あり、との意見書を發表し、同一内容の情報を米國國務省に發達した

◇全國取引所に期米取引停止命令

米價は昂騰に次ぐ昂騰で重大なる社會問題化せんとするに至つたので、農商務大臣は、無限に暴騰する米價を調節するため取引所法第二十七條を發動し、全國三十八ケ所の期米取引所に對し一齊に當限、中限の賣買停止を命じた

なほ本日の東京米穀取引所で取引された定期米は高値の新記錄を作り、當限（四月渡）は一石（玄米）二十七圓五十七錢、中限（五月渡）は二十七圓七十五錢、先限（六月渡）は二十六圓八十六錢であつた

◇神戸市電氣公債三百萬圓成立

本月十二日の神戸市會に於て可決された電氣公債三百萬圓の發行は、三井銀行との間に

左の條件で契約が成立した
▽利率年六分▽發行價格九十六圓▽償還期限二十五ヶ年

◇三菱倉庫一千萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金八百萬圓を一千萬圓に增資と決定した

◇東洋倉庫會社の創立
資本金五十萬圓を以て大阪に設立された同社は創立總會を開き、左の重役を選任した
▽社長安東忠治郎▽取締役安居彌之助、田中淸藏、乾禪之助、友田龜太郎、藤本常次郎▽監査役伊藤由五郎、櫻井勝藏、淸水源吉▽支配人西尾友雄

◇日本傷害保險會社の資額增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金百萬圓を二百萬圓に增資する件及び火災保險海上保險の兼營を決定した

十七日（水）

◇大阪商船の瓜哇航路開始
和蘭郵船會社は英國政府に同社所有船六隻を徵發されたため從來經營してゐた瓜哇、香港、上海、日本間二週一回の定期航路を中止したので、大阪商船では東洋各地と瓜哇間の貿易交通を圓滑ならしむべく和蘭郵船に代つて右航路を經營し、從來の定期船三隻以外更に四川、杭州、有明、雲南、多聞の五隻を配船して瓜哇、日本間月二回の定期航路を開始することに決定した

◇朝鮮銀行に副總裁制を設く
朝鮮銀行では本日臨時株主總會を開催、定款を變更して新に副總裁を置く件を滿場一致可決した

◇東洋倉庫會社の設立
資本金五十萬圓を以て大阪に設立された同社は創立總會を開き、左の重役を選任した
▽社長安東忠治郎▽取締役安居彌之助、田中淸藏、乾禪之助、友田龜太郎、藤本常次郎▽監査役伊藤由五郎、櫻井勝藏、淸水源吉▽支配人西尾友雄

◇日本傷害保險會社の資額增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金百萬圓を二百萬圓に增資する件及び火災保險海上保險の兼營を決定した

十七日（水）

◇大阪商船の瓜哇航路開始
和蘭郵船會社は英國政府に同社所有船六隻を徵發されたため從來經營してゐた瓜哇、香港、上海、日本間二週一回の定期航路を中止したので、大阪商船では東洋各地と瓜哇間の貿易交通を圓滑ならしむべく和蘭郵船に代つて右航路を經營し、從來の定期船三隻以外更に四川、杭州、有明、雲南、多聞の五隻を配船して瓜哇、日本間月二回の定期航路を開始することに決定した

◇朝鮮銀行に副總裁制を設く
朝鮮銀行では本日臨時株主總會を開催、定款を變更して新に副總裁を置く件を滿場一致可決した

◇東洋倉庫會社の設立
當坂合資會社調帶部の事業一切を讓り受けこれに同社獨特の技術を應用して調帶の製造を爲すべく、資本金百萬圓を以て計畫された東洋調帶會社は本日創立總會を開き、左の重役を選任した
▽取締役亘理鳳正（社長）、富坂與八、（常務）、佐藤信孝（常務）、中島德治（常務）、松島肇、增田德三郎、菊地良一、中山民生、竹谷源平、宮川恭司▽監査役坂非準一、地場寅次郎、目黑孝平

◇佛國、カカオ・珈琲・紅茶の輸出再禁
佛國及び佛國の植民地から日本及び其他の特別諸國に向けられたものに限り輸出禁止を解除された物品中、カカオ、珈琲及び紅茶を再び輸出禁止した

◇英國議會、增兵案を可決
英國下院は、三百一對百三の多數を以て增兵案を可決した。同案は十九日に上院も通過した

十八日（木）

◇安田銀行の二倍半增資
同行は臨時株主總會を開き、現在の資本金一千萬圓を二千五百萬圓に增資と決定した

◇湯淺蓄電池製造會社の設立
京都の湯淺七左衞門の經營に係る蓄電池製造所の事業一切を繼承し、資本金五百萬圓を以て設立された湯淺蓄電池製造會社は、創立總會を開き左の重役を選任し、本社を大阪に設置するに決定した
▽社長湯淺七左衞門▽常務取締役吉川龜次郎▽取締役中丸一平、山田湖郎、大塚英太郎、中屋重樹▽監査役藤野龜之助、伊藤喜兵衞、小木貞正

◇獨軍、芬蘭首府を占領
獨逸軍四萬はヘルシングホールスに上陸し同市を占領した

◇英國陸相更迭す
英國陸相ダービー卿は駐佛大使となり、ミルナー卿が陸相に就任した

十九日（金）

◇昌榮堂印刷所の創立
資本金五十萬圓を以て設立された大阪の株式會社昌榮堂印刷所は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長土居剛吉郎▽常務取締役上田爲造▽取締役今西林三郎、小林林之助、岡山信夫▽監査役渡邊修、木村駒吉

◇大阪琺瑯會社の創立
大阪琺瑯會社（資本金二百萬圓）は、本日創立總會を開き、左の重役を選任した
▽專務取締役進經太▽常務取締役角野久造▽取締役前田房之助、石原積、和田惣八▽監査役佐々木武生、小林利一、倉澤弘信

◇八幡製鐵所演戲事件の續審決定
八幡製鐵所を繞る北九州の大汚職事件は福岡地方裁判所に於て審理中のところ、製鐵所勅任技師工學博士萩原時次外二十四名有罪と決定した。贈賄者側の主なる顏觸は第百四十七銀行頭取有馬純俊、東京大倉組取締役大倉發身、高田商會事務長柳谷巳之吉、高田商會代表社員高田愼次郎等である

二十日（土）

◇關稅定率賃付規則制定
本日の官報を以て同規則が公布され、即日施行された

◇神戸期米總解合
神戸期米市場では停止された四五月限建玉處分に就き双方の意見一致せざるため仲買人は前夜深更まで協議を重ねた結果、停止前の止値より十二錢安の當限二十七圓四十一錢、中限二十七圓三十七錢を以て双方異議なく總解合を爲すことに決定した

◇京都期米總解合
停止中の京都期米當中限は仲買人總會の結果總解合を爲すに決し賣買双方から協定委員三名宛を選び解合値段を一任することゝなり結局當限二十七圓三十五錢、中限二十七圓三十錢で總解合を爲すに決定した

◇東京商業會議所、米價調節陳情
東京商業會議所では、米價調節策として關稅の輕減若くは撤廢及び外米輸入並に輸送能力增進等に付き政府に建議したが、藤山東商會頭は本日農商務省に仲小路農相を訪問し其の實施を陳情した

◇臺灣銀行一千萬圓を增資
同行は臨時株主總會を開き、資本金二千萬圓を三千萬圓に增資と決定した

◇愛知銀行七百萬圓に增資
同行は臨時株主總會を開き、資本金二百二十一萬圓を七百萬圓に增資と決定した

◇北海盲連會社の創立
資本金三百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長吉富璣一▽專務取締役小泉米藏▽取締役北島七兵衞、金岡又左衞門、橋林太郎、淺野長七、石原正太郎▽監査役島田林太郎、廣田善八、犬塚信太郎、堀內明三郎

◇佛印政廳、東京米輸出を禁止
佛領印度支那政廳は、許可なくして東京米を輸出することを禁止する旨發布し即日實施した

二十三日（火）

◇外相、內相の更迭
外務大臣本野一郎は、病氣のため辭任し、內務大臣兼鐵道院總裁後藤新平が外相に轉じ內務次官水野錬太郎が內相に昇任することとなり、本日宮中に於て親任式が擧行された。なほ內務次官の後任には土木局長小橋一太が就任、鐵道院總裁の後任には副總裁中村是公が昇任した

◇ジョホール鐵道幾培會社の創立

資本金二百萬圓を以て設立された同社は、
創立總會を開き、左の重役を選任した
▽社長柴崎雪次郎▽常務取締役岡部常太郎
伊藤多兵衞▽取締役犬塚信太郎、西成伍▽
監査役相生由太郎、高戸都三、秦傳次郎

◇日本圖畫會社の設立
資本金百萬圓で設立された同社は創立總會
を開き、左の重役を選任した
▽社長永井柳太郎▽專務取締役岡田喜三藏
▽取締役寺阪政治、岡崎清一▽監査役深澤
富太郎、北川元太郎

二十四日（水）

◇日本鋼管會社一千六百萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、資本金五百萬
圓を一千六百萬圓に增資と決定した

◇奉天省債款三百萬圓成立
奉天省官銀號整理資金調達の目的を以て奉
天省と朝鮮銀行との間に交涉中であつた三百
萬圓の借款は、左の條件で成立した
▽利率年六分五厘▽價格額面百圓に付九十
七圓▽償還期限五ヶ年▽擔保本溪湖煤鐵公
司の支那人所有株

◇佛國、船舶徵發令を發布
佛國政府は、大統領令を以て、一切の商船
を徵發する旨を公布した

二十五日（木）

◇外國米管理令を發布
政府は米價騰貴に鑑み、これが調節の目的
を以て、外國米の賣買移輸入の管理をなすこ
とに決定し、本日勅令を以て外國米管理令を
發布した

◇大阪府農工銀行の借債增資
同行では臨時株主總會を開き、現在の資本
金二百萬圓を四百萬圓に增資と決定した

◇九州電氣軌道一千六百萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金
六百三十萬圓を一千六百萬圓に增資するに決
定した

二十六日（金）

◇三菱製紙工場の操業開始
大正五年一月以來、東京府下中川沿岸に建
設中の三菱製紙工場（敷地約六萬坪）は諸設
備完成し、本日より操業を開始した。抄紙機
は三臺、月產能力百八十萬封度である

◇大阪商船會社二百萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金
二百萬圓を四百萬圓に增資と決定した

◇福岡銀行五百萬圓に增資
福岡市の同行は、臨時株主總會を開き、現
在の資本金百五十萬圓を五百萬圓に增資と決
定した

◇段祺瑞の乘艦衝突、一千餘名溺死
四川、廣東兩省の攻擊を決意して南下せる
支那國務總理段祺瑞の乘艦楚泰は、本日、漢
口の下流二十支里の點に於て支那汽船江寬と
衝突し、段總理は無事、楚泰の損害は輕微で
あつたが、江寬は沈沒し、乘客一千餘名は溺
死した

二十七日（土）

◇全國產組大會の中央金庫裏望決議
第十四回全國產業組合大會は、組合員一千
餘名、勝田大藏大臣、森銀行局長等出席の下
に東京に於て開催され、大要左の如き決議を
なした
今や社會の狀勢益々產業組織の擴大を促し
經濟上の競爭愈々激烈を加へんとする折柄
我產業組合の任務益々重く且つ大なり。然
るに組合の現狀は、この狀勢に應じ、未だ
その機能を發揮するに至らざるは頗る遺憾
なり。吾人は速に多年の宿望たる產業組合
中央金庫を設け組合の機能を全うし、國運
の進展に貢獻せんことを期す

◇七十四銀行、茂木銀行を合併
橫濱の七十四銀行（資本金二百萬圓）は臨
時株主總會を開き、合名會社茂木銀行（資本
金百萬圓）を左の條件で合併と決定した
茂木銀行は、一株拂込二十五圓六萬株に相
當する財產を讓渡、更に橫濱七十四銀行の
拂込資本金（百六十萬圓）に對する積立金
及繰越金に比例し、その積立金及繰越金を
算出し、これを七十四銀行に引繼ぐこと

◇支那短期公債條例公布
本日付大總統令を以て中華民國七年短期公
債條例を公布した
▽費途中國、交通兩銀行に對する政府借入
金の銷却並に兩銀行の準備金補助▽總額四
千八百萬元▽利子年六分▽割引無し▽償還
方法民國七年一月より起算し、抽籤にて五
ケ年內に銷却完了す

◇支那長期公債條例公布
中華民國七年長期公債條例は本日付大總統
令を以て左の如く公布された
▽費途政府が中國交通兩銀行に對する借入
金を引續き銷却の用に供す▽總額四千五百
萬元▽利子年六分▽割引無し▽償還方法第
十一年目より抽籤に依り償還を開始し、第
二十年目に銷却を完了す

二十八日（日）

◇肥後銀行の二倍半增資
熊本市の同行は、臨時株主總會を開き、現
在の資本金二百萬圓を五百萬圓に增資し、熊
本縣下益城郡小川町及び同縣同郡松橋町に支
店設置の件を決定した

◇露國に新憲命勃發す
露國に又もや革命が勃發しアレキサンダ・
ニコライウイッチ太公（先帝の皇太子、御年
十三歲）は皇帝となり、アレキサンドロウイ
ッチ太公は攝政となつた

二十九日（月）

◇實田石油會社、秋田油田に進出
實田石油會社は臨時株主總會に於て中外ア
スファルト秋田鑛業所を三百萬圓で買收する
件を可決した

◇品川白煉瓦三百五十萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金
二百十三萬二千圓を三百五十萬圓に增資と決
定した

◇支那電信借款二千萬圓成立
支那交通部と中華滙業銀行との間に四月十
日假契約された二千萬圓の電信借款は、本日
支那實業交通總長と滙業銀行代表者藤原成文と
の間に、左の條件で正式調印された
▽利率年八分▽擔保該電信及び之より生ず
る利益▽希望條件電信線の擴張敷設に際し
ては日本より顧問技師を招聘し、材料は日
本品を使用すること

三十日（火）

◇安川敬一郎、財界を引退す
安川敬一郎は老齡のため財界を引退するに
決し、本日帝國ホテルに朝野の名士及び實業
家三百餘名を招待して隱居披露の宴を催した

【五　月】

一日（水）

◇林駐支公使、段總理と意見交換
林駐支公使は本日段總理を訪問し、今後の
支那の南方政策に就て質問するところがあつ
たが、南方の各督軍が和を乞ふまで四川、廣
東の討伐を續行する段總理の方針に贊成して
辭去した

◇貨幣法改正令の公布
本日の官報で同法改正令が公布され即日施
行された

◇英貨公債二百萬圓買入銷却

政府は、第二回四分半利付英貨公債二百萬圓を買入銷却したる旨、本日の官報を以て發表した

◇古河鑛業會社の改組

合名會社古河鑛業會社（資本金五十萬圓）の事業一切を繼承して設立された古河鑛業株式會社（資本金二千萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長古河虎之助▽取締役昆田文次郎、淺野幸助、山口喜三郎、木部一枝▽監査役井上公二、小田川全之

◇八木商店、株式組織に變更

大阪の綿絲、雜貨商八木商店は、從來の個人經營を資本金三百萬圓の株式組織に變更し本日の創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長八木與三郎▽專務取締役杉道助▽取締役小室一平、八木與郎▽監査役藤本清兵衞、谷村一太郎

◇横河橋梁製作所の改組

個人經營の横河橋梁製作所は資本金百萬圓の株式組織に變更し、本日の創立總會に於て左の重役を選任した

▽專務取締役瀨戸文吾▽取締役横河震八郎、江橋貞二、木村鹿六、田中綱▽監査役東郷安、山北與三郎▽相談役横河民輔

◇臺灣拓殖製茶會社の創立

資本金三百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き、左の重役を選任し、本社を臺灣新竹に、出張所を東京に設置することに決定した

▽社長馬越恭平▽常務取締役橋本信次郎、平山午介▽取締役安部幸之助、吉村儀之助、若尾璋八、長井利右衞門、小田良治、渡邊勝三郎、鄉誠龍▽監査役岩崎清七、飯沼剛一、木村久太郎、槇寅年、簡阿牛

◇加奈陀の費戰一億七千五百萬磅と發表

加奈陀財務長官マクリーンは、下院に於て本年度の加奈陀の戰費は六千九百萬磅に達し戰爭開始以來の總計は一億七千五百萬磅となり、加奈陀の總負債額は二億四千萬磅である と發表した

二一　日（木）

◇帝國商業銀行頭取更迭

帝國商業銀行頭取藤山雷太は、一身上の都合により辭任を申出たので、同行では重役互選の結果、日銀專務高山長幸が現任のまゝ取締役會長に就任することに決定した

◇支那政府、水口山借款無効を通告

三井物産は、本年二月四日上海に於て支那西曆一千九百十四年六月二十八日墺國皇儲フエルヂナンド親王を暗殺し、歐洲大戰を捲き起さしめた犯人ガブリエル・プリンチップはその後伊牙利のデレジエンスタット要塞に拘禁されてゐたが、肺結核で本日死去した

二二　日（金）

◇東京製綱會社の借銀增資

同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金三百萬圓を六百萬圓に增資と決定した

◇輕業化學工業會社の創立

資本金五十萬圓を以て東京に設立された同社は、本日開催の創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役長與程三、木幡恭三、山口精一、小宮幸次郎、黒板英次郎、寺内德太郎▽監査役高橋次太郎、高橋達太郎

◇海鳥島拓殖會社の創立

資本金三十萬圓を以て設立された同社は、本日の創立總會に於て、左の重役を選任した

▽取締役田林喜三郎、佐伯敬一郎、島田四郎、吉田市惠、志田力二▽監査役龜田候吉、荻原長吉

◇支那政府、水口山借款無効を通告

三井物産は、本年二月四日上海に於て支那

湖南省長譚延闓及び湖南鑛務局代表者との間に調印した水口山黒鉛六千噸購入を目的とする總額銀二百七十萬兩の借款と、同じく本年三月十九日上海に於て調印した水口山黒鉛の一手販賣を目的とする日本金三百五十萬圓、（内三十萬圓は渡濟み）の借款契約關行を支那政府に迫つたところ、本日支那陸外交總長は、右借款は、譚延闓が中央政府の指令を仰がず、獨斷で締結したものであるから全然無効のものであると回答した

◇米陸相、無制限募兵案を提出

米國陸軍卿ベーカーは、下院軍事委員會に於て無制限に兵員の徴募をなし得る募兵案の承認を求めた

◇蘭印政府、木材其他の輸出を禁ず

蘭領東印度政府は、特許ある場合の外左の諸品の輸出を禁止する旨布告した

▽木材、蘿草、茶、珈琲、コプラ、石油、植物性油類、獸皮、胡椒

五　日（日）

◇東當實業會社の創立

資本金三百萬圓を以て奉天に設立された東省實業會社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長馬越恭平▽常務取締役内藤熊樹▽取締役庵谷忱、加藤定吉、松井小右衞門、染谷保藏、中野初太郎、古城誉堂、周癸弟▽監査役笹岡一實、藤田與一郎、内田鎭一郎

◇布谷計器會社の創立

資本金五十萬圓を以て大阪に設立された同社は、本日の創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長笠原六三郎▽專務取締役野田敬太郎▽取締役布谷伊太郎、小山忠太郎、福地文一郎▽監査役西野法久、坂野源太郎

六　日（月）

◇東京米穀取引所仲買人組合委員總辭職す

東京米穀取引所仲買人組合委員長田村市三郎、同副委員長有松尚龍は、農商務省より警告を受け、職責上申譯無しとて辭表を提出したが、七日に至り他の委員もこれに做ひ何れも辭職した

◇岩崎商事會社の創立

米穀、肥料實買の目的で資本金三十萬圓を以て設立された岩崎商事會社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役岩崎清七、岩崎龜次郎、岩崎彌三郎▽監査役龍綱光、小西茂三

◇米實占の巨額增實その他に警告

農商務省は、先般來東京米穀取引所仲買人中實占の不法行爲ある者を調査中であつたが本日東京市四谷區增田實一外十名に對し嚴重なる警告を發した

◇勢屋政府、支那政府に抗議

露國勞農政府は、支那政府に對し、反勞農派たるセミヨノフ等が、蒙古人を募集して、それを軍隊に加へてゐる點及び同軍隊が屢々支那國族を使用してゐる點を指摘して抗議を申込んだ

◇英國外相、媾和說を否定す

英國外相バルフオーアは、下院に於て、某中立國が英國政府に媾和の提議をなしたとの說を否認した

七　日（火）

◇外米買入指定商發表

農商務省は、本日三井物産會社（東京）、鈴木商店（神戸）、湯淺商店（神戸）、岩井商店（大阪）の四社を外米買入指定商人と發表し、外米販賣の指定價格は西實二等白米百斤につき神戸倉出渡し七圓五十錢（一石當り十八圓七十五錢）を標準とし、買入價格は西實二等白米（神戸沖着稅無し）百斤につき八圓二十錢と

公表した

八　日（水）

◇獨逸講和提議說のため諸株大暴落

獨逸講和提議の報が傳へられたゝめ、本日の株式市場は東株七圓、郵船九圓、大阪商船東洋汽船は四圓乃至六圓、富士紡、鐘紡は四圓乃至七圓、横濱船渠六圓瓦落を始めとして、いづれも數圓の暴落を示し、取引所は大恐慌を來した

◇日英電氣會社の創立

資本金十五萬圓を以て東京に設立された同社は、本日創立總會を開催し左の重役を選任した

▽取締役清水隆德、菊池嬌、小林勝▽監査役荻野芳藏、告森良

九　日（木）

◇横濱商業會議所、工務官設置を建議

横濱商業會議所に於ては、我國の工業の進歩發達を圖るため、海外に工務官を設置する必要を認め、臨時總會を開催、大要左の如き建議書を政府に提出した

日本の將來の國是は、工業政策に在ることは勿論である。殊に歐洲戰爭以來、益々その必要を痛感するものである。故に海外要の地を選み、專門的知識を有する工務官を特派して、彼我に於ける工業狀態を調査研究せしめ、本邦工業の發達に資せんとするは刻下の一大急務である。速に海外工務官を急設されんことを切望する

◇米國向玩具の輸入禁止緩和運動

東京輸出玩具製造同業組合長兒玉喜一外三百七十名は、農商務省に出頭し、米國の輸入禁止令による玩具輸入絶對禁止を緩和するやう盡力されたしと陳情した

十　日（金）

◇定期米暴落す

定期米市場は農商務省の努力の結果、連日買方凋落の色彩濃厚となり、中物は二十五圓九十五錢、先物は二十五圓八十一錢となり、白米の小賣相場も連日暴落し、白米小賣組合は、一擧谷等米を通じて一石に付六十錢宛引下を決定、精白米一等一石に付三十五圓二十錢、一圓に付二升八合二勺の割となつた

◇中央インキ會社の創立

資本金五十萬圓を以て大阪に設立された同社は、本日開催の創立總會に於て左の重役を選任した

▽取締役松島肇（社長）、佐藤正次郎（專務）野田槌太郎、篠田庚太郎、稻本元三郎▽監査役平井權七、岩部純一

◇關西ペイント會社の創立

資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役安野讓、玉木弘、岩井豐治▽監査役深澤彌一郎、井本爲太郎

◇大連機械製作所の創立

資本金二百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き、左の重役を選任した

▽社長相生由太郎▽專務取締役林猛▽常務取締役山岸靖一、木谷權藏▽取締役高田友吉、式村茂、田中知平▽監査役池田龍太郎中村敏雄、笹部杉一

◇近江銀行名古屋支店開業

大阪の近江銀行は名古屋市西區玉屋町に支店を設置し本日から開業した

◇日本郵船會社重役の勇退

日本郵船會社取締役谷井保、堀達、根岸鎌夫郎は、後進に途を開くため辭職した

十一日（土）

◇五分利國庫債券五千萬圓發行

政府は左の條件で國庫債券五千萬圓を發行する旨、本日の大藏省令を以て告示した

▽發行價格九十五圓二十五錢▽利率年五分▽償還期限大正十二年六月一日▽利拂期六月一日、十二月一日

◇大阪鐵業會社の創立

資本金百萬圓を以て設立された同社は、本日創立總會を開き、左の重役を選任した

▽取締役大谷善兵衞（代表）、川島伊三郎、吉岡常吉、西川榮藏、田中文七、深川重義▽監査役　宮崎鶴松、松原安次郎、宇野源三郎

◇神戸商事信託會社の創立

資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役竹馬隼三郎、田宮卯一、柴田慶治西田富三郎、法橋信治▽監査役吉田吉兵衞中村直吉、鶴田計太郎

◇當國政府、古鐵の輸出を禁ず

露國政府は、本日より古鐵の輸出を禁止する旨發表した

十二日（日）

◇運花火災保險會社の五倍增資

同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金百萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇獨逸、露國に最後通牒を發す

註　露獨講和大使は、本日露國勞農政府に對し勞農派軍隊の即時解散及び露國主要都市の獨逸側占領を要求し、萬一露國政府が拒絶すれば最後的手段を採ると通牒を發した

十三日（月）

◇埼玉製糸業者の分離獨立

埼玉縣の製糸業者は從來群馬縣碓氷甘樂社に所屬し共同經營をなして來たが、斯業發展上現在の狀態では弊害が尠くないので、埼玉縣富局及び當業者は、縣下六十七組合を結束し、新に有限責任生糸生產販賣組合埼玉社を組織、碓氷甘樂社から獨立した

◇日本興業銀行の改稱

白石元治郎を頭取とする日本興業銀行（資本金五百萬圓）は淺野總一郎、淺野臺產、淺野臺夜銀行と改稱した

十四日（火）

◇臨時國勢調査局官制公布

本日の官報を以て政府は臨時國勢調査局及び國勢調査評議會官制を公布した

◇東京鐵材會社の創立

神奈川電氣會社の電氣用鐵板、その他機械用具の販賣部を獨立せしめ、資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役松田鋼一郎、松田恒之助、加藤竹松▽監査役松田喜三郎

十五日（水）

◇農商務省の外米賣出發表

農商務省は外米管理部に於て二十日より外米の賣出しを開始する旨本日發表した

◇國有鐵道貨客運賃引上決定

石炭、鐵材等の騰貴のため鐵道院本年度の事業費歳出に約三千萬圓の不足を生ずるに至つたので、この缺陷を補ふために、旅客運賃は二割五分、貨物運賃は約二割の引上を決定七月十六日から實施された

◇豐岡電氣工業會社の借款增資

同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金六十萬圓を百二十萬圓に增資と決定した

◇野村銀行の設立

資本金一千萬圓を以て大阪に設立された同行は、創立總會を開き、左の重役を選任した

▽取締役頭取野村元五郎▽取締役野村德七柴山篤雄、片岡晉吾▽監査役橋本喜作、朝倉傳次郎

◇帝國海上火災保險一千萬圓に增資

同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金三百萬圓を一千萬圓に增資と決定した

◇**住友銀行倫敦支店開業**
倫敦グレース・チヤーチ街八番地に設置された同行支店は本日から開業した

十六日（木）

◇**日支軍事協定成立す**
日支軍事協定は北京に於て本日彼我委員の間に正式に調印された。その内容は獨逸東漸の危險に對應するため日支兩國政府は共同行動を必要とする地方に於て完全なる相互助力を基礎とする共同的協定を決定せるものにして、支那は日本軍の占領地域に於ける任務に便宜を與ふることを約し、同時に日本は支那の主權及び地方の習慣を尊重することを約したものである

◇**日本護兵生命保險會社の增資と改稱**
同社は本日臨時株主總會を開き、現在の資本金五十萬圓を百萬圓に增資の件及び現社名を日本徵兵保險會社と改稱の件を決定した

◇**農城銀行五十萬圓に增資**
福井縣の同行は、臨時株主總會を開き、現在の資本金十五萬圓を五十萬圓に增資と決定した

◇**江濱銀行三十萬圓に增資**
島根縣の同行は、臨時株主總會を開き、現在の資本金八萬圓を二十萬圓に增資するに決定した

◇**東京瓦斯電氣工業七百萬圓に增資**
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金三百萬圓を七百萬圓に增資する件を可決した

◇**株式會社德田商會の創立**
有價證券賣買業德田商會は從來個人經營であつたが、今回資本金百萬圓の株式會社に改組し、本日開催の創立總會に於て左の重役を選任した

▽代表取締役德田昻平▽取締役吉川卯吉、竹內健三郎▽監査役本多福之助、水本秀吉

◇**大成貯金銀行重役の不正暴露**
東京市日本橋の大成貯金銀行（資本金百萬圓）頭取小林寅治及び常務取締役小林茂は、不淨手形數十萬圓を濫發したこと發覺し詐欺罪として起訴された

十七日（金）

◇**貿糸業改良奬勵費の交付規則改正**
本日の官報を以て、蠶糸業改良奬勵費交付規則改正令が發布され、卽日施行された

◇**外米指定商人の買入高**
十五、十六の兩日、神戸商業會議所に於ける岩井、三井、鈴木、湯淺の外米指定商人の買入總數は約二十三萬六千袋にして、その內譯は次の如し

▽鈴木一萬六千餘袋▽三井十二萬一千五百餘袋▽岩井二萬三千百餘袋▽湯淺七萬四千七百餘袋

◇**倉敷銀行の五倍增資**
岡山縣の同行は、臨時株主總會を開き、現在の資本金二十萬圓を百萬圓に增資するに決定した

◇**日本鑛油會社の創立**
資本金二百五十萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽社長鈴木三郎助▽專務取締役高津卯三郎▽取締役柴田源藏、海野清次郎、林鍋太郎▽監査役垣見八郎右衞門、太田惣七

◇**支那、對敵通商禁止令を公布**
支那政府は對敵通商禁止令を制定、本日大總統令を以て卽日施行する旨公布したが、その要點は次の如し

中華民國人及び中國領域內にある他國人は諸官署に於て特に許可したるもの、外敵國人との通商を禁止す

十八日（土）

◇**駿河銀行、日本實業銀行を合併**
沼津の駿河銀行（資本金二百七十萬圓）は臨時株主總會を開き鎌倉の日本實業銀行（資本金二十萬圓）を合併した

十九日（日）

◇**米澤市の大火と火保契約高**
米澤市西端山口町より本日午前十一時頃出火、西北の風に煽られて火は四方に飛び、同町及び御小者町、桂町、本五十騎町、袋町等の二十一ケ町を燒失した。損害約二百萬圓にして、各保險會社の契約高次の如し

▽東京火災十八萬圓▽豐國火災八萬圓▽神戶海上八萬圓▽千代田火災四萬圓▽福壽火災四萬圓▽東邦火災八千圓▽大阪海上一萬四千圓▽共同火災三萬圓▽東京動產四千圓

二十日（月）

◇**日清豆粕會社の五倍增資と改稱**
同社は定時株主總會に於て、現在の資本金六十萬圓を三百萬圓に增資と決定し、同時に社名を日淸製油會社と改稱する件を可決した

◇**西南銀行五十萬圓に增資**
愛媛縣の同行は、臨時株主總會を開き資本金二十萬圓を五十萬圓に增資と決定した

◇**東亞鐵布會社の創立**
資本金百萬圓を以て東京に設立された同社は創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長山口誠太郎▽專務取締役二宮榮熊▽常務取締役川上俊介、松島肇▽取締役川上俊介、松島肇▽取締役山田市治郎、山田市治郎

◇**大阪高島屋全燒す**
大阪市南區心齋橋の高島屋呉服店より本日午後四時半出火、同店及び隣接せる井筒屋小間物店、岩橋貴金屬店、丹平商會、小大丸呉服店等を燒失した。原因はエレベーターの漏電にして、高島屋の損害は約百五十五萬圓。保險契約高は次の如し

▽千代田火災二萬圓▽東京海上二萬圓▽大倉組十五萬圓▽英國サン會社四萬圓▽明治火災十一萬圓▽横濱火災八萬圓▽英國ロイヤル會社一萬圓▽日本火災一萬五千圓▽豐國火災二十萬圓

二十一日（火）

◇**關西毛織會社の創立**
資本金五十萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽社長河盛茂兵衞、河盛安兵衞▽取締役河盛和兵衞、河盛熊次郎、道正田佐吉、菊谷茜吉、河盛安之介、河盛卯兵衞▽監査役河盛勘次郎、河盛又三郎

二十二日（水）

◇**東洋拓殖會社の倍額增資**
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金一千萬圓を二千萬圓に增資と決定した

二十四日（金）

◇**國庫債券一千三百萬圓發行**
本日の官報を以て、臨時國庫債券一千三百萬圓を左の條件で發行する旨發表した

▽割引歩合日歩一錢五厘▽支拂期日大正八年五月二十三日

◇**合同紡績會社の三倍增資**
同社は本日臨時株主總會を開き、現在の資本金四百五十萬圓を一千三百五十萬圓に增資と決定した

二十九日（水）

◇**皇后陛下、蠶業試驗所に行啓**
皇后陛下に於かせられては、本日東京府下杉並の蠶業試驗所に行啓遊ばされた

三十日（木）

◇**郵船五割の高率配當に決す**
海運界の好況に惠まれた日本郵船會社は、定時株主總會に於て年五割の利益配當を可決した

◇**日淸汽船會社の倍額增資**

同社（資本金八百十萬圓）は臨時株主總會に於て倍額の一千六百二十萬圓に增資の件を可決した（日不詳）

【六　月】

一　日（土）

◇大野銀行の改組と十倍增資

合名會社大野銀行（資本金十萬圓）は百萬圓の株式組織に變更し、本日創立總會に於て左の役員を選任した

▽取締役大野傳兵衞、大野秀一、大野照路赤松範一、古谷豐三郎▽監査役狩野平左衞門、小川正義

◇共同精米會社の創立

資本金二百萬圓を以て創立された同社は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役尾高次郎、大川平三郎、川口仙吉上原豐吉、辻仁作、吉岡新五郎、木村德藏▽監査役八十島親德、加藤由太郎、伊藤紀兵衞

◇職友共濟生命保險會社の開業

資本金百萬圓を以て設立された戰友共濟生命保險會社は本日開業した

二　日（日）

◇鍛町銀行頭取田中武兵衞死去

株式會社鍛町銀行頭取、合名會社田中銀行相談役田中武兵衞は本日病死した。享年六十七。先代武兵衞の長男で嘉永五年十二月五日出生、明治二十二年家督を相續、同二十七年田中銀行を設立、その業務執行社員となり、傍ら茶商、兩替商を營んでゐた

四　日（火）

◇朝鮮銀行副總裁決定

專賣局長官嘉納德三郎は、新職制による朝鮮銀行副總裁に任命された

◇八十一銀行の創立

東京日本橋の八十一銀行（資本金四百六十五萬圓）は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽頭取菊池長四郎▽專務取締役菊池次郎、青木英作▽取締役森宗作、植竹三右衞門、阿由葉鎗三郎、手東藤三郎、小室良七、小林庄太郎、由阿葉勝作▽監査役千金樂喜一郎、寺島堂太郎、高橋善十郎、中島友次、久保健次郎、瀧澤民▽支配人山崎勘三郎、高橋美夫

◇鹿瀨銀行の不正事件發覺

岡山縣の同行（資本金八萬圓）專務取締役太田始四郎、行員岡崎廣太、高木當市の三名にかゝる行金費消事件が暴露し、本日岡山警察署に召喚された。これがために同行は取付に遭ひ、遂に帳簿整理を名として無期休業を發表した

五　日（水）

◇臺灣儲貯會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長高木陸郎▽常務取締役松村鶴吉郎▽取締役綾部祿太郎、飛部金太郎、鍋島大明▽監査役藤川熊藏、米澤靖

◇米國、船舶の外國讓渡を禁止す

米國船舶管理局は、百噸以上の船舶を外國へ讓渡することを禁止した

六　日（木）

◇臺灣總督更迭

臺灣總督安東貞美大將は停年退職となつたので、第六師團長明石元次郎中將が後任と決定、本日宮中に於て親任式を行はせられた

◇東津染色會社の創立

資本金七十萬圓を以て東京に設立された同社は、本日の創立總會に於て左の重役を選任

▽社長松村其右衞門▽常務取締役山崎又次郎▽取締役押田善次郎、藤眞民十郎、山田留次郎、山崎文次▽監査役板東幸平、河合正喜

◇東和銀行の借額增資

東京市神田の同行は、臨時株主總會を開き現在の資本金五十萬圓を百萬圓に增資と決定した

七　日（金）

◇朝鮮殖産銀行令公布

朝鮮總督府制令第七號を以て、同令が公布された

◇東北石炭會社の創立

資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役小坂貞吉、砂柳藤藏、石浦重次郎本間彦次郎、納谷森藏、鈴木鎗藏▽監査役小林勝四郎、細田勝市郎

◇綠鳥銀行百萬圓に增資

岡山縣津山町の同行は臨時株主總會を開き現在の資本金三十萬圓を百萬圓に增資と決定した

◇勤業債券の月賦販賣を禁止す

勤業債券の月賦販賣は從來から盛んに行はれてゐたが、業者間には幽靈番號又は債券類似のもので不正を働く者が尠くないため、警視廳は、內務省令第二十條に依り本日から月賦販賣を禁止した

九　日（日）

◇我陸戰隊、汕頭に上陸

汕頭地方は支那南北兩軍衝突により擾亂勃發の虞あり、同地在泊の帝國軍艦は、邦人保護のため陸戰隊を上陸せしめた

十　日（月）

◇豐玉鑛物會社の創立

資本金五十萬圓を以て東京に設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長皆川芳造▽常務取締役水村寅吉▽取締役鈴木忠兵衞▽監査役皆川政五郎、栗田房太郎

◇東京鐵作所の創立

機械器具の製作販賣の目的で、資本金五十一萬圓を以て設立された同社は、本日の創立總會に於て左の重役を選任した

▽社長松田駿▽專務取締役中山輔次郎▽取締役小野俊三、依田英一、望月軍四郎▽監査役五十嵐開一郎、山岸覺太郎

◇佛國、定期刊行物の輸出を禁止

佛國政府は、六月十一日以後、定期刊行物の外國向け發送を禁止した

十一日（水）

◇興業債券五千萬圓發行

日本興業銀行は、東西シンヂケート銀行團（三井、三菱、第一、十五、第百、安田、臺銀、鮮銀、正金、三十四、住友、近江、山口加島、浪花の各銀行）と協議の上、左の條件で興業債券五千萬圓を發行と決定した

▽額面種類五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓▽利率年五分五厘▽償還期限五ヶ年▽發行價格九十六圓（額面百圓に付）▽利子支拂期日四月一日、十月一日

十二日（木）

◇足尾鐵道、國有と決定

足尾鐵道會社所屬鐵道は、百九十萬圓を以て政府が買收することに決定した旨、內閣告示で發表された

◇英國、濠洲羊毛全部買上に決定

英國は戰時中及び戰後一ヶ年間、濠洲羊毛全部の買上を決定した。最初の買上額は一億磅にして、羊毛取引額としては世界史上最大なものである

十四日（金）

◇借入鐵道買收公債規程發布
本日の官報を以て借入鐵道買收公債規程を發布、卽日施行された

◇東京繰綿會社の創立
資本金五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長内藤彦一▽常務取締役伊藤清▽取締役小川專之助、青木新九郎、小菅丹治、高橋政右衞門、關口文平、荒川八十吉、西條清兵衞▽監査役初田建作、伊藤三平、村松善次郎、荒居多賀藏、吉村新藏

◇東京油脂會社の創立
同社は資本金五十萬圓を以て設立され、本日創立總會を開き、左の重役を選任した
▽社長竹村欽次郎▽常務取締役小野侃喜▽取締役大谷確造、三輪竹次郎、北川繪三郎▽監査役世津谷銳次郎、高橋伊文、片岡旗郎

◇增田貫一敎監さる
普選運に留置された增田貫一は取調の結果五月六日米價吊上げ策動に對する或者當時より、他人の名儀を以て合計九千石の米を買占めたること發覺し、東京監獄に敎監された

十五日（土）

◇我陸戰隊、帶德に上陸
支那南軍は常德を撤退したので、我海軍陸戰隊は同地に上陸、同市の秩序維持に當つた

◇小口落禁止の勅令發布
本日の勅令を以て、取引所法令中小口落の禁止を發布、卽日施行された

◇大湊興業會社の創立
同社（資本金八百萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長野村龍太郎▽專務取締役鈴木識作▽常務取締役犬塚信太郎▽取締役石丸重美、門野重九郎、五代龍作、南鄕三郎、楠川良策▽監査役湯河元臣、野村理三郎、佐々木愼思郎、香阪駒太郎

◇尼ケ崎紡績の改稱と鐘淵紡績合併
同社は臨時株主總會を開き、現社名を大日本紡績會社と改稱し、摠津紡績（資本金二千萬圓）を合併、現在の資本金二千萬圓を五十萬圓）を合併、現在の資本金二千萬圓を三千五十萬圓とする件を可決した

十六日（日）

◇戸田商店、株式組織に變更
大阪の綿糸綿布商戸田榮藏商店は、從來の個人經營を資本金二百萬圓の株式組織に變更し、本日の創立總會に於て左の如く重役を選任した
▽取締役戸田榮藏、河崎助太郎、小坂久眞太▽監査役田代重三

◇米國の聯合國貸付額約六十億弗
米國は歐洲大戰勃發以來、英國に三十一億七千萬弗、白耳義に一億二千百五十五萬弗を貸付け、聯合國への總貸付額は五十九億五千四百五十五萬弗に上ると發表した

十七日（月）

◇日本テレビン會社の創立
資本金二十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長池田寅次郎▽專務取締役今關豐太郎▽取締役大葉久吉、加賀美理一郎、川村數郎▽監査役千金樂喜一郎、高倉盛光

十八日（火）

◇コンノート殿下御入京
天皇陛下に元帥杖捧呈のため御來朝遊ばされた英國コンノート殿下には、本日東洋汽船春洋丸にて横濱港御着、直に宮廷列車にて御入京遊ばされた

◇日本信魯讀會社の創立
格幷誤加里の製造販賣を目的とし資本金二十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を

開き、左の重役を選任した
▽社長大口喜六▽常務取締役中南定太郎▽取締役佐々木平次郎、藤井喜助、千葉喜作藏内次郎作▽監査役高橋小十郎、增田奥造開直彦

◇獨逸、露國内政に干渉
獨逸は、露國政府に對し同國の銀行及び產業の國有を撤廢することを要求した。

十九日（水）

◇桂川電力會社の借額增資
同社は定時株主總會を開き、現在の資本金八百萬圓を一千六百萬圓に增資と決定した

◇大阪造幣所五百萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金百五十萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇富士製紙會社の重役更迭
同社々長原六郎は後進に途を開くため辭任し、專務取締役窪田四郎が社長に、取締役穴水要七が專務取締役にそれ〳〵就任した

◇墳地利貴部に暴動勃發す
食糧缺乏のため維納に暴動勃發し砲兵工廠及び飛行機製作所の職工十萬人は同盟罷業をなし、煉瓦とパンを要求、示威運動を行つた

◇米國下院、海軍增兵案を可決
米國下院は、海軍卿ダニエルスの海軍兵員八萬七千名を十三萬二千名に增加する增兵案を可決した

二十日（木）

◇東北電化會社の五借增資
同社は本日株主總會を開き、現在の資本金四十萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇鳥館水電會社の增資
同社（資本金二百萬圓）は株主總會を開き百七萬五千圓を增資して資本金三百七萬五千圓とする件を可決した

◇東洋電機製造會社の創立
資本金三百萬圓を以て東京に設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役渡邊嘉一、玉木辨太郎、朝比奈林之助、井坂孝、武和三郎、山脇正吉、ダブリユー・エム・ブレース▽監査役若尾璋八、近藤賢二、中村靜嘉

◇阿波商業銀行の借額增資
德島市の同行は臨時株主總會を開き現在の資本金五十萬圓を百萬圓に增資と決定した

◇矢板銀行五十萬圓に增資
栃木縣矢板町の同行は、資本金十二萬圓を五十萬圓に增資した

◇南洋護讀會社の三借增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金百萬圓を三百萬圓に增資と決定した

二十一日（金）

◇磐城石炭會社の創立
資本金百萬圓を以て設立された磐城石炭會社は創立總會を開き、左の重役を選任した
▽取締役南挺三、黒澤次郎、小鹿與三郎、伊藤峰雄▽監査役田中伊三郎、鹿嶋秀麿

◇阪神土地建物會社の減資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金百五十萬圓を百萬圓に減資と決定した

二十二日（土）

◇運送船測鳴の進水式擧行
横須賀海軍工廠造船工場で建造中であつた東洋最大の運送船洲埼（一萬餘トン）は本日進水式を擧行した

◇岡山農工銀行百五十萬圓に增資
同行は臨時株主總會を開き、現在の資本金百萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

◇大阪窯業、セメント製造開始
大阪窯業會社は、セメント製造を計畫し、前年來大阪市内木津川尻に工場建設中のところ過般竣工したので本日より操業を開始した

動力一千六百馬力を使用し、月產三萬五千樽である

◇東亞皮革會社の創立
同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役五十嵐敬止、有川貞次郎、松村喜多治、松平健雄、高橋眞澄▽監査役津田弘道、千坂高範

二十四日（月）

◇電車買收の京都市價認可
京都市の電車買收費總額五百四十萬圓起債の件は本日認可された

◇帝國加里工業會社の創立
資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き、左の重役を選任した
▽社長岡田安實▽常務取締役田川信夫、林勇太郎▽取締役惟村光太郎、城内欣治、杉坂源清▽監査役渡邊專吉郎、松山左門治、增田英一

◇大東鋼業會社重役召喚さる
東京の大東鐵業會社（資本金二百二十萬圓）の重役松尾鶴太郎、鋤柄三郎、阿部浩、高野今彦、水泉丑松及び同社前社長肥田景之は營業上の不正行爲により警視廳に召喚された

二十五日（火）

◇名古屋、桑名に雨米立會停止命令
農商務省は、名古屋、桑名の雨米發取引所の標準米は東京、大阪の標準米に比し遙かに低位にあるに拘らず、相場のみが著しく高位にあり、その相場が公定相場ならざるを確認したので、取引所法第二十七條により、雨取引所に對し、當中先の三限を通じて立會停止を命じた

◇秋田木材會社の二倍半增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金二百萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇近江水力電氣會社の借額增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金二百萬圓を四百萬圓に增資と決定した

二十六日（水）

◇大東海上火災保險會社の創立
資本金二百五十萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長右近和作▽專務取締役北田彦三郎▽取締役八十島五郎右衞門、松田助八、鈴木庫太郎▽監査役渡邊孝平、早瀨完二

◇東京電汽鐵二百萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金八十萬圓を二百萬圓に增資と決定した

二十七日（木）

◇東京不動產信託會社の創立
資本金十萬圓を以て東京に設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長大場運次▽取締役大場重三郎、吉田千代吉、谷口金男▽監査役大場新、吉田武一郎、小嶺龍馬、大場卯三郎

◇日本綢織會社の創立
資本金三百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長柴田英三▽專務取締役西尾末雄▽常務取締役井上隆平▽取締役吉村孫三郎、篠原藤平、吉居常太郎、清水直次郎、山口宗一、森村寬司▽監査役八下田幸三郎、小泉松之助、清水惣八

◇日本セルロイド工業會社の創立
資本金十萬圓を以て東京に設立された同社は創立總會を開き左の重役を選任した
▽專務取締役田邊篤太郎▽取締役小松久吉田邊嘉次郎、山本義治、渡利定敏▽監査役岩田武儀、合田清

◇英國、一部日本商品の輸入解禁
英國が輸入禁止中であつた日本商品中絲糸及び同製品、機械製綿レース、手製レース等は本日解禁となつた

二十八日（金）

◇早川電力會社の創立
資本金八百萬圓を以て東京に設立された同社は、本日開催の創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長窪田四郎▽專務取締役森田一雄▽取締役副島道正、久野昌一、穴水要七、前田米藏、山中勇、高山直純▽監査役高橋貞三郎、堀内良平、伊志田平三郎▽支配人早瀨義正

◇富川無煙炭會社の創立
資本金二十萬圓を以て東京に設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長長田中榮八郎▽取締役白石元治郎、牧晉輔、高久馨、先山環▽監査役大川平三郎

◇帝國人造絹絲會社の創立
資本金百萬圓を以て大阪に設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長鈴木岩藏▽專務取締役佐藤法潤、松島誠▽取締役木村清太、秦逸三、本庄利平▽監査役西川文藏、松田茂太郎、辻泰城

二十九日（土）

◇朝鮮煙草稅改正令の發布
本日の官報を以て朝鮮煙草稅令中の改正令が發布となり、八月一日から施行されることに決定した

◇日本電氣製鐵會社の創立
資本金三百萬圓を以て大阪に設立された同社は、本日創立總會を開催し、左の重役を選任した
▽取締役宮崎敬介、後藤田千一、高木次郎朝比奈林之助、師岡智▽監査役今西林三郎山本辰六郎、多田忠七

◇鐵本ビルブローカー銀行の三倍增資
同行は臨時株主總會を開き、現在の資本金百萬圓を三百萬圓に增資と決定した

【七　月】

一日（月）

◇興業債券五千萬圓發行
日本興業銀行は第四十議會に於て海外投資のため發行する興業債券一億圓を限り特にその元利金支拂につき政府より保證さるるの特典を得、その内五千萬圓を發行し、本日より賣出した。發行趣意書に「戰後列國經濟上の競爭は極東に於て益々激甚を加ふべきは我國民の豫め覺悟すべきところ、此時に當り我が資金を海外に投資しその富源を開發するは啻に將來に於ける我國經濟の基礎を鞏固ならしむるのみならず、國運發展に資すること亦尠なからざるべし」とあり、條件は次の通りである
▽發行總額五千萬圓▽發行價格九十六圓▽利率年五分五厘▽償還期限五ヶ年

◇南圓護謨會社の創立
島津久賢、宇都宮金之亟等の發起にかゝる資本金百萬圓の南國護謨會社は、本日創立總會を開き、諸般の決議をなし、取締役社長に島津久賢を選任した

◇鮮銀行の借額增資
兩行は臨時株主總會を開き、現在の資本金百萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇浦鹽、チエコ軍に占領さる
浦鹽の勞兵會本部はチエコ・スロバアキア軍に占領され、これまで勞兵會のため開鎖されてゐた電信局、國立銀行、市參事會、市役所等はいづれも回復せられた

◇露國皇弟ミハエル公即位を宣す

露國廢帝の弟ミハエル公（革命當初皇位繼承の權利を放棄せし人）は露國の秩序恢復と露國の復興を圖るを以て自己の義務なりとして即位を宣し、同時に國民に對し現政府の顚覆を命じ、且つ革命に參加した凡ての國民に對し大赦を宣言した

◇米國の軍費百三十八億弗

米國政府の發表によれば、前年七月一日より今日までの實際消費軍事費は百二十六億弗に上り、その前年度即ち參戰以來三ケ月間に十二億弗を費してゐるので、結局米國の軍事費總額は百三十八億弗に達してゐる。尙、米國の一日の戰費は五千萬弗にして、六月中の戰費は十五億弗である

二一　日（火）

◇第六十九國勤業債券八百萬圓發行

日本勤業銀行は、第六十九回勤業債券八百萬圓を本日より十五日まで十三日間に亙り利率年四分五厘、割增金最高二千圓附の條件で賣出した

◇白比利亞政府內閣成立

浦鹽占領後のチエコ・スロバアキア軍は西比利亞政府を擁立した

首相兼外相デルベル、陸相ネオツロフ、藏相ツルトネフ、糧食相タラソフ、內相チベルベトロフ、學務局長アルカジアベトロフ

三　日（水）

◇朝鮮電信電話建設令公布

本日の官報を以て朝鮮電信電話建設令が公布された

◇鷹田銀行京都支店の開業

鷹田銀行京都支店は本日開業したが、開店と同時に預金者詰めかけ、初日の總預金額は二百萬圓に達し、口數約二千口に及ぶ盛況を呈した

◇東京帝大に航空研究所設置

本日勅令を以て東京帝國大學官制が改正され、同大學附屬航空研究所が新設された

◇トルコ皇帝崩御

トルコ皇帝モハメッド五世本日崩御さる。實算七十四歲。一九〇九年以後の改變により皇帝に政治上の實權なく、內治外交一切は內閣の掌中にあり、皇帝の崩御は政治上影響少しと外電は報じた

四　日（木）

◇第七銀行頭取外二名收監さる

第七銀行頭取菊池重義、同取締役大村和吉郎及び東盛銀行取締役兼支配人小川吉久の三名は背任橫領罪で、本日收監された。第七銀行は東京京橋區三十間堀に本店を有し資本金三十萬圓を以て營業を開始したものであるが元同行は早稻田銀行又は帝國銀行と稱し、その頃缺損を生じたため新頭取の菊池が讓受け好評をもつて据置貯金を全國的に募集した上三人共謀して募集貴その他の名目により五十餘萬圓を費消したること發覺したものである

五　日（金）

◇我國最大の國產實用飛行機竣成

陸軍の强馬力飛行機が砲兵工廠で二ケ年の歲月を費して竣成した。發動機は和製ダイムラー百馬力三基、翼の長さは上下とも二十一米、弦度二米五十。中央ナセルには操縱者と爆彈投下者、觀測者の三名を搭乘せしめ、左右二個の臺には七名の機關銃操縱者を搭乘せしめる裝置を有し、國產による我國最大の軍用機である

◇揖斐川電力の三社合併と改稱

同一系統の資本家によつて設立された關係と、揖斐川水力を協同で利用しつゝある關係とに基き揖斐川電力會社（資本金百萬圓、內拂込額六十萬圓）、揖斐川電化工業會社（資本金三百萬圓、內拂込額七十五萬圓）、東海電化工業會社（資本金二百萬圓、內拂込額五十萬圓）、株式會社日本電氣製鐵所（資本金五十萬圓、內拂込額二十七萬五千圓）の四社は合併し、名稱を揖斐川電化會社と改稱することに重役會に於て決定した。合併條件は次の通りである

▽揖斐川電力會社　現在資本金百萬圓を全額拂込とし、更に百萬圓を增資し舊株全額新株四分の一拂込とす

▽揖斐川電化工業會社　現在の儘拂込額七十五萬圓

▽東海電化工業會社　現在の儘拂込額五十萬圓

▽日本電氣製鐵所　資本金五十萬圓を全額拂込とし、更に百五十萬圓を增資して、舊株全額、新株四分の一拂込とす

▽十一月三十日以前に增資並に合併に關する手續を了し、同日現在の財產の儘無條件を以て揖斐川電力會社に合併と同時に他の三會社は解散すること

▽存續すべき揖斐川電力會社は名稱を揖斐川電化會社と改稱す

▽合併の際の決算に於て四會社共法定積立金を除き別途積立金並に利益金は各自株主に分配す

▽解散會社株主に對し一株に付存續會社株式一株を交付す

◇富山電氣化學工場の鐃斥移轉運動起る

富山電氣株式會社が鹽酸加潤製造の目的にて富山市郊外大法寺裏に創設せる富山化學工場の位置は市將來の發展地であり、加ふるにクロール瓦斯の排除法宜しきを得ざるため附近の田畑の被害年と共に增大して約一萬町歩の青田は枯死し、その慘狀甚しく、また附近の民家に毒瓦斯侵入して衛生上憂慮すべき狀態にあり、附近の住民等は結束して同工場の移轉運動を開始した

六　日（土）

◇日英米陸戰隊、浦鹽共同警備に當る

浦鹽のチエコ軍は少數部隊を殘して北進せるため、同港碇泊の聯合國艦隊は、擾亂の勃發を顧慮し主權者の確立するまで共同警備の任に當るべく、本日浦鹽市民に布告を發し、同時に日、英、米陸戰隊は浦鹽市一帶の防衛に當つた

◇大阪期米市場立會停止

瓦落步調を辿つた大阪期米は本日後場立會に百丁方の激落を示し二十一圓二十錢と近來の新安値を現はしたため、取引所は後場第四節より立會を停止し仲買委員は連袂辭職した

◇若尾銀行淺草支店開業

同行は前年の組織變更及增資以來、業務の發展に伴ひ、東京淺草區並木町に支店を新設し、本日より開業した。尙、甲府にも朝日町に倉庫業兼營の支店を開設し、本日より開業した

◇廣東國會の强段反對聲明

支那廣東情報局は上海マーキュリー紙上に於て左の如く聲明した

西南護法各省は外國人の手を經て段祺瑞の率ゐる北方軍閥をして資金若くは武器を有せしむることに反對し世界の有識者の當識と正義の觀念に訴ふる所ありたり。國民を毒しその部下を威嚇する段祺瑞の行動は最早外國人に於て援助すべきに非ず、北方は自國の軍隊の自由、主權、領土、富源等を賣らんことを計畫するのみにして、又その秘密を公にして憚らざるなり。尙ほ茲に鐵道鑛山等を抵當として勝手に金を借り阿片を支那に入れ之が害毒を再び支那に流さん

としつゝあるが如きは支那の輿論の反對する所にして國際情義に反せるものなりとす又高等武官は人を誘殺し且つ又政敵を暗殺せしむる等の非をなし不法の選擧を行ひ各種の不正行爲を選擧に伴はしめるが如き全く腐敗の極に差し、是等恥づべき不法の行爲は到底支那の國法及び世界の正義の觀念と兩立する能はざるものとす。廣東の正式國會及び西南各省の議會は既に各自北京に於ける不法の行爲に就き外國の輿論に訴ふる所ありたり。而も北京政府は是等人民の承認せざる所にして、廣東に於ける國會のみ獨り支那に於ける讓法的機關なり

七　日（日）

◇露比利亞の二政府併合

西比利亞に於て哈爾賓を首府とする東部西比利亞政府とトムスクを首府とする西部西比利亞政府は合併せられ、トムスクが新首府に決定された。その主力軍隊はチエコ・スロバアキア軍よりなり、その他に若干の義勇兵團並に將校團あり、ケレンスキーが全運動を外部より之を指導してゐる

八　日（月）

◇期米崩落し各地取引所立會停止

東京米穀取引所は期米相場波瀾のため立會を停止し、次いで神戸、熊本の取引所もまた立會を停止した

十　日（水）

◇樺太産業會社の創立

王子製紙の樺太分工場をパルプ製造專門會社とし資本金五百萬圓を以て創立された同社は、本日創立總會を開き、取締役會長に藤原銀次郎を選任した

◇米買占の張本人增貫、懲役に處さる

東京市四谷區須賀町二十八番地增貫こと增田貫一（五一）は暴利取締令の最初の違反者として禁役二ケ月の宣告を受けた。判決の理由は「增田は本年五月農商務大臣から、向ふ三ケ月間は許可を得ずして定期米の賣買を爲すべからずとの戒告を受けながら、妻妾子供、又は實兄その他の氏名を借りて取引をなしたるは明らかに暴利取締令に違反する。その罪狀は重いから懲役二ケ月に處するを相當とす」といふのである

十二日（金）

◇警視職營河內爆沈す

德山灣に碇泊中の軍艦河內は本日午後三時五十七分中央部に爆發を起し約四分の後沈沒した。同艦は明治四十五年三月橫須賀工廠に於て竣成せる日本最初の弩級戰艦にして攝津と姉妹艦であり、噸數は二萬八百噸、十二吋砲十二門、六吋砲十門を搭載してゐた。艦長は正木義太大佐、生存者は艦長以下四百三十六名、死者は六百二十一名

◇關東被害のため米價暴騰

四國、山陰、山陽地方に颱風襲來、鐵道電線等の被害甚だしく、期米、正米共に奔騰した。東京期米左の如し

▽十日二四圓六〇錢▽十一日二四圓六〇錢▽十二日二四圓八九錢▽十三日二五圓三九錢▽十五日二五圓九九錢▽十六日二六圓四五錢▽十七日二六圓五二錢▽十八日二六圓八〇錢

◇林竹三郎の死去と百萬圓寄附

大阪市西區立賣堀北通海運業林竹三郎は本日食道癌で死去した、享年五十四。遺言を以て公共事業に百萬圓を寄附、親族、知己、使用人等に百萬圓を遺贈した。氏は慶應三年山中庄兵衞の三男に生れ、壯年林家を繼ぎ刻苦精勵山中回漕店を經營し、歐洲大戰には海運界に飛躍して莫大の利益を收め、本期の多額納稅者中一躍第二位を占めるに至つた

十二日（土）

◇露國のシベリア出兵確定

浦鹽方面の政狀混亂し、我が權益擁護のためシベリア出兵論上下に喧しく、外交調査會は連日會議を開き、閣議も連日開催されてゐたが、愈よ本日に至り出兵は確實となつた。但し對米關係より出兵の時期は未定。なほ、出兵の範圍が極めて限られたるものなることが明らかとなつたので、取引市場の動搖は少なかつた

◇鬼怒電社債三百五十萬圓成立

鬼怒川水力電氣會社の社債三百五十萬圓は左の條件を以て大阪銀行團との間に成立した

▽金額三百五十萬圓▽年利七分▽發行價格額面▽期限三ケ年据置爾後七ケ年間償還▽擔保工場財團を擔保とし二番抵當權を設置す▽引受銀行三十四、浪速、山口、鴻池、近江、加島及び信託團

◇日露信託會社の創立

同社（資本金二百萬圓）は本日創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役田中四郎右衞門（會長）、田中小太郎（專務）、杉田駿、西尾謙吉、森盛一、小原元美、田嶋一義、酒井釀一▽監査役山邑太三郎、平田龜之助、南方常楠、岡和知

十五日（月）

◇シベリア出兵問題で元老會議開會

シベリア出兵問題で本日元老會議開かれ、西園寺、山縣、松方の三元老及び寺內首相、後藤外相が參集協議した

◇英國、浦鹽に出兵

英國は聯合國の貯藏品を保護すると共にチエコ・スロバアキア軍を援けるため浦鹽に約一大隊を出兵した

十六日（火）

◇鐵道院及各社線の旅客賃金値上

鐵道院では全線に亘り旅客賃金約二割の値上を本日より實施した。之と均衡を保つため同時に武藏野鐵道、川越鐵道、長岡鐵道、越後鐵道、豐川鐵道の各社線との連帶運輸旅客運賃を改正値上した

◇露國皇帝銃殺さる

露國ウラル州勞兵會は、ニコラス皇帝奪取の陰謀あるを探知し、本日同廢帝を銃殺した但し廢帝の妻子は監視附で安全なる地に移したと報ぜられた

十七日（水）

◇地方長官に在米強制調査を下命

農商務省は外國米管理規則第六條により、本年七月末日正午現在に於て十石以上の內地米（白米を含む）を所有する者をしてその現在の所有量を届出でしめ、八月十日までに各地方廳（沖繩を除く）よりその結果を農商務省に報告せしむることゝし、本日その旨各地方長官に對し通牒を發した

◇鐵道院貨物運賃規定の改正

本日の官報を以て鐵道院貨物運賃規定の改正が發表され、種別により一樣でないが、一割强乃至二割弱の値上となつた

◇正米、端有の高値を示す

深川正米市場の本日の相場は十三日よりも一圓二三十錢高となり、日向の三等眞幸米は三十二圓四十錢に暴騰、未曾有の高値を示し小賣相場も一圓につき一等二升六合、二等二升七合、三等二升八合となつた

◇ダヌンチオ、ポーラ貿港を空襲

伊太利文豪ガブリエル・ダヌンチオは今朝五十四機の水上飛行機を指揮して墺地利の軍港ポーラを襲撃した

十八日（木）

◇農商務省、朝鮮米管理につき聲明

農商務省臨時外米管理部は朝鮮米管理に就

て本日左の如く公表した
一、過日來指定商鈴木商店に命じ朝鮮に於て朝鮮米約三十萬叭を買入れしめたり
二、右朝鮮米は之を東京及大阪へ廻送するものにして、その一部は既に到着濟なり
三、賣出し値段については特別の價格を定めず時價に從ふ方針なり
四、目下朝鮮米の買入を中止しあり

◇雲島米證取引所に立會無期停止命令
農商務省は取引所法第二十七條に依り大阪堂島米穀取引所に對し本日以後七、八、九三限立會の無期停止を命じた

◇三池銀行資本金に增資
大牟田市の三池銀行は本日株主總會を開き現資本金三十五萬圓を百萬圓に增資し、新株一萬三千株中一萬五百株は株主に割當て、殘り二千五百株は重役に一任と決定した

◇依田銀行の三倍增資
長野縣丸子町の依田銀行は株主總會に於て現資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資し、新株二萬株の中一萬株は舊一株に一株を割當て殘り一萬株は公募する件を決定した

十九日（金）

◇大阪電燈社債五百萬圓成立
大阪電燈會社々債五百萬圓は三十四、浪速近江、加島、山口、藤田、藤本の七銀行引受により左の條件を以て發行と決定した
▽價格九十八圓五十錢▽利率年六分△額面百圓▽期限二ケ年据置五ケ年間償還

◇東洋黑鉛會社の創立
東洋黑鉛會社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役大倉喜三郎（社長）、黑板傳作（常務）、植山六郎平（同）、井出次摩平（同）、千代浦昌、太田清藏、森山章之亟▽監査役小鹿原林吉、新谷豐吉

◇日本酸素會社の改組
日本酸素合資會社は資本金百萬圓拂込）の株式會社に改組し、本日の創立總會に於て須藤諒を社長に、高橋是圖を專務取締役に選任した

◇日華紡績會社の設立
資本金一千萬圓を以て創立された日華紡績會社は本日創立總會を開き、和田豐治を社長に選任した

◇富士製紙工場の火災
本日午前三時半靜岡縣富士郡加島村富士製紙會社の第三工場原料部パルプ製造所より出火し、製品貯藏所を除くパルプ工場全部を燒失して、五時三十分鎭火した。損害は約十萬圓に達したが、保險は明治火災、東京火災、其他内外二十數社に對し約十萬圓を附してあつた

二十日（土）

◇ペノスアイレスに領事館新設
南米ペノスアイレスに領事館を新設し本日開館した

◇八十四銀行三百萬圓に增資
八十四銀行は、本日の株主總會に於て、資本金百六十萬圓を三百萬圓とする增資案を可決した

◇氏家銀行の五倍增資
栃木縣氏家町の氏家銀行は本日の株主總會に於て現資本金十萬圓を五十萬圓に增資する件を決定した

◇倉敷紡績七百萬圓に增資
同社は本日株主總會を開き現在資本金二百九十五萬圓を七百萬圓に增資の件及び社債百五十萬圓發行の件を可決した

二十一日（日）

◇倉敷商業銀行七十萬圓に增資

岡山縣倉敷町の倉敷商業銀行は、本日定期總會を開き資本金三十萬圓を七十萬圓に增資する件を可決した

二十二日（火）

◇區劃に航空隊新設決定
調布縣に新設せらるゝ陸軍航空隊第四大隊の敷地は同縣朝倉郡馬田村、三輪村及び三井郡太刀洗村の三ケ村に跨り、その兵營は三輪村、原町地藏茶屋、太刀洗川畔に亘る地に北面して設置することに決定した

◇定期米三十圓を突破
漸騰を續けてゐた東京期米相場は、遂に當限三十圓二十三錢（前日二十九圓九十錢）を示し、三十圓臺を突破するに至つた。東京深川正米市場も上米三十三圓四十錢、中米三十一圓八十錢、下米二十九圓三十錢、平均三十一圓五十錢に暴騰した

◇東京乘合自動車の運賃使用許可
同社（資本金五百萬圓）は本日警視廳より道路使用を許可された。但し東京市會はこれに反對の運動を起した

◇二十三銀行五百萬圓に增資
大分市の二十三銀行（資本金二百四十萬圓）は二百六十萬圓を增資して五百萬圓とする件を本日の定時總會で決定した

◇勸業銀行、大阪支店を新設
日本勸業銀行は本日の株主總會に於て大阪支店新設を決定した

◇三井鑛山會社五千萬圓に增資
三井鑛山會社（資本金二千萬圓）は本日の定時總會に於て三千萬圓を增資し資本總額五千萬圓となすことに決定した

◇米價仲買人伊藤延次郎警告を發く
農商務省は米價暴騰につき買主方力たる東京米穀取引所仲買人伊藤延次郎の買付を不穩と認め、本日警告を發した

二十四日（水）

◇深川正米市場、標準相場設表を禁止す
本日深川廻米問屋組合は從來の手付金を增額して一俵三圓とし、かつ倉出期間五日を三日に制限し、標準相場の發表を禁止した

◇東京府農工銀行三百萬圓に增資
同行は現資本金二百萬圓を三百萬圓に增資し、增資新株五萬株は舊二株に付新一株を割當てることに本日の定時總會で決定した

◇支那政府、鴻盟へ一千名出兵
支那政府（北京）はチエコ軍應援のため一千名の軍隊を浦鹽へ派遣した

二十五日（木）

◇東洋コンスターチ會社の創立
玉蜀黍を原料とし澱粉の製造販賣を目的とする東洋コンスターチ會社（資本金六十萬圓四分の一拂込）は本日創立總會を開き、四萬八千圓を以て原、倉橋兩工場を買收し、之を基礎工場として營業を開始するに決し、左の重役を選任した
▽社長星野錫▽專務取締役原輝雄

◇六十五銀行三百萬圓に增資
神戸の六十五銀行は株主總會を開き、現資本金二百萬圓を三百萬圓に增資と決定した

◇大阪海上火災保險會社の倍額增資
同社は現在の資本金五百萬圓を一千萬圓に倍額增資する件を本日の臨時株主總會で決定した

二十六日（金）

◇三井物産の重役辭任
三井物産會社取締役（元上海支店長）藤村義郎、同監査役小室三吉は本日辭任した

◇久仁丸、暴風雨で遭難沈沒
神戸市海岸通野田國商店の所有汽船久仁丸（千二百噸）は二十三日鹽九百七十噸を積み青島を出帆門司に向ふ途中、本朝暴風雨に遭遇

し朝鮮全羅南道黒川島附近に於て沈沒、乘込員井上善太郎外二名は鄰船會社の西京丸に救助され他は行方不明となつた。同船は大正六年二月大阪小野造船所で建造された。損害約二十萬圓。神戸海上保險會社に船體及び利益保險として三萬圓を附してあつた

二十七日（土）

◇下關驛にて軍用火藥大爆發

本日午前零時下關驛構内に於て輸送中の軍用火藥爆發し、死者三十名、重輕傷者六十名を出した。原因は火藥運搬中の人夫が艀船中に取落し爆發したものである

◇九州商業銀行の增資と改稱

熊本市の九州商業銀行は本日定時總會を開き、現在の資本金三十萬圓を十九萬九千三百圓に減資し更に二十萬七百圓を增資し、總資本額四十萬圓とする件及び熊本銀行と改稱する件を決定した

二十八日（日）

◇根室銀行の三倍增資

北海道根室町の根室銀行は現資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資の件を本日の定時總會で可決した

◇名古屋期米市場立會停止

東京期米市場立會休止の影響は名古屋に及び、本日の立會開始されるや亂調子續出し、遂に前場立會を終らずして立會停止となつた

◇富士水電、富士化學工業を合併增資

富士水電會社（資本金八百十萬圓）は富士化學工業會社を合併して百五十萬圓を增資し總資本九百六十萬圓とする件を本日の臨時總會で決定した

◇東京期米取引所の內情取調

農商務省は東京期米取引所の取引狀態を調査し、一方警視廳も取引所に出張取調を開始した

二日（金）

◇帝國政府、浦潮出兵を宣言

政府は米國の提議に基きチエコ軍後援の目的を以てする浦塩出兵に關し、日米兩國間に協調をなし、愈よこれを實行するに決定したるを以て閣議及び外交調査會の議を經て左の宣言を發表した

帝國政府は露國並に露國人民に對する舊來の厚誼を重んじ露國の速かに秩序を恢復して健全なる發達を遂げんことを衷心切望してゐるに、近時露國の政情著しく混亂に陷り、復た外迫を捍禦するの力なきに乘じ中歐諸國は之に壓迫を加ふること愈よ甚だしく、其威壓遠く極東露領に浸漸して、現にチエコ・スロヴアキア軍の東進を阻碍し、その軍隊中には多數の獨墺俘虜混入し、實際に於てその指揮權を掌握するの事跡歴然たるものあり

抑々チエコ・スロヴアキア軍は夙に建國の宿志を抱き終始聯合列强と共同敵對するものなるが故に其の安危の繫る所、延て與國に影響すること尠しとせず、是れ聯合列强及米國合衆國政府が同軍に對し多大の同情を寄與する所以なり。今や聯合列强は同軍が西比利亞方面に於て獨墺俘虜のため著しく迫害を被むるの報に接し空しく拱手傍觀することを得ず、已に其兵員を浦塩に派遣したり。合衆國政府も亦同じく其の危急を認め、帝國政府に提議して先づ遠かに救援の軍隊を派遣せんことを以てせり。是に於て帝國政府は合衆國政府の提議に應じて其の友好に酬ひ、且つ今次の派兵に於て聯合列强に對し歩武を齊ふして履信の實を擧ぐる爲遠かに軍旅を整齊し先づ之を浦塩に派遣せむとす

叙上の措置を取るに方り帝國政府は一意露國及露國人民と恒久の友好關係を更新せむことを希圖するを以て常に同國の領土保全を尊重し併せて其の國內政策に干渉せざるの既定方針を聲明すると共に所期の目的を達成するに於ては政治的又は軍事的に其の主權を侵害することなく遠かに撤兵すべきことを玆に宣言す

三日（土）

◇臨時國庫證券一億圓發行

外國爲替資金調達の目的を以て臨時國庫證券一億圓が發行された。發行條件は左の通り

▽發行價格九十六圓七十五錢▽利率年五分▽利拂期三月一日、九月一日▽償還期限大正十年九月一日迄

◇朝鮮殖產銀行設立委員任命さる

朝鮮總督府は本日制令を發布し現存する農工銀行本店六（支店四十一）の資本金合計二百六十萬圓を打つて一丸とし、新たに一千萬圓の資本金を擁する朝鮮殖產銀行を設立する

長野縣小諸町の小諸銀行は現資本金五十萬圓を百萬圓に增資する件を本日の定時總會で可決した

二十九日（月）

◇農商務省に米價調節課新設

米價暴騰に際し將來に於ける食糧問題に關する根本方針を確立するための調査機關として農商務省臨時產業調査局中に米價調節課が新設された

◇香川縣連田の養子が大當選

香川縣木田郡鶴元村豐田從業員は代表者を選出し、豐田持主に對し、物價騰貴に伴ひ工賃二割の値上を要求したが、容れられぬため約三萬四千五百基の釜子一萬四千五百名は同盟罷業に入つた

三十一日（水）

◇東京米穀取引所立會停止

繭買米の禁輸と、二十俵以上の在米調査の結果、地方に在米が皆無であるとの說が本日の立會前に人氣を沸騰させ、前日の引值先物三十圓九十八錢に對し三十一圓五十錢褒に奔騰し、遂に市場混亂、立會停止となつた

【八　月】

一　日（木）

◇德山丸、獨水雷に擊沈さる

日本郵船會社の德山丸（重量噸一萬四千五十噸の貨物船）は橫濱より倫敦に向け航行中紐育より二百海里沖で獨逸水雷のため擊沈され、寺田常太郎船長以下乘組員八十五名は米國船のため救助された。因みに同船は川崎造船所で建造され、大正三年十月二十九日の進水である

◇七月中の小額紙幣發行高

大藏省告示を以て本年七月中に於ける小額紙幣發行高が左の如く發表された

五十錢紙幣	三百九萬圓
二十錢紙幣	發行なし
十錢紙幣	二百十一萬七千圓
合計	五百二十萬七千圓
累計	五千九百七萬一千圓

◇深川正米相場と小賣相場

本日の深川正米市場は前日より二三十錢高を示し、千葉三等米三十六圓七十錢、埼玉三等米三十六圓三十錢に出來、六千俵の商ひ高があつた。なほ小賣相場は一升四十五錢に上つた

一等米一升四十五錢五厘（一圓に二升二合）

二等同　四十三錢五厘（同二升三合）
三等同　四十一錢七厘（同二升四合）
四等同　四十錢（同二升五合）

ため左の委員を任命した
▽設立委員長　朝鮮總督府政務總監山縣伊三郎▽委員　朝鮮總督府度支部長官鈴木穆▽同府農商工部長官小原新三▽大藏省銀行局長森俊六郎▽拓殖局次長立花俊吉▽朝鮮總督府鐵務局長荻田悦造▽石塚英藏▽子爵閔泳徽▽川上常郎▽志村源太郎▽小山健三▽佐々木勇之助▽美濃部俊吉▽土方久徵▽安田善三郎▽韓相龍▽片山貞次郎▽三島彌太郎▽原田金之祐▽木村雄次▽高瀨梅吉▽趙鎭泰▽白完爀▽李鎭恭▽李柄學▽朴永根▽金衝玉▽金秉治

◇面誉鉱業會社二百萬圓に增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金百四十四萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇富山縣下に米騷動勃發
富山縣中新川郡東水橋、西水橋、滑川の漁民の女房連數百名は、米價暴騰し生活難に陷つたため、一揆を起し、米穀商を襲つて貯藏米を持ち去り米騷動の端を開き、其後各地に波及した

四　日（日）

◇米國、浦塩出兵を宣言
米國政府は日本と行動を共にし浦塩へ共同出兵を宣言した

五　日（月）

◇帝國飛行協會へ五十萬圓下賜
本日帝國飛行協會へ對し事業奬勵のため天皇陛下には金五十萬圓下賜の御沙汰あらせられた

◇農商務省の朝鮮米廉賣
米價暴騰の對策として、農商務省は、本日より朝鮮米一升三十七錢で、東京、大阪の兩市で同時に賣出した。指定商は神戸の鈴木商店である

◇帝國海軍、沿海州に出動
海軍省は本日左の如く公表した
露領沿海州北部警備のため我艦艇若干は同方面に派遣せられたり

◇中野炭礦會社の創立
資本金百萬圓の中野炭礦會社は本日創立總會を開き社長に津田毅一を擧げた

六　日（火）

◇農商務省の朝鮮米廉賣
農商務省は、米價暴騰の對策として、東京、大阪の兩市で同時に賣出した。指定商は神戸の鈴木商店である

◇滑川町民二千名、米穀商を襲撃す
富山縣中新川郡滑川町漁民女房連の米騷動に刺戟され、本日午後六時頃、同町男子約二千名は米穀肥料商金川猪右衞門方を襲撃した

七　日（水）

◇鹿兒島縣下の小賣米價制限
鹿兒島市米穀商組合は米價調節のため小賣最高價段を三十八錢五厘とし三日以來實施してゐたが、更にこれを全縣下に及ぼすべく本日各郡米穀組合聯部を鹿兒島市に集め協議の結果、右趣旨に贊成し、調節に盡力すること外米賣却に盡力すること等を決議した

◇白米小賣相場昇騰
本日の東京正米市場は日向眞寺米二等四十二圓、庄內二等四十一圓十錢、同三等四十圓千葉四等四十一圓、朝鮮米三十四圓四十錢、草區山谷町小森藤五郎

◇朝鮮の鮮民、鮮米移出禁止を請願
政府の指定商鈴木商店は朝鮮米を買占め、既に五六十萬石の買占めをなした爲め鮮米は一升三十六錢といふ朝鮮開國以來の高價を現出した結果、鮮人鮮民はアイゴ〳〵と絶叫して京城商業會議所に押しかけ鮮米の移出禁止を請願した

◇滑川町民二千名、米穀商を襲撃す
富山縣中新川郡滑川町漁民女房連の米騷動に刺戟され、本日午後六時頃、同町男子約二千名は米穀肥料商金川猪右衞門方を襲撃した

七　日（水）

◇鹿兒島縣下の小賣米價制限
鹿兒島市米穀商組合は米價調節のため小賣最高價段を三十八錢五厘とし三日以來實施してゐたが、更にこれを全縣下に及ぼすべく本日各郡米穀組合聯部を鹿兒島市に集め協議の結果、右趣旨に贊成し、調節に盡力すること外米賣却に盡力すること等を決議した

◇白米小賣相場昇騰
本日の東京正米市場は日向眞寺米二等四十二圓、庄內二等四十一圓十錢、同三等四十圓千葉四等四十一圓、朝鮮米三十四圓四十錢、

一萬五十俵の取引を見、小賣相場はその影響を受け、白米は一圓につき一等一升九合五勺二等二升一合、三等二升二合に暴騰した

九　日（金）

◇浦鹽派遣軍司令官任命
浦鹽派遣軍司令官は、本日左の通り任命された
▽浦鹽派遣軍司令官　陸軍大將大谷喜久藏▽同參謀長　陸軍中將由比光衞▽司令部附同武內徹

◇西比利亞罹災救援助方針決定
本日の閣議に於て對露救援方針を決定したが、その要領は左の如し
一、西比利亞は混亂狀態に陷り所在の物資缺乏し居るにより比較的廉價を以て物資を供給すること
一、民間實業家をして對西比利亞シンヂケートを作らしめ經濟的援助を實現せしむること、從つてこのシンヂケートより委員を該地に派遣するに至るべし
一、現に西比利亞地方に在る我商人中不當の利益を收め居るものを取締り且つこれを善導すること
一、今後の狀勢その他百般の經濟的問題を調査するため調査機關を設置すること

◇正米相場更に暴騰す
政府當局の對策にも拘らず深川の正米市場は連日昂騰を示し、芙蓉四等米四十二圓八十錢約一圓高を示し、茨城四等米四十二圓八十錢庄內今入二等四十三圓、同四等四十二圓五十錢、千葉三等四十三圓五十錢、白河三等四十一圓、朝鮮上米三十九圓、肥後四等四十二圓七十錢となり、一萬九千八百七俵の取引があつた

◇東京白米商組合の鮮米拂下決議
東京白米商組合は本日幹部會を開き、政府の三錨米所の手で一般の需要者に配給するより白米商の手で供給する方が遙かに良策であるから政府所有の鮮米三十萬俵は直ちに白米商に拂下げられたいとの決議をなし、代表を選み當局へ陳情した

◇各地に米騷動勃發す
富山縣の漁村に惹起された米騷動は各地に波及し、本日午後三時、和歌山縣有田郡岩佐町の漁民約百名は附近の寺院に集合し、町長及び米穀商に對し、さきに移入せる外米二百石を他村に賣却せるを責め、夜に入つて七百名の多數となり不穩の行動に出でんとしたが警官の出動により漸く事なきを得た

本日夜八時、播州印南郡大曼村薄田稼人の女房達は同村鎭守に集合、約六百名一團となり岡の壓をあげて村役場に殺到し、「上に立つ人は一體どうしてくれるのだ」と怒號し、果ては不穩の擧に出でんとしたが、警察の慰撫により解散した

◇岩崎清七、正米問屋を襲撃す
米買占の嫌疑により岡半等と共に本月六日農商務省より警告を受けた正米問屋、東京深川區佐賀町二丁目岩崎清七は買占の誤解を解くため正米部の營業及び附帶の期米賣買全部を廢業した

十　日（土）

◇農商務省の米價調節協議
仲小路農相は大臣官邸に岡商工局長、片山外米管理部長を始め各課長達を集め、米價調節につき應急對策を協議した

◇東京府、朝鮮米の廉賣を告示
東京府は本日、米價調節のため十二日より朝鮮米の廉賣をなす旨告示した

◇各地期米解合談行惱み
東京、大阪、神戸等各期米取引所は立會休止以來解合談行惱み、尙ほ立會開始の見込み

立たず、休会を續けた

◇羽田造船會社の創立

同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開催、左の重役を選任した

▽取締役關谷兵助、陸岐敬次郎、根岸錬次郎、濱邊榮、蒔田廣城▽監査役吉田珍雄、平澤道次、須崎市松

◇倉敷町民、米商を襲撃す

備中倉敷町民約一千六百名は本日午後六時鶴形山阿知神社に集り「買占の巨頭根岸芳太郎を葬れ」と叫びつゝ、先づ米穀商平松幸造方を取圍み、戸障子を破壊したうへ米十三俵を撒き散らし、更に買占の巨頭と目さるゝ根岸を始め、町内の呉服屋、米屋等數十軒を襲撃し、氣勢に出動した警察署長以下多數の負傷者を出した

十一日（日）

◇東都、大阪、名古屋に米騒動勃發

京都市の細民部落柳原町に暴動起り、數百名一團となり米穀商を襲撃して廉賣を強制し暴民全市に蜂起、遂に軍隊の出動によつて鎭靜。同日大阪市に於ては今宮方面の細民部落民蜂起して暴動化し、米穀商を襲撃、大商店の飾窓等を破壊して、放火する等、全市民動搖し、軍隊出動して鎭壓。名古屋市に於ても一萬餘人の市民が鶴舞公園に集合、商業會議所に押しかけ、途中商店の軒燈等を破壊した

十二日（月）

◇東京府の朝鮮米廉賣

東京府では本日より四日間、下谷區萬年町小學校、淺草區玉姫小學校、本所區三笠小學校の三ヶ所で、朝鮮米を一升三十七錢で賣出した

◇雲南に領事館設置

支那の雲南に帝國領事館が設置された

◇休會中の東京期米市場開市

休會中であつた東京期米市場は十三日より本日から開市した。各地の暴動化に買手少なく、二十九圓一錢と發會し、漸次四十九錢と昂進せるも商況振はず、當事者は善後策を協議した

◇日露實業會社の創立

同社（資本金百萬圓、四分の一拂込）は本日創立總會を開催、左の役員を選任した

▽取締役綿野吉二（專務）、增田正夫（常務）乙來乙彦、河野通太郎、今西林三郎、堤清六▽監査役田邊熊七、石井光雄、森御藏

◇神戸に米騒動繰り絵木商店を燒く

米騒動は遂に神戸市に波及し、夜に入るや暴民は全市内約二千軒の米穀商を襲撃し、深更に及んで鈴木商店經營の樟腦製造所に放火し、更に鈴木商店の本宅を襲撃、放火する等暴行の限りを働き、市内は殆ら戰場の觀を呈した

◇支那の新國會開會

總統選擧並に憲法制定の二大任務を果すべく、支那の段祺瑞内閣が全力を傾注して其の開會を急いだ改正國會組織法及び改正議員選擧法による新國會は愈よ本日開會した

十三日（火）

◇御内帑金三百萬圓下賜

今春以來米價日々に昂騰し、國民の多數生活に窮し、各地に不穩の兆あるを聞し召され貧民救助のため 今上陛下には御内帑金三百萬圓を御下賜遊ばされた

◇米價調節に圖庫金一千萬圓支出

政府は外國米の賣買を一層徹底せしめると共に、國内の貯藏米に對し强制買收の方法を定め、米穀供給の途を潤かにするため、先づ國庫より一千萬圓以内を支出することに閣議で決定した

◇東京期米大暴落

各地に續發せる米騒動は、期米市場に多大の影響を與へ、本日の東京期米市場は第一節に於て二十七圓に始まり、これを高値として低落を續け、本場は寄付よりも一圓四十一錢安の二十五圓五十九錢に引けて、大暴落を見せた

◇東京にも米騒動勃發

各地の米騒動が東京にも波及し、本日夜に入り日比谷公園に集合した五千餘名の群衆は内相官邸に向はんとして警官隊のために食止められ、更に鍋殼町に向つたがそれも阻止され、その一部は銀座街に押し寄せ、大商店の飾窓を破壊する等の暴行を働き多數の檢束者を出した

◇三井、三菱兩社、各百萬圓寄附

三井、三菱兩社では内務省を通じて全國の窮民救濟費として各百萬圓宛を寄附した

十四日（水）

◇暴徒の襲撃を危惧し東米市場休會

東京期米市場は暴徒襲撃の虞れありとて戰戰恟々たるものあり、遂に本日は立會を休止した

◇米騒動の新聞記事差止

全國各地に波及した米騒動の刺戟を恐れた政府は米騒動に關する新聞記事一切の掲載を禁止した

十五日（木）

◇大藏當局、高物價對策の辨明書を發表

一般物價の昂騰甚だしく殊に米騒動の勃發するに至りたるため、政府が通貨の收縮政策を採らざるを非難する聲多きに對し、大藏省は生産資金又は輸出貿易に妨げなき限り通貨の收縮政策を實行した旨、實例をあげた辨明書を發表した

◇大阪三品取引所の借銀增資

大阪三品取引所は現實本金百萬圓を倍額二百萬圓に增資する件を本日の臨時株主總會で決定した

◇久原商事會社の創立

資本金一千萬圓の同社は本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役久原房之助（社長）、中山說太郎、津村秀松、河村良平、栗原蒸（鉉支配人）▽監査役竹内維彦、山岡順太郎

◇神戸の鈴木商店、五十萬圓寄附

米騒動で燒打に遭つた神戸の鈴木商店は三井、三菱に倣ひ窮民救濟費として五十萬圓の寄附を内務省へ申出た

十六日（金）

◇穀類收用の勅令發布さる

政府は別下の狀勢に鑑み米價調節の必要上穀類の强制買收に關する緊急勅令を發表した要領は左の如し

一、農商務大臣は國民の生活上緊要なる場合に於ては補償金額を定め米雜穀を收用し又はその指定したる者をして之を收用せしむることを得

二、前項の規定により收用したる米雜穀は農商務大臣價格を定め之を賣却し又は賣却せしむることを得

三、右の收用を拒みたる者は六月以下の懲役又は三千圓以下の罰金に處す

◇農商務省に臨時米穀管理部設置

農商務省分課規定を改正し從來の外米管理部を擴張し臨時米穀管理部を設置した

◇米騒動新聞記事の一部解禁

人心の動搖を防ぐため報道を禁止した米騒動記事は、その一部を解除し、内務省より發表することになつた

十七日（土）

◇東京臨時救濟會生る

米價を始め一般物價騰貴に基く生活難を救

済するため實業家の手により東京臨時救濟會を設置し、廣く救濟資金を集めることとなつた、役員左の如し

▽會長　男爵澁澤榮一▽副會長　中野武營　同藤山雷太▽顧問　井上友一、同子爵田尻稻次郎

◇北陸鐵鑛會社の創立

資本金百萬圓の同社は本日創立總會を開き取締役社長に黒板傳作を擧げた

◇福岡縣峰地第二炭礦坑夫の暴動

福岡縣田川郡添田村峰地第二炭礦坑夫約六千名は各地の米騒動に刺戟されて暴動を起し全炭礦を出炭不能となるまで破壞し、軍隊の出動により漸く鎭壓した

◇山口縣宇部炭礦坑夫の暴動

山口縣宇部炭礦坑夫千數百名は物價高による生活難より暴動を起し、殆んど宇部村の全部に亘り暴行掠奪、家屋破壞、各方面に放火など猖獗の限りを盡したが十九日に至り漸く鎭靜した

十九日（月）

◇東京期米市場立會開始

休會中の同市場は本日立會を開始したが、米穀收用令は農家をして賣惜しみをせしむる材料なりとの觀測行はれ、十三日の引値に比し一躍一圓方上放れ二十六圓五十錢と爆發して寄付き、尙暴騰の形勢を示した

◇臨時シベリア經濟援助委員會設置

露領シベリアの人民に經濟的援助を與へる目的で勅令第三百二十八號を以て臨時シベリア經濟援助委員會が設置され、左の通り委員を任命した

▽委員長男爵目賀田種太郎▽委員木下淑夫　松田道一、神野藤之助、田中政明、井出謙治　岡實、若宮貞夫、水町袈裟六、井上匡四郎　早川千吉郎、中野武營、川上俊彦、美濃部俊吉、梶原仲治▽監事松岡洋右、廣田弘毅

◇印刷業三割値上を決定

東京印刷同業組合は本日役員會を開き、九月一日より印刷料金三割値上を實施するに決定した

◇內務當發表の米騒動狀況

內務省の發表によれば、本月三日から約半月の今日までに三府一道三十縣に亘つて米騒動が勃發し、稍々平穩なるは山陰道と九州南部のみであつた

二十日（火）

◇朝鮮銀行の借額增資

朝鮮銀行は現資本金二千萬圓を倍額の四千萬圓に增資の件を本日の株主總會で決定した

◇神戸繊維會社の借額增資

資本金六百萬圓の同社は倍額一千二百萬圓に增資の件を本日の臨時株主總會で決定した

二十三日（金）

◇日米仲裁裁判條約再延長協約調印

日米仲裁裁判條約有效期間再延長協約は、本日米國ワシントンに於て兩國政府代表者によつて締結せられた。尙これは大正八年一月七日の官報を以て公布された

◇日本海上火災保險一千萬圓に增資

同社は現資本金三百萬圓に七百萬圓を增資し、資本金一千萬圓とする件を本日の臨時總會で決定した

◇貝島炭礦坑夫の賃銀値上運動

福岡縣鞍手郡宮田村貝島管轄田炭礦第五坑坑夫數百名は賃銀値上を要求して騒擾し軍隊の出動によつて鎭壓した

二十四日（土）

◇東京市、米廉賣券を發行

東京市では米騒動以來、小學校を利用し米の廉賣を行つてゐたが、澁澤榮一男等を通じて市內白米商の運動あり、本日より學校に於ける販賣を廢してこれを白米商に委託し、同時に廉賣券を發行することとなつた

◇支那政府、浦鹽出兵を宣言す

支那政府は、本日附を以て浦鹽出兵を宣言した

二十五日（日）

◇北海道宗谷延長線開通

北海道宗谷延長線中頓別濱頓間十一哩の新線は本日より開通、新設停車場は中間驛下頓別驛とも三ケ所

◇東京府營の公設市場設置に確定

東京府では本日の首腦部會議に於て府經營の公設市場を設置することに決定した

二十六日（月）

◇日、工修好通商航海條約調印

日本とエクアドル間の修好通商航海條約は本日正式に調印された

◇金銀輸出禁止令公布さる

金若くは銀を主たる材料とする製品又は金若くは銀の合金の輸出取締に關する大藏省令は本日の官報を以て公布された

◇福岡縣海軍採炭所坑夫の暴動

福岡縣精屋郡志免村海軍採炭所坑夫は、白米一升二十七錢を二十錢に引下げること、採炭賃銀一圓を三割增すこと等を要求して容れられず暴動化し軍隊の出動により鎭壓した

二十七日（火）

◇農商務省告示

農商務省告示を以て穀類牧用補償金額を告示した。東京及び大阪の正米市場に於ける中米に付、大正七年九月五日より同月二十日まで一石につき三十三圓以內、それ以後は追て改定するまで同三十圓以內とする

◇東京府知事より白米節約調令

井上東京府知事は府下の町村役場、學校、各種團體等に對し、白米の消費節約を爲すべしと調令を發した

◇日本石油會社の借額增資

同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金二千萬圓を四千萬圓に增資と決定した

◇千日土地會社百十萬圓に增資

資本金五十萬圓の同社は百十萬圓に增資を本日の臨時總會で決定した

◇福岡縣二瀨炭礦坑夫の賃銀値上要求

福岡縣嘉穗郡二瀨村八幡製鐵所中央炭礦坑夫は貸銀三割値上及び入坑者に一圓三十錢宛の入坑手當を支給すること等を要求し暴動化の形勢を示したが、交渉の結果互讓により解決し二十八日鎭靜した

二十八日（水）

◇日本高速度鋼會社の創立

同社（資本金三百萬圓）は本日創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役　富田幸次郎（社長）、中滿多摩七（專務）、岡崎賢次（常務）、宇田友四郎、中村半左衛門、川崎幾三郎、田中遜▽監査役　野中幸右衛門、高橋信況

◇日東信託會社の創立

資本金二百萬圓の同社は本日創立總會を開き、取締役社長に太宰文藏を擧げた

◇佐賀縣岩屋炭礦坑夫暴動化す

佐賀縣松浦郡相知村岩屋炭礦坑夫は貸銀三割値上その他を要求して暴動化し、貝島礦主邸を襲ひ爆彈を投じ棍棒を振ふ等暴行を働いたが、軍隊の出動により鎭壓された

二十九日（木）

◇深川正米市場米價暴落

東京深川正米市場は前日四十錢安の三十九圓六十錢で引けたが、本日は更に一圓安の三十八圓六十錢に暴落した

◇佐賀縣相知炭礦坑夫暴動化す

岩屋炭礦に隣接せる相知炭礦（三菱經營）內

に又復暴動起り軍隊と衝突し、軍隊は實彈射撃を以てこれに應酬し、卽死二名、重傷一名輕傷多數を出し漸く鎭壓した

◇佐賀縣杵島炭礦坑夫暴動化す

佐賀縣杵島炭礦（高取伊好經營）坑夫三百餘名は賃銀五割增を要求して暴動化し事務所その他を破壞、放火等の暴行を働いた

三十日（金）

◇輸出罐子取締規則及檢査標準制定

本日農商務省令を以て輸出罐子取締規則及び同檢査標準を公布、十月一日より實施されることになつた

◇鮮滿各地に同盟罷業勃發

朝鮮に於ては米價の暴騰と同時に各地に同盟罷業起り、釜山埠頭鮮人仲仕の罷業を始めとし營業人夫及び京城電氣會社の電車運轉手車掌の罷業、東亞煙草會社京城工場職工の罷業、三菱鑛山坑夫の罷業等各地に勃發したが官憲によつて鎭壓された旨、朝鮮總督府より發表された

◇小麥買占の小倉商店へ戒告

農商務省は小麥の買占者東京日本橋區小網町小倉久兵衞商店に對し戒告を發した

◇東京貯蓄銀行の町田監査役訴へらる

第百銀行頭取池田謙三は辯護士岩崎幸次郎を代理人として東京控訴院に東京貯蓄銀行監査役町田德之助を相手取り本日東京地方裁判所に約束手形十八萬四千圓支拂請求の訴訟を提起した

◇大阪製鎖所三百萬圓に增資

大阪の同社（資本金百萬圓）は臨時株主總會に於て三百萬圓に增資の件を可決した（日不詳）

◇日本毛織、日本毛絲紡績を合併

同社は株主總會に於て日本毛絲紡績會社を合併し、現資本金五百萬圓を一千萬圓に增資を決議した（日不詳）

【九　月】

一　日（日）

◇輸出織物の操業短縮實施

輸出織物操業短縮十二時間實施は當業者及び政友會等より反對ありたるも、當局の容るところとならず本日より實施された

◇滿蓮セルロイド工業會社の創立

資本金百五十萬圓の同社は本日創立總會を開催し、左の役員を選任した

▽取締役小山定助（專務）、岡見裕吉、井上虎治、豐田一雄、南喜三郎▽監査役山岡儀野村治一良

◇東京市內米穀商の一齊調査

警視廳では、米價暴騰の折柄米穀商の不正を摘發すべく全市一齊調査を行つたが、その結果、七分通りは皆不正行爲をなしてゐることが判明した

◇富士倉庫取締役淸水淸五郎收監

富士倉庫會社取締役淸水淸五郎は背任詐欺罪として起訴され、本日夜東京監獄に收監された

二　日（月）

◇東京株式取引所現物市場開市

新規約による現物賣買は東京株式取引所內に新設の市場に於て本日より開市せられた

◇神戶土地建物會社の創立

資本金二百萬圓の同社は本日創立總會を開催、左の役員を擧げた

▽取締役坪田十郎（社長）、井上善吉、伊藤長次郎、木村授彌太、岸本信太郎▽監査役武岡豐太、橫山源太郎、奧村敬太郎

◇釜田參、豆粕罐を振舞ふ

米價暴騰の折柄、國民食料の自給策として釜田孝は豆粕飯を提唱し世人の注目を惹いた

白米に三割の麥脂豆を混ぜよといふのである

◇米騷動の被起訴者二千三百名に上る

全國を通じて米騷動の被起訴者は、本日までに二千三百名に上り、その內最も多きは東京、名古屋地方で、岡山、神戶、大阪地方は未だ取調を終るに至つてゐない

三　日（火）

◇憲政會、內閣彈劾の聲明を發す

憲政會有志團は過般の米騷動以來、內閣彈劾の意志を發表すると共に實行委員を擧げて朝野各方面の勸說に努めてゐたが、本日聲明書を發表した。聲明の內容は、米騷動の責任と物價調節の不徹底とを糾彈したものである

四　日（水）

◇實業聯合會の時局救濟陳情

東京實業聯合會は時局救濟策に關し東京商業會議所を通じて當局へ陳情するため、本日星野實業聯合會長等は東京商業會議所に會頭鳥山甫太を訪ひ、聯合會の意見書を會議所の參考に供した

一、廉賣米は斷じて外米となすこと

二、受救者は生活難に喘ぐ者に汎く及ぼすを以て目的とす、但しその調査は警察署及び區役所に一任するものとす

三、外米の廉賣價格は現今施行の價格を適當なりとす

四、食品節約に關する趣旨の普及を講ずること

右は目下の救濟事業につき急要とする處なりと信ず、而して尙米價の安定を圖るため左記法令の改廢を速かにその筋へ建議あらんことを要望す

一、穀類輸入稅を三ケ年間中止すること

二、暴利取締令を廢すること

三、穀類牧用令を廢止すること

◇朝鮮銀行の米買占防止策

朝鮮銀行は本日支店長會議を開き、總督府の意を體し、米買占の資金は一切貸出しせざることに內定した

◇熊本縣萬田炭礦坑夫の暴動

熊本縣萬田炭礦坑夫は賃銀値上げを要求して暴動を起し久留米第四十八聯隊より二中隊出動して鎭撫した

◇支那大總統に徐世昌當選

北京の參衆兩院聯合選舉會に於て大多數を以て大總統に徐世昌が選舉された

五　日（木）

◇日本鋼管シヤフト會社の創立

資本金二百萬圓（內拂込五十萬圓）の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した

▽取締役町田豐千代（社長）、鍋島太明（專務）、尾崎敬義、岡野宗太郎、三枝代三郎、皆川芳造▽監査役仁村淸太郎、倉知鐵吉、松島肇

◇東洋金網製造會社の創立

同社（資本金二百萬圓、內拂込五十萬圓）は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役伴幸之助（專務）、林五郎、橋本太吉、桂二郎、山田重吉、澁澤龜三郎、喜早要人▽監査役浦壁長富、山田芳太郎、山名次郎

◇茨城縣磯濱漁夫三百名の米暴動

茨城縣磯濱の漁夫三百名は大洗磯前神社の御輿を舁み出し同町內を練り歩いて米穀商へ殺到し、家屋を破壞し外米袋を戶外へ放り出す等の暴行を働いた

七　日（土）

◇高田瓦斯會社の解散

高田瓦斯會社（資本金三十萬圓、內七萬五千圓拂込）は經營難に陷り、臨時總會を開き解散を決議した

八　日（日）

◇浦鹽て我が軍票使用に抗議
浦鹽商業會議所は日本軍票使用問題に就いて協議の結果、同軍票を露國内に於て使用せしむるは露國の紙幣を驅逐し、國家的にも經濟的にも露國に不利を與ふるものとして抗議するに決した。また西比利亞政府も軍票使用防遏のため緊急手段をとることに決した

◇木會電氣鐵道會社の創立
資本金一千七百萬圓（四分の一拂込）の同社は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役副澤桃介（社長）、下出民義（副社長）、增田次郎（常務）、三根正亮

九日（月）

◇蒸煙草賠償價格引上
專賣局は葉煙草の收納價格二割二分五厘餘の引上を發表した。因みに前年の賠償價格總額は一千七百六十三萬圓である

◇東京期米に暴騰ふ不正者大量檢擧
東京期米取引所を中心に、附近に於て「薄藝」或は「呑屋」と稱する不正行爲をなす者に對して本日一齊檢擧を行つたが、百數十名の多數に上つた

十日（火）

◇日本天鐵セメント會社の創立
資本金五十萬圓の同社は本日創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役加藤正之助（社長）、石塚正治（常務）、伯爵川村鐵太郎、三原經國、佐藤富雄
▽監査役水野勝興、柳谷慶治

◇滿洲採炭會社の創立
資本金百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役森恪（社長）、安川清三郎、松本源一郎、上仲尚明、高木陸郎▽監査役松本健次郎、飯田邦彦

◇中外製鐵會社の創立
資本金百五十萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役金子貞治（社長）、原田庄一（專務）、服部英明（專務）、林正從、福慶清太郎、▽監査役向井牢兵衞、高木艷五郎

十一日（水）

◇東京府、日用品廉賣所を開設
東京府救濟會では、小石川、深川、淺草の各區に一ヶ所づゝ、下谷區に二ヶ所の日用品廉賣所を開設した

十二日（木）

◇製絲の米麥移出制限
朝鮮總督府は、釜山米穀商に內命を下し、九月中內地に移出すべき米量を四萬叺に制限した

◇東日本炭礦會社の創立
資本金二百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役中山佐市（社長）、河野英良（專務）、山崎禮三（常務）、小口長藏、上甲信弘、堀內伊太郎、峰岸慶三▽監査役綾部悳兵衞、竹村欽次郎、荻野萬之助

十四日（土）

◇政界に暗雲低迷す
富山縣下二漁村の女房連によつて點火せられた所謂米騷動は、その後全國的に波及して時局重大となり、寺內內閣の失政に對する非難高まると共に殆ど收拾すべからざる事態を呈するに至つたので、寺內首相も引責辭職の決意を固めた模樣であるが、この危機を繞つて政界上層の雲行あはたゞしく、元老より最近の政情について內奏申上げ、更に本日元老に對し御下問あり、山縣、松方、西園寺、大隈等の諸元老の往來繁く、政界は異常の緊張を呈した

◇錫合金の輸出禁止
農商務省は來る十月一日より錫合金の輸出を禁止する旨本日の官報を以て發令した

◇東京臨時救濟會の寄附金處分決定
東京臨時救濟會の寄附金は百十三萬餘圓に上つたが、本日東京商業會議所に會長澁澤榮一、中野武營、井上知事、田尻市長等參集、協議の結果、半額は市の米廉賣等の救濟費に充て、殘額は中產階級のため購買組合を設立細民階級のため簡易な小賣市場を設置する等の費用に充てることに決定した

十五日（日）

◇大津瓦斯會社の解散
同社（資本金五萬圓全額拂込濟）は營業不振のため臨時株主總會を開き解散に決定した

◇伊太利の輸入制限强化
伊太利政府は本日以後、個人に對しては多數の商品につき輸入許可を與へざる旨公布したが、その內本邦と關係の深いものは鋼、ニッケル、輕銀、アンチモン、穀類、砂糖、皮類等である

十六日（月）

◇戰時爲替調査委員會設置さる
大藏當局は金融業者、貿易業者其他外國爲替に通曉する者を擧げて、外國爲替の調節に關する事項を調査審議せしめるため戰時爲替調査委員會を設置するに決し、本日その官制を發表した。委員は左の如し
▽會長勝田藏相▽委員大藏次官市來乙彥、理財局長神野勝之助、銀行局長森俊六郎、子爵三島彌太郎、法學博士水町袈裟六、樞井鐵太郎、小山健三、井上準之助、原富太郎、池田謙三、美濃部俊吉、土方久徵、岩井勝太郎、堀越善重郎、小田柿捨次郎、野澤源次郎▽臨時委員木村清四郎、山成喬六木村權次

◇日銀の利子引上げ
日本銀行は本日より利子二厘引上を實施した。其の要項は次の通りである
▽商業手形割引歩合日歩一錢六厘以上（二厘上げ）▽國債を抵當とする手形割引日歩一錢六厘以上（二厘上げ）▽國債以外のものを抵當とする貸付利子及國債以外のものを保證とする手形の割引日歩一錢七厘以上（二厘上げ）▽當座貸越及コルレスポンデンス貸越利子日歩一錢九厘（二厘上げ）
但し大正七年九月十六日より實施のこと

◇神戶製鋼所の借額增資
同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金五百萬圓を一千萬圓に增資と決定した

◇スマトラ興業會社の創立
資本金五百萬圓を以て設立された同社は、創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長相馬半治▽專務取締役有島健助▽取締役薄井佳久、槇村澄三郎、千葉平次郎、谷井千次郎、菊地捍▽監査役山本直良、川原義太郎、高木儀男

◇東京興業會社の創立
資本金百萬圓の同社は本日創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役山本辰次郎（社長）、小山清太郎、岡本藤三郎▽監査役堀興三

◇政府買付米の賣出開始
農商務省が東京の指定商人に命じて買付けさせた白米二十五萬石の內、十三四萬石は現物が集つたので、本日より公定相場一石三十

一圓で賣出すこととなり、鹿島組合二千二百俵、神田川組合五千俵等をはじめ合計二萬五千俵を第一日の割當數量として賣出した

十七日（火）

◇日本人の米國土地所有權決定

米國加州高等法院は、州田生の日本人の提起せる土地所有權に關する訴訟に對する意見を發表し、外國人土地所有規則に依り當然その權利を有するものと決定した

十八日（水）

◇臨時國民經濟調査會設置

內閣總理大臣の監督下に臨時經濟調査會が設置され、本日その官制が發布された。同會は時局に伴ひ發生した物價騰貴の原因及びこれが調節救濟に關する方法を始めとして經濟上の變動に伴ふ社會政策に關する施設並に經濟界將來の變調に對する方策につき、調査研究をなすものである

▽會長寺內總理大臣、副會長勝田藏相、仲小路農相▽委員拓殖局長有松英義、內務次官小橋一太、大藏次官市來乙彥、農商務次官上山滿之進、遞信次官內田嘉吉、朝鮮農商工部長小原新三、臺灣民政長官下村宏、男爵澁澤榮一、荒井賢太郎、橋本圭三郎、藤田四郎、伯爵林博太郎、伊澤多喜男、子爵松平直平、法學博士小山温、町田忠治、飯田精一、農學博士古在由直、法學博士山崎覺次郎、同戶田海市、同矢作榮藏、同松岡均平、男爵近藤廉平、子爵三島彌太郎、大谷嘉兵衞、小山健三、志村源太郎、法學博士桑田熊藏、齊藤宇一郎、鎌田勝太郎、中倉萬次郎、井上準之助、鈴木馬佐也、工學博士岡光哲、土方久徵、鈴木梅四郎、法學博士氣賀勘重、關豕彥治、藤山雷太、瀧口吉良、法學博士堅田豐治、田村新吉、串田萬藏、山岡順太郎、川原茂輔、西村丹次郎、小川八郎右衞門

◇臨時國庫證券一億圓發行

本日政府は割引の方法を以て臨時國庫證券一億圓を發行し、日本銀行は即日賣出しを開始した。本證券賣出代金の內五千萬圓は本月三十日を以て滿期となるべき前年十月一日發行の臨時國庫證券の借替に充當し、殘り五千萬圓はこれを輸出爲替資金として供給するものである

十九日（木）

◇鮮海鐵道二千二百萬圓に增資

同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金一千四百四十四萬圓を二千二百萬圓に增資と決定した

二十日（金）

◇朝日海上火災保險會社の創立

資本金一千萬圓（內拂込二百五十萬圓）の同社は、創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役窪田四郎（社長）、內田信也、勝田銀次郎、草場茂一、上西龜之助、四井喜一郎、前田米藏、河原肇▽監査役菊地吉藏、中澤房則、鈴木茂兵衞

◇神港汽船會社五百萬圓に增資

同社は本日の總會に於て現資本金二百萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇滿鐵の圓爲替復活

露國は前年六月三十日附を以て外國爲替取組を禁じ、留貨幣の海外流出を防止したため邦人は非常な不便を感じてゐたが、本日より圓爲替勘定を開始し、內地圓爲替勘定滿鐵爲替取引も復活した

二十一日（土）

◇寺內內閣、總に總辭職

米騷動の勃發に端を發し、物價對策の失敗により傷れて辭職を傳へられてゐた寺內內閣は、本日辭表を捧呈した

◇西園寺公望に大命降下

寺內內閣の總辭職により直ちに侯爵西園寺公望に對し組閣の大命降下した

二十二日（月）

◇米價暴騰、東京期米市場立會停止

數日來再び奔騰の一途を辿つた期米相場は本日の立會に於て全く混亂に陷り、遂に月末まで立會を停止した

二十四日（火）

◇關東地方の暴風雨

前夜より今朝へかけて關東地方に暴風雨襲來し、深川本所方面一帶は浸水し、電信電話の不通を生じ、更に北陸線水原驛近くでは十四輛の列車が烈風のために顚覆し數十名の重傷者を出す猛威を振つた。また全國の電信電話線は殆んど不通となつた

二十五日（水）

◇西園寺公望、大命を拜辭す

內閣組織の大命を拜した西園寺公望は、病軀大任に堪えずとの理由をもつて拜辭した

◇臨時國庫證券三千六百萬圓發行

臨時國庫證券三千六百七十五萬三百五十圓を發行。これは露國政府に賣却せる軍需品の代金として留紙幣、留公債其他同種の證書を所有するものに對し臨時國庫證券法により額面金額を以て引換へるに充當するもので、償還期限は大正八年六月三十日、利率は年二分

◇正米また狂騰す

東京深川正米市場は休日前に比し二三圓より四五圓高となり、越中新二等四十七圓、同三等四十六圓五十錢、武州四等四十六圓を唱へ、一五等四十七圓、庄內三等四十六圓を唱へ、一方市內小賣相場は二等白米五十三錢、三等白米五十錢となつた

◇下關米穀取引所立會停止

同所は市場の形勢不穩のため本日帳簿整理を名として立會を中止した

二十六日（木）

◇國勢調査施行令公布

政府は本日、勅令第三百五十八號を以て國勢調査施行令二十三箇條を公布した

二十七日（金）

◇原敬に內閣組織の大命降る

前日宮中より御召の御沙汰を拜した政友會總裁原敬は、本日午前十時三十分參內、內閣組織の大命を拜した

二十八日（土）

◇神戶信託會社三百萬圓に增資

同社は臨時總會を開き、現資本金二百萬圓を三百萬圓に增資と決定した

◇關貨米の對日輸出禁止

英國政府は瓜哇及日本に對する關貨米の輸出を禁止した

二十九日（日）

◇東京米穀取引所の解合成立

二十四日以來休會紛爭を重ねた東京米穀取引所の解合問題は、本日仲買員組合總會を開き、中限は六十錢高の三十四圓五十五錢で六萬四千石、先限は六十一錢高の二十九圓五十錢で二十七萬三千六百石、合計三十三萬七千六百石總解合成立の調印を了した

三十日（月）

◇原內閣成立す

原敬を首班とする政友會內閣は左の組織をもつて成立した

內閣總理大臣兼司法大臣　原　敬
外務大臣　子爵內田康哉
內務大臣兼鐵道院總裁　床次竹二郎
大藏大臣　男爵高橋是清
陸軍大臣　田中義一
海軍大臣（留任）加藤友三郎
文部大臣　中橋德五郎

農商務大臣　山本　達雄
遞信大臣　野田卯太郎
内閣書記官長　高橋　光威
法制局長官　横田千之助

◇淺野造船、淺野製鐵を合併增資
淺野造船所（資本金一千萬圓）は臨時株主總會を開き、淺野製鐵所（資本金六百萬圓）を合併し、資本金を五千萬圓に增資と決定した

◇大日本炭礦、東海炭礦を合併
大日本炭礦會社（資本金一千萬圓）は福島縣石城郡の東海炭礦會社（資本金百萬圓內拂込五十萬圓）を合併し、それに伴ふ五十萬圓增資の件を臨時總會で決定した

◇米騷動の收監者六千三百名に上る
司法省は全國裁判所より米騷動犯人の收監者實數報告を徵したが、本日までの答申總數は六千三百二十五人の多數に上り、その內福岡の六百八十四人を最多とし、高知及び鹿兒島の三名が最少である。地方別の收監者數左の如し

東京二九七、甲府二二、橫濱四〇、長野三〇、水戶四〇、新潟四九、靜岡二六八、京都二七四、大阪三五〇、廣島四〇三、奈良六二、山口五六三、神戶四八〇、松江一三六、大津二五、松山一七〇、和歌山四五三、岡山三〇四、德島一八、佐賀二二八、高知三、福岡六八四、高松七〇、熊本一九五、名古屋五三〇、鹿兒島三、安濃津二七七、宮崎一〇、岐阜一三三、仙臺一二一、金澤五八、福井三九、合計六三二五名

【十月】

一日（火）

◇國勢調査施行令の實施
九月二十六日官報を以て公布された國勢調査施行令は本日實施された

◇軍需工業動員法を朝鮮其他に施行
軍需工業動員法を朝鮮、臺灣、樺太、關東州、滿鐵附屬地に施行するの件は本日官報を以て公布された

◇朝鮮殖產銀行の創立
朝鮮殖產銀行（資本金一千萬圓）は本日京城に創立總會を開き左の役員を選任した
▽頭取三島太郎▽理事有賀光豐、中村元吉、櫻井小一、朴泳孝▽監事廣瀨滿正、李根湘

◇平野丸、獨艦に擊沈さる
日本郵船會社の平野丸（七九三五噸）は本日アイルランド沖で獨逸潛航艇のため擊沈され船長エッチ・フレーザー以下二百四十名の乘組員中二百十名の溺死者を出した。同船の船員及積荷保險は五百萬圓である

◇日東硫肥會社の創立
資本金百萬圓を以て設立された同社は、創立總會に於て左の重役を選任した
▽社長田中新七▽專務取締役橫塚郁三郎▽取締役渡邊甚吉、各務孝成、井田榮造▽監查役根本龍四郎、二見鋼太郎、堀谷左治郎

五日（土）

◇東京電氣鐵道百萬圓に增資
同社は臨時株主總會に於て資本金十五萬圓を百萬圓に增資の件を可決した

◇日本理化工業會社の創立
資本金五十萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き、左の重役を選任した
▽專務取締役大栗虎三▽取締役吉村鐵之助、山口文右衞門、山田芳太郎、岡本市太郎▽監查役大竹幸助

六日（日）

◇獨、墺、土三國の休戰提議
獨逸、墺地利、土耳古三國は米國大統領ウイルソンに對し媾和談判開始のため休戰を申込んだ

七日（月）

◇朝鮮銀行、限外發行を認可さる
滿蒙、西比利亞及沿海州地方の金融に進出した朝鮮銀行は、兼に保證準備發行高を五千萬圓に增加したが、本日更に二千萬圓の制限外發行を認可された

◇高瀨水力電氣會社の創立
同社（資本金二百五十萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役原邦造（社長）、長谷川直藏（專務）駒井久吉、大橋光吉▽監查役山口誠太郎、三枝代三郎

◇近江銀行、東京銀行を合併
大阪の近江銀行（資本金一千萬圓內拂込五百五十萬圓）は、東京銀行（資本金五百萬圓內拂込三百五十萬圓）を合併することゝなり、本日兩社は株主總會を開き之を可決したが、合併條件は對等である。この結果近江銀行の資本金は一千五百萬圓となつた

八日（火）

◇日本の對支方針發表
帝國政府は對支方針として（一）秘密政策を執らず（二）日本の立場のみを考慮せる利己的方針を講ぜざること（三）南北兩派の一方に偏する如き不公平の態度を棄てること（四）南北兩派の福利を圖ること、を非公式に發表した

◇東京電工會社の創立
同社（資本金五十萬圓）は本日創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役正親町公和、川本市太郎、中村昌二、長谷川木一、▽監查役谷村金吉、飯田健次郎

◇獨逸の休戰提議を米國拒絕す
本月六日獨逸政府から米國大統領宛の休戰提議に對し、米國大統領は獨逸軍がその侵入せる全領土から悉く撤退しない限りは休戰に應じ難い旨回答した

◇東京商業會議所會頭中野武營死去
東京商業會議所中野武營は本日死去した。享年七十一。香川縣に生れ、官途に就いたが明治十四年大隈重信の下野に從つて官を辭し、立憲改進黨創立に盡力、國會開設以來東京選出衆議院議員となること八回、しかも財界一方の巨頭として活躍し、東京株式取引所頭取、關西鐵道會社々長、東京市會議長を歷任、その他公私の團體、會社に關係するところ頗る多かつた

九日（水）

◇段祺瑞、國務總理を辭任
支那國務總理段祺瑞は本日辭表を呈出し、

内務總長錢能訓が國務總理を兼任することゝなつた

◇獨比利亞政府、外人企業を排斥

西比利亞政府は露國の事業に外國人を參與せしむる目的を以て露人と外國人との間に締結した契約及外國人の獲得した利權を無效とし鑛其他鑛物の輸出を禁じ、又許可なくして開業せる外國銀行を閉鎖する條例を發布した

十日（木）

◇輸出莫大小製品取締規則の改正

本日農商務省令により輸出莫大小製品取締規則中「靴下」の下に首卷、腹卷、ジヤケツを追加の旨公布された

◇徐世昌の大總統就任式

徐世昌は本日北京にて支那大總統就任式を擧行した

十一日（金）

◇村井汽船、支那沿岸航路に進出

村井汽船會社は富士丸、筑波丸、佐川丸、神吉丸の四隻を以て神戸を起點とし、大連、芝罘、牛莊、青島、上海、汕頭、厦門、廣東、香港に寄港する支那沿岸航路を開始するの認可を得た

◇佛國商業會議所横濱に設立

佛國商業會議所は日本政府の許可を得て横濱に設立と決定、會頭に駐日佛國大使ドラタイが推薦された

十二日（土）

◇臨時國庫證券一千萬圓發行

政府は本邦業者が露國政府に軍需品を賣却し、其の代金として受取り所有せる留紙幣、公債其他露國政府證書に對し引換交附をなすため二分利附臨時國庫證券一千五十七萬圓を發行した

◇北海道拓殖債券五百萬圓發行

北海道拓殖銀行では、產業資金調達の目的で第三十六回拓殖債券五百萬圓を大要左の條件で發行した

▽利率年七分▽發行價格額面▽償還方法大正十年十一月三日迄據置以後十七ケ年內に毎年二回抽籤償還

◇硅滿土工業會社の創立

同社（資本金七十五萬圓）は創立總會を開き左記役員を選任した

▽取締役赤松範一（社長）、横田保兵衞、瀧野覺、村上賢二、三橋四郎次、川崎友之助、市川安平▽監査役伊藤和三郎、川崎友之助、市川安平

十四日（月）

◇獨和戰爭から株式暴落

媾和接近觀念から本日の東株市場は戰時株平和株共に三四圓乃至十圓方暴落、新東先物は後場大引百六十三圓二十錢と六圓五十錢安となり、十五日は遂に休會するに至つた

◇日本紙器會社の四倍增資

同社は臨時總會を開き、資本金二百五十萬圓を一千萬圓に增資の件を可決した

◇獨逸の休戰提議再び拒絕さる

獨逸は本月十二日附對米覺書で獨軍撤退を條件に休戰を申込んだが、米國は該條件を誠意あるものと認めずこれを拒絕した

十五日（火）

◇當座貸越利子の引上

東京市內一流銀行は當座貸越利子を最高二錢一厘に引上げた

◇アムール鐵道を日本で管理

日本は當分の間アムール鐵道の支配權を執ることゝなつた

◇ジヨホール護謨栽培會社の八倍增資

ジヨホール護謨栽培會社（資本金二十五萬圓）は臨時總會を開き、資本金を二百萬圓に增加の件を可決した

十六日（水）

◇外交調査會委員の嘱任式

臨時外交調査會委員として外務大臣內田康哉、陸軍大臣田中義一、前首相寺內正毅、前外相後藤新平が親任された

◇政府、爲替自然調節策を聲明

政府は從來の輸出貿易奬勵を主とする人爲的政策を廢し、爲替の自然調節策を採る旨聲明した

◇佛國四分利國防公債の發行

第四回佛國四分利國防公債は左記條件の下に日佛銀行東京支店で募集した

▽發行額無制限 ▽年利四分 ▽二十五ケ年間は借替せず▽發行價格七十法八十サンチーム▽拂込金特別換算率一圓に付三法（額面百法の拂込金二十三圓六十錢）▽締切十一月二十四日

◇東京貿易銀行の營業認可取消

同銀行（資本金十萬圓）は營業不振のため本日その營業認可を取消された

◇大日本紡織會社の創立

同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役藤山雷太（社長）、上野壽、小倉敬止、若尾謹之助、守谷吾平、望月怡治▽監査役安藤謙介、伊澤良立

◇帶圖鑛業會社の創立

同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役中澤彥吉（社長）、馬場善兵衞、八木原照之、馬場善兵衞、八木要三▽監査役若林與左衞門、臨田信吾、八木善助

◇鐵路製造會社の創立

橫濱市の鐵路製造會社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役田中岩吉（社長）、石井寬光（專務）小野哲郎、八木貞次▽監査役安井健二郎、淡中孝八郎、阿武忠助

◇日米借託會社の創立

資本金二千萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役菅原通敬（社長）、今西典二、中村房太郎、神田鐳藏、小池國三、荒井泰治、岩崎清七、デイー・エッチ・ブレーク▽監査役星野錫、大谷順作

◇獨逸國、聯邦に改組を宣言

オーストリヤ當局者は本日民族自決主義により、少數の獨逸人とマジヤール人とを以て他の多くの民族を制する一八六七年の二元的憲法を廢棄し、墺國帝國議會に代表された十七州の區劃を廢し、新にオーストリヤをドイツ人、チエコ・スロヴアキア人、ユーゴスラブ人及ルート人の四人種の自由民族から成る聯邦に改組、各民族に民族的議會を與ふる旨の勅令を發布した

十七日（木）

◇土耳古內閣の更迭

土耳古テウフイツ內閣は本日辭職しイゼツド・パシヤ內閣が成立した

十八日（金）

◇鑛出鉛筆同業組合聯合會の設立

鉛筆輸出額は大正四年十八萬九千圓であつたものが大正六年には二百十萬圓に上り、當業者中粗製品輸出をなす傾向あるに鑑み、統一的檢査をなすため本日日本輸出鉛筆同業組合聯合會創立委員會を開催、左の役員を選任し十二月一日から檢査開始に決定した

▽組長上條長次郎▽副組長拿大阪支部長鵜井庄次郎▽副組長拿東京支部長竹田錠次郎

◇米國鋼製品生產を制限

米國戰時產業局は十二月一日より向ふ六ケ月間不急品たる絹類一切の製造額を既往三ケ年の平均產額の四分の三に減縮すべき命令を

發した。そのため二十二日の横濱生糸定期市場は投物續出し、二節百五十四丁度と前日引値より九圓三十錢方暴落した

十九日（土）

◇興業債券五千萬圓の發行

日本興業銀行は滿蒙四鐵道借款の前渡金に擬當てるべき第二回政府保證興業債券を左の條件で發行した

▽發行總額五千萬圓▽發行價格九十四圓五十錢▽利率年五分五厘▽償還方法一ケ年据置後五ケ年間に隨時償還

◇チエコ・スロヴアキアの獨立

チエコ・スロヴアキア人は本日ボヘミヤの首府プラーグに國民會議を開き自族の獨立を宣言し、共和國を建設してマサリック博士を大統領に選擧した

二十一日（月）

◇大正海上火災保險會社の創立

同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役飯田義一（社長）、平生釟三郎（專務）山本悌二郎、小田切捨次郎、原富太郎▽監査役佐々木勇之助、小室三吉▽支配人飯沼剛一

◇日清生命保險會社の增額增資

同社は本日の臨時總會に於て資本金百萬圓を二百萬圓に增資の件を可決した

◇土佐セメント會社の設立

同社は臨時株主總會を開き現在の資本金五十萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇財團法人啓明會の設立

赤星鐵馬の寄附にかゝる啓明會（基金百萬圓）は特殊研究調査及著作を助成し、發明發見を奬勵する目的を以て設立したが、主要役員は次の通りである

▽顧問牧野伸顯▽理事長平山成信▽理事串田萬藏、小松謙次郎

◇水戸家の實立百十八萬圓

舊水戸藩主徳川頃順侯爵家の實立は本日東京美術倶樂部で入札されたが、總額百十八萬圓悟最高に達した

二十五日（金）

◇日東電氣工業會社の設立

同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役稻村藤太郎（社長）、萩原芳明、本間鐵藏、澤崎寛猛、渋川正信▽監査役早川元次郎、鳥谷部末治、高島伊平

◇大日本製糖、朝鮮製糖を合併

大日本製糖會社（資本金一千八百萬圓）は臨時總會を開き、朝鮮製糖會社（資本金五百萬圓）を合併し、日糖株五萬株（二百五十萬圓）を增加、朝鮮製糖株二株に對し一株を割當てる件を可決した

◇高岡共立銀行、高岡實業銀行を合併

高岡市の高岡共立銀行（資本金三百三十萬圓）は本日臨時總會を開き、同地の高岡實業銀行（資本金二十萬圓）を合併する件を可決した

◇支那交通部の電話擴充借款成立

支那政府交通部と中日實業會社との間に本日左の條件を以て一千萬圓借款が成立したがその資金は興業、臺灣、朝鮮三銀行各二百萬圓宛、古河、住友兩銀行各百五十萬圓、第一銀行百萬圓の出資によるものである

▽總額一千萬圓▽用途電話擴張資金▽擔保北京、天津、漢口、南京、蘇州及上海南市各電話局▽利率年九分▽期限昭和二年十月二十五日

二十六日（土）

◇日本化學肥料會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役尾高次郎（社長）川原英敏（專務）久保秀外八名▽監査役西村義風、岡田健二郎外三名

◇十六銀行三百五十萬圓に增資

岐阜の十六銀行は本日の臨時總會に於て資本金百六十二萬圓を三百五十萬圓に增資の件を可決した

◇松本市、松本瓦斯買收に決定

松本市は松本瓦斯會社（資本金三十萬圓）を十一萬圓で買收することに決定した

二十七日（日）

◇北越製紙會社の借額增資

同社は臨時株主總會を開き現在の資本金七十五萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

二十八日（月）

◇私製補助金券の流通禁止

補助貨幣拂底のため東京市内の湯屋、八百屋、豆腐屋、藥屋等では釣錢代用として一錢二錢、三錢等の各種の私製金券を作つて流通させてゐたが、警視廳は紙幣類似證券取締法によつて發行を禁止することに決した

◇東洋帆布會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役尾高次郎（社長）川原英敏（專務）久保秀外八名▽監査役西村義風、岡田健二郎外三名

◇十六銀行三百五十萬圓に增資

岐阜の十六銀行は本日の臨時總會に於て資本金百六十二萬圓を三百五十萬圓に增資の件を可決した

◇松本市、松本瓦斯買收に決定

松本市は松本瓦斯會社（資本金三十萬圓）を十一萬圓で買收することに決定した

二十七日（日）

◇北越製紙會社の借額增資

同社は臨時株主總會を開き現在の資本金七十五萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

二十八日（月）

◇私製補助金券の流通禁止

補助貨幣拂底のため東京市内の湯屋、八百屋、豆腐屋、藥屋等では釣錢代用として一錢二錢、三錢等の各種の私製金券を作つて流通させてゐたが、警視廳は紙幣類似證券取締法によつて發行を禁止することに決した

◇東洋帆布會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役飯田義一（社長）、平生釟三郎（專務）山本悌二郎、小田切捨次郎、原富太郎▽監査役佐々木勇之助、小室三吉▽支配人飯沼剛一

◇日清生命保險會社の增額增資

同社は本日の臨時總會に於て資本金百萬圓を二百萬圓に增資の件を可決した

◇土佐セメント會社の設立

同社は臨時株主總會を開き現在の資本金五十萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇財團法人啓明會の設立

赤星鐵馬の寄附にかゝる啓明會（基金百萬圓）は特殊研究調査及著作を助成し、發明發見を奬勵する目的を以て設立したが、主要役員は次の通りである

▽顧問牧野伸顯▽理事長平山成信▽理事串田萬藏、小松謙次郎

◇水戸家の實立百十八萬圓

舊水戸藩主徳川頃順侯爵家の實立は本日東京美術倶樂部で入札されたが、總額百十八萬圓悟最高に達した

二十五日（金）

◇日東電氣工業會社の設立

同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役稻村藤太郎（社長）、萩原芳明、本間鐵藏、澤崎寛猛、渋川正信▽監査役早川元次郎、鳥谷部末治、高島伊平

◇大日本製糖、朝鮮製糖を合併

大日本製糖會社（資本金一千八百萬圓）は臨時總會を開き、朝鮮製糖會社（資本金五百萬圓）を合併し、日糖株五萬株（二百五十萬圓）を增加、朝鮮製糖株二株に對し一株を割當てる件を可決した

◇高岡共立銀行、高岡實業銀行を合併

高岡市の高岡共立銀行（資本金三百三十萬圓）は本日臨時總會を開き、同地の高岡實業銀行（資本金二十萬圓）を合併する件を可決した

◇支那交通部の電話擴充借款成立

支那政府交通部と中日實業會社との間に本日左の條件を以て一千萬圓借款が成立したがその資金は興業、臺灣、朝鮮三銀行各二百萬圓宛、古河、住友兩銀行各百五十萬圓、第一銀行百萬圓の出資によるものである

▽總額一千萬圓▽用途電話擴張資金▽擔保北京、天津、漢口、南京、蘇州及上海南市各電話局▽利率年九分▽期限昭和二年十月二十五日

二十六日（土）

◇日本化學肥料會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役林田龜太郎（社長）、岡田朝太郎、岡部義貫、高本七郎、横内西八郎外二名▽監査役野出龜喜、江橋活郎、松平健雄

二十九日（火）

◇飛行機製作技術者を佛國に派遣

東京、大阪兩砲兵工廠及軍用氣球研究會では、今回技師、職工三十名を佛國西に派遣し飛行機及び發動機の製作組立の實地研究をなさしめることに決定した

◇裝甲車初めて東京に來る

英國陸軍から寄贈された裝甲車一臺は新潟丸で二十四日横濱に入港、本日汐留驛から青山練兵場に到着し、三十日から三日間ブルース中佐操縱のもとに一般に公開された

◇小幡酉吉支那公使に任命さる

小幡酉吉は林權助公使の後任として駐支特命全權公使に任命された

◇ハンガリー國の獨立宣言

ヨセフ太公は、ハンガリー國は墺地利國から分離獨立した旨宣言した

三十日（水）

◇憲政會、通貨收縮を强調

憲政會は本日政務調査會を開き、物價暴騰の主因は通貨の膨脹にあり、今日の物價騰貴を抑制するには十五億に達してゐる通貨を收縮する必要があるとなし、政府の注意を促す旨の決議を採擇した

◇外米輸入稅免除の勅令公布

米價調節のため政府は本日の官報號外を以て米及籾の輸入稅を大正八年十月三十一日まで免除する旨の勅令を公布した

◇大福丸の記錄的な短期間竣工

神戸川崎造船所で建造の大福丸（九千六百噸）は起工以來僅か二十三日間にして竣工、本日進水式を擧行したが、これは世界造船界の竣工記錄を破つたものである

◇土耳古遂に降伏す

同盟側の土耳古と聯合國との間に休戰條約調印が行はれ、土耳古は聯合國に對してボスポラス、ダーダネルス兩海峽の自由航行及ダーダネルスの各要塞占領を許し、アルメニア人解放を承認した

【十一月】

一日（金）

◇關東機械ナット製造會社の創立
同社（資本金百萬圓）は本日創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役　渡邊亨（社長）、谷重彦、加倉井卯之吉、田中四郎左衞門、鈴木錠藏、稻田龍夫郎▽監査役黒田善太郎、浦邊襄夫、大塚金兵衞

◇米國自由公債應募額六十八億弗
米國大藏省發表によれば第四回自由公債募集額六十億弗に對し、應募額は六十八億六千六百萬弗に達した

二日（土）

◇日本銃鐵株を淺野總一郎に讓渡
小倉市に工場を持つ日本銃鐵會社（資本金百五十萬圓）の株式全部は一株（二十五圓拂込）八十圓の價格を以て本日社長守谷吾平の手を經て淺野總一郎に讓渡された

三日（日）

◇山口線の一部開通
山口線の一部三谷、德佐間七哩が開通した

◇キール軍港を反戰水兵占拠
獨逸キール軍港に碇泊中の軍艦及陸上に水夫の暴動が勃發し、四日にはキール軍港及造兵廠を占領、五日同港内の全艦船は暴徒の手に歸したが、直接原因は職意全く汎爽した水兵が出港を拒絶して士官と衝突したためである。革命の波は六日ウイルヘルムハーフェンに及び、八日にはハンブルグが革命派に支配されるに至つた

四日（月）

◇南亞公司、鳥來護謨を合併
同社（資本金百萬圓）は臨時株主總會を開き、馬來護謨栽培會社（資本金五十萬圓、拂込十八萬圓）を合併し、百二十五萬圓に增資する件を可決した

◇伊墺休戰條約の調印
十月二十四日から開始された伊太利軍の總攻撃に、二百萬の墺地利軍は捕虜四十萬に及び、火砲七百門を失つて大敗、本日休戰條約に調印し無條件に降伏した

◇元宮相土方久元死去
元宮相土方久元伯は本日八十六歳を以て死去した。伯は高知藩に生れ維新後太政官に出仕し、内務少輔、内閣書記官長、農商務大臣、宮内大臣を歷任、明治二十八年伯爵に陞叙、現に帝室臨時編輯局總裁、國學院大學々長等の職にあつた

五日（火）

◇日本水電會社の創立
日本水力電氣會社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役松方乙彦（社長）、久保猶彦（專務）伊知地鍛、愛甲彙達、中山晉▽監査役久保勇、南鄕三郎、男爵島津伸丸

◇日本製粉神戸工場の火災
日本製粉會社神戸工場に火災起り同工場及製品十五萬袋、原料小麥十萬袋を燒失し、損害約百萬圓に上つた。保險會社の損害は倉庫中の商品に對する十三萬圓で、共同、千代田東京火災、横濱火災、大阪火災及外國保險會社の分擔契約である

六日（水）

◇再輸出品の一部禁止
農商務省は内地產業保護のため左記品目の再輸出を禁止する旨本日の官報で公布した
▽硝石、青化加里、青化曹達、青化加里又は青化曹達を含む青化鹽類、錫を鍍したる鐵及鋼板

七日（木）

◇全國製絲業大會の總會決議
全國製絲業大會を横濱に開き、本年十二月一日から三十日間休業すること、製絲工女の爭奪をしないこと等を決議した

◇鳥羽造船所職工の暴動
三重縣鳥羽町の鳥羽造船所職工約二百名は本日午後五時半頃退出時刻に二隊に分れて沿道各商店の窓硝子、門燈等を破壞、暴行を演じたが、原因は物價騰貴の折柄同造船所の發展につれて暴利を貪る商店が多いのに不滿を持つたためで、直接原因は風紀の暴戾にあつたといはれる

八日（金）

◇北海道拓殖債券百五十萬圓追加發行
北海道拓殖銀行は前月第三十六回拓殖債券五百萬圓を發行した處、應募額十五倍に上つたため、更に同一條件で第三十七回拓殖債券百五十萬圓を追加發行した

九日（土）

◇獨逸皇帝退位、和關に聽聖
獨逸皇帝ウイリアム二世の退位は本日宰相バーデン公マックス署名のもとに布告、獨帝は隨員五十名と共に自動車で十日朝大本營地スパーよりオランダに遁れてアイスデン驛に達し、十一日ベンチング伯所有のアメロンゲン古城に入つた。又獨逸聯邦諸王も相次いで退位した

十日（日）

◇獨逸小濱線の開通
十村小濱間十二哩五分は本日から開通した

◇獨逸エーベルト內閣成立
獨逸宰相マックス辭職し、エーベルト社會黨內閣が成立した

十一日（月）

◇佛債五千萬圓を引受發行
佛國政府同拂岡庫債券五千萬圓は大要左の條件で東西シンヂケート銀行引受發行に決定本日發表されたが、これは我國に於ける佛國政府の支拂金に充當せられるものである
▽總額五千萬圓▽期限三ケ年▽利率年六分▽發行價格百圓に付九十八圓▽申込金額額面千圓以上▽償還期日大正十年十一月二十五日

◇獨逸休戰條約調印
獨逸、聯合國、獨逸間に休戰條約調印が行はれ、敵對行動は午前十一時に停止された。同條約は獨軍に對して大要左記の事項を要求するものである

（一）休戰期間は十一月十一日から三十日間
（二）アルサス・ローレンを含む其他占領地からの撤退（三）ライン左岸からの撤退（四）兵器、車輛、艦船、航空機の引渡（五）ブレストリトウスク及ブカレスト條約の破棄（六）黒海沿岸からの撤退（七）聯合國商船の返還（八）アフリカ獨軍の無條件降伏

◇ハプスブルグ家の沒落
本月一日國都を退去した墺國皇帝は本日正式に退位の詔勅を發した

十二日（火）

◇日本車輛製造會社三百萬圓に增資
同社は株主總會を開き資本金二百三十萬圓を三百萬圓に增資と決定した

十三日（水）

◇セルロイド製品輸出取締規則の公布
本日農商務省令を以て公布された同規則の趣旨は、セルロイド製品中輸出額の大部分を占める櫛、玩具に對し本年十二月十五日以後は同業組合若くは同業組合聯合會又は道府縣の檢査又は地方長官の認可を受けて、別に定める檢査標準に合格したものに限り營利を目的とする輸出を許可するものである

◇戰績景氣で株式市場奔騰

獨逸の無條件屈服と英米諸市場の戰捷景氣を入れて東株市場は前日に引續き諸株一齊に暴騰、東株先物前場大引二百十七圓五十錢、新東同百八十六圓五十錢と前日に比し夫々二十圓、二十一圓六十錢方奔騰、前々日に較べると各々三十九圓、四十三圓方の暴騰振りであつた。又東京綿糸は先物三百五十四圓と二十七圓高、横濱生糸も前日からの定期高をうけて、現物武州格の如きは五十圓高を唱へた

十四日（水）

◇綿糸四十圓方の大暴落

本日の東京綿糸市場は米棉安と三品の暴落且後場立會停止の報に人氣惡化し、前場大引は各期共二十八圓六十錢乃至四十圓方崩落したが、後場に至つて人氣やゝ回復した。尙先物前場大引は三百十圓丁度であつた

◇日東製糖會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役岩崎清七（社長）、小林榮吉（專務）大澤龍衛、栗原峰吉、高津久右衞門、南波德吉、五十嵐益太郎▽監査役太田利兵衞、川田仙吉、藤田昆直

◇英國、輸出禁止緩和を發表

英國は本日輸出禁止緩和を發表したが、その結果日本への輸出が自由となつたものは大要左の如くである

▽工業用ダイヤ、ルビー、サファイヤ、革手袋、ベルト、石炭酸、コールタール、クレオソート、工業用爆藥、グリセリン、ナフタリン、硝酸鹽、鉛筆、寫眞用インク、曹性ソーダ、酒精、岩鹽、セルロイド製品、炭酸曹達、鹽化亞鉛、硫酸亞鉛、サルチル酸、毛氈

十五日（金）

◇日本郵船の地中海航路復活

休戰條約成立と共に獨逸潛水艇の脅威が消えたので、日本郵船會社では喜望峰廻りの歐洲航路を廢し、地中海經由の航路を復活することゝなり、本日神戸出帆の當盤丸が第一船として倫敦に向つた

◇東京市臨接地に公設市場設置

東京市の隣接地區に東京府督の公設市場が設置されることゝなり、品川東海寺前、澁谷市電終點、惠比壽驛前、日暮里金杉空地、新宿花園小學校前、寺島村曳船通廣場の六ケ所は本日開場した

◇歐洲大戰の戰費と戰死者數

在紐育田財務官から高橋藏相宛の來電によると歐洲大戰の計數は次の如くである

▽交戰國數甲聯合國側二十四國、乙敵國側四國▽動員兵數甲二三、五〇〇、〇〇〇人乙二〇、〇〇〇、〇〇〇人▽戰死兵數甲四、四〇〇、〇〇〇人、乙二、六八五、〇〇〇人▽重傷兵數甲三、二二五、〇〇〇人乙一、九五〇、〇〇〇人▽戰費甲九九〇億弗、乙四八〇億弗▽戰爭期間一、五六七日間

十六日（土）

◇東京罐詰商同業組合の設立

東京市内の罐詰原料商、製造業者、販賣業者からなる東京罐詰商同業組合は本日創立總會を擧行した

◇ロイド保險率の引下

休戰により海上危險が去つたゝめ、ロイド保險率は一般航路一厘二毛五（百圓につき十二錢五厘）北海航路二厘五毛に引下げられた

◇墨西哥、金本位制を採用

墨西哥は銀貨流出多額なるため金本位制を採用した

十七日（日）

◇東亞電氣航運會社の借額增資

同社は臨時總會を開き資本金百二十五萬圓を二百五十萬圓に增加することに決定した

十八日（月）

◇パナマ領事館の設置

パナマに帝國領事館を設置し本日開館した

◇戰時海上再保險料の引下

休戰の結果農商務省は戰時海上再保險法による保險料率の引下を本日發表したが、重なるものは左の如し（括弧内は舊料率）

▽南阿經由日本倫敦間三十錢（二圓三十錢）▽同蘇土經由六十錢（五圓五錢）▽日本紐育間五錢（五十五錢）▽日本馬耳塞間三十錢（三圓八十五錢）▽日本孟買甲谷陀間五錢（四十五錢）▽日本漆洲間五錢（五錢）▽日本沙市間五錢（五錢）

◇山下汽船、臺灣横濱定航開始

山下汽船會社は臺灣糖積取を一手に引受けたのを機會に、横濱、臺灣間の定期航路を開始、第二朝香丸（二八〇〇噸）及第十三共同丸（二八〇〇噸）を以て毎月一回の航海をなすに決し第一船朝香丸は本日横濱を出帆した

二十日（水）

◇歐洲大戰參加の帝國艦艇發表さる

海軍省公表によれば、十一月十一日對獨休戰條約調印當日に於ける帝國遣外艦艇の所在に概ね左の如し

▼地中海方面▽モルタ港、裝甲巡洋艦出雲、韓逐艦桂、楓、檜、柳、假裝砲艦東京、西京▽タラント港、韓逐艦柊、榊、桃、梅、松▽ポートサイド港、韓逐艦柏、杉、楠▽アレキサンドリヤ港、韓逐艦檜、欅、槻▼印度洋支那海方面▽新嘉坡、裝甲巡洋艦磐手、巡洋艦矢矧、明石、韓逐艦水無月、菊月、卯月、長月▽ペナン港、砲艦最上▽印度洋、裝甲巡洋艦日進▽南阿サイモンスタウン、巡洋艦新高

▼布哇方面、裝甲巡洋艦浅間

▼南洋群島、砲艦淀

▼露領沿岸▽浦鹽、戰艦三笠、香取、鹿島、裝甲巡洋艦阿蘇、砲艦千早、韓逐艦海風、響、白雪、松風、野分、霰

▼支那方面揚子江筋、巡洋艦須磨、砲艦鬱、峨、宇治、鳥羽、伏見、隅田

二十一日（木）

◇大日本木管會社の借額增資

同社は本日の株主總會に於て資本金百五十萬圓を三百萬圓に增資の件を可決した

◇米棉の輸出制限撤廢

米國政府は十二月二日以後、日、英、佛、伊、白の諸國向け米棉の輸出制限を撤廢する旨本日發表した

◇獨艦、英國に引渡さる

獨逸戰闘艦九隻、戰闘巡洋艦五隻、輕巡洋艦七隻、韓逐艦五十隻はアイル・オブ・メイの東方六十哩の沖合で英國側に引渡された

二十二日（金）

◇期米市場大爆發相場を續ず

前日一圓方の奔騰を見せた東京期米市場は各地の一齊高と正米暴騰につれて中限二百十一丁高の三十八圓四十錢、先物八十丁高の三十六圓三十錢と何れも大爆發相場を演じて寄付いたが、中限は三十七圓と安値引け、先限も四十九錢と上進した後、三十六圓三十九錢に引けた

◇瓦斯値上案、東京市會へ提出さる

田尻東京市長は本日の市參事會に瓦斯料金値上案を提出したが、同提案は（一）瓦斯會社の要求は當分の内瓦斯料金一千立方呎に付金一圓の引上なるもこれを九十錢に止めること（二）引上料金は大正八年一月一日以後に於て適用せしめること（三）會社は株主に對し年九分を超過する利益配當を爲し得ざること（四）

災價低落の場合は料金引下げに應ずること、の四項である

二十四日（日）

◇大戰中の計畫資本四十六億六千萬圓

日銀調査によれば大正四年一月から本年十月迄の我國計畫資本總額は四十六億六千八百九十二萬圓に達し、主要なものは製造工業十五億五千萬圓、商業其他十億圓、鑛業五億一千萬圓、銀行業四億七千萬圓、造船業三億八千萬圓、電氣業二億九千萬圓等である

二十五日（月）

◇日本銀行の利上

開戰以來對外債權の增加につれて之を引當てに通貨の膨脹著しく、一面休戰と共に財界は漸く反動期に入らんとするに鑑み、日本銀行は公定割引歩合を左の如く夫々二厘方引上げた

▽商業手形割引歩合日歩一錢八厘▽國債を擔保とする貸付利子及國債を保證とする手形割引歩合日歩一錢八厘以上▽國債以外のものを擔保とする貸付利子及國債以外のものを保證とする手形割引歩合日歩一錢九厘以上▽當座貸越及コルレスポンデンス貸越利子日歩二錢一厘

◇東京市米騷動事件の公判

都下米騷動の被告山本清外二百六十九名に又、暴擧事件の公判は、本日かゝる强盜、放火、東京控訴院刑事第三號法廷に於て田山裁判長審理の下に開かれた

◇鹽方專賣實施調查

造船材料輸入のため渡英中なりし神戸川崎造船社長松方幸次郎は本日橫濱入港の東洋汽船泰洋丸で歸朝したが、英、佛、伊各國の名畫六百枚（價格六百萬圓）を買入れた、と語つた

二十六日（火）

◇日本郵船證券六割を可決

日本郵船會社は本日臨時總會を開き六割配當を可決した

◇勳僚許營護論の調令發せらる

內務、大藏、遞信、農商務四大臣連署を以て本日各地方長官に通牒、平和克復に當り健全なる國家の伸暢を期するため一般國民に對して自發的消費の節約を促し、餘財を蓄積して生產資金の增殖を圖り、以て戰後の經營に資すると共に生活安定を期すべく最善の努力をなすやう調令を發した

◇米國、鐵嚴兵に援護援助

米國勞働省は除隊兵を適當な職業に就かしめるため全國各地の兵營に米國授產局の代表者を配置することゝした

二十七日（水）

◇鉛出鉛筆取締規則の公布

鉛筆の粗製のため海外需要地に非難があるのに鑑み、農商務省は本日省令を以て輸出鉛筆及鉛筆芯取締規則及檢查標準を公布、鉛筆又は鉛筆の芯は同業組合若くは同業組合聯合會又は道府縣の檢查に合格したもの以外は輸出することを禁止し、大正八年一月一日から實施することゝした

◇媾和會議の帝國全權委員決定

媾和會議の帝國全權委員は侯爵西園寺公望男爵牧野伸顯、駐英大使子爵珍田捨巳、駐佛大使松井慶四郎に決定した

◇東西銀行、現金競爭回避を協議

東京銀行集會所に於て東西銀行家の協議會を開き預金競爭を回避するため適當なる協定率を定めると共に何等かの制裁方法を設けることを申合せた

二十八日（木）

◇皇室典範增補の公布

皇族女子は王族又は公族に嫁することを得

との皇室典範增補が本日の官報號外で公布された

◇製絲操短實行中止に決定

本月七日全國製絲業大會で決議した製絲操短は、其後休戰條約成立し、米國の產業制限令も一部解除され、決議當時とは大いに情勢が變つて來たので、その實行を中止することに決定した

◇米國、對日貿易統制を實施

米國戰時通商局は日本への輸出並に日本よりの輸入に關し左の如く發表した

▽統制鐵及び其製品に自由輸出特權を與ふ▽試力は普通制限により特許を與ふ▽寄性書達は自由檢出▽毛羢（日支から）輸入は一ヶ月五十噸以內▽船積に關する九十日間の制限を撤廢す

二十九日（金）

◇我國に收容中の獨墺捕虜數

習志野、名古屋、青野原、板東、似島、久留米の各收容所に抑留した獨墺捕虜數は四千六百十一名であつたが、死亡者四十七名、逃亡者六名、釋放者三十三名を出した結果、現在數は左の如くである

▽獨逸側將校同相當官二〇四人、準士官同相當官二一六人、下士五八九人、卒三二二七人、合計四二三六人▽墺地利側將校同相當官九人、準士官同相當官一一人、下士六五人、卒二〇四人、合計二八九人

◇臨時國庫證券一千六百萬圓發行

臨時國庫證券發行に關し本日の官報を以て左の如く發表された

▽發行額一千六百三十二萬七千二百七十五圓▽發行價格額面▽利率年二分▽償還期限大正八年六月三十日

◇綿漬帆布會社の創立

同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役石塚彥輔（專務）、井坂孝、大濱忠三郎、長與程三、小西準三、清水卯吉▽監查役大谷宰之助

三十日（土）

◇男爵高橋新吉死去

男爵高橋新吉は本日七十六歲を以て死去した。麗摩藩の生れで、明治三年米國に留學、歸朝後大藏省出仕を振出しに、長崎稅關長、紐育領事、九州鐵道會社初代社長を歷任、その後日本勸業銀行總裁に轉じ、現に錦鷄間祇候であつた

◇日米護謨子會社の創立

大阪の日米板硝子會社（資本金四百萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した（日不詳）

▽取締役　大石公平（常務）、島定治郎、大屋敎、クラーレンス・シー・スミス▽監查役　田村八二、加賀愛次郎▽營業部長　中村文夫

◇四國水力電氣百萬圓に增資

同社（資本金二百八十二萬五千圓）は、臨時株主總會を開き、五百萬圓に增資をする件決定した（日不詳）

【十二月】

一日（日）

◇靴組業者大會、英國の輸入解禁貫成決議

全國靴組業者大會を本日橫濱に開催、輸出靴組年產額が一千萬圓に達した今日、英國の輸入禁止は致命的打擊であるとし、その解禁達成を期することを決議した

◇川俣羽二重の絲業破綻

福島縣の川俣羽二重暴落のため一疋に對し一圓以上の缺損を見るに至つたので、川俣信用組合では大會を開き、本月四日から市況回

復迄一ケ月約八千足の割合で操短を行ふことを決議した

一二　日（月）

◇五國團より支那に和平勸告

支那南北妥協につき、北方軍閥の一派と南方廣東國會の桝蝟派が和平機運を妨げる行動あるに鑑み、日本政府は英、米、佛、伊の諸國と共に本日北京政府及廣東軍政府に對し和平勸告覺書を交附した

一三　日（火）

◇對支借款、西比利亞投資の新方針告示

政府は、支那國内の政局に紛糾を加ふる虞ありと認められる借款其他財政上の援助を差控へ、又民間資本家が支那及西比利亞方面に對し苟も政費を融通することゝなる虞ある借款又は類似の交渉を開始するに當つては、必ず當局の指示を受くるを要する旨の新方針を公表した

◇内外興業會社の創立

同社（資本金四百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役若尾璋八（社長）、藤原俊雄（專務）加納萬次郎、森一兵、橋本信次郎、池田寅治郎、林五郎▽監査役金子元三郎、町田豐千代、澁田正吉

◇帝國蓼酒會社の借額增資

同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金二百萬圓を四百萬圓に增資と決定した

◇大阪に綿糸織品商の破綻續出

大戰終了と共に染料、工業藥品及醫藥品の暴落と金融不如意のため資金運轉不能となりた結果、大阪の當業者に先物契約破棄續出した結果、大阪の當業者に及んだが、小西喜代松經營の合資會社關寧洋行は資産一千二百萬圓に對し負債一千七百三十萬圓、中山寅太郎經營の中山合名會社（資本金十萬圓）は負債百二十萬圓に達し破綻を暴露した

四　日（水）

◇大戰中の我が諸拂込三十億圓

日本勸業銀行調査によれば大正三年八月から大正七年十一月に至る世界大戰中我國の國債、地方債、社債及株式の諸拂込累計は三十億一千二百九十萬圓に達し、そのうち株式十五億三千五百萬圓、國債九億六千五百五十萬圓、地方債七千九百七十萬圓であつた

◇米國、羊毛類輸出を許可

米國政府は羊毛、駱駝毛、アルパカ、カシミヤ等の毛類及その製品、豚硬毛の未製品及製品の輸出を許可した

五　日（木）

◇輸出生絲崩落す

輸出生絲崩落し、信州上一番一千五百圓丁度と一擧七十圓安を稱へた

◇鹿兒島電氣工業瓦斯會社の三倍增資

鹿兒島の同社は臨時株主總會を開き、現在の資本金五百萬圓を一千五百萬圓に增資と決定した

◇松澤家の變立九十九萬圓

松澤孫八の藏品は東京美術倶樂部に於て開札、利久所持四方釜六萬六千九百圓を最高に總額九十九萬七千圓に達した

◇英國の綿及鋼製品輸出解禁

英國は綿及鋼製品の輸出禁止を解除した

六　日（金）

◇早川ビルブローカー銀行の創立

同行は資本金二百五十萬圓を以て創立された。重役は左の如し

▽取締役早川芳太郎（專務）、早川佐七、早川松之助▽監査役早川周之助、早川章次郎

◇神戸德本造船所の閉鎖

神戸市の橋本造船所は事業不振のため職工

五百二十三名を解雇して閉鎖した

◇伯林に反政府騒亂勃發

スパルタクス團はエーベルト政府顚覆のため伯林に擾亂を起したが失敗に歸した

◇米國、輸出禁止の一部撤廢

米國戰時通商局は（一）合金金屬其他（二）革類（三）苛性曹達（四）電氣裝置其他炭素電極等の輸出解禁を發表した

◇戰時中喪失の世界船舶數公表

本日倫敦で公表された處によれば、大戰中に喪失した世界船舶總噸數は一千五百五萬三千七百八十六噸、同期間中建造せられた新船舶は一千八十四萬九千五百二十七噸、敵國から捕獲した分二百三十九萬二千六百七十五噸差引純喪失百八十一萬一千五百八十四噸である。この内英國船喪失は五千六百二十二隻、九百三萬一千八百二十八噸に達してゐる

七　日（土）

◇八幡製鐵所の鐵製品賣出禁止內定

英米の鐵輸出解禁のため我が鐵市場は全く混亂に陷り、棒鐵の如きは大戰中の十六圓から七圓前後に低落し、大阪鐵商の破綻續出するに至つたので、八幡製鐵所は人氣落着まで鐵製品賣出をなすことに内定した

◇松下商店の組織變更

大阪の松下善四郎商店は資本金百萬圓の株式會社に組織を變更、左の役員を選任した

▽取締役櫻井勝藏、岩井清七、櫻井幾太郎今井直光▽監査役松下善四郎、松下千秋

◇京綏鐵道第一次借款成立

支那政府は京綏線豐儀以西幹線の建設工事及材料費に充當するため、左の條件を以て我が東亞興業會社との間に三百萬圓の借款を締結した

▽契約額三百萬圓▽擔保京綏鐵路局民國七年七月發行第五期九分利付公債三百五十萬元及び北京政府交通部保證▽利率年九分▽償還期限大正十二年十二月十日

八　日（日）

◇大阪商船の歐洲航路開始

同社は歐洲航路を開始し、第一船あるたい丸（九千噸）は本日横濱を出帆した

九　日（月）

◇生絲賣金利子の引上げ

横濱組合銀行は生絲擔保貸越利子及生絲前貸金利子を各一厘方、有價證券擔保當座貸越利子を二厘方引上げた

◇鬧田川精鐵會社の創立

清岡榮之助經營の鬧田川精鐵所は、資本金三百萬圓の株式會社に改組、左の役員を選任した

▽取締役平松末吉（會長）、清岡榮之助（專務）、石橋周也、鈴木寅彦、武和三郎▽監査役、袴田喜四郎、勝田孟矩

◇松平家の賣立六十五萬圓

舊島原藩主松平子爵家の藏品賣立は、本日東京美術倶樂部に開札、總賣上高六十五萬圓に上つた

十　日（火）

◇靖和使節牧野男一行の出發

機和全權委員男爵牧野伸顯一行は巴里に開催の媾和會議出席のため横濱出帆の天洋丸で出發した一行の主なる者は左の如し

▽外務書記官松岡洋右、佐分利貞男、吉田茂、木村銳市▽外務事務官有田八郎、重光葵▽陸軍中將奈良武次▽海軍中將竹下勇▽法學博士立作太郎▽實業家近藤廉平、深井英五、鷲井菊三郎、喜多又藏

◇臨時國庫證券四千萬圓發行

政府は爲替資金調達のため、預金部引受により、臨時國庫證券四千萬圓を、割引日歩一錢六厘、大正八年六月十日償還の條件で發行

した

◇對支借款一千萬圓借替成立
大正七年一月六日北京に於て支那政府が横濱正金銀行から借款した第二次善後借款第二回前貸金一千萬圓は本日更に一ヶ年間借替の契約成立した

◇東洋拓殖債券五百萬圓の發行
第五回東洋拓殖債券五百萬圓は、年利六分五厘、發行價格百圓に付九十八圓、二ヶ年据置後五ヶ年に抽籤償還の條件で發行された

十一日（水）

◇臺灣銀行會社の創立
資本金三百萬圓を以て臺北に創立された同社は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役 喜多又藏（社長）、河崎助太郎、矢野敬太郎、後宮信太郎、明渡知瑯太郎、谷藤次郎▽監査役 加島安治郎、藤山雷太、林賢徳

十二日（木）

◇東京組合銀行の預金利率協定
東京組合銀行は預金爭奪防止のため預金利率を協定、標準利率を定期年五分五厘、當座日歩八厘、特別又は小口當座日歩一錢二厘に定め、顧客其他の取引關係で已むを得ない場合は甲種銀行は定期年五厘以内、當座日歩一厘以内、特別又は小口當座日歩二厘以内、乙種銀行は定期年七厘以内、當座日歩三厘以内、特別又は小口當座三厘以内の特別利率を附し得ることゝし、この協定に違反した加入銀行は除名することに決定、本日から實施した

◇東京綿絲紡績會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は本日創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役 鈴木久次郎、大葉久吉、松島肇、三好榮次郎、堀田金四郎、安川政太郎、伊藤忍三、藤野正平、松田市太郎、菊池武夫、鈴木錠藏

◇北濱銀行事件被告の控訴判決
北濱銀行事件被告等の控訴に對し、大阪控訴院に於て審理中のところ本日判決あり、岩下清周は懲役六年を言渡された

十三日（金）

◇對獨休戰期間延長さる
聯合國對獨逸休戰條約條件の實施未了のため、休戰期間を大正八年一月十七日迄一ヶ月間延長する協定が成立した

十四日（土）

◇東京モスリン一千萬圓に增資
同社は臨時總會を開き、資本金四百萬圓を一千萬圓に增資の件を可決した

十五日（日）

◇中央電氣會社三百萬圓に增資
同社（舊越後電氣、資本金百三十萬圓）は株主總會を開き、資本金百七十萬圓を增資し三百萬圓とする件を可決した

十六日（月）

◇山下鑛業會社の創立
同社は資本金二千萬圓を以て神戸に設立、本日創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役山下龜三郎（社長）、林武平、櫻葉薫▽監査役鍔谷正輔、畑茂

◇土佐、赤岡兩銀行の合併
高知市の土佐銀行（資本金二百萬圓）は同縣赤岡町の赤岡銀行（資本金三百萬圓）を合併し、資本金を五百萬圓に增加の件を株主總會で可決した

◇獨逸勞兵會、エーベルト政府を支持
獨逸全國勞兵會委員會は本日プロシヤ下院に開催され、エーベルト政府を信任し、憲法會議召集まで立法及行政權を臨時政府（人民委員會）に附與する旨決議した

◇米國、鐵類其他の輸出制限擴張
米國戰時通商局は小麥粉、大豆粉、麵麭、コーヤ粉、クラッカー、葡萄實等の輸出制限を撤廢した

十七日（火）

◇北海道鑛業鐵道會社の創立
室蘭に設立された同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役 橋崎平太郎（社長）、安東定治郎（專務）、安藤浩、堤清六、佐々木平次郎、渡邊孝平、横山長次郎、犬上慶五郎▽監査役 大葉久吉、三宅碩夫、青木要吉、松田助八、高橋本吉

◇北濱銀行一千萬圓に增資
同行は臨時總會に於て資本金四百萬圓を一千萬圓に增資の件を可決した

◇英國、金塊輸出の制限全廢
英國政府は鎳、銅、眞鍮、鉛及クローム鐵等の取引に對する制限を廢止した。これは金塊市場絶對的自由の恢復である

◇米國に銅塊出組合成立
米國の主なる銅生産者は本年四月發布のウエツブ法によりコツパー・エキスポート・アソシエーションを組織した

十八日（水）

◇黒崎電氣製作所の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役 松島肇、黒崎元三、山口文右衛門外六名▽監査役 深川重義、堀内辭治郎外三名

◇東京電燈會社一億圓に借額增資
東京電燈會社は本日株主總會を開き、事業擴張のため資本金五千萬圓を一億圓に增資する件を可決した

十九日（木）

◇東京期米四十圓に奔騰
東京期米當限は前場七節の三十七圓五十一錢から一氣に四十圓丁度と高進して引けた

二十日（金）

◇大阪商工業者の營業稅廢止決議
大阪稅制整理期成同盟會は大會を開き、商工業者約一千三百名出席、營業稅を廢止して綜合所得稅に統一することを期する旨の決議をなした

◇大分セメント會社の創立
同社は資本金三百萬圓を以て大分市に設立され、創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役小野駿一、坂井勘兵衛、楠本武俊、谷木晉、長野晉治、小林壽市、山本泰雄▽監査役伊藤傳右衛門、成清信愛、山口半七

◇小野村商店の組織變更
横濱の絹絲屑貿易商合名會社小野村商店は資本金百萬圓の小野村商事株式會社に組織を變更、本日創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役野口榮二、西村五郎、小柴宗次郎、稻葉三郎▽監査役樋口茂太郎、赤堀精一

◇豐國セメント會社の創立
豐國セメント會社は資本金五百萬圓を以て門司に設立され、本日創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役深川喜次郎、田上源太郎、松尾寛三、吉田久太郎、賓邊岩次郎、小畑秀吉、辻清、上杉松太郎、澁田見登▽監査役藤山雷太、大島小太郎、橋本喜造

二十一日（土）

◇玉川電氣鐵道二百五十萬圓に增資
同社は本日の臨時總會に於て資本金八十萬圓を二百五十萬圓に增資の件を可決した

二十二日（月）

◇新潟鐵工所五百萬圓に增資

同社は株主總會を開き、本年一月英國のマーリス・ビッカートン・エンド・デー會社からデーゼル機關の特許權を獲得したので、これが製造工場並に一般內燃機工場を建設するため、資本金二百萬圓を五百萬圓に增資する件を可決した

◇川北電氣企業會社の借額增資

同社は株主總會を開き、資本金三百萬圓を六百萬圓に增資の件を可決した

二十五日（水）

◇高等教育機關整備に一千萬圓下賜

高等教育機關整備のため御內帑金一千萬圓下賜の御沙汰があつた。尙翌二十六日文部省公表の整備案概要によれば、現在高等程度の學校收容力一萬六千二百人を二萬人に擴張するため官立高校十校、實業專門學校十七校、專門學校二校の新設及既設學校の擴張を行ひ又東京高商及醫學專門學校五校を單科大學に昇格、以降六ケ年間に總經費四千四百萬圓を以て完成せんとするものである

◇臨時軍需品代金決濟の臨時國債發行

政府は對露軍需品代金決濟のため臨時國庫債券百六十萬一千八百五十圓を年利二分、償還期限大正八年六月三十日の條件で發行する旨官報を以て告示した

◇米國、日本の提供船退還に決定

日本から米國に提供中の船舶二十三隻、十五萬一千二百九十三噸は、傭船期限到來と共に各部返還に決定したが、岸本汽船の目尾丸（四五〇〇噸）郵船の仁川丸（五五三〇噸）は喪失のため歸還は十四萬一千七百六十三噸である

◇滿蒙毛織會社の創立

東拓總裁石塚英藏を創立委員長とする同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役石塚英藏（社長）、前川邇、江藤豐二（以上專務）、荒井泰治、茂木惣兵衞、高橋虎太、栃內壬五郎、中谷庄兵衞、孫百斛▽監査役鳥定治郎、渡邊勝三郎、相生由太郎、高瀨梅吉、木幡泰三

◇東洋電氣會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立委員長とする同社の役員を選任した

▽社長河東田經濟▽取締役町田豐千代、前島彌、尾崎敬義、津田興二、蒔田廣城、江藤莊三郎、揚井二郎、飯島泰造▽監査役棟居喜久馬、岡部文男、山口巳之吉

◇日の丸電線電纜工業會社の創立

同社は資本金百萬圓を以て大阪に創立、左の役員を選任した

▽取締役石原善三郎、石原善平、村田虎之助、西垣德三郎、濱口駒次郎、於勢升、恩田吾郎▽監査役中山豐三、大和藤兵衞、吉田音松

◇瑞穗炭礦會社の創立

同社は資本金二百萬圓を以て創立され、左の役員を選任した

▽取締役山田猶之助（社長）、竹村庄平（常務）、前田利彭、正立友直、佐藤助九郎▽監査役根尾宗四郎、矢合正五郎、秀島七三郎

◇帶鐵製鋼會社の解散

吉村鐵之助を創立委員長とし資本金六百萬圓を以て創立計畫中であつた同社は、戰後の財界情勢に鑑み解散を決議した

◇日本兵器製造會社の缺損額

同社は株主總會を開き、休戰による當期缺損百九十二萬四千圓中、百八十七萬四千圓を繰越損金とする件を可決した

二十六日（木）

◇日伊通商暫定取極に關する公表

大正元年締結の日伊通商航海條約は、大正八年六月三十日を以て廢棄の通告を爲すことに決定した旨本日外務省より公表された

◇獨比利亞出兵の一部引揚げ

政府は本年八月米國及聯合國と協同して、一部兵力をチエコ・スロバアキア軍救援及び露國過激派一掃のため極東露領に出兵中であつたが、同地の秩序回復したため殘後備役及後方部隊兵員約三萬四千を引揚げに決定した旨陸軍省から公表された

二十七日（金）

◇定期取引に外米代用決定

農商務省は米の需要供給を圓滑ならしめるため、定期取引の受渡に臺灣米及外國米併用を許可することに決定、全國取引所に對し四月限から之を實施せしめる旨通告した

◇大阪瓦斯料金の値上げ

大阪瓦斯會社の瓦斯料金は一千立方呎二圓三十錢から二圓七十錢に値上げと決定した

◇日本カーボン會社の借額增資

同社（資本金五十萬圓）は株主總會を開き資本金五十萬圓を增資し百萬圓とする件を可決した

二十八日（土）

◇獨逸、潛水艦七隻を日本に交附

獨逸は潛水艦七隻を我國に交附することに決定した旨本日海軍省から公表された

◇臨時條約改正調査委員會設置

本日の官報を以て臨時條約改正調査委員會官制を公布、卽日施行されたが、同委員會は外務大臣監督の下に通商條約の改正、締結等を調査審議するものである

◇藥品の輸出制限緩和

大正三年八月以來輸出を制限した藥品中モルヒネ、阿片、酸類等を除く殘部を解禁した

二十九日（日）

◇日米鑛山工業會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役本多貞次郎、鈴木市三郎、越山太刀三郎、永井房太郎、笠原孝太郎、辻川敏三、小平鑑七郎▽監査役若尾晉三、加藤重太郎、中島武

◇日の出セメント會社の創立

同社は資本金三百萬圓を以て設立、本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役日下義雄、大橋新太郎、根津嘉一郎、中村房次郎、小山一郎、吉池慶正、森愛之助▽監査役松原直榮、渡邊勝三郎

◇川崎造船所四千五百萬圓に增資

同社は株主總會を開き、資本金二千萬圓を四千五百萬圓に增資の件を可決した

◇淺野小倉製鋼所の創立

同社は資本金一千五百萬圓を以て小倉市に設立、左の役員を選任した（日不詳）

▽取締役　淺野總一郎（社長）、橫山德次郎（專務）、白石元治郎、淺野泰次郎、鈴木紋次郎淺野良三▽監査役赤松範一、山田遞、淺野八郎

大正七年統計

日本銀行兌換券發行高

	兌換券發行高	正貨準備	保證準備	制限外
	千圓	千圓	千圓	千圓
一月	七四五、九三六	六四七、二七七	九八、六九九	—
二月	六九八、九六一	六四五、一〇五	五三、八九六	—
三月	七〇八、一六四	六四四、七三三	六三、四三三	—

東京證券取引所定期賣買

月	月	最高	最低	平均	最高	最低	平均
一	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
二	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
三	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
四	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
五	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
六	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
七	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
八	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
九	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
十	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
十一	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
十二	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓

東京株式取引所定期賣買

月	月	最高	最低	平均	最高	最低	平均
一	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
二	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
三	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
四	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
五	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
六	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
七	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
八	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
九	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
十	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
十一	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓
十二	同前	百一圓	九十圓	九十五圓	百一圓	九十圓	九十五圓

外國爲替相場

月	月	倫敦 最高	倫敦 最低	紐育 最高	紐育 最低
一	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
二	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
三	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
四	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
五	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
六	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
七	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
八	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
九	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
十	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
十一	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五
十二	同前	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五	四弗八八七五

一月

| | | |

日本郵船	圓	一	一	一	一	一
東京株式取引所	圓	一	一	一	一	一
日本石油	圓	一	一	一	一	一
日本石油新株	圓	一	一	一	一	一
日本石油新株申込証拠金	圓	一	一	一	一	一
日本石油新株払込金	圓	一	一	一	一	一
日本石油新株利子	圓	一	一	一	一	一
日本石油新株配当金

十二月

東洋紡績	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
大日本麥酒	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
明治製糖	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
東京水道瓦斯	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
日本鉄道	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
日本郵船	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
東京電燈	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
東京瓦斯	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
鬼怒川水電	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
日本製紙	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
王子製紙	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
日本麥酒會社	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
東洋紡績新	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
鬼怒川水電新	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
久ン原鉱業新メ	圓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本石油	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00
東京株式新	圓	0	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00	0·00

東京株式取引所定期相場

		一月限	二月限	三月限
最高月		一月限	二月限	三月限
最高		三三·三0	三三·六0	三三·七0
最低月		一月限	二月限	三月限
最低		三三·三0	三三·六0	三三·七0
平均		三三·三0	三三·六0	三三·七0

		一月限	二月限	三月限
最高月		一月限	二月限	三月限
最高		三三·三0	三三·六0	三三·七0
最低月		一月限	二月限	三月限
最低		三三·三0	三三·六0	三三·七0
平均		三三·三0	三三·六0	三三·七0

		四月限	五月限	六月限
最高月		四月限	五月限	六月限
最高		三三·三0	三三·三0	三三·三0
最低月		四月限	五月限	六月限
最低		三三·三0	三三·三0	三三·三0
平均		三三·三0	三三·三0	三三·三0

		六月限	七月限	八月限
最高月		六月限	七月限	八月限
最高		三三·三0	三三·三0	三三·三0
最低月		六月限	七月限	八月限
最低		三三·三0	三三·三0	三三·三0
平均		三三·三0	三三·三0	三三·三0

		七月限	八月限	九月限
最高月		七月限	八月限	九月限
最高		三三·三0	三三·三0	三三·三0
最低月		七月限	八月限	九月限
最低		三三·三0	三三·三0	三三·三0
平均		三三·三0	三三·三0	三三·三0

		八月限	九月限	十月限
最高月		八月限	九月限	十月限
最高		三三·三0	三三·三0	三三·三0
最低月		八月限	九月限	十月限
最低		三三·三0	三三·三0	三三·三0
平均		三三·三0	三三·三0	三三·三0

		九月限	十月限	十一月限
最高月		九月限	十月限	十一月限
最高		三三·三0	三三·三0	三三·三0
最低月		九月限	十月限	十一月限
最低		三三·三0	三三·三0	三三·三0
平均		三三·三0	三三·三0	三三·三0

		十月限	十一月限	十二月限
最高月		十月限	十一月限	十二月限
最高		三三·三0	三三·三0	三三·三0
最低月		十月限	十一月限	十二月限
最低		三三·三0	三三·三0	三三·三0
平均		三三·三0	三三·三0	三三·三0

		十一月限	十二月限	一月限
最高月		十一月限	十二月限	一月限
最高		三三·三0	三三·三0	三三·三0
最低月		十一月限	十二月限	一月限
最低		三三·三0	三三·三0	三三·三0
平均		三三·三0	三三·三0	三三·三0

		十二月限	一月限	二月限
最高月		十二月限	一月限	二月限
最高		三三·三0	三三·三0	三三·三0
最低月		十二月限	一月限	二月限
最低		三三·三0	三三·三0	三三·三0
平均		三三·三0	三三·三0	三三·三0

東京卸売物価指数

（明治三十三年十月——一〇〇）

	總平均指数	前年同月
十一月	二二二七·二七	一一六九·二五
十二月	二二三六·二五	一一六七·二一
一月	二二四二·五三七	一一六八·〇〇
二月	二二四四七·三二七	一一七三·八〇七
三月	二二四四六·五九	一一七三·三七一
四月	二二四四九·〇五七	一一七九二·二一
五月	二二五六·二七	一二〇八·八九
六月	二二七二·〇四七	一二二三·八六六
七月	二二八五·五九·六三〇	一二一六·九三·九六三
八月	二二八三·四五〇三	一二一五·九三·九六
九月	二二六·一	一二〇·〇·〇

大正八年（紀元二五七九年 西暦一九一九年）

【一　月】

四　日（土）

◇綿羊飼育奨励規則の公布
農商務省令第一號を以て、綿羊飼育奨勵規則が公布された

五　日（日）

◇栄田礦業會社の創立
同社は資本金百萬圓を以て設立、本日創立總會を開き、左の役員を決定した
▽取締役衣笠光造、衣笠健雄、山瀬幸人▽監査役羽田彦四郎

六　日（月）

◇ルーズヴエルト前米國大統領死去
日露媾和會議の仲介者であり、親日家であつた前米國大統領ルーズヴエルトは炎症性僂麻質斯にて死去した。享年六十一

七　日（火）

◇東伏見宮殿下御歸朝
御答禮使として御渡歐中の東伏見宮依仁親王殿下には横濱入港の西伯利丸にて御歸朝遊ばされた

八　日（水）

◇米國下院、歐洲救濟案を可決
米國下院豫算委員會は獨逸を除外する歐洲の救濟事業費として一億弗支出を可決した

十　日（金）

◇株式會社石原商店の創立
紡績業石原商店は資本金五十萬圓の株式會社に改組、本日創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役石原彌三郎、石原彌太郎、小出萬吉▽監査役菅沼秋作

◇東栄專務理事上田彌兵衛辭任
東京米穀取引所專務理事上田彌兵衛は辭任した

十一日（土）

◇自動車取締令の公布
内務省令第一號を以て自動車取締令が公布された

◇東西皮革會社專務有川貞次郎起訴
東西皮革會社專務取締役有川貞次郎は詐僞橫領の嫌疑で警視廳に留置取調中の處本日起訴された

◇綿和特使西園寺公望出發
媾和會議の帝國首席全權西園寺公望は嗣子八郎、公爵近衛文麿を帶同、ヴエルサイユの媾和會議に列席のため本日午前八時三十分東京驛發列車にて出發した

◇鴻池銀行理事島村久死去
鴻池銀行理事島村久は流行性感冒にて死去した。享年七十。岡山縣出身で和蘭、羅西哥布哇等の總領事に歷任し、明治三十五年退官後、鴻池銀行理事に就任今日に至つた

十二日（日）

◇株式會社徳島商會の創立
同社は資本金五十萬圓を以て設立、本日創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役徳島清松、鈴木秀太郎、尾城熹、青島信太郎▽監査役高梨政之助、上野小七

十三日（月）

◇重要工業勤勞員の臨時調査令公布
軍需工業勤勞員に關する工場事業場臨時調査令が公布された

十四日（火）

◇亞鉛電解製業と富士水電の訴訟
亞鉛電解製業令社々長小下秀實は富士水電會社々長小野金六、同專務取締役白井新太郎を相手取り百七十一萬六千五百三十七圓の損

客訴訟訴訟を東京地方裁判所に提起した。その理由は、亞鉛電解鑛業會社は大正六年五月中亞鉛精解の動力に使用する電力二千五百キロワットを富士水電會社より十年間供給を受くべき契約をなし、富士水電は前年七月より引續き千五百キロワットの電力を供給し居るも、差額千キロワットを送電せざるために生ぜる現在及將來に對する損害の補塡をなさしめるといふにある

◇女優廣岡淺子死去

大同生命保險會社の設立者廣岡淺子は胃腸炎にて東京麻布村木町の別邸に於て死去した享年七十一。三井鑛山社長三井三郎助の妹で大阪の富豪廣岡信五郎に嫁し、夫君歿後女性の身をもつて實業界に入り、同家事業の經營に采配を揮ひ、明治三十五年大同生命保險會社を創立した女傑である

十七日（金）

◇明治商業銀行一千萬圓に增資

同行は株主總會を開催し、現資本金四百八十萬圓を一千萬圓に增資を決定した

◇富崎農工銀行の借額增資

同行は株主總會を開催し、現資本金五十萬圓を百萬圓に增資を決定した

◇大阪電氣鐵道會社一千萬圓に增資

同社は臨時總會を開催し、現資本金四百五十萬圓を一千萬圓に增資を決定した

二十日（月）

◇英國大藏省證券八千萬圓の借替發行

大正七年一月二十一日大藏省預金部に於て引受け發行せる英國政府圓拂大藏省證券八千萬圓は、滿期につき借替のため本日新證券八千五百八十萬圓を發行した

◇帶鋸自動車會社の創立

同社（資本金二十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役井上榮敬（社長）、橫川惟治、貴來勇四郎、喜多豐太郎、廣瀨六三郎、中山大三郎▽監査役吉田與一郎、田中省三

◇大津汽船會社の創立

同社（資本金二千萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役勝田銀次郎、石田貞二、村田彌太郎▽監査役廣田保、青木音松

◇第四銀行の借額增資

新潟市の同行は臨時總會を開催し、現資本金五百萬圓を一千萬圓に增資を決定した

二十一日（火）

◇半毛紡織會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役森川鹿藏、岡田尙德、岡田直道、小林茂利▽監査役河合廉一

◇山叶商會主鯛島浪藏死去

株式仲買業山叶商會設立者鯛島浪藏は流行性感冒にて死去した。享年六十。神奈川縣の出身、東京に於て株式仲買業鯛島商會を設立し、後同商會より定期部を獨立して資本金百萬圓の山叶商會を設立し、株式界一方の巨頭であつた

二十二日（水）

◇李太王殿下薨去

李太王殿下には本日午前六時腦溢血にて薨去遊ばさる。御年六十八

◇鰀路商業銀行の借額增資

鰀路市の同行は臨時株主總會を開催し、現資本金五十萬圓を百萬圓に增資を決定した

◇兩羽銀行、羽陽貯蓄銀行を合併

山形市の兩羽銀行（資本金二百二十萬圓）は株主總會を開催し、同市の羽陽貯蓄銀行（資本金二十萬圓）合併を決定した

二十三日（木）

◇東洋化學冶金會社の創立

同社（資本金三十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役尾高次郎（社長）、久本順造（專務）齋田重吉、八木齊三▽監査役嶋島宜三、後藤幸三、眞鍋福多

二十四日（金）

◇臨時國庫證券二百五十萬圓發行

政府は露國軍需品代金決濟處理のため二分利付臨時國庫債券（に號）額面百九十四萬七千五十圓及び五分利付同證券（ほ號）額面五十五萬一千二百五十圓合計二百四十九萬八千三百圓を發行した

◇大日本製糖、朝鮮製糖を合併

大日本製糖會社（資本金一千八百萬圓）は株主總會を開き、朝鮮平安南道の朝鮮製糖會社（資本金二百五十萬圓）を合併し、資本金を二千五十萬圓に增資する件を可決した

二十五日（土）

◇東京貯蓄銀行の借額增資

同行は株主總會を開催し、現資本金五十萬圓を百萬圓に增資を決定した

◇豐後銀行、平尾銀行を合併

大分市の豐後銀行（資本金五十萬圓）は臨時總會を開催し、大分郡の平尾銀行（資本金五十萬圓）合併を決定した

二十六日（日）

◇十九銀行の借額增資

長野縣上田町の十九銀行は株主總會を開催し、現資本金三百萬圓を六百萬圓に增資を決定した

二十七日（月）

◇李太王殿下國葬御勅可

帝國議會の協贊を經たる、李太王殿下國葬費十萬圓は本日御裁可となる

◇茨城縣炭會社二百六十萬圓に增資

同社は臨時總會を開催し、現資本金百五萬圓を二百六十萬圓に增資を決定した

二十八日（火）

◇臺灣米移出令の公布

臺灣總督府令第七號を以て臺灣米移出許可に關する件が公布された

三十日（木）

◇富山取引所の外米格附認可さる

農商務省は外米格附認可申請中の富山取引所に對し左の如く認可した

▽臺灣米六圓十錢▽關貢米五圓八十錢▽西貢米五圓八十錢▽新シヤム米五圓三十錢▽古シヤム米六圓▽東京米五圓

◇帝國火災保險五百萬圓に增資

同社は株主總會を開催し、現資本金三百萬圓を五百萬圓に增資を決定した

◇華南銀行の創立

同行は資本金一千萬圓の日支合辦を以て本店を臺北に、支店を廣東、新嘉坡、スマランに設置し、臺灣、南支、南洋の華僑の金融機關として設立されたものであるが、本日臺北に創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽[redacted]林熊徵（臺灣）▽副總理池田常吉、鄭俊懷（スマラン）▽專務小笠原三九郎▽取締役支配人山瀨肇、清水孫康▽取締役林烈堂、守永久米松、陳仲和、盧恩願、劉崇倬、黃慶元、梅普之、劉炳炎、李双輝▽監査役顏雲年、蔡蓮舫、鄭拱辰、倉地銑吉、王文遽郭博愛、黃仲

◇大連取引所三百萬圓に增資

資本金百萬圓の大連取引所は、三倍增資して資本金三百萬圓となつた（日不詳）

【二　月】

一　日（土）

◇茨城縣多額議員選舉議會の議事決定

大正七年六月執行せられたる茨城縣多額納稅議員選擧に際し、立候補せる茨城農工銀行取締役高崎三重郎及び同農工銀行監査役竹内權兵衛の兩名は、同選擧運動中、一萬二千圓以上一萬圓を以て投票買收を行つたこと判明し、同年七月以來水戸地方裁判所に於て同縣政界、財界の有力者多數を關係者として召喚取調中のところ、兩派を合し四十二名の贈收賄及び投票買收事實が明かとなり、漸審終結し本日水戸地方裁判所の公判に附された。其の主なる者左の如し

▽高崎派　前貴族院議員高崎三重郎(四三)縣會議員藤澤勘兵衛(三七)、衆議院議員原儀次郎(四九)、合名會社尾形呉服店代表者尾形德兵衛(三九)

▽竹内派　茨城農工銀行監査役貴族院議員竹内權兵衛(四五)、茨城農工銀行頭取齋藤要(六五)、同行監査役柴孫次郎(六〇)、縣參議員野口喜多治(五二)、八千代生命保險會社水戸出張所主任長塚重明(六二)、縣會議員長塚源次郎(六二)、茨城農工銀行取締役山中彦兵衛(五五)、衆議院議員宮本逸三(六一)

三　日（月）

◇鹿島銀行資本金二十萬圓を以て創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役升本喜兵衛、岡田平右衛門、山岩喜七、鈴木儀兵衛、藤井六兵衛、中村恭三、渡邊仲藏、松崎吉三▽監査役塙見八郎右衛門、升本喜龍

十　日（月）

◇自動車取締規則施行細則の公布

警視廳令を以て自動車取締規則施行細則が公布された

◇鐵道線路工業會社の創立

同社(資本金三百萬圓)は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役安田善三郎(社長)、濱田寅吉(常務)、加藤定吉、大橋新太郎、相生由太郎、柯逵勝、土岐儀、雜賀良三郎、伊臣貳▽監査役　荒井泰治、庵谷忱、阪本治郎、鈴木鈴馬

◇米國の金準備金二億圓增發を突破

米國に於ける各國立銀行の金準備高は二百億四千二百九十一萬六千弗に達した旨發表された

十一日（火）

◇憲法發布三十周年記念祝典擧行

東京青山權田原の憲法發布記念館に於て、御名代閑院宮載仁親王殿下の台臨を仰ぎ憲法發布三十周年記念祝賀會を擧行、貴衆兩院議員を初め朝野の名士參列した

◇鐵和會議日本委員、陳述書を發表

鐵和會議日本委員は曾獨領の島嶼にして日本の占領に係るものを保有すべき意志表示と山東協約の實行を主張する陳述書を發表した

十二日（水）

◇獨逸臨政府大統領にエーベルト當選

フリードリッヒ・エーベルトは獨逸假政府大統領に當選した

十三日（木）

◇李太王殿下の國葬期日決定

李太王殿下國葬儀期日及び墓所は上奏御裁可を仰ぎ宮內省告示を以て左の通り公示せられた

▽葬儀期日、三月三日▽墓所、京畿道楊州郡漢全面金谷里

◇五分利國庫債券五千二百萬圓發行

政府は臨時事件に關する經費の財源に充當するため五分利國庫債券を左の條件で發行することに決定した

▽發行額五千二百萬圓▽發行價格九十六圓二十五錢▽利率年五分▽償還期限大正十一年六月一日迄

◇大阪商船、不當課稅を訴訟

大阪商船會社は大正六年五月資本金五千萬圓を增資した際、公募額二十五萬七千五百株に對する一千六百四十七萬圓のプレミアム取得に對する稅務署の課稅を不當として、審査會に對し異議申立中の處、同審査會は稅務署の課稅を是認したるため、同社は原嘉道、岩田宙造の兩辯護士を代理人として行政裁判所に對し、右課稅及審査會議の決議を不當とする行政訴訟を提起した

十六日（日）

◇蒸松商店、神戸高商へ五十萬圓寄附

神戸の貿易商株式會社蒸松商店社長故蒸松芳次郎の遺族は故人の遺志に基き神戸高等商業學校へ貿易研究所建設費及蒸松記念館建設費として五十萬圓を寄附した

十七日（月）

◇更級炭礦會社の創立

同社(資本金百萬圓)は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役横田砂(社長)、龜田藤兵衛(常務)宮崎彦麿、柳田市郎右衛門、大川帶刀▽監

◇鐮井銀行資本金を百萬圓に增資

鐮井市の同行は臨時總會を開催し、資本金三十五萬圓を百萬圓に增資を決定した

六　日（木）

◇東京倉庫會社の創立

同社(資本金五十萬圓)は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役鳩田兵一郎(社長)、澁谷幸道、高橋善司、岡田顯三、中內春吉▽監査役植竹三右衛門、松本留吉

七　日（金）

◇全國商業會議所の米價調節意見

全國商業會議所食糧問題調査委員は大藏、農商務、遞信、鐵道の各關係官廳に對し米價調節に對する左記要旨の意見書を提出した

一、外米輸入を奬勵し、輸入稅撤廢の外、更に運賃を輕減する等の方法によりその價格を一層低廉ならしむること

二、麥類の輸入稅を撤廢し其の輸入を奬勵すること

三、朝鮮米の移入を增加し特にこれがため朝鮮に對し外米の輸入を奬勵すること

四、米の輸出制限をすること

五、內地米消費節約を奬勵し代用食料品の食用を全國に普及するの方法を講ずること

尙廉金對策として

一、外國米は政府自ら買付運輸の術に當りその輸入を增加すること

二、酒釀造高を制限すること

三、代用食品を奬勵すること

四、雜穀（但し青豌豆、菜豆、馬鈴薯、澱粉を除く）の輸出を嚴禁すること

五、食糧の輸送を迅速にしその運賃を低減すること

六、半搗米乃至八分搗米の食用を奬勵すること

七、米貯藏の減損防止の方法を講ずること

◇鹿沼商業銀行の三倍增資

栃木縣鹿沼町の同行は臨時總會を開催し、現資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

八　日（土）

◇日本電球取締役小谷忠次郎收監

有價證券僞造行使の嫌疑で警視廳に檢擧された日本電球製造會社取締役小谷忠次郎は東京監獄に收容された

九　日（日）

◇日本酒類問屋會社の創立

査役星野石松、武藤金吉

◇本宮銀行の五倍増資
福島縣本宮町の同行は臨時總會を開催し、資本金二十萬圓を百萬圓に增資を決定した

◇内國自動車會社の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役辰澤延次郎（社長）、永井惟直（常務）、尾藤燕基、市原求、小坂樫吉、吉本天祥、木村德兵衞▽監査役西澤善七、綉田清兵衞、三隅正

十八日（火）

◇東京瓦斯電工社債三百萬圓發行
東京瓦斯電氣工業會社は臨時株主總會を開き、社債三百萬圓を左の條件にて發行と決定した
▽發行總額三百萬圓▽利率年七分▽發行價格九十九圓五十錢▽償還方法三ヶ年据置以後五ヶ年間に毎年十萬圓以上抽籤償還▽申込期日三月一日より五日迄▽拂込期日三月二十日

◇佛國內閣總長クレマンソー狙撃さる
佛國內閣總長兼陸軍卿クレマンソーはブールヴアール、デレツセル街を通行中無政府主義者に拳銃を以て狙撃されたるも無事、犯人はその場で逮捕された

◇大山元帥未亡人捲綏死去
明治初期に於ける新女性として知られた元帥公爵大山巖未亡人捲綏は流行性感冒で死去した。享年六十

◇陸軍大將鳥安正死去
明治二十五年西比利亞軍事視察を命ぜられ單騎西伯利亞大陸を橫斷して男名を謳はれた陸軍大將男爵鳥安正は腦溢血にて本日午前十時死去した。享年六十八

二十日（水）

◇浦賀船渠第一千萬圓に借額增資
同社は株主總會を開催し、現資本金五百萬圓を二千萬圓に倍額增資を決定した

◇竹原友三郎商店の組織變更
大阪の株式現物問屋竹原友三郎商店は資本金五百萬圓の株式會社竹原商店に改組、本日創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役竹原友三郎、竹原莊治郎、竹原仁三郎▽監査役關野米三郎

◇日清製粉、上毛製粉を合併
日清製粉會社（資本金四百萬圓）は株主總會に於て上毛製粉會社（資本金七十五萬圓）を合併し、資本金四百七十五萬圓に增資を決定した

二十一日（金）

◇三菱海上火災保險會社の創立
同社 資本金五百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役岩崎小彌太（社長）、木村林次郎、串田萬藏▽監査役青木菊雄

二十二日（土）

◇日本絹絨紡織會社の創立
同社（資本金三百萬圓）は創立總會を開き、左の役員を決定した
▽取締役田中四郎左衞門（社長）、中野勇平奥田四郎、坪谷善四郎、黒田善太郎、中島伊平▽監査役藤崎三郎助、渡邊亨、山田寛造、杉村熊三郎▽相談役大村彦太郎、八田熊二郎

◇中華電業會社の創立
同社（資本金三百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役小松謙次郎、森日茂弥、李士偉、利光平夫、尾崎敬義、荻野元太郎、高岩勘次郎、高橋光隆、右近末穗、增田英一、青山儀郎、櫻内幸雄▽監査役立川勇次郎、倉

地鐵吉、山口喜三郎、周晉鎬

二十三日（日）

◇德島紡績工場職工の同盟罷業
德島紡績會社第一、第二工場男女職工五百名は賃銀値上及び會社側に於て前年十二月まで行つた白米廉賣の復活を要求して拒絕されたため同盟罷業を行つた

二十四日（月）

◇仙石貢、猪苗代水電專務に就任
猪苗代水力電氣會社は重役會を開催し、專務取締役白石直治死去のためその後任に工學博士仙石貢を互選した

二十五日（火）

◇日本硬化油肥料會社の創立
同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役佐野理八（社長）、伊藤豐次郎（專務）、曾我清雄（常務）、吉井秀三郎、兒嶋富雄、天野稻太郎▽監査役高瀨清三郎、高橋義一、川島延太郎

◇滿府鑛業會社の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役吉田克巳、横須賀寅吉、大葉久吉、野崎舜三、三宅傳藏、小林四郎▽監査役伊藤豐次郎、内藤彦一、瀨木博尙

二十六日（水）

◇西比利亞派遣軍の田中大隊全滅
西比利亞派遣軍大分第七十二聯隊田中大隊はユタカ（アレキセーフスク北方五里）附近に於て、敵過激派軍の大集團と遭遇、激戰の結果我軍の戰死傷二百餘名を算し、殆ど全滅した。なほ大隊長田中勝輔少佐は生死不明

◇臨時國債六十九萬二百圓發行
政府は軍需品代金決濟處理のため二分利臨時國庫證券六十九萬二百圓を左の條件にて發行した
▽發行價格額面▽利率年二分▽償還期限大正八年六月三十日、但し期限前と雖も政府の都合により全部又は一部を償還することあるべし

二十七日（木）

◇鹽出綿織物の檢査範圍決定
綿織物業者協議會に於て鹽出綿織物檢査範圍を綿ネル、綿絽、綿木綿、綿毛布、綿ボプリンと決定した

◇盛岡電燈會社の增資
同社（資本金百二十萬圓）は株主總會を開き、資本金三百六十二萬七千二百五十圓を增加し、四百八十二萬七千二百五十圓とする件を可決した

◇八十五銀行の借額增資
埼玉縣川越町の同行は臨時總會を開き、現資本金百萬圓を二百萬圓に增資と決定した

二十八日（金）

◇仙北輕便鐵道、國營に買收さる
政府は仙北輕便鐵道會社經營の小牛田、石巻間の輕便鐵道を九十七萬圓を以て買收に決したので、同社は本日臨時總會を開催し、買收應諸の件を可決した

◇白木屋呉服店の組織變更
老舖として知らるゝ白木屋呉服店は、資本金五百萬圓の株式會社に改組することゝなり本日その創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役社長大村彦太郎▽專務取締役奥田竹松▽取締役大橋新太郎、田中四郎左衞門廣岡惠三、八田熊次郎、伴野賢造▽監査役嵯峨實勝、澤田文之助、甲斐織衞

【三　月】

一　日（土）

◇兵庫農工債券五十萬圓發行
兵庫農工銀行は農工債券五十萬圓を左記條件で發行した
▽利率年六分五厘▽發行價格額面▽償還大正十年八月迄据置二十ケ年以内全部償還

◇富士製紙、北海道興業を合併
富士製紙會社（資本金二千百萬圓）は臨時總會を開き、北海道興業會社（資本金七百五十萬圓、半額拂込）を合併し、二千四百七十五萬圓に增資の件を決定した

◇松屋呉服店の改組
近代的百貨店の一として知らるゝ東京の松屋呉服店は、時勢に順應して資本金百萬圓の株式會社に改組、本日創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役古屋德兵衞、古屋大吉、内藤彦一、中山新右衞門▽監査役小池泰次郎、神谷金之助

◇普選要求期成同盟會の示威運動
普選要求期成同盟會主催の國民大會は日比谷公園廣場に於て擧行され、會衆一萬餘名、「吾人は速かに普通選擧の實行を期す」との決議をなし、大會後會衆は貴衆兩院に示威行進を行つた

◇不逞鮮人學生團、檄文を撒布
李太王殿下の國葬を前にして、本日午後三時半二百餘名の鮮人學生團が德壽宮に侵入、朝鮮獨立萬歲を高唱し、不穩の言動があつたが、警衞の警官に解散を命ぜられて事なきを得た

二一日（日）

◇帝國ホテルの大火と火保會社の損害
本日午前二時頃仙臺市南町一丁目吉田島類製製所より發火し、本荒町の一部、南町大半東一、二番町全部、南光院町の一部、數寄屋町全部、柳町全部、柳町通の半分、北目町の半分、北目町通の半分の六百戸を燒失し午前八時鎭火した。損害六七十萬圓。火災保險は東京火災五萬圓、日本火災一萬三千圓、横濱共同、千代田、帝國、日本共立、神戸海上、大阪海上等に總額二十萬圓の契約があつた

◇運輸國皇弟御來朝
運輸國皇弟ロッポリー殿下には前駐日公使サボニーを始め侍從、侍從武官、侍醫等十六名を隨へ、本日午前九時三十分東京驛着列車で御來朝遊ばされた

二一日（月）

◇李太王殿下の國葬儀執行
李太王殿下の國葬儀は朝鮮京城に於て嚴肅に行はれた。尙貴衆兩院は弔意を表するため休會した

◇製絨所拂下問題と陸軍省の聲明
陸軍省は千住製絨所拂下に關し、本日その拂下理由及びこれを工業俱樂部へ諮問したる事情につき左の如き說明を發表した
製絨事業は將來益々これが改善を必要とし且その製造能力即ち技術の智進發達を圖るの切なるは論を俟たざる所にして、本事業發展の如きは官民相互の協力により達成し得らるべきものなるをもつて、今回千住製絨所を相當條件の下に半官半民の聲業組織に移すべきか、若しくは民間事業として拂下ぐべきかの必要を感ず。陸軍大臣は昨年來より本件に關し研究の結果、從來かくの如き拂下問題を個人に委任し、或は協議する場合往々世間の疑惑を招き、種々の支障を來し易きを考慮し、日本工業俱樂部員を官邸に招き、これが處置に對する研究と答申を求めたものである

◇矢作水力電氣會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役井上角五郎（社長）、松山榮（專務）、澁澤駒吉、川峰友之助、青木信光、大岩勇夫、大口喜六、服部金太郎、寒川恒貞、伊丹彌太郎▽監査役加藤重三郎、鶴田勝三、片山永雄、井上龜之助、伊井熊次郎▽相談役福澤桃介

◇上毛モスリン會社の紛擾
同社は重役派と東京革新團との意見衝突の結果、重役總辭職をなし、紛爭を續けたが、東京革新團の五百株以上の株主たる川俣貞次郎、大島金吾、大木謙吾、外七名は同社に對し、檢査役三名選任の訴訟を前橋地方裁判所に提起した。その理由左の如し
同社重役は會社の營業に要する原料買入に當り、實渡人と結託し又は製品販賣につき買受人と結託して、會社の資金を濫用し株式實買をなし以て會社に不利を與へ、不正の利益を貪り居る風評專らにして、殊に一月二十四日同社株主總會の際、重役は自己擁護のため委任狀蒐集に社金十數萬圓を消費したる由にて、會社の事務及び財產調査のため本訴を提起する

四日（火）

◇朝鮮各地に獨立運動の暴動起る
朝鮮獨立運動のため各地に暴動起り、これが鎭撫に當りたる警察官及び憲兵數名死傷し、大正八年三月一日暴民が憲兵分隊を襲撃し、憲兵分隊長憲兵中尉竹山友次郎、憲兵上等兵池登造は殺害された

◇歐米觀察團歸朝
後藤新平、戰後の歐米觀察に赴く
後藤新平は令息一藏を同伴し、戰後の歐米觀察のため横濱解纜のコレヤ丸にて米國に向つた

五日（水）

◇臺灣銀行貸金出張所の開業
同行の遞信國營谷出張所は本日開業した

◇南洋物產會社の創立
同社（資本金八十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役栗津清亮（社長）、大貫公光、池原寧、反町茂作、小原重雄▽監査役廣田緒一、池原遠

六日（木）

◇東和汽船と橫濱結託の訴訟沙汰
神戸市の東和汽船會社は辯護士岸清一を代理人として、橫濱船渠會社に對し二百七十七萬圓の船舶内渡金返還訴訟を橫濱地方裁判所に提起した。その理由は左の如し
朝鮮獨立運動の暴動起るや、これが鎭撫に當りたる警察官及び憲兵數名死傷し、暴民が憲兵分隊を襲撃し、憲兵分隊長憲兵中尉竹山友次郎、憲兵上等兵池登造は殺害された

◇後藤新平、戰後の歐米觀察に赴く
後藤新平は令息一藏を同伴し、戰後の歐米觀察のため橫濱解纜のコレヤ丸にて米國に向つた

五日（水）

◇臺灣銀行貸金出張所の開業
同行の遞信國營谷出張所は本日開業した

◇南洋物產會社の創立
同社（資本金八十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した
▽取締役栗津清亮（社長）、大貫公光、池原寧、反町茂作、小原重雄▽監査役廣田緒一、池原遠

六日（木）

◇東和汽船と橫濱結託の訴訟沙汰
神戸市の東和汽船會社は辯護士岸清一を代理人として、橫濱船渠會社に對し二百七十七萬圓の船舶内渡金返還訴訟を橫濱地方裁判所に提起した。その理由は左の如し
橫濱船渠會社は大正七年二月四千噸級汽船の建造に着手し、同年十月建造中の該汽船を神戸市に於て競賣に附したるところ、三百九十六萬圓にて東和汽船會社に落札し、内渡金として二百七十七萬圓を橫濱船渠會社に渡し、竣工引渡期を大正七年十二月二十五日と定めたるに、契約期に至るも竣工せざるを以て、東和汽船會社は本年一月十五日に至り橫濱船渠會社に對し右契約解除の通告を發した。その後二月中旬に至り右汽船は漸く竣工したるも東和汽船會社は既に契約解除通知を發したることとて右汽船の引取を肯んぜざるより、橫濱船渠會社は東和汽船會社に對し百萬圓の損害賠償請求訴訟を神戸地方裁判所に提起したるにより東和汽船會社も契約解除に基き内渡金二百七十七萬圓の返還請求訴訟を提起するものである

七日（金）

◇日本銀行總裁三島彌太郎死去
日本銀行總裁貴族院議員子爵三島彌太郎は本日午前七時東京千駄ケ谷の自邸に於て腦溢血にて死去した。享年五十三。薩摩鹿兒島藩士三島通庸の長男で駒場農大卒業後米國に留學

し、歸朝後北海道廳技師となり、後橫濱正金銀行頭取に就任し、日本銀行總裁に擧げられ現在に至つた。明治三十年貴族院議員に勅選研究會の領袖として令名があつた

八　日（土）

◇日本圖書出版會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役小西榮三郎、中小路喜三郎、小田靜江、藤田竹治、刀圃平▽監査役市川喜一笠原忠造、宮澤高義

九　日（日）

◇大正汽船會社三百五十萬圓に減資

同社は臨時株主總會に於て、資本金五百萬圓を三百五十萬圓に減資と決定した

◇日本金屬製鋼會社の創立

同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役上村敏行、行本邦彥、梅津元晴、桂正夫、小平鑑七郎、玉利正助、神谷彌平▽監査役稻葉輪一、藤波玉太郎、片岡鐵吉

十　日（月）

◇期米崩落、東市場立會中止

期米崩落により市場の安寧を維持するため東京米穀取引所は營業細則第六十八條第一項第三號により立會を一時中止し、標準値段を三十圓五十九錢と決定した

◇大林組の總會開催

土木請築請負業合資會社大林組は資本金二百萬圓の株式會社に改組し、本日創立總會を開き左の役員を決定した

▽社長大林義雄▽常務取締役大林賢四郎、伊藤哲郎、白杉龜造▽取締役岡鳳信▽監査役大林龜松▽相談役片岡直輝

◇電關鑄業會社の創立

同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開催し、左の役員を決定した

▽取締役藏澤武兵衞（社長）、藤原喜三郎（常務）、小田仙太郎、國谷榮雄、藏澤德榮▽監査役吉津度、北村佳逸

十一日（火）

◇東京市電公債三千五百萬圓起債認可

東京市電車速成線路五十哩工事費三千五百萬圓の起債に對し大藏省は本日認可の指令を發した

◇期米暴落のため立會一時中止

期米相場は連日大暴落を演じ、東京期米相場の前場寄付は先限二十九圓一錢に下落のため立會を一時休止した

◇朝鮮獨立運動の首魁孫秉熙檢擧

朝鮮各地に於て獨立運動のため暴動を起し警官、憲兵に死傷者を出したる事件につき、當局は首魁として朝鮮獨立宣言書に署名せる天道敎主孫秉熙を檢擧取調中のところ、罪狀明白となつたので保安法違反として令狀を執行し京城地方法院に收容した

十二日（木）

◇日本銀行正副總裁任命

日本銀行總裁三島彌太郎の死去、副總裁水町袈裟六の辭任に伴ひ後任銓衡中のところ、總裁に橫濱正金銀行頭取井上準之助、副總裁に日本銀行理事木村清四郎が任命された

十四日（金）

◇日支軍事協約正文を發表

日支兩國政府は、日支軍事協約正文を發表した

◇橫濱正金銀行正副頭取決定

同行は頭取井上準之助の日銀總裁就任に伴ひ頭取互選のため本日重役會を開催し、現副頭取梶原仲治を頭取に、現取締役總支配人鈴木嶋吉を副頭取に選任した

十七日（月）

◇東支、西比利亞兩鐵道の共管協定發表

聯合軍出動地帶内に於ける東支鐵道及び西比利亞橫斷鐵道共同管理に關する協定が發表された

二十日（木）

◇臺灣縱貫本事業公債五百二十萬圓發行

大藏省は臺灣及び縱貫本事業公債法により五分利公債五百二十萬圓を左の條件をもつて發行した

▽發行價格百圓に付九十一圓▽償還期限發行の年より五年據置翌年より五十年内▽利率年五分

二十一日（金）

◇二分利國庫證券三十九萬圓發行

政府は歸國軍需品代金決濟處理のため二分利國庫證券三十九萬六千五十四圓を發行した

◇工場主協議會の職工非職增進委員任命

東京府主催の職工百人以上を使役する工場主協議會は本日鐵道協會に於て開催され、職工幸福增進協議委員二十名が府知事の指名により決定した

◇小田原電氣會社二百萬圓借入

同社は臨時總會を開き、舊八分利社債百三十萬圓償還及び建設資金に充當するため左の條件を以て、日本勸業銀行より二百萬圓借入れをなす件を可決した

▽利率年七分▽返濟期十二年十一月迄据置爾後二十ケ年間に年賦返濟▽返濟方法新株募集に依る

二十四日（月）

◇支那排日問題國民大會の決議

支那媾和委員は媾和會議に於て、膠州灣は日本の仲介を經ずして獨逸より直接支那に還附せらるべきであるとの曖昧を提出した

◇國際聯盟會員、膠州灣直接還附を要請

聯合軍出動地帶内に於ける東支鐵道及び西比利亞橫斷鐵道共同管理に關する協定が發表された

二十日（木）

◇臺灣縱貫本事業公債五百二十萬圓發行

大藏省は臺灣及び縱貫本事業公債法により五分利公債五百二十萬圓を左の條件をもつて發行した

▽發行價格百圓に付九十一圓▽償還期限發行の年より五年據置翌年より五十年内▽利率年五分

二十一日（金）

◇二分利國庫證券三十九萬圓發行

政府は歸國軍需品代金決濟處理のため二分利國庫證券三十九萬六千五十四圓を發行した

◇工場主協議會の職工非職增進委員任命

東京府主催の職工百人以上を使役する工場主協議會は本日鐵道協會に於て開催され、職工幸福增進協議委員二十名が府知事の指名により決定した

◇小田原電氣會社二百萬圓借入

同社は臨時總會を開き、舊八分利社債百三十萬圓償還及び建設資金に充當するため左の

一、國情に適せざる國際勞働法に加入すべからず

二十五日（火）

◇大正八年度歲入歲出總豫算の公布

大正八年度歲入歲出總豫算は左の通り公布された

歲入總額　八億九千六百八十一萬百六十四圓

歲出總額　八億七千四百四十五萬七千六百二十五圓

◇臨時軍事費追加豫算の公布

臨時軍事費の歲入歲出追加額は各一億五千七百三十萬九千八百三圓と公布された

◇專業公債金特別會計法の公布

法律第十五號を以て、事業公債金特別會計法が公布された

◇朝鮮事業公債法中改正法律の公布

法律第十六號を以て、朝鮮事業公債法中改正法律が公布された

◇戰時利得稅法中改正法律の公布

法律第十七號を以て、戰時利得稅法中改正法律が公布された

◇臨時國庫證券法中改正法律の公布

法律第十八號を以て臨時國庫證券法中改正

法律が公布された

二十七日（木）

◇大麥小麥及小麥粉の輸入稅減免

勅令第三十九號を以て、大正八年十月三十一日迄大麥及小麥の輸入稅はこれを免除し、小麥粉の輸入稅は百斤に付七十五錢徴收すとの勅令が公布された

◇三共、サトウライトを合併

三共會社（資本金四百六十萬圓）は臨時總會を開きサトウライト會社（資本金百萬圓）を合併し、資本金を五百六十萬圓に增加することに決定した

二十八日（金）

◇關稅砂糖消費稅令の公布

制令第四號を以て朝鮮砂糖消費稅令が公布された

三十日（日）

◇淺野貯蓄夜銀行大阪支店の取付

淺野貯蓄夜銀行大阪支店は本日午後五時取付に遭ひ、預金者押寄せて非常な混雜を呈し、同夜は約三十三萬圓を拂渡して午後十時支拂を打ち切つた。翌三十一日には午前四時頃より預金者多數詰め掛け、一時は容易ならぬ事態となつたが、同日中約九十萬圓を拂渡した

【四　月】

一　日（火）

◇臺灣總督府諸學校官制公布

勅令を以て左の如き臺灣總督府諸學校の官制及び改正令が公布され即日施行された

▽高等商業學校▽醫學專門學校▽商業專門學校▽臺灣公立高等普通學校▽師範學校▽公立女子高等普通學校▽公立高等女學校▽公立實業學校▽公立簡易實業學校▽小學校▽公立簡易農業學校▽公立農業學校▽同官制改正令

◇國立の高等試驗場設置

同場設置の勅令公布さる。試驗場は靜岡縣下に新設され、茶樹品種の改良、栽培及び製造方法を研究する

◇東洋拓殖會社の內地金融開始

東洋拓殖會社は嚮て計畫中の內地不動產に對する長期貸付を實行することゝなつた。從來內地の農工銀行其他の地方銀行は內地在住の朝鮮人に對しては兎角貸出を渋り勝で不便であつたが、東拓の內地金融はこの缺陷を補ふものとして歡迎された

◇東大經濟學部の開設

東京帝國大學經濟學部設置に伴ひ部長以下各敎授が決定發表された

▽經濟學部長　金井延▽同敎授　松崎藏之助、高野岩三郎、山崎覺次郎、新渡戸稻造、河津暹、松岡均平、渡邊銕藏、舞出長五郎、森莊三郎、上野道輔▽同助敎授　森戸辰男

◇米國、鐵鋼其他の輸入制限を解除

米國戰時通商局は日、英、伊、白及びその屬領及び植民地より米國へ輸入するフエルマンガニース、白色鐵鋼及びその製品の輸入制限を一般輸入特許の下に撤廢するに決した旨發表した

三　日（木）

◇釜山に暴動起る

本日午後三時頃、釜山に暴動蜂起し、警官、憲兵、守備隊が出動して警戒に當つた。尙暴動は安東方面にかけて蔓延した

◇支那國會、青島直接還附を要望

巴里媾和會議に對し支那側は種々術策を弄してゐるが、支那の參衆兩院議長以下各議員は、巴里に於ける英、米、佛、伊四國の首腦者に青島直接還附要望の電報を發した

五　日（土）

◇都市計畫法公布さる

帝國議會の協賛を經た同法は本日官報を以て公布された

◇市街地建築物法の公布

帝國議會の協賛を經た同法は本日官報を以て公布された

◇開墾助成法の公布

帝國議會の協賛を經た同法は本日官報を以て公布された

◇國立陶磁器試驗所の設置

陶磁器試驗所官制が公布され、爾分の內容をなすこととなつた

▽第一部　原料、材料、成形及燒成▽第二部　意匠、圖案及び着畫▽第三部　彫刻及び模型

◇獨逸の最近再發と過激派の擡頭

獨逸國內のルール、ベルリン等の諸市に同盟罷業再發し地方に蔓延した。又アルゲマイネ・ツアイツング紙は、政府の顧覆、國民議會の解散及び勞兵共和國樹立を目的とする過激派の、軍隊を煽動して反亂を起さうとする運動はベルリンマグデブルグで發見されたが、政府は鐵腕手段を採つてゐると告げてゐる。尙ほ七日には勞兵共和國樹立が宣言され、獨立社會黨及び共產黨から成る國民委員の瓦解が發表された。而して從來の內閣議長は閣員と共にハンブルグに政府を移す事を聲明し、新政府と對抗の運動を開始した

八　日（火）

◇五分利國庫債券八千二百萬圓發行

政府は本年度發行豫定の電話、鐵道、臺灣樺太等の各事業に充當するための五分利國庫債券八千二百萬圓を左の條件で發行することに決定した

▽發行價格　九十六圓二十五錢▽利率　年五分▽利拂期　三月一日、九月一日▽償還期限　大正十一年九月一日迄▽利廻　六分

九　日（水）

◇日支兩國、鐵道借款其他の聲明發表

濟南、高徐兩鐵道借款、滿蒙四鐵道（一、開原海龍吉林間、二、長春洮南間、三、洮南熱河間、四、洮南熱河間の一地點より海港に至る間）の借款及び山東民政の撤廢等に關し、日支兩國政府は本日同時に聲明書を發表した

◇山東問題の聲書發表

巴里媾和會議の問題となつた山東問題に關する日支兩國政府の覺書は前年九月二十四日兩國間に交換されたが、外務省は本日その內容を發表した

▽膠濟鐵道沿線の帝國軍隊は濟南に一部隊を殘留する外總て之を靑島に集中すること▽膠濟鐵道より右巡警隊の經費に充てるため相當の金額を提供すること▽膠濟鐵道警備は貴國政府に於て巡警隊を組成して之に當るべきこと▽日本國人を右巡警隊本部及樞要驛並に巡警養成所に聘用すること▽膠濟鐵道從業員中に支那人を採用すること▽膠濟鐵道は其所屬確定の上は日支兩國に於て合辦經營すること▽現下施行の民政は之を撤廢すること

◇ザール河流域問題解決す

英米佛伊四頭會議は、ザール河流域問題について意見の一致を見た。これは、同流域の主權は依然變更無いが、佛國をして、ローレン地方の製鐵業に對し、ラン炭坑地方で破壞されたる石炭の產額を補ふに十分な石炭を無稅でザール炭田から供給を受けられることゝし且つ獨逸に對しては、ラン炭坑を復舊する權利を與へる事とし、獨逸のザール流域の責任をなくさせる事となつた

◇露國紙幣の大暴落と通信の打擊

露國紙幣は媾和會議の延引と、內亂のために未曾有の大暴落をなし、邦貨百圓に對し千三十留となり、そのため支那大商人は續々破產した

◇ベルリンの職工總罷業

ベルリンに於て一萬五千の職工が總罷業を開始したが、政府は暴動を鎭壓するに充分な準備をなした

十　日（木）

◇地方鐵道法公布さる

同法は本日官報を以て公布されたが、本法は軌道條例に規定するものを除くの外道府縣その他の公共團體又は私人が公衆のために敷設する地方鐵道に適用するものである

◇川崎汽船會社の設立

同社は資本金二千萬圓を以て神戸に設立され、左の役員が選任された

▽社長　鹿島房次郎▽取締役　三浦凡興、奥山義一、山本盛正、永留小太郎、石井清安都正也、藤井總太郎、信濃榮三郎▽監査役　太田保太郎、目良恒、小川榮太郎

十四日（月）

◇印度に減稅令布かる

印度總督は、公然と反亂狀態を續けるラホール、アムリツアール地方に減稅令を布告した。なほ、ヴイラガム、アーメダバッド、カルカッタに大暴擾起り、軍隊と群衆は到る所で衝突した

十五日（火）

◇小包郵便料金五割引上げ實施

小包郵便料金の五割引上げは本日より實施された

◇ローマに騷擾起る

伊太利の首都ローマに於ける社會黨のデモンストレーション中暴擾が起つた。これに呼應して社會黨援助のため、ミラノ、ボロニヤ、トリノ及びゼノアに二十四時間の罷業が宣言された

十六日（水）

◇アンヴエルスに領事館設置

白耳義アンヴエルスに帝國領事館が設置された

十九日（土）

◇東京實業聯合會の食糧調節決議

東京實業聯合會經濟調査會では食糧部調査會を開き（一）運輸機關の整備（二）低利資金の利用（三）大農の定期市場利用（四）現行定期取引改正の必要の四項目實現を決議、更に食糧統計の不備並びに食糧品に對する課稅の弊を擧げ、正確なる統計を作製し（イ）米及麥輸入稅の廢止（ロ）課稅雜穀品の廢稅（ハ）砂糖消費稅の輕減（ニ）壟斷賣制度の撤廢を期して食糧生產の增加を圖る、等を決議した

◇米國、自由戰勝公債募集

米國財務長官グラスは第五回自由戰勝公債總額四十五億弗募集を發表した。これは最終の自由公債で利子は四分七厘、課稅は免除され、償還期限は四箇年である

二十一日（月）

◇日本政府、米國大藏省證券購入

米國財務長官グラスは戰時自由公債發行を豫想して發賣された第九回米國大藏省證券は約三割の超過應募があり、日本政府が紐育聯邦準備區に於て五千萬弗の應募をしたことを發表した

◇輸出メリヤス組合の英國禁輸解除運動

日本輸出メリヤス同業組合聯合會では、英國のメリヤス半數輸入は本年二月二十二日で打切となつたが、爾後ライセンスを附與せず滿期前から輸入禁止の理由であつた船腹不足が除去された今日、當然全部解禁さるべきであると英國政府に要請する事となり、本日東京、大阪、橫濱、神戸、名古屋の各同業組合より委員東京に會合協議の結果、政府當局に當方を懇願することとなつた。尙、本邦から英國への輸出額は、半數解禁の前年度では約一千萬圓であつた

◇洋酒界の先達、近藤利兵衞死去

蜂印葡萄酒本舖の近藤利兵衞は本日大阪の旅先で死去した。享年六十五歲。氏は安政六年江戸に生れ、釀造に關係し蜂印葡萄酒を販賣、次いで明治四十年濱口吉右衞門等と豐國銀行を創立し、大正七年十二月近藤商店を百五十萬圓の株式會社組織に變更、我國洋酒界に有力な地位を占めるに至つた

二十二日（火）

◇實業聯合會の金融機構改善決議

東京實業聯合會經濟調査會では金融部會を開き左の成案を確定した

（一）對人信用の促進（二）對外金融の伸張（三）工業に低利資金を供給する事（四）信託保證事業の促進（五）小商工業者の金融（六）質屋制度の改善

二十三日（水）

◇竹田宮恒久王殿下薨去

去る十二日以來御病氣にて御臥床中であらせられた陸軍騎兵大佐大勳位竹田宮恒久王殿下には御病症肺炎に變り遂に薨去あらせられた。御齡三十八

◇國庫債券總額二億に達す

去る十九日に締切つた五分利國庫債券（八千二百萬圓）の應募申込は約二倍の一億五千十六萬圓に達し本日募入決定した

二十四日（木）

◇東部府の演藝事件豫審決定

京都市會議員演藝事件に關し、女子師範學校、女子師範學校移轉問題、河川改修及び府會役員選擧に關する府會議員演藝事件は豫審終結し、元疊井縣內務部長三矢宮松、元京都府警察部刑事課長金ケ原武雄、元京都府知事木內重四郎以下八名の府會議員並びに實業家はいづれも有罪と決定した

◇伊太利、媾和準備會議を脫退す

フユーメを獲らない限り媾和條約に調印せずとの伊太利の脅威に對して、聯合國側の石炭、食料、資金の供給を絕つ對策が講ぜられようとしたため伊太利媾和委員は媾和豫備會議を脫退し巴里を退去した

◇米國加州の排日案不成立

米國加州々議會は本日閉會となつたが、同議會中に排日派議員によつて提出された排日法案は一も通過しなかつた

二十五日（金）

◇臨時國庫證券三十九萬圓發行

政府は露國軍需品代金決濟處理のため二分利付臨時國庫證券三十九萬六千四百二十五圓を發行した

◇全國糖商の擴張策協議

第八回全國糖商協議會を東京に開催、左記の五案を附議の結果次の如く決定した

▽砂糖保稅のまゝ各地に廻送するの件（糖

業聯合會に委託し政府に交渉）▽消費稅輕減及飴課稅の件（保留）▽營業稅賦課の緩和適正を政府に要求するの件（同調査委員委託）▽先物取引問題に對する善後策（調査委員附託）▽臺灣統內地保稅品を朝鮮に對し自由に移出し得る樣當局に交渉の件（糖業聯合會委託）

二十六日（土）

◇政友會關東大會の決議

同大會は山本農相、小川總務等出席の下に千葉縣木更津町に開催され、大要次の如き決議をなした

▽國防の充實を圖り軍事教育の普及並に改善を期す▽交通機關の擴張整備、產業の發達、治水の完成を期す▽教育を振興し國民思想の善導と國威を發揚せん事を期す

◇吉林の農貨取引中止

滿洲吉林にては雜貨爲替基落のため財界の混亂甚だしく、遂に先物、現物共五日間取引を中止する事となつた

◇長春の支那豆商破產に瀕す

山東三省に支店三十數ヶ所をもつ在長春の支那豆商益發號は雜貨吉林官帖兩替崩落のため損失三百萬圓以上に達し、吉長鐵道、商務總會、各銀行協力して救濟策協議中であるがその破產は東三省財界及び邦商等に波及するところ大なるため憂慮された

二十七日（日）

◇勇將前島壽死去

我が國最初の驛遞頭として「郵便」の二字を始め、郵便制度の創始に勳功あり且つ關西北越の諸鐵道を起した男爵前島密は幾てより腎臟病のところ、尿毒症を併發し死去した。享年八十五。その經歷は、明治二年民部省に出仕し、大久保內務卿に知られて內務太夫となり、初代驛遞頭を兼任し、十四年大隈重信と共に野に下つて改進黨組織に參劃、その後黑田內閣の遞信次官となつたが、これを最後に官界を去り、貴族院議員に勅選せられて今日に至つた

二十八日（月）

◇朝鮮の酒稅、煙草消費稅實施

朝鮮の酒稅、煙草消費稅等の徵收に關する件は本日公布、即日施行された

◇京成電氣軌道增資

京成電氣軌道會社は臨時總會を開き千葉船橋間の延長工事費に充當するため資本金百五十萬圓を五百萬圓に增加の件を可決した

◇横濱の大火、損害約五千萬圓

本日午後一時橫濱市千歲町より發火し風速六米四の西南の烈風に煽られて忽ち火は四方に擴がり、三千二百餘戶を燒失して八時三十分漸く鎭火した。損害は建物その他で約五千萬圓以上に上り、罹災者は三萬人、燒失面積は九萬一千坪である。なほ、各保險會社の契約高及び實損見込は左の如くである（括弧內は實損見込額）

▽明治火災二十萬圓（七八萬圓）▽千代田火災三十萬圓、十四五萬圓（七八萬圓）▽橫濱火災二十萬圓乃至二十五萬圓（七八萬圓）▽日本火災二十萬圓（六萬圓）▽共立五萬圓（二萬圓）▽帝國火災三十萬圓（十萬圓）▽東京火災十五萬圓（十一二萬圓）▽豐國火災二十萬圓（十五萬圓）▽東邦火災十五萬圓（六萬圓）▽共同火災二十萬圓（十三四萬圓）▽大阪海上火災十七八萬圓（十一萬圓）▽帝國海上二萬二千圓（一萬圓）▽東京動產火災二萬五千圓（同上）▽日本動產火災五萬圓（同上）▽其他七十萬圓

二十九日（火）

◇大連埠頭の怪火と保險引受拒絕

大連埠頭野天積貨物の火災が頻々として起

りその止まる所を知らない有樣なので、各保險會社は五月五日限り斷然その引受を拒絕するに決した。同地銀行團も恐慌を來し協議の結果、特產物に對し全然貸出を中止する事に決定し、これを各荷主に通知すると共に、これ迄貸出した資金の回收に取りかゝつたため、滿洲經濟界の危機を云々され、滿洲特產物商の大問題となつたが、その貨物價格が數萬圓のものであるため、滿鐵も處理し得ず、滿洲特產物先物取引は殆ど中止され、單に現物賣買に止まる樣な狀態に至つた

三十日（水）

◇東洋モスリン一千萬圓に增資

資本金四百萬圓の東洋モスリン會社は、六百萬圓增資し資本金一千萬圓となつた

◇旭電化工業、硬化油工業を買收

旭電化工業會社（資本金二百萬圓）は硬化油工業會社を買收した（日不詳）

【五　月】

一日（木）

◇龍山及羅南に軍法會議設置

朝鮮龍山及羅南に朝鮮軍陸軍々法會議が設置された

◇臺灣電力會社令公布さる

明石臺灣總督は律令を以て臺灣電力株式會社令を公布した。同社は本店を臺北に置き、資本金三千萬圓の內、一千二百萬圓政府出資の半官半民會社で正副社長は總督が任命するが、目的は安價低廉なる電力の供給により產業の發展を助長せんとするものである

◇山東問題の處分案確定

英米佛の三頭會議は本日の會議に於て、膠州及び山東の獨逸の全權利を何等保留する所なく日本に引渡すことに議決した。而して日本は單に支那が獨逸に許可した經濟上の特權と青島及び膠州南方に租借地設置の權利とを保留するのみで、進んで山東省の全統治權を支那に還附すべきであると確定した

二日（金）

◇同島に朝鮮人の暴動勃發

朝鮮獨立運動の騷擾はその後も終熄せず各地に波及しつゝあつたが、遂に間島にも暴動勃發し、本日夜同地の朝鮮總督府官舍及び民家を燒き、更に四日には總領事館に放火し二棟を燒失せしめ、日本居留民會は當局に出兵を電請した

四日（日）

◇北京に排日學生團の暴動起る

膠州灣還附問題を繞つて排日運動を續けてゐた北京の支那學生三千餘名は、日本の膠州灣獲得に反對決議をなし、更に示威行列を行つたが、遂に暴動化して、その一部は曹汝霖邸を襲つてこれを燒打し、章宗祥に重傷を負はした

五日（月）

◇鮮興業債券一千萬圓發行

日本興業銀行は前年の休戰以來各種事業資金の需要が激增したので之が調達のため、左記條件を以て興業債券一千萬圓を發行した

▽利率　六分▽發行價格　九十五圓五十錢▽償還方法　大正十年六月二十五日迄据置大正十八年六月二十五日迄每年三十萬圓以上償還

◇朝鮮電氣興業會社の創立

同社（資本金一千萬圓）は朝鮮平壤において創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役馬越恭平（會長）、鳳間德助、賀田金三郎、山本唯三郎、島德藏、中村房次郎▽監査役川上常郎、大川平三郎、山本悌次郎、福川忠平、中村辰五郎、

◇九州水力電氣、行燈電燈を合併

九州水力電氣會社（資本金一千七百二十五萬圓）は臨時株主總會を開き、行橋電燈會社（資本金十五萬圓）を合併し、一千七百四十萬圓に增資する件を可決した

◇大島製鋼所の罷業職工

東京府下大島町の大島製鋼所では、四日突然數十名を解雇したため、全職工一千二百名中八百餘名は同盟罷業をなし、會社に左の三ケ條の要求を提出した

▽機械工場職工全部を解雇し二日分の手當を支給すること▽會社が職工と契約した日給の三分積立金を拂戻すこと▽旋盤部主任及び仕上部助役を解雇すること

六　日（火）

◇南洋貿易會社の手續遲覺

同社（資本金六百萬圓）は船舶價格の下落のため船舶損失三百萬圓、その他の損失約百萬圓を計上するに至つたため定時株主總會に於て半額減資し資本金を三百萬圓とする件を可決した

七　日（水）

◇日本、南洋諸島の統治委任を受く

巴里媾和會議に於て日本は赤道以北諸島の委任統治國に指名された

◇媾和條約案を獨逸委員へ手交

左の十五章よりなる媾和條約案は獨逸委員に手交された

▽國際聯盟▽獨逸の國境▽歐洲外の政治的條項▽俘虜と墳墓▽戰爭犯罪責任▽賠償及復舊▽財政▽航空▽港灣水路及鐵道▽勞働規約▽保障及占領▽歐洲内の政治的條項▽經濟條項▽雜

◇獨逸、賠償の支拂を拒絶

獨逸政府は媾和條約の調印はするが賠償の支拂を拒絶する旨宣言した。更に九日には大統領エーベルトは公式にこれを聯合國側に聲明した

九　日（金）

◇五分利公債百六萬圓發行

政府は五分利公債百六萬三千七百五十圓を發行した。これは仙北輕便鐵道（宮城縣小牛田、石巻間、百十七哩二鎖）の買收代金として交付するものである

◇鎭都五十年祭典擧行さる

上野公園の式場に　天皇、皇后兩陛下及び皇太子殿下の行幸啓並に各皇族方の台臨を仰ぎ、鎭都五十年祝賀會が擧行せられた

十　日（土）

◇東京府農工債券五十萬圓發行

東京府農工銀行は左記の條件で第二十回農工債券五十萬圓を發行した

▽發行總額五十萬圓▽利率年六分五厘▽價格額面▽利子支拂期四月、十月

◇正金銀行一億圓に增資

橫濱正金銀行は臨時株主總會に於て五千二百萬圓を增資し、資本金一億圓とすることに決定した

◇信越電力會社の設立

同社、資本金三千萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽社長神戸擧一▽取締役大倉喜八郎、岡崎正也、若尾璋八、中原岩三郎、越山太刀三郎、依岡省輔、山岡元一、藤田謙一▽監査役渡邊勝三郎、宇佐美寬次、宮尾麟、秋原拳吉、野村孝

◇鐵鑛產業會社の設立

ゴム其他產物の栽培、採集、製造、加工及び販賣の目的を以て設立された同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　川田鷹、有賀長文、今村榮三、柴田榮吉、川上精一▽監査役　原邦造、三

294505

神敬長

十一日（日）

◇子爵澁澤榮一死去

流行性感冒にて療養中の子爵澁澤榮一は肺炎を併發し、遂に十一日午前九時四十分逝去した。享年七十四歲。大藏省主計局長、大藏次官を歷任し明治二十五年大藏大臣となり、遞信大臣を經て再び大藏大臣となつて日清戰役後の財政を處理し、その後伊藤博文と共に政友會を組織したが、間もなく政界を去つて自適の生活を送つてゐた

十二日（月）

◇農業倉庫補助費決定す

農商務省では農業倉庫業勵規則により農業倉庫建設費補助に對する經費として、大正八年度十五萬六千六百六十七圓を交付する旨告示した

◇戰時爲替調査委員會廢止

勅令を以て戰時爲替調査委員會官制が廢止された

十四日（水）

◇東京組合銀行の生糸金利協定

東京組合銀行は生糸資金貸付利率につき協議の結果、前年より二厘上げと決定した。即ち製糸業者から振出し問屋に於て保證し銀行の裏書あるものは一錢九厘、製糸家振出、問屋の保證ある分は二錢、地方銀行の融通手形は二錢一厘を最低とすることを申合せた。本年の生糸資金としての需要額は八千萬圓見當と見込まれ、前年より地方、中央共に銀行の手許資本が少ないため生糸資金の移動は繁忙を豫想された

十五日（木）

◇橫濱組合銀行の生糸資金利率決定

橫濱組合銀行は協議の結果、東京と同樣の貸出利率を決定し、同時に擔保價格は据置となつた

◇蓁華倉庫會社の開業

三菱は戰前獨逸メルチャー商會が經營してゐた上海メルチャー埠頭として知られてゐる倉庫、煉瓦建七千三百坪（棧橋（長さ八百八尺）及土地（總坪數一萬七千坪）を買收したが、今回資本金一百萬兩で蓁華倉庫株式會社を組織して之を繼承し、倉庫、棧橋を經營することに決し、本日から開業した。本店は上海に置き、左記の役員が選任された

▽取締役武市利美（會長）、大石廣吉（常務）、加藤義之助、坂本正治▽監査役伊太郎（同）、加藤義之助、坂本正治▽監査役青木菊雄、瀨下清▽支配人永峰承受

▽同副支配人江川時三郎

◇鵜島電燈、刈田水電を合併

資本金七十五萬圓の鵜島電燈會社は刈田水力電氣會社を合併、二百二十五萬圓を增資して資本金三百萬圓となつた

◇支那輸入關稅引上と舶品の影響

支那輸入關稅改訂率は外務省から新舊比較して發表された。これによつて影響を蒙むる本邦輸出品は、綿糸布、藥品染料、洋紙、鐵寸で、特に綿糸布は打擊が尠くないが、他は影響薄であつた

十六日（金）

◇株式會社山神組の創立

資本金五百萬圓の株式會社山神組は創立總會を開き、左の役員を選任した

▽取締役社長三島彌吉、山野鶴松（副社長）中村嘉壽（專務）佐藤正孝、二木素三（以上常務）、石田晉太郎、葛原增太郎、吉田重太郎、庄晉太郎▽監査役鷄苗代、詩田廣城星野佐紀▽相談役日高榮三郎、吉田猪太郎

◇上海綿糸業者の日貨排斥決議

上海綿糸同業會は學生等の組織する排日團の脅迫をうけ、日本糸の新規取引をしないこと、但し既約商品の取引は差支へない旨を決

動産二萬圓▽第一海上火災（再保）二萬五千圓▽帝國火災二萬六千四百圓▽日本火災一萬圓▽大阪海上火災一萬三百圓▽明治火災五千圓▽日本簡易火災二千三百圓

二十日（火）

◇**關濱製絲組合、全國製糸業者に警告**

橫濱製絲同業組合は總會を開き、空前の高値を現出せる糸價の前途及び新調仕入其他につき大要左の警告をなした

休戰以來歐洲各國は戰後の經濟戰に備へるため輸入貿易品、殊に奢侈品及びその類似品の輸入の制限をする形勢があるを以て蠶糸貿易は樂觀を許さないのみか、波瀾曲折を免れない。故に生產調節、價格吊上げ等の弊策の下に又復前轍を履まざる樣愼重に注意すべきである

◇**大阪高島屋の燒失と火保損害高**

大阪心齋橋の高島屋から出火し同店の外三十戸を全半燒して鎭火した。高島屋の損害は百五十萬圓で、中建物に千代田火災は二萬圓ストロン三萬圓、東京海上二萬圓、商品には大倉組保險部十五萬圓、サン四萬圓、明治十一萬圓、東京海上一萬圓、横濱八萬圓、ロヤル一萬圓、帝國二萬圓、神戸海上四萬五千圓、日本一萬五千圓、千代田三萬圓、合計五十八萬圓の保險が附せられてゐた

◇**英國の戰費總額六十七億磅**

英國下院に於てオースチン・チェンバレンは、三月三十一日までの英國の戰費總額は約六十七億磅なる旨發表した

◇**佛國國議會、婦人參政權を可決**

フランス下院は婦人參政權を可決した

◇**爪哇の火山爆發、死者一萬六千人**

中部ジヤバ、ケデリ州のクローエ火山爆發し、死者一萬六千人、負傷者多數を出し、ブリタレ市の十分の八は壞滅した

二十一日（水）

◇**東北帝大に工學部設置**

東北帝國大學に工學部設置の勅令が公布され、卽日施行された。その內容は左の如くである

▽機械工學三講座▽電氣工學三講座▽化學工學四講座▽內力及彈性學一講座

二十二日（木）

◇**日本銀行、輸出手形再割引開始**

爲替手形、銀行引受手形につき考究を續けてゐた日本銀行は、我市場に於ける外國貿易の金融を圓滑ならしめる趣旨を以て外國貿易の實際取引に基く銀行引受手形の再割引を爲す途を開き、特にこれを優遇してその割引歩合は日本銀行の公定歩合中の最低率を適用し戰時中に擴張された我國產業の維持又は整理に必要な資金の調達を便ならしめるため、事業會社等が資金の融通をうける目的で作成した融通手形及び銀行引受手形中、優良と認められるものに對して特に再割引をなす方法を設け、その割引歩合は株券其他の見返品を擔保とする手形の例によると發表した

◇**朝鮮總督紙價上げ通告**

王子、富士、四日市、中央、九州の各製紙會社は各新聞社に對し七月分から新聞掻取紙一連につき八十六錢の値上げを通告した

◇**日本青年會館の創立**

資本金二百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役片岡鎭吉、秋元喜七、倉科鐵太、加藤政之助、米倉甚兵衞、穗口長吉、尾又高次郎▽監査役井田武雄、安達元之助、持田三▽顧問吉田彥六郎▽相談役臼居鶴龜

◇**上田の製糸女工一千名罷休**

長野縣下有數の製糸工場たる上田町時田館の女工約一千名は、糸の檢查方法の改正が苛酷であると同時に、物價騰貴の折柄前年より二割方安く計算するの不當を責めて、本日夜同盟罷業に入り、二十三日は休業した

二十三日（金）

◇**戰時輸出制限を一部解除**

大正三年九月農商務省令を以て施行された輸出制限品目中その一部を解除し、本日より施行された。苛性曹達、曹達灰、生薬誤、護謨製品等約四十種に及ぶ

◇**帝國政府、芬蘭の獨立承認**

佛國駐劄の松井大使は政府の訓令により芬蘭國政府外務大臣ホスチに對し、帝國政府は芬蘭國の獨立及びその事實上の政府を承認する旨通知した

◇**臨時國庫債券一千三百萬圓發行**

臨時國庫債券一千三百萬圓は左の條件を以て發行された

▽割引歩合日歩一錢六厘▽支拂期日大正八年十一月二十二日

◇**帝國鳥車自動車會社の創立**

同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長藤村義朗▽取締役戶田大郎、日高岩太、林愛作、新開富、寺田孝喜▽監査役喜谷市郎左衞門、葉野珠城、小林民次郎

◇**土肥金山に暴動起る**

靜岡縣の土肥金山（資本金一千萬圓、社長馬越恭平）鑛夫は賃銀値上の要求をなし動搖してゐたが、會社側がこれに應ぜぬため百餘名は夜に入るを待つて暴動を起し、事務所長事務所員の社宅を襲つて家屋器具を破壞する等形勢不穩になつたが、慰撫調停の結果二十四日午前一時半一先づ現場より引上げた

二十四日（土）

◇**木更津、北條間全通**

千葉縣木更津、北條間三十四哩の北條線は本日全通した

◇**支那政府、無線電信會社を設立**

支那政府とマルコニー無線電信會社間に資本金七十萬磅の支那無線電信會社を設立する協約が調印された。資本金の一半は支那側に於て募集し、殘餘はマルコニー無寓會社が出資するものである

二十五日（日）

◇**支那福州の暴漢支店取付に遭ふ**

山東問題を契機として支那各地に排日運動が盛んとなつて來たが、福州に於ける支那學生約六千人は隊を組んで示威運動を行ひ、日

貨掛戻及び排日檄文を撒布した。このため同地の臺灣銀行支店はその餘波を受けて相當額の取付に遭った

二十六日（月）

◇大株仲買人組合、歩み賣買廢止

大阪株式取引所に仲買人總會を開き、懸案の歩み賣買廢止につき協議の結果、廢止と決定し、六月一日新市發會當日から實行することゝなつた

二十七日（火）

◇鶴岡電氣鐵道會社の創立

同社（資本金二百六十萬圓）は創立總會を開き、重役に下出義雄、角田正喬、窓川恒貞山本壓吉、浪打龜次郎、岡本清三、月野正五郎を選任した。なほ同社は、富士電氣工業會社から一千二百キロの電力供給を受ける契約を締結した

◇東京瓦斯の料金値上げ決定

かねて紛議を醸してゐた東京瓦斯會社の料金問題は當分一千立方呎に付五十錢を引上げ二圓二十五錢とし、これが實施期は市令の議決を經た翌月一日からと決定した

二十八日（水）

◇臨時圓債證券五十六萬五千圓發行

政府は歩圓軍需品代金決濟處理のため二分利附臨時國庫證券五十六萬五千八百七十五圓を發行した

◇東京市電公債發額五百萬圓發行

東京市電氣局は電燈部本年度事業經費に充當する公債五百萬圓（予定總額一千五百萬圓中一千萬圓は既發行）を左の條件で發行することゝなつた

▽總額五百萬圓▽發行價額九十圓以上▽利子五分半▽期限三年据置後三十二年間に抽籤償還▽申込六月上旬▽發行七月上旬

◇臺灣電力の株式割當決定

臺灣電力會社創立委員會は、同社定款及び株式割當を協議し、總株六十萬株中、臺灣總督府に二十四萬、公共團體及び設立委員に對して二十一萬株を割當て、殘り十五萬株の内六萬株は臺灣で、九萬株は内地で六月十日から十三日まで公募する事となつた

◇東京瓦斯工業會社の借額增資

東京瓦斯電氣工業會社は臨時株主總會に於て資本金一千萬圓を二千萬圓に增資する件を可決した

三十日（金）

◇東京期米市場の買建制限實施

東京米穀取引所は三十一日前場一節から當分のうち、仲買人の買付玉が片建五萬石を超える場合はその仲買人の賣買を制限し、且つ必要と認めた時は五萬石に達しない場合に於

ても制限をなす旨發表した

◇富士製鋼會社の整理案決定

戰後の反動により經營難に陷つた同社は、日米信託會社の保證によつて二百五十萬圓の融通を受ける事となつたので、内部の整理につき債權者側と折衝しその諒解の下に大株主會を開き整理案の同意を求めた。その骨子は資本金六百萬圓拂込濟を半額の三百萬圓に減資し、社債及び借入金四百七十萬圓の中三百萬圓を年一割配當附の優先株に引直し、殘額は日米信託の保證借入金中から銷却し、殘りの借入金を運轉資金とするものである

三十一日（土）

◇六領事館、總領事館に昇格

外務省告示を以て、五月二十八日吉林、濟南、福州、新嘉坡、マニラ、バタビヤの帝國領事館は總領事館に昇格した旨發表された

◇米價狂騰、石五十二圓臺となる

東京期米の熱狂的踏上げ相場は二十九日に到り前日の三十五圓臺を突破して前場第一節の寄付から一氣に五十六錢をはづんで三十六圓臺を衷はし、後二節に三十六圓二十九錢の高値となり、三十日は本場の大引三十六圓五十錢となつたが、更に本日は本場三十七圓九十錢に奔騰した。而して白米小賣相場は一等米石五十二圓餘を唱へるに至つた

◇日本紙業一千萬圓に增資

資本金二百五十萬圓の日本紙業會社は、七百五十萬圓の日本紙業會社は、七百五十萬圓を增資して資本金一千萬圓となつた（日不詳）

◇鐵神急行電鐵一千萬圓に借額增資

資本金五百五十萬圓の阪神急行電鐵會社は借額增資して資本金一千百萬圓となつた（日不詳）

◇東京モスリン紡織一千萬圓に增資

資本金四百萬圓の東京モスリン紡織會社は資本金二百萬圓を增資して資本金一千萬圓となつた（日不詳）

【六　月】

一　日（日）

◇樺太に土地收用法施行

勅令を以て土地收用法を本日から樺太に施行する旨公布された

◇國有鐵道、生活必需品運送に特典

國有鐵道は物價調節の應急對策として、米其他生活必需品の無賃又は割引輸送を實施した。尚この特典は本年十一月末日限り廢止された

◇東亞ペイント會社の三倍增資

資本金五十萬圓の東亞ペイント會社は事業擴張のため百五十萬圓に增資する事に株主總會で決定した

◇市田オフセット印刷百萬圓を增資

市田オフセット印刷會社は株主總會に於て現在の資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

◇在支公使團の和平勸告決議

在支那米國公使の發起で各國公使會議を開き、南北和議停頓問題を協議の結果、和議をなすべき事を嚴重に勸告し、而してこれは内政に干渉するものでない旨の聲明書を發表する事に決定し、來る五日總統府で徐世昌と會見、これを傳達する事となつた

◇對墺媾和條件手交さる

聯合國側の左の條項から成立つ媾和條件が墺國全權委員に手交された

▽墺國々境▽政治條項▽歐洲以外の墺國權利▽陸軍及航空▽懲罰▽經濟條項▽交通の自由▽雜則

二　日（月）

◇西比利亞の四ケ所に領事館開設

日本政府は露領西比利亞のオムスク、イルクーク、ブラゴエチエンスク、ハバロフスクに領事館を開設した

◇樺太に所得稅法の一部施行
勅令を以て所得稅法の一部を樺太に施行する件が公布された。これは所得稅法中の法人所得稅に關する規定を樺太に施行するものである

◇期米三十五圓臺に暴落
東京期米は本日本場寄付に於て先物八月限受渡米が三十五圓八十五錢に暴落した。原因は政府の米價調節計畫と有力者一派の賣崩しによるものである

三一　日（火）

◇各新聞社の新聞用紙値上反對決議
東京新聞組合及び新聞協會評議員は製紙會社の提示した新聞用紙値上問題に關して會合を開き、今後一ケ年間現在の値段を据置くのが穩當であると强硬な反對決議をなした

◇東洋印刷所職工の同盟休業
同印刷所の職工百八十餘名は四割の賃銀値上を要求して會社側に拒絶されたゝめ同盟休業をなしたが、夜に至り會社側は七分乃至八分增給で折合をつけたので四日は從前通り全

職工が就勞した

四　日（水）

◇日本共立火災、火保協會から脫名
日本共立火災保險會社は浪速火災保險會社を繼承して現重役の經營に移つて以來、火保協會に對し絕對的反對の態度をとり協會側と同一步調をとる誠意を缺いてゐるとの理由で火災保險協會から除名された

◇東京瓦斯の料金値上延期
市會本會議に於て東京瓦斯の料金値上げは八月迄延期となつた

◇對支借款一千萬圓借參成立
日本金一千萬圓第三回前渡し借款は七月十日滿期の處、本日興業財政總長と日本銀行關代表橫濱正金北京支店支配人小貫慶治との間に假契約の調印を了した。期限は一ケ年、利息年七分、擔保は鹽稅である

五　日（木）

◇朝鮮の國勢調查規則制定
朝鮮の國勢調查規則が制定され、九月二十一日から十月五日迄の間に調查することとなつたが、第一回の調查は讀み書きの程度、國語を解する程度の二項である

◇勸業債券六百萬圓發行
日本勸業銀行は第七十二回四分利割增金付勸業債券六百萬圓を本日から二十日迄を限つて一般に賣出した

七　日（土）

◇墺國、媾和條件受諾不可能を宣言
墺國大統領ジーツは國民議會に於て、媾和條件は墺地利の餓死を意味するものであり、受諾は不可能であると宣言した

八　日（日）

◇太洋汽船の運賃同盟脫退と運賃値下
太平洋運賃同盟では過般同盟港中から瓜哇を削除するに決定、これに加盟せる本邦船會社は郵船、商船、山下、太洋の四社であるが太洋汽船は同盟から脫退し單獨行爲に出て運賃を値下げしたので、他の三社も雜貨十四圓に引下げる旨發表した

◇繊出綿織物聯合會創立さる
全國二十一府縣に亘る關係同業組合四十組合により日本輸出綿織物同業組合聯合會が組織され、聯合會長に富士紡社長和田豐治が決定した

九　日（月）

◇上海の排日運動と同盟罷業
上海の排日運動は惡化の一路を辿り、市中

の全權は學生聯合軍の手に移りつゝあり、自動車運轉手は全部同盟罷業をなし、更に電氣工夫、電車從業員、電氣工場職工、船舶會社雇人、英米煙草會社職工一千名、楊子浦路及び蘇州江岸の日本人紡織工場の全職工が同盟罷業に參加した

十　日（火）

◇臨時國庫證券四千萬圓借換發行
前年十二月發行した臨時國庫證券四千萬圓は本日滿期となつたので、政府は同額の臨時國庫證券を借換發行した。割引日歩は一錢六厘、支拂期日は本年十二月九日である

◇兵庫農工債券五十萬圓發行
兵庫農工銀行では七月五日から同月十日まで六分五厘利付第三十九回農工債券五十萬圓を左記條件で發行に決した

▽發行價格　額面▽拂込期限　八月十六日
▽償還方法　二年半据置、二十ケ年以內に償還

◇徐支那大總統辭職を通告す
支那の大總統徐世昌は議會に對し辭職する旨を通告し、同時に各省に宛て右の旨通電したが、國務院もまた總辭職した。理由は山東問題に關し保留する所なくして條約に調印する事を欲しないといふにある

◇上海の排日運動惡化し戒嚴令を布く
上海の排日熱は益々昂進し危險極まりないため、支那政府は遂に支那町に對して戒嚴令を布いたが、各國居留地に於ても義勇隊全部が出動した。支那人は日本人に對して一切食料品不賣を實行したゝめ邦人は窮地に陷り、總ての工場は閉鎖せざるを得なくなり、形勢によつて我軍艦は直ちに陸戰隊を上陸せしめる準備をなした

十一　日（水）

◇朝鮮阿片取締規則の制定
朝鮮阿片取締規則が公布され、六月十五日から施行された。同時に朝鮮阿片取締令施行規則が制定公布された

◇愛知電鐵、延長線敷設を許可さる
愛知電氣鐵道會社は、鳴海町から知立まで三十八哩の輕便鐵道延長線敷設を鐵道院から許可された

◇北海道製糖會社の創立
資本金一千萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　松方正熊（社長）、牧山清砂（專務）、廣瀨德次郎（常務）、山口誠太郎、安部幸之助、前川太兵衞、樽瀨軍之佐▽監査役　川山俊介、吉村鐵之助、松元泰正

◇支那國會、徐總統を信任
徐總統の辭職通告に對し衆議院は受理不可能を決議し、兩院議長はこれを返却し、或種の條件の下に彼を支持することを約した。而して十五日に至り徐總統は留任と決定したが錢國務總理は辭職した

十四日（土）

◇鐵道院、運送取扱人公認規程を制定
鐵道院は運送取扱人公認規程を制定、官報を以て告示した

十五日（日）

◇全國商業聯合會の營業稅改正決議
全國商業會議所聯合會の營業稅法改正委員會は、本邦に於ける營業稅の賦課は主として外形標準に據るため甚だ負擔を重くし年を追つて營業者の苦痛を增大するため、他日全廢の方針の下に整理改正を行ふ要ありとの決議をなし、十四ケ條の改正案を作成した

◇北越水力電氣五百萬圓に增資
長岡市の北越水力電氣會社は株主總會を開き、現在の資本金二百萬圓を五百萬圓に增資する件を可決した

十六日（月）

◇満鐵社債二千萬圓發行
滿鐵社債二千萬圓は日本興業銀行の引受けで二十三日から賣出を開始した。その條件は左の如し
▽金額　二千萬圓▽利率　六分▽期限　十五箇年▽償還方法　五箇年据置六箇年目から毎年金三十萬圓以上抽籤償還▽發行價格　九十三圓五十錢▽申込期日　六月二十三日から六月二十八日迄▽拂込期日　七月二十一日

◇玉川水道二百萬圓に增資
玉川水道會社（資本金三十萬圓）は定時株主總會を開き、資本金百七十萬圓を增加し總額二百萬圓とする事に決定した

◇東洋特許醬油會社の設立
資本金二百萬圓（四分の一拂込）の東洋特許醬油會社は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役　美島龍夫（社長）、海老原七郎（專務）、中村公元（同）、高崎親雄、長崎重治、柴田李四郎、吉村淸藏、酒井五郎、筑浦泰五郎、田中豐治郎▽監査役　岩本千綱、千葉順太郎、伊瀬知辰彦、伊藤安治郎

◇聯合國の講和條約對獨回答發表さる
獨逸の媾和條約對獨に對する聯合國の回答文が正式に發表された。その項目は次の通りである
▽暴力の平和に非ず▽獨國民亦責任あり▽獨逸商業を阻害せず▽本回答は最後通牒で▽歐洲政治條項▽舊獨逸植民地▽陸軍條件稍々緩和▽海軍條件不變更▽賠償手續修正▽占領費の負擔▽通商上の制限▽水路鐵道條件小變更

十七日（火）

◇東京電燈會社二百萬圓を增資
資本金五十萬圓の同社は臨時株主總會で二百五十萬圓に增資の件を可決した

十八日（水）

◇鐵鋼聯合會の臺灣鑛業取運賃決定
鐵業聯合會は鄂、商、三井の三社側並に山下汽船側提供の臺灣鑛業取運賃について協議の結果、打狗横濱間擔當三十九錢、基隆横濱間三十六錢（大阪、神戸揚げは右運賃より二錢安、門司、若松、三池揚げは右運賃より六錢安）で明年度積出數量三分の二を三社側、殘り三分の一を同賃率で山下と輸送契約をすることに內定し、その交渉を山本會長に一任する事となつたが、山下側は從來の行掛り上たとへ十錢でも引受け方を契約する旨回答し、三社側は改めて回答する旨の通告した

◇日本美術會社の創立
資本金百萬圓の日本美術會社は創立總會を開き、取締役指田傳助他六名、監査役五名を選任した

十九日（木）

◇中央電氣會社の創立
資本金百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役　倉島恒太郎、山本義路、雨宮榮一、畑中泰次郎、角井蕃、曾山信武、村田常次郎▽監査役　大塚喜一郎、松田喜三郎　吉野喜一郎

二十日（金）

◇阪神電鐵會社、半急行制實施
阪神電氣鐵道會社（資本金二千五百萬圓）は本日から半急行制を實施した

◇日東製氷會社の創立
日東製氷會社（後、大日本製氷と改稱）は資本金九百二十萬圓を以て東京に設立され、本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長　和合英太郎▽常務取締役　高木藤次、桝谷米市▽取締役　原眞一、橋本辰二郎、加藤重治、吉弘嘉助、漆昌巖、久米民之助、牧田富次郎、青木勝三郎、澤山精八郎、茂居藤作▽監査役　長谷川要之助、臨山啓次郎、桝谷音三、近藤伊作、古賀三千人

◇東濱地方に饑米の直接輸送調結
阪神地方に比し京濱間では常に在米の不足を來し米價を騰貴せしめるが、外米の直接輸送に缺けてゐるに鑑み、政府に於ては鄭船その他の船會社に命じて朝鮮米の直接輸送をなすに決し配船せしめた

二十一日（土）

◇倉庫銀行の支拂停止
東京市日本橋の倉庫銀行（明治三十五年創立、資本金十萬圓、拂込濟、頭取中村淸藏）は本日代理銀行である明治商業銀行に交換資金を決濟し得ず、そのため代理交換解除となり、同銀行は向ふ十日間支拂停止となつた

◇九州水力三千五百萬圓に增資
九州水力電氣會社（資本金一千七百四十萬圓）は臨時總會に於て一千七百六十萬圓增資の件を可決した

◇大日本人造肥料・硫酸肥料を合併
大日本人造肥料會社（資本金一千三百五十萬圓）は臨時株主總會に於て、硫酸肥料會社（資本金百二十萬圓）株三株に對し二株の割合で同社を合併し、八十萬圓增資する件を可決した

二十二日（日）

◇獨逸國民議會、媾和條約調印可決
獨逸國民議會はバウアー新內閣信任案並に媾和條約調印を可決した

二十三日（月）

◇擾要川電化、日本電氣黑鉛を合併
擾要川電化會社（資本金九百萬圓）は株主總會を開き、日本電氣黑鉛會社（資本金百萬圓）を合併し、一千萬圓に增資する件を可決した

◇中加貯蓄銀行の取付
倉庫銀行取付の影響をうけて東京深川の中加銀行（資本金二十萬圓、內拂込八萬七千五百圓、頭取中村淸藏）も本日取付に遭つた

◇明治製糖會長小川鍊吉死去
明治製糖初代取締役會長小川鍊吉は本日死去した。享年六十五。名古屋に生れ、明治六年米國より歸朝、文部省に入り同十四年退官直ちに三菱汽船會社に入社し、日本郵船會社創立せらるゝや大阪支店長として手腕を揮ひ累進して取締役に擧げられ、一方明治三十九年明治製糖を創立して會長となり、其他數社の重役として實業界に重きをなしてゐた

二十四日（火）

◇米價益々騰貴す
騰貴を續けてゐた東京期米相場は、獨逸媾和條約調印に決定との公表に刺戟されて益々騰貴し、遂に當限三十八圓七十錢に上つた

◇獨逸政府、膳悪自重を國民に訓令
獨逸政府は左の訓令を同國民に發した
一　媾和條約の實務を果さんことを要求す
二　銳意勞作に從事すべきこと
三　義務に忠實なるべきこと

二十五日（水）

◇南洋委島に財產管理令を施行
永田臨時南洋群島防備隊司令官は、南洋群島民政令を以て南洋群島に於ける獨逸國等に屬する財產管理令を制定し、即日施行の旨を發令した

◇東京株式取引所休會
東京株式取引所は帳簿整理のため國債以外の定期取引を臨時休會した。現物は平常通り

開市した

二十六日（木）

◇度量衡及工業品規格統一調査會設置

同會官制が公布された。委員は次の如し

▽內閣統計局長牛塚寅太郎▽拓殖局長立花俊吉▽軍需局長國澤一郎▽鐵道院理事杉浦宗三郎▽內務技監工學博士原田貞介▽大藏省主稅局長松本重威▽陸軍中將筑紫熊七▽同田中弘太郎▽海軍中將工學博士中島眞曾八▽海軍中將岡田啓介

◇竹鼻、三雲兩輕便鐵道敷設認可

竹鼻輕便鐵道の延長線（三呎六吋の電氣鐵道、岐阜縣羽島郡笠松町から同郡駒塚村に至る五哩十三鎖、建設費三十五萬圓）並に三重鐵道の延長線（二呎六吋の蒸氣鐵道、三重縣三重郡日永村から同郡深伊村に至る八哩六十八鎖、建設費三十五萬圓）の兩輕便鐵道は何れも鐵道院から敷設を認可された

二十七日（金）

◇大阪電氣分銅會社の勞働爭議

大阪電氣分銅會社職工四百名は日給增額並に規則改正を會社に要求して容れられないため同盟罷工をなし、全員辭表を提出したが、會社側は斷乎四百名を解雇し、改めて入社希望の職工のみを採用した

二十八日（土）

◇鐵道所基金の一部を一般歲入に繰入

「製鐵所基金の中一千五百萬圓を限り大正八年度の一般歲入に納付する事を得」との勅令が公布され卽日施行された

◇鹽の賣渡價格引上げ實施

大藏省令を以て大正八年中收納する四十斤入入鹽の百斤當賠償價格を改正し、同時に政府の賣渡す鹽の百斤當價格並びに鹽交付金表を改正し卽日施行した。このため右賠償價格を一斤に付二厘五毛卽ち一升に付五厘方引上げた

◇大正板硝子會社四十萬圓を減資

資本金百萬圓の同社は定時株主總會で、四十萬圓を減資して資本金六十萬圓とする件を可決した

◇支那綿和委員、鮮約調印拒絕

支那全權は對獨媾和條約調印式に缺席し、調印を拒絕した。これは山東を直接獨逸から還附しない限り調印しないとの主張によるものである

◇對獨媾和鮮約調印さる

巴里に於て獨逸代表委員ウルゲー等は媾和條約に調印し、次で各聯合國側調印し、こゝに巴里媾和會議は完了した

三十日（月）

◇臨時國庫證券六千九百三十萬圓發行

政府は露國軍需品代金決濟處理に充當するため二分利付臨時國庫證券六千九百三十萬五千三百圓を發行した

◇小額國庫證券一千萬圓發行

政府は國債の發行に際し普く一般國民に應募の便宜を與へ且つ應募者の元利金受領の便宜を圖るため、內地の一、二、三等各郵便局をして小額國債の賣出及び元利拂の事務を取扱はしめることゝした。條件左の如し

▽發行額　一千萬圓▽額面金額種類　二十五圓、五十圓、百圓の三種▽賣出價格　額面百圓につき九十五圓▽償還期限　大正十三年六月一日▽利率　年五分▽賣出場所　內地一、二、三等郵便局▽賣出期間　七月十六日から同月二十五日迄▽利廻　六分三厘四毛餘

◇日本鋼鐵會社五十萬圓に減資

日本鋼鐵會社は株主總會に於て現在の資本金百萬圓を五十萬圓に減資の件を可決した

◇日本徵兵保險會社の五倍增資

資本金三十萬圓の同社は定時總會に於て百五十萬圓に增資する件を可決した

◇富士製鋼會社の整理案可決

資本金六百萬圓の同社は定時株主總會を開き、夙て作成の整理案を附議した結果、原案通り現在の資本金六百萬圓を三百萬圓に減資し、社債二百五十萬圓を日米信託會社の保證で發行して債務の一部に充當し、更に殘餘の債務を優先株に振替へ三百萬圓を增資することになつた

◇日本毛織會社二千萬圓に借額增資

同社は株主總會に於て現資本金一千萬圓を二千萬圓に增資と決定した

◇硫酸販賣會社の設立

硫酸販賣會社（資本金二十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した（日不詳）

▽取締役　田中栄八郎、鈴木錠藏、堀內明三郎、兵藤藤吉、長谷川鐵太郎、石川一郎▽監査役　柴田清之助、遠藤新藏、兒島秀吉、古田中正彦

【七　月】

一日（火）

◇媾和祝賀の大觀兵式擧行

代々木練兵場に於て媾和祝賀の大觀兵式が擧行された

◇鐵道院、八時間勤務を實施す

鐵道院に於ける從業員の作業時間は從來二十四時間隔日勤務であつたが、信號手、轉轍手等の現場從業員は勤務過勞なるため、本日より八時間勤務を實施した。これによる從業員增員二千百十六人、經費八十七萬圓である

◇農商務省調査の職工死傷者數

農商務省工務局調査にかゝる大正七年度工場災害概況が發表された。それによれば職工負傷者男工一千二百二十七人、女工九十八人、死亡者男工二百五十一人、女工二十五人、以上合計一千六百一人。諸種工業中最も多くの死傷者を生じたのは機械器具工場にしてその數の五割を占めてゐる。その中でも船舶車輛製造業、特に造船業に多く、これに次ぐものは金屬品製造業である。また女工の死傷者は染織工場に最も多く、全數の約八割を占めてゐる

◇米國に禁酒令實施さる

アメリカ合衆國は、本日より禁酒令を實施した

二日（水）

◇外務省に條約局新設さる

勅令を以て外務省官制の一部改正を公布し條約局が新設された

三日（木）

◇東京株式取引所臨時休會

東京株式取引所は媾和調印を機會として買方の利喰を喚起し、諸株變調を來たし亂調子を帶びるに至つたので帳簿整理のため臨時休會した

◇國際汽船會社の創立

資本金一億圓（四分の一拂込）の國際汽船會社は神戸オリエンタル・ホテルに創立總會を開き、左の重役を決定した

▽取締役川崎芳太郎（社長）、松方幸次郎、橋本綱、廣瀨滿正、松方正雄、阿部正也、四本萬二、金子直吉、成瀨正恭、淺野良三橋本寅造、內田信也、中山節太郎、山下龜三郎、高畠誠一▽監査役太田保太郎、進藤信義、勝田銀次郎、渡邊嘉一

◇北海道採炭會社の創立

資本金五十萬圓の北海道採炭會社は帝國鐵道協會に於て創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締中山佐市（社長）、字井孝三（專務）、中西八百吉（常務）、大村信善（常務）、犬塚信太郎、山田昌壽、加治嘉太郎▽監査役飯田延太郎、長松篤棟

四　日（金）

◇大阪市、小學校教員に五割増俸

大阪市は小學校教員に臨時手當三割强を支給してゐたが、物價騰貴の趨勢に伴ひ臨時手當を廢し、改めて本年度初めに遡り平均五割二分五厘の增俸を決定した。卽ち本俸二十圓未滿は七割、三十圓未滿は六割六分、五十圓未滿は五割、五十圓以上四割五分增俸

◇住友伸銅所、日曜休業制を實施

住友伸銅所は從來の月二回一日十五日休業制を廢して、本日より日曜休業制度を實施し勞働時間の短縮を實行した

五　日（土）

◇豐島電力會社の創立

資本金七百萬圓の同社は帝國鐵道協會に創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役安田善三郎（社長）、田島逢作（副社長）、小倉鍵之助（專務）、高津仲次郎、兒定治郎、宮口竹雄、岩田晉▽監査役青木正太郎、天田長四郎、田嶋正太郎

八　日（火）

◇リオ・デ・ジヤネイロに領事館設置

南米ブラジル國首都リオ・デ・ジヤネイロに帝國領事館が設置された

◇三井銀行一億圓に增資

三井銀行は臨時株主總會を開き現在の資本金二千萬圓（二十萬株）を一億圓（百萬株）に增資し、新株八十萬株の內三十萬株はプレミアム付で公募に決定した

九　日（水）

◇臨時法制審議會設置さる

政府は既存の法律取調委員會を廢止して新たに臨時法制審議會を設置した

◇臨時財政經濟調査會の設置

現に設置されてゐる臨時國民經濟調査會はその範圍狹少に失し機宜を得たるものにあらずとの見解から政府は該官制を廢止し、新たに臨時財政經濟調査會を設置した

◇廣島提灯製造會社の創立

資本金六十萬圓の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した

▽取締役波多野友江、豐島駒吉、大島辰之助、中山庄次郎、手塚平四郎▽監査役安富來輔、手塚猛昌

十　日（木）

◇臨時財政經濟調査會職員任命さる

內閣總理大臣原敬を會長とする同會は副會長以下職員及び幹事を左の如く任命した

▽副會長高橋是清、山本達雄▽委員澁澤榮一、神野勝之助、高橋光威、橫田千之助、古賀廉造、犬塚勝太郎、秦豐助、山崎覺次郎、林博太郎、田健次郎、橋本圭三郎、濱口雄幸、前田利定、小山健三、井上準之助、岡琢藏、鄕誠之助、岡崎邦輔、鈴木梅四郎、松本剛吉、片岡直輝、藤山雷太、梶原仲治、串田萬藏、山岡順太郎▽幹事內閣書記官下條康麿、內務省地方局長添田敬一郎、大藏省主稅局長松本重威、大藏省理財局長森俊六郎、農商務省商務局長岡本英太郎

十一日（金）

◇五分利國庫債券八千萬圓發行

政府は臨時軍事費支辨のため五分利國庫債券八千萬圓を發行するに決し、大藏省令を以て告示した

◇山陽中央水電會社の創立

資本金三百五十萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役平賀敏、蓮水太郎、井上周、淸水榮次郎、南鄕三郎、木原通一▽監査役伊藤長次郎、木間瀨策三、長尾佐助

十二日（土）

◇川崎造船所兵庫工場の同盟罷業

川崎造船所兵庫分工場內の艤裝工場職工二百名は賃銀値上げを要求して容れられぬため同盟罷業した

◇聯合國の對獨封鎖撤廢

聯合國は媾和成立したるを以て五頭會議により對獨封鎖解除を決定した

◇佛國、對獨輸出解禁

佛國政府は從來嚴重に輸出を禁じてゐた一切の貨物に對し本日以後自由に輸出を許可すると發表した

十三日（日）

◇神戸所在鋼材工場職工の同盟罷業

神戸市の東洋燒材會社職工二千人、日本燒材會社職工一千人、帝國燒材會社職工六百人はいづれも賃銀二三割の增給を要求し、相呼應して同盟罷業に入つた

十五日（火）

◇滿鐵の職制改革

南滿洲鐵道會社は職制の改革を發表した。新職制は左の如し

▽總務部（文書、監査、外事、調査の四課）▽運輸部（庶務、營業、運轉の三課）▽地方部（庶務、學務、勸業、衛生の四課）▽技術部（線路土木、建築、機械の四課）▽經理部（會計用度の二課）以上、六部十九課に分る

◇東京硝子工業會社の創立

資本金五十萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役正親町公和、大野平太郎、新井敬助、相浦正吉、二宮麟定、加藤小一郎、渡邊一郎▽監査役新井恭、山田學而

十六日（水）

◇自由黨の創立者板垣退助死去

「板垣死すとも自由は死せず」の名句を吐き自由民權の父として知らるゝ正二位勳一等伯爵板垣退助は八十三歲の高齡をもつて本日午後八時三十分死去。特旨を以て從一位を追贈さる

十七日（木）

◇東亞煙草會社一千萬圓に增資

同社（資本金三百萬圓）は七百萬圓を增資し資本金一千萬とする件を株主總會に於て決定した

十八日（金）

◇三菱、東京市へ百萬圓寄附

三菱合資會社は東京市の公益事業費として百萬圓を寄附した

十九日（土）

◇外米輸入に關する改正勅令の公布

大正七年公布された外國米輸入に關する勅令は不備の點あるためそれを補ふ改正勅令が公布された。その要點は指定商を認めず、賣買は政府が自己の計算を以て之を爲し、唯その指令により買付、賣出しを商人に委託するものである

◇滿鐵子事件勃發す

滿洲寬城子に於て我が某法人社員は不法なる孟督軍の兵と爭鬪を始め遂に邦人は重傷を負ひ、このため長春に在る我滿洲守備隊の一部は應援調停のため出動したが、支那兵は發砲したため、遂に大爭鬪となり我將校二名負傷、兵二名戰死、其他數十名負傷した

◇石川島造船所職工三千五百名罷業

同社の職工三千五百名は賃銀三割値上の要求をなし、本日は公休の名によつて出社せず翌二十日より本格的同盟罷業に入つた

◇大倉男、東京瓦場費に百萬圓寄附

男爵大倉喜八郎は東京市の寄場費に百萬圓を寄附した

◇山下龜三郎、住宅費に百萬圓寄附
山下汽船社長山下龜三郎は住宅建築費として百萬圓を東京市に寄附した

◇松方幸次郎、神戸市へ二十五萬圓寄附
川崎造船所社長松方幸次郎は米價暴騰、住宅難救濟の費用として神戸市に二十五萬圓を寄附した

二十日（日）

◇東海銀行一千萬圓に增資
東海銀行（資本金三百萬圓）は創業三十年記念として七百萬圓を增資し一千萬圓となす件を定時株主總會で決定した

◇鐵鶏夢酒專務來井源治郎死去
鐵鶏夢酒會社專務取締役來井源治郎死去。享年五十九歳で株式會社明治屋、合資會社來井商店、合資會社明治護謨製造所等の社長を兼ねてゐた

二十一日（月）

◇共同生命保險會社の重役改選
浦部襄夫の經營に移りたる共同生命保險會社は臨時總會を開き左の新重役を選任した
▽取締役男爵横山隆俊（社長）、浦部襄夫（專務）、横山章、金子元三郎、淺野泰次郎、昭田勇▽監査役横山俊次郎、早速整爾、平沼亮三▽相談役大倉信常、林熊徳

◇日本カルシユーム興業會社の創立
資本金五十萬圓の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役桑原莊吉（社長）、山根虎吉（專務）古畑寅造、黒崎富藏▽監査役御幡垣次郎、仁村清太郎

◇勞働爭議各所に起る
博文館印刷工場職工一千五百名は賃銀三割値上を要求し、日清印刷會社職工三百餘名は勞銀一日三十錢增しを要求し、東京市京橋區月島通り服部機械製作所の職工二百名は賃銀五割增を要求し、いづれも本日より罷業に入つたが、更に東京府下千住の日本製靴會社職工及び所澤航空研究所の職工も不穩の形勢を示すに至つた

二十二日（火）

◇日本特許肥料會社の創立
資本金三百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役山崎覺太郎（社長）、櫻井伊兵衛、袴田喜四郎、加藤昇一郎、赤石武一郎、山中茂三郎、小澤保雄▽監査役白石莊藏、新井泰三郎、源馬作治

二十三日（水）

◇日本無煙炭鑛會社の創立
資本金八十萬圓の同社は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役廣瀬千秋（社長）、石野義次（專務）柴田修（營支配人）、中川隣之助、石井象吉須賀茂藏、山下知吉▽監査役横出彦太郎、仁村清太郎

二十四日（木）

◇國有鐵道、米の無賃輸送
鐵道院は從來米の運賃を最低運賃より一割七分引の特定運賃とし、六月一日よりは更に三割引としてゐたが、地方米出廻りを促進するため、本日より來る八月二十五日まで全線（航路を除く）無賃輸送を實施することゝし期間後は一割七分引の特定運賃に復することを發表した。また麥（大麥、小麥、裸麥）馬鈴薯、豐干魚、野菜は前記期間內特に三割引と決定した

◇東京府、公設市場を增設
東京府日用品市場協會は遞信省より五十萬圓の低利資金を借入れ隣接町村に一ヶ所乃至二ヶ所宛約三十ヶ所の公設市場を增設するこ

とに決定した

二十五日（金）

◇鐵道院公認運送店第一回決定發表
鐵道院は鐵道事務改善の一助として公認運送店認定につき調査の結果、第一回公認運送店三千四百四十六名を指定した

◇三ツ引同族會社の創立
資本金百萬圓の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役若尾璋八（社長）、若尾鴻太郎、若尾きよの▽監査役廣瀬爲久、田中宗英

◇財團法人協調會の創立計畫發表
勞資協調の建前から貴族院議長徳川家達、衆議院議長大岡育造、實業家澁澤榮一、樞密院副議長清浦奎吾の四名が發企人となり財團法人協調會創立計畫を都下新聞社代表に發表した

二十六日（土）

◇政府の物價對策全貌發表
床次內相は都下新聞社代表者を內相官邸に招待し、現在政府の採りつゝある物價對策の內容を說明した。大略左の如し
▽米の供給　第一は米の供給潤澤にありとして、これがため政府は（イ）輸入稅撤廢（ロ）外米の買付（ハ）朝鮮米、臺灣米の移入の三策を實施してゐる
▽米の配給　卽ち米の配給を圖るため（イ）外米の賣出は不日適當の方法により之を行ふ（ロ）鐵道の運賃は從來三割引なりしを無賃とし、且つ優先權を與へる（ハ）地方長官をして米の貯藏者に注意し賣出を勸むることの三策を執り、之がため鐵道院は一ケ月約百四十萬圓の損失を來たしてゐる
▽米の節約　更に米の節約をし、混合食、代用食を奬勵するやう地方長官に通牒を發した
▽收入增加　政府は一方に於て收入の增加を圖る方針を執り、國費支辨の官吏その他に對しては（イ）應急策として五割の臨時手當を支給する（ロ）右以外俸給年額の一割乃至一割五分の增加手當を支給することの二策を執つてゐる
▽其他の事項　政府は物價問題に關聯して都市民の生活緩和のため（一）公設小賣市場、簡易食堂の開設、住宅の供給等を奬勵してゐる
更に（二）第二の手段としては勤儉貯蓄を奬勵し、同時に募債政策を執り民間資金の吸收を圖つてゐる。卽ち本年一月以降最近に至るまでの募債額は國債發行高一千二百萬圓、地方債發行高二億二千九百萬圓、社債發行高一億圓、會社拂込資本金四億五百萬圓、合計七億四千六百萬圓に達してゐるほか、同一期間內に借替及び代償發行を見たる額は、國債一億三千七百八十萬圓、外國債八千五百八十萬圓、合計二億一千三百六十萬圓に達してゐる。また郵便貯金は大正七年十二月末現在五億五千五百萬圓が本年六月には六億五百萬圓に上り正に五千萬圓の增加を示してゐる

二十七日（日）

◇東京各新聞に罷業起り一齊休刊
東京日日新聞社職工は賃銀値上を要求して同盟罷業に入り、次で讀賣新聞に波及、續いて東京市內の全新聞社職工は總罷業をなすに至つたが、三十一日午後二時に至り市內十六新聞の職盟會の協約なり、同時に職工側革新會（會長橫山勝太郎）と對抗し、新聞社側は八月一日より一齊に休刊した

◇銀座に交通整理巡査現はる
勃興繁榮では銀座街頭に巡査を派遣し、試驗的に交通整理をなした

二十八日（月）

◇文部省に工業教育調査委員會設置
文部省に工業教育調査委員會を設置し、委員長に文部次官南弘、委員に東京帝國大學教授寺野精一以下十六名を任命した

◇十八銀行、口之津銀行を合併
長崎市の十八銀行（資本金六百萬圓）は同縣高來郡口之津村の口之津銀行（資本金五十萬圓）合併の件を株主總會で決定。合併後の十八銀行は資本金六百五十萬圓となつた

◇北海道銀行二百萬圓に增資
北海道小樽の同行（資本金七十五萬圓）は百二十五萬圓を增資し總資本二百萬圓とする件を株主總會で決定した

◇東京電氣軌道二百五十萬圓に增資
同社は現資本金百五十萬圓を二百五十萬圓に增資することに臨時總會で決定した

◇絞殺殺し山田憲の變屍絞結
横濱市太田町の外米商鈴木辨藏を殺害した元農商務省技師山田憲の變屍決定書が發表された

二十九日（火）

◇樺太に産業組合法を實施
樺太廳令を以て産業組合法施行規則を公布即日施行した

◇日本玩具會社の創立
資本金百萬圓（內拂込二十五萬圓）の日本玩具會社は創立總會を開き、左の役員を決定した
▽取締役河田以佛三（會長）、山越爲次郎（常務）、川島延太郎（常務）▽監査役伊澤福七、伊澤安次郎、宮田正之▽相談役杉原榮三郎▽顧問巖谷季雄、吉田朋吉

◇東海道線、中央線の列車衝突
本日午後六時三十分神戸驛を發した一二等急行列車が同十時三十分岐阜縣垂井驛を通過し同驛東方庄川の鐵橋を渡りきつた際、同所に於て急行列車の通過を待ち受けてゐた一臺の機關車とポイントの誤りより正面衝突をなし忽ち機關車、手荷物貨車を滅茶々々に粉砕する大椿事を惹起し、死者一名（東京府下大井町三浦卿三郎「五十二歳」內田信也の實兄）負傷者八十名を出した。負傷者中には當時搭成金として有名な內田信也、同母かつ子等あり「俺は神戸の內田だ、金はいくらでもやるから早く助けてくれ」と叫んで話柄を殘した
同じく本日午後九時中央線長野行第七百九號列車が姥捨驛近くの芝山隧道に差しかゝつた際、土砂崩壞して列車脫線し約五十名の重輕傷者を出した

三十一日（木）

◇東京株式取引所臨時休會
東京株式取引所は七月限賣買株式受渡高五十二萬九千六百株、この代金六千四百六十九萬八千二十圓といふ記錄的多額に上り受渡事務輻輳、これが整理のため臨時休會した

◇臺灣電力會社の創立
資本金三千萬圓（內一千二百萬圓は政府の現物出資）の同社は臺北に創立總會を開いた決定せる役員左の如し
▽取締役高木友枝（社長）、角源泉（副社長）▽理事南新吾、大越大藏、永田隼之輔▽監事大倉喜八郎、柳生一義、山本悌二郎

◇北海道炭礦汽船、石狩石炭を合併
北海道炭礦汽船會社（資本金五千八百七十五萬圓）は、株主總會を開き、石狩石炭會社を合併し、資本金を七千萬圓に增資する件を可決した

◇江商會社一千萬圓に借額增資
江商會社（資本金五百萬圓）は借額增資して資本金一千萬圓となつた（日不詳）

【八　月】

一　日（金）

◇白米小賣價格騰る
七月末より幾分騰貴したる白米小賣値段は本日より左の如く改正された
▽無砂搗米一等六十三圓九十錢、二等六十二圓七十錢、三等六十一圓十錢▽精白米一等六十二圓四十錢、二等六十一圓二十錢、三等五十九圓六十錢

◇山邑酒造會社の創立
銘酒「櫻正宗」の醸造元たる山邑太左衞門經營の山邑本店は資本金二百萬圓（全額拂込濟）の山邑酒造株式會社に改組し左の役員を選任した
▽取締役山邑太左衞門（社長）、山邑太三郎、山邑喜三郎、上西勝▽監査役大塚俊治郎、木村伊太郎、和田種之助

◇東京市の公設市場開業
東京市營の公設市場は眞砂町、三味線堀、牛ケ淵の三ケ所で開業した

◇大阪市、中央職業紹介所を開設
勞働問題の頻發に刺戟されて大阪市は中央職業紹介所を開設した

二　日（土）

◇內田外相の山東政策聲明
內田外相は談話の形式を以て帝國の山東政策につき左の如く聲明した
▽帝國政府は一千九百十四年八月十五日獨逸政府に致せる最後通牒中「膠州灣租借地全部を支那に還附するの目的を以て一千九百十四年九月十五日を限り無償無條件にて日本帝國官憲に交附すること」を獨逸に要求せるは世人の記憶する所なるべし。右要求條項は支那國其他の同盟聯合國より曾て何等の抗議を受けたることなし
▽日本は今や同一の方針に基き平和の緊要なる一條件として膠州灣租借地が無條件にて日本に引渡さるべきことを要求すると同時に一千九百十五年支那政府に與へたる誓約を信守し欣然該租借地全部を支那に還附せんとするものにて、日本に於てヴエルサイユ條約を批準する暁はなるべく速に該誓約の實行上必要なる協定を遂げんがため支那政府との間に商議を開始するに躊躇せずと雖も商議に於て支那の領土主權に影響するが如き何等の權利を保有又は要求せんとする意圖を有するものに非ず、五月五日の牧野男の聲明書中「日本の政策は山東半島をその完全なる主權の儘支那に還附するにあり。日本の保持せんとする所は單に獨逸に許與せられたる經濟上の特權に過ぎず」の一節の意義は何人にも明瞭なるべし。卽ち膠州灣の還附に關する協定目支間に成立する上は、現に同租借地及膠州鐵道を守備する日本軍隊は全部撤退せらるべし
▽また膠州鐵道は日支協同の企業として經營せらるべし、いづれの國民に對しても何等差別的待遇を與ふることなかるべし
▽加之日本政府は青島に於て一千九百十五年の日支協定により當然主張し得る日本專管居留地の設置の代りに各國共同居留地を設置するの議につき目下考慮中なり

三　日（日）

◇青島在留邦人大會の決議
市民會主催の青島在留民大會を市民會館に於て開催、出席者約二千名に及び、左の決議をなした
決議　媾和條約及日支協定に基き山東に於て帝國の享有すべき當然の權利を確保せんことを期す

四　日（月）

◇日銀、貿易金融改善策を發表
日本銀行は豫め爲替銀行買持の輸出手形を擔保として預り置き、これに對し爲替銀行は取引先に對し商業手形の割引歩合を以てこれが割引をなすことを發表した

◇東京市内の有力新聞再刊
一日以來一齊に休刊してゐた東京市内有力新聞は、職工制體革新會との妥協成立し、本日夕刊（五日付）より再刊した

五　日　（火）

◇東拓社債五百萬圓發行
東洋拓殖會社は神田銀行引受で社債五百萬圓を發行。條件は
▽利率六分五厘▽發行價格九十八圓五十錢
▽二ヶ年据置五ヶ年以内に償還

◇伊那電車の飯田電燈合併と改稱
伊那電車會社は臨時總會を開き、飯田電燈會社を合併し、現資本金三百六十萬圓を總額一千萬圓に增資を決定し、更に社名を伊那電氣鐵道株式會社と改稱した

◇鬼怒川水電の倍額增資
同社は臨時總會を開き現資本金一千三百五十萬圓を倍額增資して二千七百萬圓とすることに決定した

◇日本興業銀行五千萬圓に增資
同行は株主總會を開き現在の資本金三千萬圓を五千萬圓に增資と決定した

◇日本化學産業會社の創立
東京市本所區太平町の吉呑化學製品所は資本金五十萬圓の日本化學産業會社に改組、創立總會を開き、左の役員を決定した
▽取締役足立莊、柳下虎太、吉呑文質、笠原孫太郎、山邊當重▽監査役馬場鶴藏、稻岡世民

◇印刷局職工、五割增給を求要
印刷局の職工三百名は賃銀五割增給と日曜賃銀全額給與とを要求し、印刷部長に嘆願書を提出した

六　日　（水）

◇鐵空事業調査會、飛行郵便を計畫
遞信省内に航空事業調査會を新設し本日第一回調査會を開いた。委員長は秦遞信次官、委員は米田通信局長、若宮管船局長以下各課長等。整七日帝國飛行協會に委託し東京大阪間の試驗的飛行郵便を實施に決定

◇伯備北線延長鐵道の運輸開始
伯耆大山、伯耆溝口間鐵道運輸營業開始の旨を公示した

◇旭川商業會議所設立認可
農商務省は旭川商業會議所設立を認可した

◇東京市電從業員に六割增給
東京市電氣局は八千五百名の現業員に對し增給案を調査中であつたが、市長の決裁を經て愈よ六割增給を本月より實施に決定した

◇佐伯式無線電話試驗に成功
神戸港外に碇泊せる但島丸は、京都、大阪に對し佐伯式無線電話の試驗通話を行つたが大成功を納め、出張中の遞信省の小山、前田技師は「佐伯式無線電話は試驗の結果、百三十哩以内は確實に通話することが出來る。從つて試驗時代は過ぎ去つて今や實行の時期に入つた」と語つた

七　日　（木）

◇高橋藏相、通貨非收縮政策を辯護
高橋藏相は新聞紙を通じて「物價調節と金利政策」の手稿を發表し、通貨非收縮策を辯護した

◇東京計器及び日精の工場燒く
東京府下砂村の日本釀造會社乾燥室より今曉零時半出火、同倉庫及び工場合計五棟、隣接せる東京計器會社小名木川分工場の第一、第三、第四工場、及び大日本製糖會社の氷糖製造工場を全燒した。東京計器會社の損害は三十四萬七千圓、保險契約は外國會社十四社内地會社六社との分擔により六十萬圓あり、大日本製糖會社は神戸海上火災保險に二萬圓ユニオン保險に一萬圓あり、日本釀造會社は明治火災に十萬圓、日本火災に十萬圓、東京海上に七萬圓の契約があつた

◇ホルワット將軍、日本軍增援要請
黒龍州内の過激派は鐵道線路に出沒し線路破壞、乘客列車襲撃、橋梁燒却、停車場掠奪電信電話機毀損、從業員威嚇などあらゆる亂暴狼藉を働きつゝあるに對し、これを防止するためホルワット將軍より大谷司令官に對し黒龍州内に日本軍增援を要請した

八　日　（金）

◇南洋各地で東京品巡回試賣會開催
東京府商工奬勵館は戰後海外貿易の振興策として南洋方面で東京品巡回試賣會開催に決定、先づシンガポール商品陳列館に於て同方面の貿易實狀を視察研究させるため、中村祉郎鐵彌店主外七名を第一回海外高等實業生として派遣することに決し、本日同人等は同地へ向け出發した

九　日　（土）

◇織出綿織物取締規則の制定
輸出綿織物取締規則が制定公布され、十一月一日より施行

◇北陸水電工業會社の創立
資本金三百萬圓の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役大橋新太郎（社長）、上野山重太夫（專務）、木村松二郎（常務）、澁谷正吉、藤原銀次郎、木村平右衞門、諸井恒平▽監査役大森寛一（社長）、水谷洗五郎（專務）、時川廣城▽監査役三島彌吉、伊達宗耀

◇日本電力社長松本徹三、詐僞罪で收監
東京府下入新井町新井宿松本敬三は前年春千葉縣佐原町所在野田電燈株式會社外二ヶ所の小電燈會社を五十萬圓で買收し、直ちに三社の動産不動産全部を千代田生命保險會社外數ヶ所へ擔保に入れて七十餘萬圓を借り出し前年七月資本金百二十萬圓の日本電力株式會社を設立し、自ら社長に就任したが、事業不振のため忽ち多大の缺損を生じ、株式仲買紅葉屋商會理事圓城寺一と謀り、同店發行の株式日報へ、買手のない同社株五十圓拂込一株が七八十圓乃至百圓位に賣買されつゝある如く記載させ、一方、株式現物店平林小三郎に情を明かし、同店外數ヶ所で盛んに同社株を賣立てさせ、百餘萬圓を詐取したと發覺し送局された

十　日　（日）

◇日本醫師共濟生命保險相互會社の創立
資本金五十萬圓（四分の一拂込）の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役實吉安純（社長）、八木逸郎（專務）
金杉英五郎、笹川三男三▽監査役山上龍輔
鳥居泰洋▽相談役北里柴三郎

十一日　（月）

◇太平洋火災海上保險會社の創立
太平生命保險會社の姉妹會社として創立された同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き、左の役員を決定した
▽取締役　村井貞之助、左右田棟一、岡本治三郎、内野五郎三、芝川榮助、阿部市太郎、田村新六▽監査役　村井眞雄、左右田信二郎、奥繁三郎▽相談役　村井吉兵衞、

左右田喜一郎

◇奥村電氣商會に同盟罷業起る

京都の奥村電氣商會職工は友愛會京都支部の後援を得て同盟罷業を起した

十二日（火）

◇朝鮮總督・政務總監の更迭

朝鮮總督長谷川好道、同政務總監山縣伊三郎は本官を免ぜられ新たに海軍大將齋藤實が總督に、水野錬太郎が政務總監に任命された

◇オムスク政府に帝國大使派遣

前ベルギー公使、貴族院議員加藤恒忠は本日特命全權大使に任ぜられ、シベリアへ出張を仰付けられた。大使の出張はオムスク政府の承認問題とは關係なく英、米、佛其他各國が當初よりそれ〴〵大使級の人物を派遣せるに鑑み、また利害關係の最も密接なる我國が現狀を以て推移すべきに非ずとして大使派遣に決定したものである

◇滿蒙紡績會社二百萬圓に增資

同社（資本金七十五萬圓）は百二十五萬圓を增資して、總資本金二百萬圓となす件を株主總會で決定した

◇米國の富豪カーネギー死去

米國の富豪として、又大慈善家として知られたカーネギー翁は八十四歲を以て本日死去した。紐育のウオールド紙は、翁の慈善に貢した金額は總計三億弗に達すべく、その一口の最も巨額なるはカーネギー基金の一億二千五百萬弗と報じた

十三日（水）

◇航空勤務者保護賜金令の公布

航空勤務者保護賜金令が公布された。その要領は軍用飛行機又は氣球に搭乘して航空勤務中職牲となりたる者に對し、高等官待遇者には一萬圓、見習士官及判任一等同待遇者には五千圓、下士兵卒雇傭人等には三千圓を給與する規定で、同時に從來同職牲者に對し支給せられた一時賜金もその額を戰死者に對すると同額に增額せられ兩者併給せらるゝことゝなつた。因に同令發布までの我が陸海軍職牲者は陸軍十四名、海軍十三名である

◇金龍紡績會社の創立

資本金八百萬圓の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役河崎助太郎（社長）、田附政治郎、矢野慶太郎▽監査役愛甲笑達、渡邊基吉

十四日（木）

◇保善社の組織變更と幹部更迭

安田家の財產管理機關たる保善社は安田善三郎が病氣のため副總長を辭任した結果、內部の制度を改正して總長、專務理事、參事、監査部、庶務部、管理部を置くことゝし、總長に安田善次郎、專務理事に安田善之助、參事に堤定次郎、監査部長に齋藤恂、庶務部長に飯田武也、管理部長に小笠原鐵次郎が就任した

十五日（金）

◇和洋製紙會社の創立

資本金六十萬圓の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役鈴木安吉（社長）、岩田通一、鈴木久次郎▽監査役阿部彦兵衞、鈴木一家

◇株式會社三菱銀行の設立

三菱合資會社銀行部は業務の發展に伴ひ、獨立して資本金五千萬圓（拂込三千萬圓）の株式會社三菱銀行を設立することに決し、創立總會を開き左の重役を選任、十月一日より開業することゝなつた

▽取締役岩崎小彌太（會長）、串田萬藏（常務）、菊池幹太郎（同）、濱下濟（同）、加藤武男（同）、岩崎久彌、乙部融、川添淸麿▽監査役桐島像一、青木五郎、大山五郎

◇中央紡織會社の參立

資本金五百萬圓の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役藤山雷太（社長）、守谷吾平、若尾謹之助、上野喜、伊澤良立、太宰政夫、中島半二郎▽監査役南波龍吉、中原岩三郎、大塚榮吉

◇日印紡織會社の創立

資本金三百萬圓の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役堀文平、南鄕三郎、瀧鼻慶吾、淺野陽吉、河野英良、喜多又藏、春日俊文▽監査役兒島秀吉、加島安治郎、副島八十六

◇東信電氣、鹿島水產を合併

同社（資本金三百萬圓）は臨時總會を開き總勘水產會社（資本金三十九萬圓）を合併し資本金を三百三十九萬圓に增加することに決定した

十六日（土）

◇白米商、公設市場開設に反對

東京白米商同業組合長今井五郎右衞門外百五十名は東京市役所に田尻市長を訪問し、東京市の公設市場開設に反對の陳情をなし、次いで府廳に阿部知事を訪問し、同じく反對の陳情をなした

◇帝國撚絲會社三百五十萬圓に增資

資本金百五十萬圓の同社は新たに二百萬圓を增資して資本總額三百五十萬圓とする件を株主總會で決定した

◇協調會發企人會開催

德川家達、大岡育三、澁澤榮一、濟浦圭吾の發企にかゝる協調會發企人會を帝國ホテルに開催、朝野の名士二百三十餘名出席し、德川公の挨拶の後、澁澤男は協調會設立趣旨を述べ、原首相は世界の大勢より思想上の變化に及んで贊成演說をなし、續いて山本農相、床次內相の演說あり、終つて德川公座長席につき、協調會成立を告げ、設立手續其他に關しては發起人四人に委任した

十八日（月）

◇國產汽船社債六千二百五十萬圓發行

同社は興業、第一、十五、浪速の四銀行引受にて社債六千二百五十萬圓を發行した。條件は利率七朱、價格額面、一ヶ年据置九ヶ年間に償還

十九日（火）

◇簡易生命保險積立金貸付規則の公布

簡易生命保險積立金貸付規則公布さる

◇江若輕便鐵道の設立認可

滋賀縣大津市を起點として琵琶湖の西岸を迂回し、福井縣小濱に達する私設江若輕便鐵道（四十六哩、資本金四百萬圓）は創立委員長吉村鐵之助より創立出願中のところ認可の指令があつた

二十日（水）

◇總督府官制の改正發表

朝鮮、臺灣兩總督府官制改正が公布された改正の要領は兩總督とも現役の武官制を廢して文官をも任用し得ることゝし、其他職制の改革に重點を置いてゐる

◇大阪天王寺土地會社の創立

資本金百萬圓の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した

▽取締役石井豐一（社長）村田彬（專務）木村準治、福田六兵衞、目幸治郎、田中元七、福井楠太郎、橘尙藏▽監査役松本章太郎、森淸兵衞、植木米藏

◇日本鋼管、富山電氣製鐵を合併

日本鋼管會社（資本金一千六百萬圓は臨時株主總會を開き、富山電氣製鐵會社（資本金五百萬圓）合併の件を可決した。合併後の同社資本金は二千百萬圓である

◇**横濱對外貿易木材利右衛門死去**

横濱實業界の長老木村利右衛門死去。享年八十六。天保五年上總國に生れ、横濱に出て洋糸物等の取引をなし、後蚕糸貿易に從ひ、横濱正金銀行の創立と共にその取締役支配人となり、頭取に昇進、横濱電氣、横濱米穀取引所、横濱瓦斯紡績、横濱貿易倉庫、横濱電線會社の重役、大安生命の社長を兼ねてゐたが、晩年は第一線を退いてゐた

二十一日（木）

◇**東京博覽會場全燒、損害三百萬圓**

上野不忍池畔に開催中の家庭博覽會南館南隅より發火、正門を除く全部を烏有に歸し、損害約三百萬圓に上つた

二十二日（金）

◇**政府、外米六萬俵を賣出す**

政府は輸入外米の內、六萬俵を東京の指定商を經て賣出した。但し市價には影響少し

二十三日（土）

◇**東拿牛乳會社の創立**

資本金五百萬圓の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役小澤武雄（社長）、角倉貢道（專務）、今井秀吉（常務）、金杉英五郎、神崎三郎兵衛、島井泰洋、指田傳助、丸山名政、高木清次郎

◇**濱濟銀行、富岡銀行を買收**

大阪の浪速銀行は東京の富岡銀行を十三萬四千圓で買收した

◇**鴻和全權委員西園寺公望歸朝**

今朝神戸入港の熱田丸で鴻和全權委員西園寺公望一行が歸朝した

二十五日（月）

◇**臨時國庫證券一千萬圓發行**

政府は臨時國庫證券一千萬圓を左の條件で發行し、本日より三十一日まで全國郵便局が第二回の賣出しをなした

▽賣出價格二十五圓券二十三圓七十五錢、五十圓券四十七圓五十錢、百圓券九十五圓▽償還期限大正十三年六月一日▽利率年五分▽利廻六分三厘餘

◇**朝鮮殖產銀行社債一千萬圓發行**

朝鮮殖產銀行は社債一千萬圓を發行した。條件は利率年七分、發行價格は額面、償還方法は大正十年十一月三十日まで据置爾後五ケ年に償還

◇**高島屋の組織變更**

高島屋呉服店は資本金三百萬圓（內半額拂込）の株式會社高島屋呉服店に組織を變更、創立總會を開き左の役員を決定した

▽社長飯田正之助▽副社長飯田忠三郎▽常務取締役飯田市太郎

◇**東洋油脂、日本油脂の兩社合併**

兵庫縣の東洋油脂工業會社（資本金百萬圓拂込五十萬圓）は鴻和の影響を受けて五萬三千圓の缺損を生じ、また横濱の日本油脂會社（資本金百萬圓拂込七十五萬圓）も七萬三千圓の缺損を生ずるに至つたので、兩社は對等條件で合併し、資本金二百萬圓（拂込百二十五萬圓）の日本油脂工業會社となすことに兩社の株主總會で決定した

◇**櫛井紡績會社の創立**

資本金二百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役谷口房藏（社長）、城野伊三郎（專務）、志方勢七、伊藤竹之助、不破榮次郎、戎野喜太郎、宇野亮一▽監査役森井茂吉、中辰之助、城野久次郎

二十六日（火）

◇**浦鹽派遣軍司令官更迭**

浦鹽派遣軍司令官大谷喜久藏大將は病氣の

ため歸還することゝなり、第十二師團長大井成元中將が後任に補された

二十七日（水）

◇**旭人造絹絲會社の創立**

資本金百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役伊藤長兵衛（社長）、田村順吉（專務）、小泉新兵衛、古川鐵治郎▽監査役北川與平、下鄕延三

◇**福紡紡績一千萬圓に增資**

資本金三百萬圓の同社は臨時總會を開き七百萬圓を增資して資本金一千萬圓とする件を可決した

二十八日（木）

◇**大阪商業會議所の物價調節意見**

大阪商業會議所は總會を開き物價調節に關する意見書を作製し、總理大臣及び農商務、大藏兩大臣に提出した。意見書の概要は左の如し

一、一般的物價調節方法

イ、相當巨額の公債を民衆化し且つ郵便貯金の利上を行ひ以て通貨を收縮し海外に投資すること

ロ、日本銀行利子を引上げること

ハ、在外正貨兌換準備引當を漸次廢止すること

二、絲糸及び砂糖の輸入稅を或る期間撤廢すること

三、右二項を實行するも效果なき場合は輸出許可制を設けること

四、驕奢の風は物價騰貴の一因なるを以て驕奢の風を矯正せられたきこと

◇**東京砲兵工廠の同盟罷業**

賃銀値上、勞働時間短縮等を要求し紛糾を重ねてゐた同工廠職工は遂に同盟罷業を開始した。罷業參加者は銃砲部四千三百名、火具部一千五百名、板橋火藥製造所二千名である

二十九日（金）

◇**横濱株式取引所三百萬圓に增資**

横濱株式取引所は現在資本金二百萬圓を三百萬圓に增資の件を臨時總會で決定した

◇**大日本人肥專務平田初藏死去**

大日本人造肥料會社專務平田初藏は腦チフスに疫襲を併發して死去。享年五十三。三井物產本店石炭係主任、北海道漁業部長、營口支店長を經て本店參事に轉じ、明治四十三年大日本人造肥料會社の總支配人に擧げられ翌四十四年專務取締役となり今日に至つた

【九　月】

一日（月）

◇**明治紡績會社の創立**

資本金三百萬圓の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した

▽取締役秋田宗四郎（社長）、安田源藏、中井三之助、町田豐千代、輔生彈治郎、石川榮吉、木村淺吉▽監査役岩本惣兵衛、板井碧、櫻井信一

◇**臺灣銀行の倍額增資**

同行（資本金三千萬圓）は未拂込二百五十萬圓（拂込期日九月五日）の拂込をなしたる上、更に三千萬圓を增資し總資本を六千萬圓とする件を株主總會で決定した

二日（火）

◇**鐵道院、大貨物特別運賃改正**

鐵道院は從來兎角の評ありし倍賃扱及び速達便扱は之を廢止し、新たに急行便制度を設け貨切及小口扱をなすことゝなり、從來倍賃速達とも凡て同一率なりし運賃を改正し、各等級品により五割增となす等の改正を公示、十五日より實施した

◇**大阪紡績會社の創立**

資本金三百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役寺田利吉（社長）、信貴政俊、帶谷吉次郎、寺田慶太郎、寺田耕三▽監査役辻澤藏、寺田甚三郎、玉田勇

◇齋藤朝鮮總督に爆彈を投ず

新任の齋藤實朝鮮總督一行が本日午後五時京城南大門驛着、馬車に搭乘せんとした際、獨立運動の鮮人朴應柱は爆彈を投じ、齋藤總督、水野政務總監は無事なるを得たが、出迎への村川少將、久保滿鐵理事、米國人ハリス ン夫人等二十九名の重輕傷者を出した。犯人は直ちに逮捕されたが、不逞鮮人の獨立運動は根强い形勢なので暴動の勃發に備へ內地より一千五百名の警官を派遣に決した

◇東印度貿易會社の三倍增資

同社は臨時總會を開き現資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

四　日（木）

◇富士水電會社、日本電燈を合併

富士水電會社（資本金九百六十萬圓）は臨時總會を開き日本電燈會社（資本金百萬圓）を合併して資本總額一千六十萬圓に增資と決定した

◇佛軍シベリアより撤退

一時クラスノヤルスクに駐屯してゐた佛國軍隊歩兵一個大隊、砲兵一個中隊は同地守備隊と交代して撤退を開始した

五　日（金）

◇橋東蓆織會社の創立

資本金五十萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役山崎知遠（社長）、大橋長一郎（常務）、井手復次郎、片岡靜輔、井原長吉、横尾彌門▽監査役羽生平四郎、小田靜治、落合幹三郎

◇東京府で公營質屋を開業

東京府慈善協會の手で府下日暮里元金杉に公設質屋を開業することに決定した。入質は五圓以下に限定し、營業は十一月一日より開始する

八　日（月）

◇下野軌道の敷設許可

栃木縣塩谷郡藤原村より同郡矢板町に至る哩程十四哩七十三鎖、建設費六十萬圓の下野軌道は敷設を許可された

◇大日本セルロイド會社の設立

資本金一千二百五十萬圓（內拂込三百十二萬五千圓）の同社は臨時總會を開き左の役員を決定した

▽取締役森田茂吉（社長）、島崎是穗、西宗茂二、淺野修一、藤山雷太、廣瀨高治、長崎英造、長島鷲太郎、星清▽監査役平田篤次郎、安場末喜、安野讓、田中常德、松田茂太郎

◇三立商會の倉庫十三棟全燒

靜岡市外大里村株式會社三立商會倉庫より出火、倉庫十三棟を燒失した。和紙界では本邦有數の工場で損害は約六十萬圓、保險は東邦火災に僅かに十一萬圓を契約してゐた

◇ダヌンチオの羅馬・東京間飛行計畫

伊太利詩人ダヌンチオの羅馬・東京間の飛行費用として伊國政府は五百萬リラを計上した。但しこの計畫は實現に至らなかつた

◇横濱の貿易商安部幸兵衞死去

横濱の貿易商として知られた安部幸兵衞本日死去。享年七十三歲。弘化四年九月安部長兵衞の長男に生れ、神奈川縣の多額納稅者で現に横濱商業會議所常議員、日本臺灣茶株式會社々長、日本製粉、日清紡績、横濱肥料、磐城セメント、大安生命の各取締役、鹽水港製糖、臺南製糖、第二銀行各監査役として實

業界に重きをなしてゐた。尙、病氣危篤の趣天聽に達するや特旨を以て位記を賜ひ從五位に敍する旨の御沙汰があつた

九　日（火）

◇勞働會議政府代表に鐵田要吾決定

米國に開かれる國際勞働會議政府代表は慶應義塾々長鎌田榮吉に決定した

十　日（水）

◇對墨棉花條約調印

對墨棉花條約は本日サンジエルマンに於て調印された

◇勸業債券一千萬圓發行

日本勸業銀行は第七十三回四分利付勸業債券一千萬圓を同行本支店及び全國郵便局より賣出した

◇王子製紙社債五百萬圓發行

同社は臨時總會を開催、借入金の償還及事業擴張の資金に充てるため第三回社債五百萬圓を發行することに決定した。條件は三ケ年据置五ケ年償還、利率年七分

◇東洋拓殖五千萬圓に增資

同社は臨時總會を開き現資本金二千萬圓を五千萬圓に增資する件を決定した

◇北濱銀行、播陽銀行と改稱

北濱銀行は臨時總會を開き播陽銀行と改稱することに決定した

◇鐵道參與員牧野伸顯男一行歸朝

對獨媾和委員牧野伸顯男及び立敎授、深井日銀理事、畑大佐等の一行は本日神戸入港の靜岡丸で歸朝した

◇勇將森村市左衞門死去

實業界の雄、男爵森村市左衞門は老病のため本日死去した。享年八十一。天保十年東京府に生れ、早くより外國貿易に從ひ、日本銀行理事、甲武鐵道會社相談役等に就任、現に森村銀行、富士製紙、第一生命、富士瓦斯紡績等の重役であつた。日露戰役の際功により男爵四等に敍せられ、大正四年十二月多年國家に貢獻せる勳功により特旨を以て男爵を授けられた。公共事業に力を盡し、他の富豪に範を垂れた慈善家として有名であつた

十一日（木）

◇横濱瓦斯會社の借換增資

同社は現資本金三百五十萬圓を倍額の七百萬圓に增資の件を臨時總會で決定した

◇京都銀行五百萬圓に增資

資本金百萬圓の同行は四百萬圓增加して資本總額五百萬圓に增資の件を臨時總會で決定した

◇砲兵工廠職工の普選請願

東京砲兵工廠同盟罷業事件につき治安維持法第十七條による收監者は本日までに總員吉以下十五名に上つた

◇本邦在留獨墺人の私有財產競賣

內務省調査による戰前本邦在留獨、墺、土人の私有財產（八月末現在）は總額二千五百十七萬三千六百八十一圓に上つてゐると發表された

十二日（金）

◇朝鮮、米穀輸入稅を免除

朝鮮總督府は西北鮮地方の旱魃、南鮮地方の水害に對する善後策として米、粟、豆、麥高粱、雜穀の輸移入稅免除を公布、卽日施行した

◇深川正米市場新高値を現出

在庫米の不足により東京深川正米市場は一躍一圓十錢高と五十一圓五十錢の新高値を現出した

◇厚狹鐵道の敷設許可

山口縣厚狹郡厚狹町より同郡高千帆村に至る四哩六十鎖、建設費六十萬圓の鐵道敷設は本日免許狀を下附された

◇勞働者議會資本家代表、鈴鹿山治に決定
十月ワシントンに開催の國際勞働會議出席の資本家側代表は農商務省會議室に開かれた選定協議會に於て滿場一致武藏山治が推薦された

十三日（土）

◇城東電氣鐵道百五十萬圓に增資
資本金六十萬圓の同社は臨時總會に於て資本九十萬圓を增加して總額百五十萬圓に增資を決定した

十四日（日）

◇北海道水電會社の創立
資本金五百萬圓の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役太田黒重五郎（社長）、加藤昇一郎（常務）、馬越恭平、橋本信次郎、山本条太郎、若尾倫、稻村和次▽監査役原田宰八、田中文太郎、小田良作

十五日（月）

◇東拓社債一千萬圓發行
興銀引受けの東洋拓殖社債一千萬圓は、本日東京は現物團より、大阪は藤本、增田の二店より賣出した
▽總額一千萬圓▽發行價格九十七圓五十錢
▽利率年六分五厘▽期限二ヶ年据置後八ヶ年償還

◇勞働懇談の改稱と團體增資
朝鮮輕便鐵道會社は臨時總會を開き、社名を朝鮮中央鐵道株式會社と改稱するに決し、現資本金三百萬圓を一千二百萬圓に增資の件を可決した

◇東京瓦斯會社の創立
資本金百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役上原鹿造（社長）、岡本市之助（專務）、野口次郎（常務）、本多貞次郎、中島大、中村伍作、青木保治、高橋虎太▽監査役井上英七郎、山口嘉一郎、矢板寛

◇庄川水力電氣會社の創立
資本金一千萬圓（內拂込二百五十萬圓）の同社は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役淺野總一郎（社長）、淺野良三、杉村博通、白石元治郎、鈴木紋次郎、木津太郎平、南部助之丞▽監査役淺野泰治郎、金岡又左衛門、廣瀬謙之

◇勞働會議勞働者代表選定會紛糾す
國際勞働會議に出席すべき勞働者代表選定會は全國の勞働組合其他より代表者七十五名出席、農商務省會議室に開會されたが、異論續出し決定に至らず散會した

十七日（水）

◇臨時國庫證券一億圓發行
前年九月十八日發行本月十七日滿期の臨時國庫證券一億圓借替のため割引の方法を以て同額の臨時國庫證券が左の條件を以て本日發行された。割引日歩は一錢八厘、支拂期限は大正九年三月十六日、利廻は六分七厘七毛餘に當る

十八日（木）

◇日佛通商航海條約の暫定取極成立
日佛通商航海條約は戰後の貿易上に支障を來たさざるやう暫定條約取極めをなし兩國政府によつて調印され、公文發表前の本年十月より施行することに決定した

◇和代橫濱市長小野光景死去
前貴族院議員小野光景死去。享年七十五。弘化二年長野縣に生れ、初代の橫濱市長となり橫濱開港の恩人として知られ、蠶糸貿易業を開業して成功し、明治四十三年多額納稅者として貴族院議員となり、また橫濱正金銀行の頭取に就任、實業界への功により制定最初の紺綬褒章を賜つた

二十日（土）

◇第一銀行五千萬圓に增資
同行　資本金二千二百七十萬圓）は二千七百三十萬圓を增資して總額五千萬圓とする件を臨時總會で決定した

◇鹿兒島紡績五百萬圓に增資
現資本金二百萬圓の同社は三百萬圓を增加して資本總額五百萬圓に增資することを臨時總會で決定した

◇第三小櫻丸、アフリカで沈沒
山下汽船會社所有の第三小櫻丸（四千一百噸）はシンガポールよりマルセーユに航行中アフリカのソマリーコースト沖にて風浪のため坐礁沈沒した。船長若木和夫以下船員四十名はいづれも無事、同船は一千八百八十九年英國で建造され、扶桑海上保險へ八十萬圓の保險契約があつた

◇陽天丸　暗礁冲て坐礁
太陽汽船會社所有、日本郵船會社傭船陽天丸（一萬一千噸）は北海道登別沖で坐礁し、船體は中央部より切斷され沈沒した。同船は六月因島造船所で進水式を擧げたばかりの新造船で、船體だけの損害六百六十餘萬圓、積荷は雜穀及雜貨約九千噸、船長小間義雄以下六十名はいづれも無事であつた

◇英國の製鐵職工罷業
英國の製鐵所職工五萬人は賃銀値上を要求して同盟罷業に入り、英帝國全土に波及の勢ひを示した

二十二日（月）

◇朝鮮森林鐵道の設立認可
大倉喜八郎、大川平三郎等發企となり、朝鮮咸鏡道森林の伐採を目的として資本金五十萬圓の朝鮮森林鐵道會社を設立すべく計畫し總督府に申請中のところ本日附を以て認可された

◇オリエンタル寫眞工業の創立
オリエンタル寫眞工業會社は資本金六十萬圓を以て設立され、本日創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役植村澄三郎（代表）、渡邊恒太郎、菊池東陽、加瀨忠次郎、五十嵐與七▽監査役横山直義、山本留次、澁澤秀雄

◇東商役員、六博士の意見を聽く
國際勞働會議に對する東京商業會議所の意見を決定するに先だち學者の意見を聽取するため、會議所樓上に藤山、杉原正副會頭、外常議員七名列席し、豐澤昌貞、松本烝治、河津還、堀江歸一、阪田貞一、寺野精一の六博士を招き懇談した

◇川崎造船所職工の怠業
神戸市の川崎造船所職工は勞働八時間制實施を要求して怠業を開始した

◇北海道鐵道員害二百五十萬圓
本日より三日間に亘り北海道地方に暴風雨あり鐵道橋梁の流失等多く、復舊費約二百五十萬圓を要した

◇米國に製鐵職工の大罷業起る
全米に亘り製鐵職工の大同盟罷業起り、範圍は二十ヶ州に亘り參加人員は三十萬に上つたが、政府は軍隊を出動して鎭壓した

二十三日（火）

◇政府、外米六萬八千袋賣出し
政府は本日より三日間、名古屋、門司の兩市で手持の外米六萬八千袋を賣出した。價格は名古屋（東京精白米）は一石三十六圓二十五錢、門司（西貢一等白米）は一石三十五圓七十五錢

◇濠洲取引所設立さる
來天十間勝第五區の同取引所（資本金三百二十萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

▽理事長手塚安彦▽理事弘岡半次郎、吉川藏、庵谷沈、松井鐵夫、古賀松二▽監査役岡崎忠八

◇泰天證券信託會社の創立
同社（資本金二百萬圓、內拂込五十萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選擧した
▽取締役手塚安彦（社長）、古賀松二、松井小右衞門、藤田九一郎、山田三平、田滝源四郎、弘岡半次郎▽監査役田實優、佐伯直平、余村松之助、古財治八、赤塚彌太郎

◇勞働會議勞働者代表に高野博士推薦
國際勞働會議へ出席の勞働者代表選出は紛糾を重ねた末、法學博士高野岩三郎を推薦することに決定した

二十五日（木）

◇帝國繊維百五十萬圓に增資
資本金六十萬圓の同社は九十萬圓を增加して資本總額百五十萬圓とすることに臨時總會で決定した

◇鐵島紡績會社の借額增資
資本金四百萬圓の同社は臨時總會を開き、倍額八百萬圓に增資を決定した

◇日本精工會社の借額增資
同社は株主總會を開き資本金三十五萬圓を七十萬圓に增資の件を可決した

二十六日（金）

◇樺太瓦斯事業取締規則の公布
樺太瓦斯事業取締規則が公布され卽日施行された

◇筑豊電氣軌道會社の創立
資本金五百萬圓の同社は創立總會を開催、左の役員を決定した
▽取締役植村俊平（社長）、青木周藏（專務）奥村千吉、木戸正三、許斐友次郎、上野七平、松田作藏▽監査役納富陳平、安部熊之輔、崎山克夫、川原儀六、阪口榮

◇日華生命保險會社の借額增資
資本金五十萬圓の同社は臨時總會を開き、倍額百萬圓に增資と決定した

◇高野博士、勞働者代表を辭退す
國際勞働會議の勞働者代表に推された高野岩三郎博士は一旦承諾したが、本日改めて辭退した

◇川崎造船所職工同盟罷業に入る
二十二日來八時間勞働を要求して怠業を續けてゐた川崎造船所の職工は、松方社長の不信任を決議して遂に同盟罷業に入つた

二十七日（土）

◇日魯漁業會社一千萬圓に增資
資本金三百萬圓の同社は臨時總會を開き、資本總額一千萬圓に增資を決定した

◇英國に鐵道大罷業起る
英國鐵道從業員百萬人は突如罷業を開始し全英鐵道は運轉不能となり、政府は非常用として飛行機を徵集した。首相ロイド・ジョージは「今回の罷業は賃銀値上、又は待遇改善の要求に非ずして極端主義者によつて煽動されたものである」と言明した

二十八日（日）

◇日本郵船社長近藤廉平歸朝
婦和大使隨員として佛國に出張した日本郵船社長近藤廉平は同社外航課長黑川新次郎を伴ひ、本日橫濱入港の鹿島丸で歸朝した

二十九日（月）

◇宣昌に領事館設置
支那宜昌に帝國領事館が設置された

◇臨時國庫證券二十二萬圓發行
政府は露國軍需品代金決濟處理のために二分利付臨時國庫證券二十一萬九千七十五圓を發行した

◇協調會の幹部職員決定
協調會の幹部職員は左の如く決定した

▽調査部長法學博士桑田熊藏▽事業部長同松岡均平▽庶務部長休職福岡縣知事谷口留五郎

◇住友業各工場、八時間勞働制を實施
住友系の各工場は他に率先して八時間勞働制を實施した

二十日（火）

◇東京市會、瓦斯値上案を可決
東京市會は瓦斯料金値上げ案を三日に亘り討議の結果、從來一千立方呎一圓七十五錢であつた瓦斯料金を一躍二圓二十五錢に引上げる件を可決した

◇樺太鐵道令公布さる
樺太鐵道令公布され、十月一日より施行

◇木津川土地運河會社の創立
資本金一千萬圓の同社は創立總會を開催し左の役員を決定した
▽取締役高倉爲三（社長）、吉川吉郎兵衞、奥谷宇之助、白山善五郎、早瀨五郎三郎、西田正俊、武內作平▽監査役宮崎敬介、井上虎治、納富陣平

◇東商、勞働問題對策委員會設置
東京商業會議所は國際勞働會議に對する態度を決するため總會を開催し、會議所役員の作成せる原案を附議したが、異論百出、遂に委員を設置して研究することゝなり、藤山會頭より左の通り指名した
▽委員池上仲三郎、笠原小十郎、臨田勇、大塚榮吉、中島伊平、杉山義雄、關原有信、阪谷芳郎、關琢磨

◇男爵三井八郎次郎死去
男爵三井八郎次郎本日死去、享年七十一。特旨を以て從三位勳二等に陞叙された。男は嘉永二年四月、三井高福の四男として京都に生れ、本家の先代八郎右衞門の實兄である。明治十二年第一國立銀行の創立に當り、三井側を代表してその取締役となり、爾來實業界に活躍し、同二十七年三井鑛山會社の理事となり、同三十四年三井物產會社々長となり、同四十三年三井合名會社の設立と同時にその業務執行社員に就任した。同四十四年、實業界に盡せる功勞により特に華族に列せられ男爵を賜つた

◇機動艦製造會社二百萬圓に增資
同社（資本金百萬圓）は倍額增資して資本金二百萬圓となつた（日不詳）

◇近江帆布會社三百萬圓に增資
資本金百萬圓の同社は、二百萬圓增資して資本金三百萬圓となつた（日不詳）

【十月】

一日（水）

◇東京衞生肥料會社の創立
資本金五十萬圓（四分の一拂込）の同社は創立總會を開き左の役員を決定した
▽社長 指田傳助▽常務取締役 加瀨和三郎、遠藤國次郎▽取締役 樋口秀雄、鈴木久次郎、石井佐四郎、馬場平助▽監査役 鹽田奥造、栗原久米吉、木口辰三郎

◇幣本卿平、勞働者代表を承諾
本月二十九日より米國ワシントンに開催される國際勞働會議に出席すべき我國の勞働者代表は、高野岩三郎博士が辭任したので、幣本卿平が同代表に選ばれ、これを承諾した

◇川崎造船所、八時間勞働制を實施す
川崎造船所の勞働爭議は互讓により九月二十七日解決したが、その際の決定に基き本日より八時間勞働制を實施した

二日（木）

◇歐洲航路の貨物運賃引上げ認可
日本郵船會社より當局に對して認可申請中であつた歐洲航路の貨物運賃引上げは認可さ

れた。往航二百三十一品目の中運賃据置は七種、九分乃至十割以上引上げのもの百三十三種、十割以上引上げのもの九十一種であつて復航百二十七品目は何れも二割の引上げとなつた

◇勞働團體、桝本勞働代表に反對

友愛會、海員有志同志會は、桝本勞働代表は官選代表なり、眞の勞働代表は筋肉勞働者より選出すべしと主張して、反對決議をなし其の他の勞働團體も東京、横濱、神戸、大阪等に於て同代表反對の決議をなした

◇大藏省の判任官、十割增俸を追る

大藏省の主稅局、銀行局を初め主計局、理財局その他專賣局、稅務署に亙る殆ど全部の判任官の代表は物價騰貴による生活難を訴へ俸給の十割增を高橋藏相に面接陳情した。これに對し高橋藏相は、生活難には同情するが目下のところ財源なきため來年度の豫算に於て適當に取計ふべき旨を約した

三　日（金）

◇上毛モスリン一千萬圓に增資

同社は臨時株主總會を開き、資本金四百萬圓を一千萬圓に增資の件を可決した

◇神戸製鋼所の同盟罷業

神戸製鋼所の職工一千餘名は、八時間勞働制の實施と賃銀値上げを要求して同盟罷業に入つた

四　日（土）

◇物價問題につき貴族院、政府へ警告

德川侯以下十一名の貴族院各派交渉委員は原首相を官邸に訪問して、目下重要問題多き中にも物價問題、特に生活必需品の限りなき昂騰は國民全般の安危に關する重大問題なりとして、左記の警告書を手交した

一般の物價、特に國民生活必需品の價格調節に關し從來政府の採り來りし方針は未だ徹さざるの恨みあり。政府は宜しく速かに適切なる措置をなし國民生活の安定を圖られんことを望む

◇日銀の利上發表

日本銀行は左の利上げを十月六日より實施する旨發表した

一、商業手形割引歩合　日歩二錢（二厘上げ）一、國債を抵當とする貸付利子及國債を保證とする手形割引歩合　日歩二錢以上（二厘上げ）一、國債以外のものを抵當とする貸付利子及國債以外のものを保證とする手形割引歩合　日歩二錢二厘以上（三厘上げ）一、當座貸越及コルレスポンデンス貸越利子　日歩二錢三厘（三厘上げ）

◇日本工業俱樂部、勞働會議案を議決

同俱樂部は團、中島、馬越の諸議員以下二十三名出席の下に評議會を開催、鎌田勞働會議代表に傳達すべき國際勞働會議議案を左の如く議決した

第一、一日八時間勞働原則を適用する件

本制度は原則として之を認むるも我國產業の現狀は一日八時間勞働原則の適用に對して未だ充分なる準備を有するものと認むる能はず但し多大に神經を勞し又は勞力を要する作業に於ては本原則適用の趣旨により成可く現行の勞働時間を短縮することを圖るを要す

第二、失業豫防救濟の件

（一）各工場に於ける共濟組合に對し公私力を協せてその完備を期すること（二）失業救濟の意味に於ける政府事業の奬勵を圖ること（三）海外への植民を奬勵し且つその移動を自由ならしむる策を講ずること（四）海外事業の勃興を奬勵すること（五）不具廢疾老衰等の原因より勞働不能に陷れる失業者のために國家事業として特別なる施設を必要とすること

第三、婦人並に少年雇使の件

（一）夜間就業のこと、徹夜業廢止は原則として認むべしと雖も今日直ちにこれを我國に實施する時は生產減少より延いて價格の騰貴を招來するが故に、工場主をして其生產設備の補充を充分ならしむるに足るべき猶豫期間を置き然る後ベルン條約に加盟して午後十時より午前五時に至る夜業を禁止すべし（二）最低年齡のこと、我國に於ける少年工就業の最低年齡は之を十四歲未滿と定め十二歲以上にして義務敎育を終了したる者は一定の制限の下にこれを雇使し得る事とし而して我工場法の規定に於ける保護勞働者の範圍を十七歲未滿とし其就業時間を一定する事とすべし（三）出產前後に於ける取扱の事（母たる婦人の取扱を含む）出產の前後を通じて二ケ月以內の休養を與へること（四）健康上有害なる方法による就業のこと、本件に關しては我現行工場法の規定を以て充分なりと認む

第四、黃燐燐寸製造禁止に關する一九〇六年ベルン條約の更新及び適用に關する件

東洋各國一樣に右國際契約に加盟すべきを前提として我國も亦これが加盟に同意を表す可く、ただ當業者に向つて其後の對策をなすの餘裕を與ふるため相當の猶豫期間を保留すべきなり

以上の國際勞働規約は帝國新領土に對しては其適用を內地と異にするを希望す

◇大阪砲兵工廠職工の怠業

同工廠の職工約七百名は、本朝七時の就業時間より怠業に入つた。原因は本月一日より全職工に增給の豫定なりしにその實施なきであるが、村岡提理の說得によつて午後一時より復業した

◇國際勞働會議委員正式任命

第一回國際勞働會議に出席すべき我國委員は、鎌田榮吉（正使）、武藤山治（資本家代表）桝本卯平（勞働代表）以下隨員二十四名が任命發表された

五　日（日）

◇英國の鐵道大罷業落着す

全土に亙り運轉休止を敢行して世界の注目を集めつゝあつた英國の鐵道大罷業は、首相ロイド・ジョーヂ、勞働組合調停委員及び鐵道員幹部等會見の結果、漸く左の條件をもつて妥協を見るに至つた

一、罷業勞働者は卽時復業すべし

二、罷業勞働者復業の後更に商議を再開すべし（但し本年末までに終了のこと）

三、明年九月末日まで現在の勞働賃銀を繼續すべし（但し八月一日以降はその時の事情によりて變更商議自由たること）

四、英國の丁年鐵道從業員の賃銀は現在の生活費が戰前の平準以上十割を下ることなき限り五十一志を下ることとなし

五、罷業勞働者に對する未拂賃銀支拂停止の解除

六　日（月）

◇甲府電力、甲府電化工業を合併

甲府電力會社（資本金百七十九萬五千圓）は株主總會を開き甲府電化工業會社（資本金十四萬圓）を合併し百九十三萬五千圓に增資する件を可決した

◇大阪合同紡績の同盟罷業

同社天滿工場の男女職工五千名は、深夜業の廢止、十時間制採用、優等工に對し日給一圓八十錢增を要求して同盟罷業に入つた

◇川北電氣會社職工の怠業

大阪の同社職工一千二百名は八時間制採用及び日給三十錢上げを要求して怠業に入つた

八　日（水）

◇關東水力電氣會社の創立

同社（資本金一千七百萬圓、四分の一拂込）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　淺野總一郎（社長）、白石元治郎　鈴木敎次郎、淺野泰次郎、淺野良三、淺野八郎、下村善右衞門▽監査役　木暮松三郎　金子喜代太、古田良三

◇日本石材工業會社の創立

資本金三百萬圓（四分の一拂込）の同社は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役　男爵名和長憲、稻田藤次郎、秋山長太郎、男爵藤堂隆成、河野泰庵、有吉喜平、鈴木義三郎▽監査役　湯淺豐三郎、八塚平治、越山太刀三郎

◇東京瓦斯電氣工業職工の同盟罷業

東京瓦斯電氣工業會社の職工二千八百名は（一）八時間勞働制實施　（二）一般技工に對して三割の增給（三）物價騰貴手當三割支給（四）請負勞働の場合は倍額以上支給等を要求して罷業に入つた

九　日（木）

◇大阪造船所の役員改選

同造船所は臨時株主總會に於て役員の改選を行ひ、左の新任を見た

▽取締役　久良知章治、西脇晉、古賀英、谷本弘▽監査役　稲田敬治郎、綱島喜平▽相談役　藏内治郎作、三谷勘秀

十　日（金）

◇臨時國庫證券二千萬圓發行

臨時國庫證券二千萬圓が本日より行はれた。發行額二千萬圓、利率年五分、償還期限大正十三年六月一日迄

◇青島通信間連絡改善に決定

鐵道院は青森函館間の貨客連絡を改善すべく經費一千萬圓、三ヶ年繼續事業として三千五百噸級貨客船四隻の建造を決定した

◇勞働使節一行の出發

國際勞働會議に出席すべき鐵（資本家）桝本（勞働）三代表を初め各顧問嘱託隨員等の一行は、午後三時横濱解纜の伏見丸で出發した。横濱の埠頭に勞働者二千人「桝本を葬れ」の大旆を立てゝ集り警戒の警官と衝突して九名の檢束者を出した

十一日（土）

◇播州造船所の同盟罷業

播州赤穗の同造船所職工一千名は（一）七割の增給（二）從來伍長以上に支給し居る年二回の賞與金を全員に給與すること等の要求をなして同盟罷業に入つた

十二日（月）

◇電氣工作物規定發布さる

從來の電氣工事規程を電氣工作物規定と改め本日發布、卽日施行された。改正の主なる點は絕緣電線及可撓組線の仕樣を改めて電線の品質を高め、或は屋内屋外木製線、櫃内若くは金屬管内に施設する絕緣電線に通じ得べき安全電流を制定して一般作業員の便宜を圖つたことで、その他廣く電氣事業の進歩に適應したものである

◇米粟輸入稅免除期間延期さる

米粟輸入稅免除期は十月末を以て期限到來するが、勅令を以て更に九年十月末日まで延期された

◇東京燕子、東京瓦斯等合併

同社（資本金二百萬圓）は株主總會を開き東京瓦斯精製會社（資本金二十萬圓）を合併二百二十萬圓に增資することに決定した

十四日（火）

◇東京米穀取引所の立會休止

同取引所は今朝立會を休止した。原因は政府賣出しの第五回外米價格が前回に比し石當り八九圓の高値にあり、相場の激變が憂慮されたためである

十五日（水）

◇東京綿毛紡績、金華紡績を合併

東京綿毛紡績會社（資本金一千萬圓）は金華紡績會社（資本金二百萬圓）を合併することに臨時株主總會で決定した

十六日（木）

◇朝鮮産業鐵道會社認可さる

藤山雷太等の計畫による同社（資本金一千萬圓）は本日附を以て認可された。同社の目的は慶尙北道、江原道、平安南北兩道に亘つて三百哩の輕便鐵道を敷設經營するものである

◇織物足袋會社創立さる

從來の個人經營を株式會社に改組せる堺市の織物足袋會社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開き、左の重役を選任した

▽取締役　辻本豐三郎、村田豐、横川一良　竹本芳造、杉本傳治郎、小林岩吉、高木正太郎、小西熊次郎▽監査役　森山實五郎、山本秀一、中田常吉

◇帝國火災一千萬圓に增資

帝國火災保險會社は臨時株主總會に於て從來の資本金五百萬圓を一千萬圓に增資の件を可決した

十七日（金）

◇英國の對湖南借款成立

英國の中英銀公司と支那湖南軍督軍張敬堯との間に、湖南全省の鐵山を提供し銀公司より三百萬磅を出資し右探掘經營を英國側の手に請負はしむる交渉が成立した

十八日（土）

◇對露借款二千萬圓成立

正金、朝鮮兩銀行より金塊二千萬圓分を擔保としてオムスク銀行へ邦貨二千萬圓（利子七分、償還期限十五ヶ月）融通の契約が成立した

◇早川電力、日英水電を合併

早川電力會社（資本金八百萬圓）は臨時株主總會を開き日英水電會社（資本金三百萬圓）を合併の件を可決した

◇新潟鐵工所五百萬圓に增資

同社（資本金二百萬圓）は臨時株主總會に於て三百萬圓增資の件を可決した

十九日（日）

◇政府、物價調節應急策を發表

政府は物價調節に關する政策を發表した。政策の趣旨は左の如く、一般日常生活に關する應急策である

一、東京市に於て從來二十ヶ所の公設市場を開設後二ヶ月間に百ヶ所に增設すること

一、公設市場、購買組合等に於て購入する貨物の運賃低減

一、各官廳に購買組合の設置奬勵

一、住宅增築計畫と、そのための低利資金融通

一、一ヶ年に木炭一千三百萬貫製造の計畫

◇物價調節のため鐵道運賃三割低減

鐵道院に於ては市町村又は公益法人經營の公設市場及産業組合法による購買組合に於て購入する日常必需品、並に官公衙に於て一般公衆に貸付の目的を以て建築する住宅用木材及び公設浴場建築用木材に對して、本日より普通小口及び貸切扱運賃三割を低減することに決した

二十日（月）

◇富士電氣會社の創立

富士電氣會社（後に大日本電力と改稱）は資本金一千六百五十萬圓を以て設立され、創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長　穴水要七▽常務取締役　穴水熊雄　▽取締役　大川平三郎、田中榮八郎、高橋

貞三郎、栖原啓藏、小野耕一▽監査役　佐藤恵愛、熊澤一衛、小野連三

二十一日（火）

◇鐵鋼參測社債二百萬圓發行

同社は臨時株主總會に於て、横濱神崎兩工場擴張のため社債二百萬圓發行を可決した

二十二日（水）

◇東京大阪間の郵便飛行成功

帝國飛行協會主催の東京大阪間郵便飛行が決行せられ、水田嘉藏太中尉、山縣豐太郎、佐藤章の三機は翼を揃へて東京の洲崎より大阪練兵場へ飛んだ。第一着佐藤機の所要時間三時間十八分

◇門司商業會議所設立さる

門司商業會議所の設立が認可された

二十三日（木）

◇鉄本勞働代表、米國で陳述書發表

國際勞働會議に出席すべく歸田正使、武藤資本家代表等と共に米國に到着した桝本卯平勞働代表は、左の如き陳述書を發表した

今や日本勞働者は勞働組合を組織し以て其生活狀態を向上せしむるの緊急なることを發見するの時機に到達せり。日本には未だ勞働組合なく、從つて勞働者は雇主が決するまゝの賃料を承諾せざるを得ざるの狀態にあり。日本政府も勞働組合組織運動に賛同しをれり。米國の勞働組合と同樣なる勞働組合を組織するはよきことなり。余は滯米中勞働組合組織の方法を十分に調査するの決心なり。日本は六種の貨銀を制定せんことを提出す可し。即ち結婚せる男子と家族は最高の貨銀を受け、家族の人數によりて漸減するものなり。日本勞働者は其子女に適當なる教育を施すの機會を有せざりき彼等は團體を組織して之を通じて初めて現在よりも高率の勞貨を敷むることを得可し

二十四日（金）

◇臺灣總督明石元二郎死去

臺灣總督明石元二郎大將は腦溢血のため死去した。享年五十六。大將は福岡縣に生れ、年少より身を陸軍に投じ日露戰役の際れたる勳功者にして、大正七年六月以來臺灣總督に任じてゐたものである

二十五日（土）

◇支那新內閣組織さる

段祺瑞に代り斯雲鵬が國務總理に就任し、閣員を左の如く決定した

▽內務吳炳湘▽交通朱深▽財政李思浩▽司法姚震▽教育張志潭▽外務陸徵祥▽農商田文烈▽海軍劉冠雄▽陸軍靳總理兼任

二十七日（月）

◇東濱電氣鐵道一千五百萬圓に增資

同社は臨時株主總會を開いて現在の資本金五百十萬圓を一千五百萬圓に增資の件を可決した

二十八日（火）

◇臺灣總督に田健治郎親任さる

臺灣總督明石大將の死去に伴ひ、その後任として田健治郎が任命され、本日その親任式が行はれた。臺灣領有以來初めての文官總督である

◇東邦炭礦會社の創立

同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役　藤山雷太（社長）、赤司初太郎（專務）、岡村左右松（同上）、古賀三千人、伊澤良立、高山長幸、川島辰之助、加島安治郎▽監査役　後宮信太郎、松尾寛三、小倉敬止

二十九日（水）

◇興業債券五百萬圓發行

興銀は年利六分、發行價格九十五圓の興業

債券五百萬圓を十一月一日より賣出すことに決定した

◇栗谷鐵の一部開通

北海道宗谷本線濱頓別小軽間（三哩八分）並に山軽茅野間（五哩七分）が開通した

◇株式會社淺沼商店の設立

淺沼寛治個人經營の淺沼商店は資本金百萬圓の株式會社淺沼商店に組織を變更、創立總會に於て決定せる重役左の如し

▽取締役　淺沼寛治（專務）、岡部菊太郎、渡邊平助、山口榮次郎、阪田成一▽監査役　橋本純吾、納三治、平林幾次郎

◇東京に國際勞働會議開會さる

米國ワシントンに於て第一回國際勞働會議が本日より開會され、米國勞働省長官ウイルソンは開會の辭として、世界の安寧は本會議の前に横たはる諸問題の解決に俟つこと多大であると述べた。參加國數三十六

三十日（木）

◇臨時國庫證券十萬圓發行

臨時國庫證券十一萬三千八百五十圓が發行された

◇大正セメント會社創立さる

資本金二百萬圓の同社は創立總會を開き役員を左の如く決定した

▽社長　佐藤忍▽常務取締役　篠田義五郎▽取締役　五十嵐重五郎▽栗島源助、豐田篤▽取締役　榮子平次郎、野村德三郎、關谷諫▽相談役　新井清太郎

◇石川島造船所職工の怠業

同造船所の職工一千三百名は增給三割その他の要求を提出して怠業に入つた

◇東部競馬會社五百萬圓に增資

同社（資本金二百五十萬圓）は定時株主總會に於て五百萬圓に倍額增資の件を可決した

【十一月】

一日（土）

◇日本火災保險一千萬圓に增資

同社は臨時株主總會を開いて現在の資本金一千三百萬圓を一千萬圓に增資の件を可決した

二日（日）

◇朝日製帽會社の創立

資本金五十萬圓（四分の一拂込）の同社は創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役堀內良平（社長）、早坂文雄（專務）小野耕一、若尾鴻太郎、菱谷四方治▽監査役佐藤德之助、淺野加壽衛、熱海義藏

三日（月）

◇元帥寺內正毅死去

元帥、伯爵寺內正毅は糖尿病と心臟肥大症のために死去した。享年六十八。伯は嘉永五年舊山口藩の宇多田家に生れ後寺內家に嗣はる。明治四年陸軍少尉に任官、二十七八年戰役に從つて功あり、累進して三十九年陸軍大將に親任せられ、西園寺內閣、第二次桂內閣に陸相たり。四十三年六月韓國統監、同年十月韓國合併されるや朝鮮總督に任じ、日露戰役の功により子爵を、また韓國合併の功により伯爵を賜はる。大正五年六月元帥府に列し同年十月大隈內閣の後をうけて內閣を組織し七年十月內閣總辭職後病を得て專ら靜養に努めてゐた。特旨を以て從一位を賜はる

四日（火）

◇臨時軍事費公債五千萬圓發行

大正五年十二月本邦に於て發行された英國國拂國庫債券一億圓が、本年十二月二十五日現金を以て償還されることゝなつたので、政府はこれを機會に本年度臨時軍事公債未募集分一億二千六百萬圓の中五千萬圓を償還期に發行し、右英債との乘替を奬勵することに決し、本日發表された。名稱五分利公債（號、

發行價格現金應募九十七圓五十錢、英債乘替九十七圓二十五錢、償還期限大正十年十二月一日の條件である

五　日（水）

◇臨時航空委員會新設さる

民間航空事業の著しき發展に鑑み陸軍省に於ては、軍事航空と民間航空とを統轄する必要上、將來は航空局の新設を計畫してゐるが取敢えず臨時航空委員會を設置し、委員長山梨陸軍次官以下委員二十七名が任命された

◇東三省米輸出條件協議さる

東三省産米の日本輸出に就いて、本年十一月一日より向ふ一ヶ年間、米百斤につき手數料一元を財務部に納入するの條件で輸出し得ることゝなつた旨、大連の支那税關より關東廳へ通牒があつた

七　日（金）

◇露國金貨百八十萬圓輸入さる

横濱正金銀行浦塩支店より同大阪支店へ露國金貨約百八十萬圓が輸送された

◇帝國火藥工業會社の創立

資本金一千萬圓の同社は創立總會を開き左の重役を決定した

▽社長久米良作▽專務取締役三浦逸平▽取締役若尾謹之助、渡邊勝三郎、神谷傳兵衛岩崎清七、岡本櫻、參木六郎、磯部英一郎▽監査役倉田龜吉、高橋虎太、阿部吾市、芹澤多根、辰澤延次郎

◇帝國人造肥料會社の創立

大阪の帝國人造肥料會社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役齋藤四郎、大川平三郎、田中榮八郎、今泉嘉一郎、白石元治郎、田中喜三加島安治郎▽監査役井上德三郎、山下市郎安部信治郎

八　日（土）

◇政府、各銀行に放漫貸出を警告

政府は大藏次官の名を以て各地組合銀行に對し、放漫なる貸出に因りて投機を助長し、延て物價の不自然なる騰貴を惹起せしめざるやう警告を發した

◇山本農相、綿糸業者と會談警告す

山本農相は東京大阪名古屋の重要綿糸業者を官邸に招致して、綿糸布の價格昂騰の折柄各自取引上深甚の戒慎ありたき旨を注意的に示達した。招致されたる業者左の如し

▽大阪　岩田惣三郎、伊藤忠兵衛、阿部市太郎、野村半三郎、田附政次郎▽東京　日比谷平左衛門、柿沼谷藏、岩田友右衛門▽名古屋　近藤繁八、その他

◇大阪送電會社創立さる

資本金二千萬圓の同社は、木曾電氣興業會社及び京阪電氣鐵道會社の共同出資の下に、大阪京都附近に電力の供給を目的として設立され、創立總會を開き重役を左の如くに選任した

▽社長福澤桃介▽常務取締役太田光熙、下出民義、林謙吉郎、岩田次郎▽取締役岡崎邦輔、村瀬末一▽監査役伊丹二郎、渡邊嘉一、秋岡義一

◇日本製粉、東洋・大里兩製粉を合併

日本製粉會社（資本金三百萬圓）は臨時株主總會を開き、東洋製粉會社（資本金百五十萬圓）及び鈴木商店經營の大里製粉所（資本金六十萬圓）の兩社を合併する件を可決したなほ東洋、大里兩社に於ても同時に臨時總會を開いて同合併案を可決した

九　日（日）

◇全國有志大會の內閣彈劾決議

外交問責同盟會、改造同盟、記者同盟、國民生活研究會等の聯合になる同大會は、河野廣中、大竹貫一等の老政客を中心に、中野正

開その他により東京上野精養軒に開催され、原內閣彈劾の宣言及び左の決議をなした

▽決議　世界の大勢と人心の歸趨とを解せず內外共に失態と惡政とを重ねて國家を根底より動搖せしめたる現內閣は最早や一日も其存在を許す可からざるものと認む

◇軍艦長門の進水式擧行

歐洲戰爭の經驗により研鑽に研鑽を重ねて建造された軍艦長門（三萬四千噸）は伏見宮殿下御臨場の下に吳海軍工廠に於て進水式を擧行した

◇十二銀行一千萬圓に增資

富山市の十二銀行は臨時株主總會を開き、資本金五百萬圓を一千萬圓に增資の件及び北海道江別、俱知安、深川、帶廣、野付牛並びに縣下新湊、氷見の七ヶ所に支店を新設するの件を可決した

十一日（水）

◇憲政會の政府糾彈宣言

憲政會は東京築地精養軒に臨時大會を開き加藤總裁以下所屬貴衆兩院議員、各府縣會議員等二千餘名出席、原內閣彈劾に關して左の宣言、決議を發表した

▽宣言　今や世界未曾有の變局に遭遇し帝國の現狀內外多事を極む非常の英斷を以て經綸を行ふに非ずんば以て時艱を救ひ國運の發展を期すべからず然らずんば此時に當て現內閣の爲す所悉も誠意の認むべきなく苟且偸安姑息しく興國の好機を逸せむとす

物價の昂騰止る所を知らず國民生活の脅威其極に達し思潮の變遷と相俟て人心の動搖を招き上下擧て不安に堪えざるものあり然るに現內閣は何等適切なる政策を行ふことを爲さず徒らに枝葉末節に拘泥して自ら得たりとなす此の如くんば勢の窮する所社會上、政治上に及ぼすべき禍患實に測るべからず

現內閣の權勢維持に汲々たるや擅恣橫暴至らざるなく國家の公器を以て黨爭の具に供して憚らず其憲政を賊する寧ろ大なるは莫し

媾和會議の失敗は齊しく天下の憤る所帝國の威信を失墜するや擧げて言ふべからず延て支那の排日運動を惹起し兩國關係の疎隔今日より甚しきはあらず而して對支外交は概ね機宜を誤り東洋に於ける帝國特殊の地位爲に動搖を免れず政府當局の無能なるや列國の誤解を招き帝國をして國際上不利の地位に陷らしむる西伯利に對する政策は未だ定まる所なく出兵の理由中外に徹底せず國民をして往々怨嗟の聲を放たしむる帝國外交の不振是に至て極まる（下略）

▽決議　我黨は現內閣の存在を以て國家の利益に反するものと認む仍て速に其更迭を期す

◇米支借款五百五十萬弗成立

米國シカゴ銀行と支那政府の間に米貨五百五十萬弗の借款が成立した。該借款は一千九百十六年に締結された米支借款（米貨五百萬弗）の借替借款である

十三日（木）

◇綿糸の輸出禁止斷行さる

綿糸布の暴騰につき、政府はその原因を調査したところ、全く供給の不足に由來する事が判明したので、左の調節策を斷行すべく閣議で決定した

一、綿糸布の輸入關稅を撤廢する事

一、二十番手以下單糸の輸出を禁止する事

一、紡織機械の輸入促進を圖る事

なほこの輸出禁止令の影響により本日の綿糸市場は六百五十圓臺（最高値より八十圓安）に一擧大暴落を示した

◇全國記者大會の原內閣彈劾決議
記者同盟發起の同大會は東京築地精養軒に於て開催、黒岩周六を座長に推し左の決議をなした
一、吾人は內外に澎湃たる更始一新の氣運に乘じ益んに經綸を行はんことを期す
一、吾人は外交の失敗、內政の破綻により既に民心を離れたる原內閣の更迭を期す
十四日（金）

◇横濱市電の同盟罷業
横濱市內電車從業員四百名は、八時間制實施並に十割增給の要求を提出して同盟罷業に入つた
十五日（土）

◇鴻業社債三千萬圓發行
鴻業は興業、正金、朝鮮、臺灣、第一、三井、三十四の七銀行引受の下に社債總額三千萬圓を左の條件で發行した
▽利率年六分▽發行價格九十七圓五十錢▽償還期限一ケ年間據置後大正十一年十二月一日迄に隨時償還

◇北海道東縣輕鐵の營業開始
京極輕便鐵道俱知安京極間（八哩七分）の運輸營業が本日より開始された
十七日（月）

◇パラグアイと通商條約締結さる
我國とパラグアイとの間に通商條約を締結する議は、既に大正五年以來の懸案であつたが、いよ〳〵本日同國首都アンユンションに於て調印を見た

◇東京地下鐵、敷設を免許さる
早川德次、安田善三郎、山本悌二郎、山本条太郎、大川平三郎、根津嘉一郎、松方五郎村井吉兵衛等の發起にかゝる東京輕便地下鐵道會社（資本金三千萬圓）は品川より新橋、須田町、上野を經て淺草雷門に至る第一期線（九哩半）の敷設を許可された
十八日（火）

◇全國瓦斯大會の料金値上決議
帝國瓦斯協會主催の下に全國瓦斯業者大會を東京に開き、議長に東京瓦斯會社長石渡博士を推し左の如き宣言を可決した
瓦斯製造原料の騰貴、勞働賃銀の昂騰、一般經費の激增、副生產物收入の減少、並に新增設費の影響は到底現行瓦斯料金の克く耐ふる處にあらず、若し夫れ現狀に放置せんか當に斯業の根底を危くするのみならず延て郡市生活上一大缺陷を招來するの虞れあり

◇西村拓殖會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の如く役員を選任した
▽取締役社長西村惣四郎▽專務取締役西村一松▽取締役西村四郎▽監査役西村良輔、中井虎六郎
十九日（水）

◇日本銀行の利子引上
去る十月六日金利の引上を行つた日銀は再び貸出日歩二厘方の引上を發表、本日より實施した

◇日銀、兌換券制限外發行稅率を變更
日本銀行の金利引上げと同時に政府は兌換券限外發行率を一分上げて七分に變更した

◇大和鐵道延長線の敷設免許
鐵道院は、大和鐵道會社に對して奈良縣磯城郡田原本町より同郡櫻井町に至る四哩五十六鎖（建設費二十五萬圓）の延長線敷設を許可した

◇東野鐵道會社の敷設免許
同社は栃木縣那須郡川西町より茨城縣久慈郡太子町に至る二十三哩四十鎖（建設費百五十萬圓）の蒸汽鐵道に對して敷設免許狀を下附された

◇阪神電鐵の敷設特許
阪神電氣鐵道會社は兵庫縣武庫郡西灘村、同縣尼崎市間に電氣を動力とする軌道敷設特許狀を下附された
二十日（木）

◇對敵取引禁止令廢止さる
大正六年五月十四日より施行せられ來つた同禁止令は、對獨媾和條約の効力近く發生せんとするに當り、最早その存在理由なきものとして廢止の旨發表された

◇正金銀行利子引上
横濱正金銀行は、日銀の利子引上に伴つて二厘乃至三厘方の利子引上を決定、本日より實施した

◇石井鐵工所の改組
石井太吉の個人事業を資本金百萬圓の株式會社石井鐵工所に改組、本日創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役　石井太吉、我孫子駒吉、富永丈吉▽監査役秀島寛
二十一日（金）

◇東京貯蓄銀行五十萬圓に增資
同行は臨時總會を開き資本金二十萬圓を五十萬圓に增資の件を可決した
二十二日（土）

◇臨時圓庫證券一千三百萬圓借替發行
本年五月二十三日發行の臨時國庫證券一千三百萬圓は本日その償還期に達したので、政府はこれが借替のため同額の臨時國庫證券を發行した

◇日銀、投機資金貸出抑制を斷行
日本銀行は正金、興銀、朝鮮、臺灣の四特殊銀行及び三井、三菱、第一、十五、安田、第三、第百、川崎の八大普通銀行代表者を本店に招集し、政府の警告に基き投機資金貸出抑制につき懇談した
二十五日（火）

◇東京興銀行、營庫貸越日歩引上
第一、三井、三菱、十五の各銀行は當座貸越日歩二厘引上げの最低二錢四厘に改定し本日より實施した

◇鐵路線の一部開通
北海道釧路國厚岸、根室國アットコ間二十七哩の鐵道が開通した

◇江商會社五百萬圓を增資
同會社（資本金一千萬圓）は、株主總會に於て五百萬圓を增資し資本金一千五百萬圓となす件を可決した
二十六日（水）

◇綿業代表者の協調和解情
紡績聯合會、輸出綿糸商同業組合及び日本棉花聯合會の代表寺多又藏以下七名は山本農相を訪問して左の諸件を陳情した
一、二十番手以下の綿糸の輸出絕對禁止を緩和して制限に止められたき事
一、二十番手以上のものに就ては將來制限又は禁止せられざらん事を望む
一、綿布輸出禁止を斷行せらるゝが如き事ありとせば大問題を惹起すべき恐れあれば之は絕對に避けられたき事
一、將來綿糸布に對し何等かの措置をなさんとする場合に於ては豫め同業者の意見を徵せられたき事
二十七日（木）

◇電氣化學工業七百五十萬圓を增資
同社は臨時株主總會を開き發電所建設のため資本金五百萬圓を一千二百五十萬圓に增資の件を可決した

◇對ブルガリア媾和條約の調印

同條約は本日ニューリー・サルセイヌの市民館に於てクレマンソー司會の下に調印された。ブルガリア媾和委員はスタンブリスキ、聯合國側は米、英、佛、伊、日、白、支玖瑪、ポルトガル、シヤム、チエコ・スロヴアキアの順に調印した

本條約中の重なる條項は(一)ブルガリアの兵員を二千名に減縮(二)ブルガリアの兵員をニスレース放棄(三)賠償金二十二億五千萬法支拂等である

二十八日（金）

◇大豆その他の輸入稅免除

大豆、生牛肉、鳥卵、綿絲、綿織物の輸入稅を大正九年十一月三十日迄免除する旨の勅令が公布され即日施行せられた

◇期米暴騰のため東京市場立會休止す

連日降雨のため中國及び東海道方面の中稻晩稻は少なからぬ減入不足を生じ、その結果本日の期米は當限六圓高の五十二圓に暴騰し東京期米市場は後場の立會を休止した

◇增設セメント會五十萬圓に增資

同社（資本金八十五萬圓）は臨時總會を開き百五十萬圓に增資することに決定した

二十九日（土）

◇臨時國庫債券六千八百圓發行

政府は本日臨時國庫債券六千八百圓を發行した

分利付臨時國庫債券六千八百圓を發行した

◇旭紡織會社創立總會

資本金一千五百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽社長吉原通敬▽專務取締役池邊周▽常務取締役山本豐次▽取締役池田善三郎、賀田金三郎、川村鐵太郎、高田錄、田口義三郎倉地鐵吉、藤田秀雄、荒井泰治▽常任監査役下田申三▽監査役石川慎一、武田吉平、八木久兵衞、松原銳藏▽相談役高田釜吉

◇日出紡織一千萬圓に增資

資本金三百萬圓の日出紡織會社は七百萬圓に增資して資本金一千萬圓となつた（日不詳）

◇國光紡織五百萬圓に增資

資本金二百萬圓の國光紡織會社は三百萬圓に增資して資本金五百萬圓となつた（日不詳）

【十二月】

一日（月）

◇大阪鐵道會社百五萬圓を增資

資本金百五十萬圓の大阪鐵道會社は臨時株主總會に於て百五萬圓を增資して總資本金二百五十五萬圓とする件を可決した

◇釜石鑛山鑛業に罫線出動

岩手縣釜石鑛山の鑛夫七千名は賃銀十五割增給、勞働八時間制實施、米一升二十錢廉賣の要求を提出して同盟罷業に入つたが、この騷動を彈壓するため、第八師團より工兵一ケ中隊が出動した

三日（水）

◇日銀當局、投機鎭制につき懇談

日銀の井上、深井正副總裁は帝商、豐國、東海等市中銀行三十五行の代表者を招き、本年四五月以來都鄙を通じて一般に投機熱熾烈にして此儘に放任せば將來の惨害恐るべく、從つて一般銀行家は此際この方面への資金供給に深甚の注意を拂ふべき點につき懇談した

◇神威丸、臺灣沖で坐礁す

大阪商船會社救船、丸二商會の所有にかゝる神威丸（三五〇〇噸）は臺灣より內地向航行中、同島高奥沖に於て坐礁した。船體に保險なし

四日（木）

◇全國土木業大會の決議

全國土木建築請負業者聯合大會は東京丸の內帝國鐵道協會に於て開催され、東京始め各府縣、朝鮮、滿洲等より代表者百五十餘名出席鐵道工業會社理事長官原恒覽を座長に擧げ、次の決議をなした

一、土木建築請負業者に對し議員選擧權の制限を設けたる衆議院議員選擧法府縣制、郡制、市町村制中の條項削除を期す

一、營業稅の撤廢若くは其稅率の根本的改善を圖り以て負擔の公平を期す

一、請負業者の資格制限、保證金制度及び個務契約の改善を期す

五日（金）

◇日銀大阪支店の投機鎭抑制懇談

結城日銀大阪支店長は市中各行及び和歌山四十三、奈良六十三兩行を合せ三十六銀行の代表者を招き投機抑制策について懇談した

八日（月）

◇東洋アルミナム會社の創立

資本金一千萬圓（日米協同）の同社は創立總會を開き、日本側役員を左の如く選任した

▽取締役高峯讓吉、豐原又策、岸清一▽監査役大橋新太郎、石黒五十二、木津太郎平

◇日本製繩製紙會社の創立

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き、社長岡部則光、專務取締役神田中代以下の重役を選任した

九日（火）

◇臨時國庫證券四千萬圓發行

政府は本日滿期の臨時國庫證券四千萬圓を再び借替發行した。割引日歩一錢九厘、支拂期日大正九年五月十日

◇米國、東洋へ銀輸出

米國大藏省は聯邦準備局と協定の下に現在輸出の餘力ある銀準備七千萬弗を東洋に輸出し低下に努力すると同時に十一月に達した對東洋金輸出を緩和した銅の鑄潰點を越えてゐる銀塊相場の

十日（水）

◇ポートサイドに領事館設置

埃及ポートサイドに、帝國領事館が設置された

◇三越吳服店一千二百萬圓に增資

三越吳服店は臨時株主總會に於て資本金四百萬圓を一千二百萬圓に增資と決定した

◇日本カフキン製造會社の創立

星製藥會社及び片山式カフキン製造所共同出資の下に資本金百萬圓の日本カフキン製造會社が設立され、創立總會に於て左の重役が選任された

▽取締役中村圓一郎（社長）、上田長次郎（專務）、安樂榮治、伊藤仙太郎、片山兵次郎▽監査役上田榮吉、中村直次郎▽相談役大谷嘉兵衞

十一日（木）

◇長江硝子工業會社の創立

本店を中華民國湖南省長沙に置く同社は創立總會を開き左の重役を選任した

▽社長何東田經濟▽常務取締役栗野俊一▽取締役西山義成、皆川芳造、井上清、中込悅策▽監査役倉地鐵吉、清水新平

十二日（金）

◇閑院宮、元帥府に列せらる

陸軍大將閑院宮載仁親王殿下は元帥府に列せられた

◇普選同志大會の決議

普通選擧期成同盟會の主催にかゝる同志大會は東京神田青年會館に於て開催され島田三郎、黒須龍太郎、押川方義等を始め大阪神戸その他各地よりの有志二千五百名出席、押川方義を座長に推し左の決議をなした

吾人は第四十二帝國議會に普通選擧案の提出通過を期す

◇豊來鑛業會社二百萬圓に增資
同社（資本金百二十萬圓）は臨時總會を開き八十萬圓增資して資本金二百萬圓とすることに決定した

◇大阪電燈、電燈料値上
大阪電燈會社は監督官廳の承認を得て從來の電燈料五錢九厘（一キロワット）を九錢五厘に引上げを決定、本月二十日より實施の旨發表した

十五日（月）

◇關東州取引所令公布さる
從來關東州には官營の取引所のみ許されてゐたが今回民營をも許可することゝなり、關東州取引所令が發布された

◇日本絨毯會社の創立
資本金五百萬圓（二分の一拂込）の同社は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役岩崎清七（會長）、中村義四郎（常務）荒井泰治、若尾璋八、皆川芳造▽監査役中村郁次郎、今西榮二▽相談役中村清藏 菅原通敬

◇東京溜場米穀會社の創立
資本金三百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役田村彰一（專務）、小菅庸造、三浦雅之（以上常務）、鈴木元次郎、中須益三、赤塚五郎、增田新之助、平沼彌太郎▽監査役阿由葉正一郎、白石廣造、木下弟松、伊藤正雄▽相談役藏内次郎作、阿由葉鎗三郎 田村和三郎、森助次郎▽理事小森七兵衛

◇三光紡績會社の創立
同社（資本金三百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役近藤藤彌（社長）、松方義輔、中村岡一郎、棉山愛輔、西脇健治、中村信太郎▽監査役西脇濟三郎、小西新右衞門▽相談役和田豐治

◇日本電力會社の創立
同社（資本金五千萬圓）は大阪に創立總會を開き左の役員を選任した
▽社長山岡順太郎▽副社長中川湊之助▽專務取締役林安繁、池尾芳藏▽取締役竹内直哉、市川誠次、利光平夫、中橋武一、石原正太郎、永井專三▽監査役前田利定、淺見又藏、安宅彌吉、矢野慶太郎、武藤嘉門

◇新竹鐵道會社の創立
資本金七百五十萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役安部幸之助（社長）、松岡富雄（專務）楠瀨軍之佐、岩崎清七、吉村錢之助、赤司初太郎、坂本素魯哉▽監査役 男爵安場末喜、首藤多喜馬、林熊徴▽相談役 馬越恭平

◇川崎芳太郎、實業界を勇退す
神戸川崎造船副社長、福徳生命保險社長、神戸川崎銀行頭取、大福汽船社長、川崎汽船社長、國際汽船社長の川崎芳太郎は健康勝れざるため實業界を勇退、同時に神戸市に百萬圓寄附並に川崎商船學校を政府に獻納する旨申し出た

十六日（火）

◇軍需調査令公布さる
勅令を以て軍需調査令が公布され卽日施行された。これは同令規定の工場又は事業場は生産額及び從業に就て每年十二月末日に於ける狀況に基き所在地の地方長官に報告書を提出せしめるものである

◇臨時國庫證券一千萬圓發行
臨時國庫證券一千萬圓が發行された。これは從來續行して來た郵便局賣出のもので條件は前回の分と同樣である

◇大阪合同紡績六圓三十五萬圓を增資
資本金一千二百五十萬圓の同社は定時株主總會を開き資本金一千八百八十五萬圓に增資する件を可決した

◇金剛山電氣鐵道會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は東京に創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役久米民之助（社長）、岡田竹五郎（專務）、山内伊平（常務）、馬越恭平、古市公威 河東田經濟、古川阪次郎、矢野莊三郎、宋 儀壽▽監査役倉地鐵吉、幹相龍、牧山耕藏

◇日本特許インキ會社の設立
資本金二百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役櫻井兵五郎（社長兼專務）、永木常太郎（常務）、加藤余四郎、堤棟安、芳村友之丞、横山芳松、龜谷達三▽監査役加納謙吉（常任）、加藤勝太郎、中司文次郎、辰村米吉、堀岡良吉

◇東京運河土地會社の創立
資本金三百萬圓の同社は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役 尾高次郎（社長）、岡直之、田畑大藏、玉越增吉（以上常務）、宇田川啓輔、關原有信、福島宜三、秋山六三郎、笠原小十郎▽監査役 三野村倉三、永田甚之助、增田明六

◇太平洋セルロイド會社の創立
資本金百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役藤田榮三郎（社長）、江連力一郎（專務）、若林正磨、田中信太郎、小林嘉吉、坂田房次郎、長谷川宗治 長島甚助、松田敬藏▽監査役森島豐壽、小川始吉、森藏三郎、村岡泰次

◇東亞硝具貿易會社の設立
資本金百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役高橋德之助、華岡知爾、安藤直雄 關谷兵助、伊佐壽、澁谷嘉助、林新一、吉田秀彌、本間龍二、曾根吉彌▽監査役深澤 健吉、松木芳藏、井上芳之助

◇日本製鋼所、北海道製鐵を合併
同社（資本金一千五百萬圓）は臨時總會を開き北海道製鐵會社（資本金一千五百萬圓）を合併し、資本金を三千萬圓とすることに決定した

十七日（水）

◇鳥取縣國森經倶樂部開業

鐵道院は十二月二十日から因美輕便線鳥取用組間（十一哩二十一分）鐵道の營業を開始する旨告示した

◇本邦海運業者の船舶整理開始
歐洲戰亂によつて未曾有の盛況を呈した海運界は、休戰以來各國が自國海運發展のために外國船に壓迫を試みて伸展を阻止する一方造船の奬勵に努力し自國船舶による計畫を樹てる樣になつたが、船價は依然相當高値であり、且つ製鐵及造船には相當の時日を要する關係から歐洲方面では買船の傾向あるを察した岸本、辰馬、八馬、明治物産其他の船主は自社の古船を賣つて新造船買入により陣容を刷新する事に一致し、既に倫敦市場には本邦古船の賣物十四五隻あり、今後も古船賣却による船舶整理が行はれる事となつた

◇內外紡績會社の創立
資本金五百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役久米良作（社長）、伊井熊次郎、江口彌一郎（以上常務）、太田半六、若尾鐵之助、千賀康治、山崎文次、杉山金之助、村瀨竹次郎▽監査役渡邊勝三郎、窪田四郎、清水貞雄▽相談役近藤繁八、福澤桃介

◇ジュネーブに國際物價會議開催
世界的高物價を低落させる目的で今回初めて實際的な國際的物價會議がジュネーブに開催され、二十二ケ國の代表委員五十名出席の下に物價對策を協議した

十八日（木）

◇帝國捕花會社の創立
資本金一千萬圓の同社は創立總會を開き取締役社長に横尾孝之助を選任した

◇鄯山紡績會社の創立
資本金七百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役横本萬右衛門（社長）、浦沸裏夫（副社長）、佐藤善吉（專務）、横山俊二郎、田中四郎左衛門、藤田勇、小口小四郎、安藤忠助、根本祐太郎▽監査役安川陸治、木村小左右衛門、熊谷七松、青山秀次郎、太田三郎▽相談役日比谷平左衛門、横山章

◇大日本海草パルプ製紙會社の創立
資本金二百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役河田以備三（社長）、川島延太郎（常務）、柏谷義三、戸水寛人、堀内省吾、金谷藤夫▽顧問川村清一

十九日（金）

◇鐵道部鮮銀總裁、現物圖の協力談
紅葉屋商店を中心とする現物團と山一、山叶等の現物團は從來屢々對立の態度をとつて來たが、美濃部鮮銀總裁は兩者間を斡旋し、對抗的態度を改め協力して債券類の下受取扱をなさしめる事とした

◇是利紡績會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した
▽取締役岩原謙三（社長）、内田清藏（常務）、根津嘉一郎、芳川寛治、大橋新太郎▽監査役坂井陸藏、鈴木紋治郎

◇三星製糖會社の創立
同社（資本金五十萬圓四分の一拂込）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役笠原正樹（社長）、鈴木平藏（專務）、石川武之、荻原廣（常務）、荻原千明▽監査役江馬春吉、堀内八次郎、鹿毛屋藏

◇東京住吉協會組織さる
東京府が住宅問題緩和のため大藏省預金部から融通された低利資金百八十三萬五千圓の内百萬圓で法人組織の東京住宅協會が組織され阿部東京府知事が會長となつた

二十日（土）

◇鐵道旅客賃金値上發表
鐵道院では大正九年二月一日から全線に亘つて旅客賃金、急行料金、寢臺料金の値上げを左の如く發表した
▽三等賃金　現在五十哩迄一哩二錢を二錢五厘、百哩迄一錢六厘を二錢一厘、二百哩迄一錢を一錢七厘、三百哩迄一錢を一錢四厘、三百哩以上八厘を四百哩迄一錢二厘、五百哩迄一錢一厘、五百哩以上一錢、
▽急行料金　二百五十哩未滿二等二圓五十錢、一等四圓、五百哩未滿二等四圓、一等六圓、五百哩以上は二等五圓、一等七圓、
▽寢臺料金　一等上段三圓五十錢を五圓、下段五圓を七圓、二等上段二圓を三圓、下段三圓を四圓五十錢、大型四圓五十錢を六圓五十錢、その他連絡船の二等寢臺別室七十五錢を一圓に引上げ、普通七十五錢を五十錢に引下げた

◇阪神電鐵二千五百萬圓に增資
阪神電氣鐵道會社は臨時總會を開き資本金一千五十萬圓を二千五百萬圓に增資の件を可決した

◇株式會社大阪證券交換所の創立
大阪證券交換所（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役武内作平（社長）、大島貫太郎、久我金三郎（以上常務）、高倉傳三、河崎助太郎、男爵名和長憲、小林源藏▽監査役八代麻三郎、酒井猪太郎、男爵小畑大三郎

◇富士瓦斯紡績會社の借額增資
同社（資本金一千八百萬圓）は定時株主總會に於て倍額增資して資本金三千六百萬圓とすることに決定した

◇東京電燈、日本電燈を合併
東京電燈會社　資本金一億圓）は定時株主總會に於て日本電燈會社（資本金二千四百萬圓）を合併するに決した。この合併により東電の公稱資本金は一億二千四百萬圓となつた

◇運輸米の輸出解禁さる
運輸米の輸出禁止は本日から解除された

◇西貢米の輸出解禁さる
西貢米は總買入額の五分の一は金銀貨を以て支拂ふ條件で本日解禁された

二十一日（日）

◇獨逸、墺國合併規定條項削除承認
獨逸墺和委員長レルスネルは、ヴエルサイユ講定書に基き獨逸墺合併を規定してゐる獨逸憲法第六十一條第二項の削除を承認する旨墺和最高會議に通告した

二十二日（月）

◇日本貿易會社資本金に增資
資本金二十萬圓の同社は臨時株主總會で資本金百萬圓に增資する件を可決した

◇自動車製造會社の設立
小型自動車製造の目的で設立された同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役宮本茂實（社長）、宮本歳、高山喜坪、石崎榮藏▽監査役齋藤初太郎、内田清吉、栗山博

◇富山縣物產館工場の三倍增資
富山縣の同社は臨時株主總會に於て現在の資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資する件を可決した

◇協調會の設立と役員決定
財團法人協調會は内務、農商務兩大臣の認可を得て法人として設立し、評議員は華族、貴衆兩院議員、學者、新聞記者、實業家等を含んでをり、同會幹部は左の通りである
▽會長公爵徳川家達▽副會長子爵清浦奎吾
大岡育造、男爵澁澤榮一▽常務理事法學博士桑田熊藏、同松岡均平、谷口留五郎

二十三日（火）

◇大日本紡績五千萬圓に增資
同社は現在の資本金三千五十萬圓を五千萬圓に增資する件を定時株主總會で可決した

◇長崎紡績會社五百萬圓に增資
同社（資本金二百萬圓）は三百萬圓を增資して總資本金五百萬圓とする件を株主總會で決定した

◇東京米穀取引所六百五十萬圓に增資
同取引所（資本金三百萬圓）は、株主總會を開き三百五十萬圓增資の件を可決した

二十四日（水）

◇日本勞働總結成さる
友愛會、信友會、日本勞働組合、帝國農友會、日本勞農同盟、大日本鑛山勞働同盟、俸給生活組合その他の各種勞働團體を網羅し、これに文化學會、老壯會、啓明會、各大學々生有志等を加へた日本勞働黨が組織され、結黨式を東京芝公園三緣亭に於て擧行した

◇大阪北港會社の創立
同社（資本金三千五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役鈴木左馬也（社長）、山下芳太郎（常

勝)、小倉正恒、高木與太郎、中田錦吉、中谷德巷、野村利兵衛、城田彦、島德藏、島定治郎▽監査役加納友之助、阪井徳三、清瀧復三郎、片岡孫助

二十五日（木）

◇日本銀行の融資新記錄

金融界の歳末決濟資金の需要增加に伴ひ、日本銀行の貸出高は前日に比して三千五百四十五萬餘圓を增加して五億七千七百九萬餘圓となり、兌換券は三千五百七萬圓を增加して十三億七千八百十餘萬圓の新記錄を出した。同時に限外發行は二億九千五百二十九萬餘圓となつた

◇全國現株業者大會の決議

大阪現株組合主催の全國現株業者大會は大阪市中央公會堂に開かれ、全國現株業者代表約六百名參集し、獨立の現株市場實現を決議したが、その方法は次の如し

▽現在の株式取引所を解散し現株取引に必要な當面施設をなさしむること▽農商務大臣に申告し明治二十五年三月同省令第一號に依る正米市場同株の現株市場を公認特許せしめ營業者の不便苦痛を輕減することと▽會員組織の現株取引所設置に可能な取引所改正法律案を本議會に提出すること

◇日本製鐵一千五百萬圓に增資

同社は定時株主總會に於て資本金五百萬圓を一千五百萬圓に增資する件を可決した

二十六日（金）

◇倫敦青森間の電話直通開始

倫敦青森間直通電話線新設成り、本日から東京青森間共の他東北地方各地間に通話區域が擴大され內地電話幹線連絡が完成した

二十七日（土）

◇第二日米信託會社の創立

資本金三千萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した。これは日米信託會社の變態增資をなすものである

▽取締役菅原通敬（社長）、神田鐳藏、增田信一、荒井泰治、三上豐夷岩崎清七、大三輪奈良太郎、鎌田勝太郎、エフ・エヌ・シェノ、吳服昌▽監査役松尾寬三、星野錫、大谷順作、金子元三郎、久喜憲彥

◇帝國ホテル新館木造洋式二階から午後八時五十五分發火し夙く間に同館を全燒したが、損害は約百五十萬圓で保險は明治、日清、大倉組其他に約二十萬圓を附してあつた

二十八日（日）

◇鴻池信託會社の創立

鴻池信託の前身たる播津信託會社は、資本金百萬圓を以て大阪に設立され、創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役岸本五兵衛（代表）、岸本德之助、猪狩九兵衛▽監査役野間得輔

◇日本吳機會社の整理案決定

同社は繰越損金二百四十九萬八千圓に上つたので株主總會に於て之が整理のため資本金五百萬圓を百六十二萬五千圓に減資し、別に資本金三百三十七萬五千圓の新會社を創立して之を合併し資本金を再び五百萬圓とすることに決した

◇中華企業會社の設立

同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の重役を選任した

▽取締役藤田四郎、男渡知瑯太郎、大谷藤治郎、岩原謙三、稻垣恒吉、北川與平、喜多又藏、三山豐吉▽監査役若尾護之助、遠野爲之助、九鬼紋七、淺田德則、下郷傳平

二十日（火）

◇訪緬木等會社の設立

資本金五百萬圓の同社は創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役松島肇（社長）、市來精（常務）、宮本巖（同）、ナ西與三郎（同）

◇東洋リノリユーム會社の設立

兵庫縣伊丹町の東洋リノリユーム會社（資本金六十萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した（日不詳）

▽取締役寺西福吉（代表）、加藤小太郎（同）山口謙四郎、坂野榮造、菅谷元治、町田義夫▽監査役今井德太郎、淺村三郎、越野嘉藏

◇田中機械製作所の改組

田中機械製作所は資本金百萬圓の株式組織に改組、創立總會を開き左の役員を選任した（日不詳）

▽取締役田中岩吉（代表）、關谷九二彥、田中定次▽監査役黒田房太郎

◇新家自轉車製造會社の設立

新家鐵吉個人經營の自轉車工場を改組し、新家工業會社の前身たる新家自轉車製造會社が、資本金五百萬圓を以て創立された（日不詳）

◇富山電氣六百萬圓に借額增資

日本海電氣の前身たる富山電氣會社（資本金三百萬圓）は倍額增資して資本金六百萬圓となつた（日不詳）

大正八年統計

日本銀行兌換券發行高

	兌換券發行高	正貨準備	保證準備	制限外發行
	千圓	千圓	千圓	
一月	一,〇三三,〇四七	七八九,六四四	二四三,八二〇	
二月	八九六,九二二	七〇六,九九九	一八九,九二三	
三月	八九七,六五九	七〇六,八六八	一九〇,七九一	
四月	八七八,二三六	七〇五,八二一	一七三,四一五	
五月	九二七,一二四	七〇五,二四三	二二一,九七九	
六月	一,〇八〇,二三二	七四三,七五〇	二三四,四八二	
七月	一,〇四四,九四〇	七二八,九四〇	二一五,九九九	
八月	一,〇九六,三二四	七三四,一二六	二四四,一九八	
九月	一,一七二,九四一	七九一,〇二六	二九一,〇二六	
十月	一,二〇一,〇八八	八一〇,〇八一	三九一,〇二六	
十一月	一,二四五,九九九	八六三,八二〇	三四三,八二〇	
十二月	一,三三五,一〇〇	九三一,九四六	四八五,一三四	

東京組合銀行金利表

	證書貸付金 最高	最低	平均	割引 最高	最低	平均
	錢	錢	錢	錢	錢	錢
一月	三・二九	一・一〇	二・一四	三・〇〇	一・三〇	一・九四
前年同月	三・二九	一・一〇	二・〇一	三・〇〇	一・四〇	一・七三
二月	三・二九	一・一〇	二・一四	三・〇〇	一・三〇	一・九七
前年同月	三・二九	一・一〇	二・〇三	三・〇〇	一・四〇	一・七三
三月	三・三〇	一・一〇	二・一七	三・〇〇	一・三〇	一・九五
前年同月	三・二九	一・一〇	二・〇五	三・〇〇	一・四〇	一・七二
四月	三・三〇	一・一〇	二・一七	三・〇〇	一・三〇	一・九一
前年同月	三・二九	一・一〇	二・〇七	三・〇〇	一・四〇	一・七六
五月	三・三〇	一・一〇	二・一六	三・〇〇	一・三〇	一・九七
前年同月	三・二九	一・一〇	二・〇三	三・〇〇	一・四〇	一・七六
六月	三・三〇	一・一〇	二・一七	三・〇〇	一・三〇	一・九八
前年同月	三・二九	一・一〇	二・〇〇	三・〇〇	一・四〇	一・七六

外國爲替相場

月	倫敦宛三月先電信爲替		紐育宛三月先電信爲替		上海宛四國三月先電信爲替	
	上旬					
一月	最高	最低	最高	最低	最高	最低
	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
二月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
三月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
四月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
五月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
六月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
七月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
八月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
九月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十一月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十二月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
中旬						
一月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
二月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
三月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
四月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
五月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
六月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
七月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
八月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
九月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十一月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十二月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
下旬						
一月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
二月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
三月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
四月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
五月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
六月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
七月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
八月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
九月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十一月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙
十二月	四弗一六	四弗一六	一弗〇一	一弗〇一	一仙	一仙

銀塊相場

月	倫敦宛三月先電信爲替	紐育宛三弗電信爲替	上海宛四國三月先電信爲替
一月	二弗四五	一弗〇一	一仙
二月	二弗四五	一弗〇一	一仙
三月	二弗四五	一弗〇一	一仙
四月	二弗四五	一弗〇一	一仙
五月	二弗四五	一弗〇一	一仙
六月	二弗四五	一弗〇一	一仙
七月	二弗四五	一弗〇一	一仙
八月	二弗四五	一弗〇一	一仙
九月	二弗四五	一弗〇一	一仙
十月	二弗四五	一弗〇一	一仙
十一月	二弗四五	一弗〇一	一仙
十二月	二弗四五	一弗〇一	一仙

貿易月表

月	輸入超過	輸出	輸入
一月	二〇八、八一四、六九七	一三七、六七六、九三九圓	一三八、八七六、六九九
二月	四〇、九二二、九八六	一二五、六一九、九三八	一七〇、五四二、八四四
三月	三六、九一八、七〇五、二〇四	一三三、七〇五、二〇四	一七〇、六二三、九〇八
四月	六五、八一五、九二九	一四二、一八七、七四〇	二〇八、〇三二、六六九
五月	一四、六一〇、三四〇	一二五、九一九、八三八	一四〇、五三〇、一七八
六月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
七月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
八月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
九月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十一月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十二月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九

貿易及金銀塊輸出入額

月	輸入超過	輸出	輸入
一月	二〇八、〇三二、六六九	一四二、一八七、七四〇	三五、八一五、九二九
二月	一四、六一〇、三四〇	一二五、九一九、八三八	一四〇、五三〇、一七八
三月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
四月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
五月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
六月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
七月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
八月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
九月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十一月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十二月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九

貿易及金銀塊輸出入額

月	輸入超過	輸出	輸入
一月	二〇八、〇三二、六六九	一四二、一八七、七四〇	三五、八一五、九二九
二月	一四、六一〇、三四〇	一二五、九一九、八三八	一四〇、五三〇、一七八
三月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
四月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
五月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
六月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
七月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
八月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
九月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十一月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十二月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九

貿易及金銀塊輸出入額

月	輸入超過	輸出	輸入
一月	二〇八、〇三二、六六九	一四二、一八七、七四〇	三五、八一五、九二九
二月	一四、六一〇、三四〇	一二五、九一九、八三八	一四〇、五三〇、一七八
三月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
四月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
五月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
六月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
七月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
八月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
九月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十一月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九
十二月	一〇、三一一、三五一	一二五、九一九、八三八	一三六、二三一、一八九

一月	株式払込分	配当率	最高	最低	平均
南満洲鉄道	100圓	6分	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11

二月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

三月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

四月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

五月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

六月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

七月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

八月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

九月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

十月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

十一月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

十二月					
南満洲鉄道	100	6.0	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

一月以降累計額

	株式払込分	配当率	最高	最低	平均
南満洲鉄道	100圓	6分	126.00	120.00	123.25
日本郵船	50	6.0	100.00	96.00	98.32
北海炭礦	50	6.0	110.00	94.00	96.26
東京電燈	50	12.0	96.00	84.00	89.58
鬼怒川水電	50	6.0	84.00	74.00	77.11
王子製紙	50	12.0	100.00	96.00	97.25
日本鋼管	50	6.0	96.00	84.00	89.58
大日本麦酒	50	10.0	96.00	84.00	89.58
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原鉱業	50	6.0	84.00	74.00	77.11
久ン原トセ新メ	50	—	—	—	—
久ン鉱人造肥料	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日満製粉	50	6.0	84.00	74.00	77.11
明治製糖	50	6.0	84.00	74.00	77.11
豊水港製鉄	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本酒造業	50	10.0	84.00	74.00	77.11
大日本麦酒	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東洋紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
鐘淵紡績	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本発動機	50	6.0	84.00	74.00	77.11
日本石油	50	6.0	84.00	74.00	77.11
東京株式新	11.5	1.0	11.00	10.00	10.42

六月

南満洲鉄道	100	0・01	0・0	10・0	10・0	100
日本郵船	50	0・05	0・0	0・1	0・1	50
王子製紙	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京瓦斯	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京電燈	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京株式取引所	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本石油	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
久ン澄人財閥トセ料メ株	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日清製粉	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
明治製糖	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
豊水港築	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本鉄道	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
大日本麦酒	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東洋紡績	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
鐘淵紡績新	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本綿業	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京電燈	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東北海炭礦	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本郵船	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
南満洲鉄道	100	0・01	0・0	0・01	0・01	100

七月

南満洲鉄道	100	0・01	0・0	0・01	0・01	100
日本郵船	50	0・05	0・0	0・05	0・05	50
王子製紙	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京瓦斯	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京電燈	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東北海炭礦	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本鋼管	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
鐘淵紡績新	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東洋紡績	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
大日本麦酒	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本綿業	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
豊水港築	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
明治製糖	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日清製粉	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
久ン澄人財閥トセ料メ株	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本石油	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京株式取引所	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50

八月

南満洲鉄道	100	0・01	0・0	0・01	0・01	100
日本郵船	50	0・05	0・0	0・05	0・05	50
東北海炭礦	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京電燈	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
王子製紙	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京瓦斯	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本鋼管	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
鐘淵紡績新	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東洋紡績	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
大日本麦酒	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本綿業	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
豊水港築	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
明治製糖	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日清製粉	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
久ン澄人財閥トセ料メ株	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本石油	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京株式取引所	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50

九月

南満洲鉄道	100	0・01	0・0	0・01	0・01	100
日本郵船	50	0・05	0・0	0・05	0・05	50
東北海炭礦	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京電燈	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
王子製紙	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京瓦斯	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本鋼管	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
鐘淵紡績新	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東洋紡績	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
大日本麦酒	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本綿業	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
豊水港築	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
明治製糖	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日清製粉	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
久ン澄人財閥トセ料メ株	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本石油	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京株式取引所	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50

十月

南満洲鉄道	100	0・01	0・0	0・01	0・01	100
日本郵船	50	0・05	0・0	0・05	0・05	50
東北海炭礦	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京電燈	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
王子製紙	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京瓦斯	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本鋼管	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
鐘淵紡績新	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東洋紡績	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
大日本麦酒	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本綿業	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
豊水港築	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
明治製糖	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日清製粉	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
久ン澄人財閥トセ料メ株	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本石油	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京株式取引所	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50

十一月

南満洲鉄道	100	0・01	0・0	0・01	0・01	100
日本郵船	50	0・05	0・0	0・05	0・05	50
東北海炭礦	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京電燈	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
王子製紙	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京瓦斯	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本鋼管	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
鐘淵紡績新	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東洋紡績	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
大日本麦酒	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本綿業	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
豊水港築	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
明治製糖	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日清製粉	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
久ン澄人財閥トセ料メ株	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本石油	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京株式取引所	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50

十二月

南満洲鉄道	100	0・01	0・0	0・01	0・01	100
日本郵船	50	0・05	0・0	0・05	0・05	50
東北海炭礦	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京電燈	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
王子製紙	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京瓦斯	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本鋼管	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
鐘淵紡績新	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東洋紡績	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
大日本麦酒	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本綿業	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
豊水港築	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
明治製糖	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日清製粉	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
久ン澄人財閥トセ料メ株	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
日本石油	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50
東京株式取引所	50	0・1	0・0	0・1	0・1	50

東京綿糸商組合綿糸現物相場

（明治三十三年十月——100）

月	月	月	月	月	五
一	二	三	四	五	月
一一八三・六八	一一七七・八九	一一七三・一八	一一四三・五九	一一八三・一一五	綿糸平均指数
一一四四・五七	一一三六・一一五	一一四二・五七	一一三六・一一七	一一七七・一一七	前年同月

月	一	二	三
平均最高	一四五・〇	一四四・〇	一四三・〇
平均最低	一三五・〇	一三四・〇	一三三・〇
平均	一四〇・〇	一三九・〇	一三八・〇
最高月	一月	一月	一月
最低月	二月	二月	二月

月	四	五	六
平均最高	一四二・〇	一四一・〇	一四〇・〇
平均最低	一三二・〇	一三一・〇	一三〇・〇
平均	一三七・〇	一三六・〇	一三五・〇
最高月	三月	四月	五月
最低月	四月	五月	六月

月	七	八	九
平均最高	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇
平均最低	一三〇・〇	一三一・〇	一三二・〇
平均	一三五・〇	一三六・〇	一三七・〇
最高月	六月	七月	八月
最低月	七月	八月	九月

月	十	十一	十二
平均最高	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇
平均最低	一三三・〇	一三四・〇	一三五・〇
平均	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇
最高月	九月	十月	十一月
最低月	十月	十一月	十二月

月	一	二	三
平均最高	一四五・〇	一四四・〇	一四三・〇
平均最低	一三五・〇	一三四・〇	一三三・〇
平均	一四〇・〇	一三九・〇	一三八・〇
最高月	一月	一月	一月
最低月	二月	二月	二月

月	四	五	六
平均最高	一四二・〇	一四一・〇	一四〇・〇
平均最低	一三二・〇	一三一・〇	一三〇・〇
平均	一三七・〇	一三六・〇	一三五・〇
最高月	三月	四月	五月
最低月	四月	五月	六月

月	七	八	九
平均最高	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇
平均最低	一三〇・〇	一三一・〇	一三二・〇
平均	一三五・〇	一三六・〇	一三七・〇
最高月	六月	七月	八月
最低月	七月	八月	九月

月	十	十一	十二
平均最高	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇
平均最低	一三三・〇	一三四・〇	一三五・〇
平均	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇
最高月	九月	十月	十一月
最低月	十月	十一月	十二月

月	一	二	三
平均最高	一四五・〇	一四四・〇	一四三・〇
平均最低	一三五・〇	一三四・〇	一三三・〇
平均	一四〇・〇	一三九・〇	一三八・〇
最高月	一月	一月	一月
最低月	二月	二月	二月

月	四	五	六
平均最高	一四二・〇	一四一・〇	一四〇・〇
平均最低	一三二・〇	一三一・〇	一三〇・〇
平均	一三七・〇	一三六・〇	一三五・〇
最高月	三月	四月	五月
最低月	四月	五月	六月

月	七	八	九
平均最高	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇
平均最低	一三〇・〇	一三一・〇	一三二・〇
平均	一三五・〇	一三六・〇	一三七・〇
最高月	六月	七月	八月
最低月	七月	八月	九月

月	十	十一	十二
平均最高	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇
平均最低	一三三・〇	一三四・〇	一三五・〇
平均	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇
最高月	九月	十月	十一月
最低月	十月	十一月	十二月

月	六	七	八	九	十	十一	十二
平均最高	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇	一四六・〇	一四七・〇	一四八・〇	一四九・〇
平均最低	一三三・〇	一三四・〇	一三五・〇	一三六・〇	一三七・〇	一三八・〇	一三九・〇
平均	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇	一四三・〇	一四四・〇
最高月	十一月	一月	二月	三月	四月	五月	六月
最低月	十二月	二月	三月	四月	五月	六月	七月

月	六	七	八	九	十	十一	十二
平均最高	一四四・〇	一四五・〇	一四六・〇	一四七・〇	一四八・〇	一四九・〇	一五〇・〇
平均最低	一三四・〇	一三五・〇	一三六・〇	一三七・〇	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇
平均	一三九・〇	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇
最高月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月
最低月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月

月	六	七	八	九	十	十一	十二
平均最高	一四五・〇	一四六・〇	一四七・〇	一四八・〇	一四九・〇	一五〇・〇	一五一・〇
平均最低	一三五・〇	一三六・〇	一三七・〇	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇	一四一・〇
平均	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇	一四六・〇
最高月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
最低月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月

月	六	七	八	九	十	十一	十二
平均最高	一四六・〇	一四七・〇	一四八・〇	一四九・〇	一五〇・〇	一五一・〇	一五二・〇
平均最低	一三六・〇	一三七・〇	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇
平均	一四一・〇	一四二・〇	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇	一四六・〇	一四七・〇
最高月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
最低月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月

月	六	七	八	九	十	十一	十二
平均最高	一四七・〇	一四八・〇	一四九・〇	一五〇・〇	一五一・〇	一五二・〇	一五三・〇
平均最低	一三七・〇	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇	一四三・〇
平均	一四二・〇	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇	一四六・〇	一四七・〇	一四八・〇
最高月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
最低月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月

月	六	七	八	九	十	十一	十二
平均最高	一四八・〇	一四九・〇	一五〇・〇	一五一・〇	一五二・〇	一五三・〇	一五四・〇
平均最低	一三八・〇	一三九・〇	一四〇・〇	一四一・〇	一四二・〇	一四三・〇	一四四・〇
平均	一四三・〇	一四四・〇	一四五・〇	一四六・〇	一四七・〇	一四八・〇	一四九・〇
最高月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
最低月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月

大正九年（紀元二五八〇年 西暦一九二〇年）

【一月】

二　日（金）

◇海軍大將男爵片岡七郎死去

海軍大將男爵片岡七郎は午後八時二十分死去した。享年六十八。鹿兒島に生れ、明治十年海軍少尉に任官、爾來累進して同四十三年大將に親任せらる。日露戰役の際は第三艦隊司令長官として活躍し、戰功により功一級を賜つた

三　日（土）

◇墨西哥國の大地震、死者一千三百名

墨西哥國に大地震あり被害甚大をきはめ死者一千三百名の多數に上つた

六　日（火）

◇ポートサイドに領事館設置

埃及ポートサイドに帝國領事館が設置された旨外務省より發表された

◇三井合名會社二億圓に增資

同社は最高幹部會に於て資本金六千萬圓を二億圓に增資と決定した

◇三菱銀行理事三村君平死去

三菱銀行理事三村君平は食道癌で死去した享年六十六。大分縣の出身で第百十九銀行より三菱銀行部に入り、豐川良平の後を襲つて銀行部長となつた人で、三菱の長老であつた

七　日（水）

◇國比利亞の朱國駐屯軍撤退に決す

米國政府は西比利亞駐屯軍を撤退せしめるに決した旨公表した

八　日（木）

◇大阪商船、日本郵船に損害賠償請求

大阪商船社長堀啓次郎は、日本郵船社長近藤廉平を相手取り東京地方裁判所に十八萬九千十六圓五十八錢の損害賠償請求の訴訟を提起した。理由は商船會社の所有汽船臺北丸が前年三月一日門司港務部沖合に假泊中郵船會社所有汽船敦賀丸が船員の職務上の不法行爲に依り衝突したため、臺北丸は船體に多大の損傷を受け修理費を要し航海停止の已むなきに至りたるにより、その損害を補塡すべしといふにある

◇福島紡績會社女工の意氣

神奈川縣平塚町の同社工場は前年十月頃より內訌を生じ紛擾を重ねてゐたが、同年十二月の仕事納めに專務取締役水谷久次郎は人事課主任宮崎久藏以下六名と共に連袂辭職したため、女工は同人等を慕つて復社運動を起し四日の始業當日は女工一千餘名の內就業した者は僅か百六十名に過ぎず、本日に至り全女工が休業して氣勢を擧げた

九　日（金）

◇東神火災保險會社の創立

同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役根岸錬次郎（社長）、反町茂作（專務）、岩崎清七、浦邊襄夫、藤崎三郎助、神谷忠雄、矢野慶太郎、池田龍一▽監査役中島伊平、廣瀨德藏、守谷善兵衞、鐘富三作

◇樞密顧問官伯爵芳川顯正死去

樞密顧問官伯爵芳川顯正は午後三時三十分死去した。享年八十。舊德島藩士、明治初年伊藤博文と米國に遊學し、歸朝後、紙幣頭に任じ、東京府知事、內務大輔、文部大臣、宮中顧問官樞密顧問官、帝室會計審査局長、司法內務、遞信各大臣に歷任して子爵を授けられ日露役の功により伯爵に昇陞、多年樞密院副議長の職にあつたが、大正六年令嬢俔子の心中事件のため退職謹愼閉地にあつた。特別

◇上海之山東銀行設立
同社（資本金三百五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した
專務取締役　中尾純一（前支店長）
取締役　田邊定（前支店長）、尼田徳藏（前支店長）
監査役　古賀三千人（前支店長）、小森文一郎（前支店長）、三岡貞吉（前支店長）

◇上海之山東銀行設立
同社（資本金三百五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した
專務取締役　中尾純一（前支店長）、尼田徳藏（前支店長）
取締役　田中省三（前支店長）、吉村伊助

同社は株主總會を開き資本金七百五十萬圓を一千五百萬圓に增資と決定した

◇岡崎銀行五圓萬圓に增資

山形市の同行は株主總會に於て資本金二百四十萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇東武鐵道一千圓萬圓に增資

同社は臨時總會を開き資本金九百萬圓を一千百萬圓に增資するに決定した

◇關大昇令により早大・慶大を調査

早稻田及び慶應義塾の兩大學は、臨時敎育調査會に於て本年四月一日より新大學令による大學と認定されることに決定した

◇日本石油の八時間勞働制實施

日本石油會社は全國に於ける同社鑛山並に製油所に八時間勞働制を實施した

◇前臺銀關取・梅生義一死去

前臺灣銀行頭取梅生一義は本日死去した。享年五十七。明治三十二年臺灣銀行副頭取となり、後頭取に就任し在任十七年に及んだ

二十一日（水）

◇日本絨織會社の創立

同社（資本金百五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役越山太刀三郎（社長）、岡崎廣吉（專務）、北井平八（常務）、須山雄五郎、渡邊助次郎、森半藏、野口榮吉、飯田省一▽監査役相川紀、竹下延保、田中耕一郎▽相談役雨宮豐次郎

◇名古屋銀行二千萬圓に增資

同行は株主總會に於て資本金七百萬圓を二千萬圓に增資と決定した

二十二日（木）

◇山形商業銀行の三倍增資

山形市の同行は株主總會に於て資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資と決定した

二十三日（金）

◇東京瓦斯へ改正料金の指令を發す

東京府知事は、東京瓦斯會社の申請した東京府下の瓦斯料金現在一千立方呎二圓四十錢を三圓に値上げの件につき審査中の處、本日左の如く認可指令を發した

▽一千立方呎二圓六十八錢とす▽瓦斯引用に要する新規並に增設に就いては要求に應じ速かに施設することと▽瓦斯の品質を改良し供給を充分ならしむることと▽二月一日より實施のこと

◇大阪組合銀行の罰金利上

大阪組合銀行は聯合總會を開催し、預金利上を左の通り決定した

▽定期預金甲種年六分五厘（五厘上げ）乙種年六分八厘（六厘上げ）▽當座預金甲種日歩九厘（一厘上げ）乙種日歩九厘（一厘上げ）▽小口當座預金甲種日歩一錢三厘（一厘上げ）乙種日歩一錢四厘（一厘上げ）▽通知預金甲種日歩一錢五厘（二厘上げ）乙種日歩一錢六厘（三厘上げ）

◇東京府農工債券百萬圓發行

東京府農工銀行は農工債券百萬圓を左の條件で發行した

▽利率七分▽發行價格額面▽償還方法一ケ年半据置以降二十ケ年内に全額償還

◇三井物産社長に三井養之助就任

三井物産會社は株主總會に次いで取締役會を開き、互選の結果同社々長に三井養之助が當選就任した

◇東神倉庫社長に三井得右衞門就任

同社は株主總會を開催、次いで取締役會を開き、社長三井養之助辭任につき後任を互選の結果、三井得右衞門が當選就任した

◇富嶋農工銀行三百萬圓に增資

同行は株主總會に於て資本金二百萬圓を三百萬圓に增資と決定した

◇臺東造業會社の創立

同社（資本金二百三十四萬圓）は創立總會を開き、左の役員を決定した

▽取締役堤清六（社長）、平塚常次郎（常務）堤清吉、小出勇助、高橋栄吉▽監査役五十嵐勉吉、田邊龍一、三浦良次

◇總中電力會社の創立

同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した

▽取締役白莊司芳之助（社長）、林安業、三井永忠、內野信一、谷欽太郎、池上健二、▽監査役小林徹、市川八郎、石原正太郎

◇岸和田紡績の借額增資

同社（資本金四百八十萬圓）は株主總會を開き、資本金を倍額の九百六十萬圓に增資の件を可決した

◇日本貴夜銀行一千萬圓に借額增資

同行は株主總會を開き資本金五百萬圓を一千萬圓に倍額增資するに決定した

◇和關、獨逸前皇帝の引渡を拒絕

聯合國側はさきに和關に蒙塵せる獨逸前皇帝の引渡しを要求したが、和關政府はこれを拒絕した

二十四日（土）

◇帝國政府の山東鐵附屬通告書を發表

外務省は帝國政府より支那政府に致せる山東還附通告書の內容を左の如く發表した

平和條約の効力發生と共に同條約の規定に基き山東に於ける獨逸の權利利益は確實に日本の手に歸するに至りたる次第なる處、帝國政府は果夫の靡明公約を恪守し、速に膠州灣還附其の他の善後措置を實行せんがため在支帝國公使に訓令の上、支那政府に對し十九日左の趣旨を申入れしめたり

一、平和條約その効力を發生したるを以て帝國政府は果夫靡明の通り膠州灣還附その他の善後措置問題に關し支那政府と交涉を開始し、誠實迅速に本件の解決を圖りたきにつき支那政府に於ても必要なる準備を遂げられんことを希望す

二、山東鐵道沿線の我軍隊に關しては靡明の通り膠州灣還附日支兩國間に成立の上は勿論、その以前に於ても可成速かに撤退するの意向なるが、我軍隊撤退後、鐵道警備の任に當るべきものなく獨り日本のみならず各國の利害を共にすべき支那の任に當るべきものなき時は、交通の安全を確保する

左の通り預金利上げを決定し、二月一日より實施することゝなつた
▽定期預金、甲種年六分五厘、乙種年六分
八厘▽當座預金、甲種日歩一錢以下、乙種日歩一錢一厘以下▽特別小口當座預金及貯蓄預金、甲種日歩一錢四厘以下、乙種日歩一錢五厘以下

◇上海製麻會社の創立
同社（資本金四百萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役萱井泰治（社長）、阿部幸之助、宮島清次郎、高橋虎太、阿部政次郎▽監査役澤本良臣

二十七日（火）

◇日本製粉、東北製粉を合併增資
同社（資本金一千百十萬圓）は株主總會に於て宮城縣名取郡の東北製粉會社を合併し、四十五萬圓增資の件を可決した

二十八日（水）

◇大日本麥酒三千八百萬圓に增資
同社は株主總會に於て資本金一千二百萬圓を三千八百萬圓に增資と決定した

◇廣島瓦斯會社一千萬圓に增資
同社は株主總會を開き資本金六百萬圓を一千萬圓に增資と決定した

◇三十四銀行五千萬圓に借額增資
同行は株主總會に於て資本金二千五百萬圓を五千萬圓に增資と決定した

◇鄯山紡績、大日本紡績を合併
鄯山紡績會社（資本金七百萬圓）は臨時總會を開き、大日本紡績會社（資本金百萬圓）を合併し、一千萬圓に增資と決定した

二十九日（木）

◇旭電工會社の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役大槻久吉（社長）、林文太郎、賀田金三郎、山中勇、小松原矢六、鈴木久次郎▽監査役谷口守雄、三好榮次郎、後藤正基▽監査役岸本龜太郎、上平井伸次郎、田中武雄、鈴木德次郎

◇露帥急行電鐵二千二百萬圓に增資
同社（資本金一千萬圓）は臨時株主總會を開き、二千二百萬圓に增資及び取締役二名增員の件を可決し、互選の結果岸本龜太郎、上田寧が當選した

三十日（金）

◇三井銀行會長・重役の更迭
同行は臨時總會に於て取締役會長三井高保、取締役副井菊三郎、監査役三井得右衞門、林健藏辭任し、社長に三井源右衞門、取締役に龜島廣吉、監査役に門野錬八郎、杉山虎雄が當選就任した

◇富士製粉會社の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役久保田盛市郎（社長）、高尾萬次郎（專務）、大西良輔、小風亥眞穗、鹽田奥造、谷崎二三、近藤留吉、岡野伊三郎、服部證▽監査役嚴本善治、關幸太郎、白石慶三▽顧問法博戸水寬人、農博中村彦

三十一日（土）

◇露比利亞出兵の日米交渉經書を公表
シベリア出兵問題に關し一九二〇年一月九日附及び同年一月二十二日附帝國駐米大使より米國國務長官に交附した覺書を、外務省より公表した

◇內海紡績二百五十萬圓に增資
資本金百萬圓の內海紡績會社は、百五十萬圓を增資して資本金二百五十萬圓となつた（日不詳）

◇旭覺化工業、石鹼工業を買收
旭電化工業會社（資本金二百萬圓）は、石

鹼工業會社を買收した（日不詳）

◇東洋コルク工業會社の創立
東洋工業會社の前身、東洋コルク工業會社は資本金五十萬圓を以て廣島市に創立、左の重役を選任した（日不詳）
▽代表取締役　海塚新八▽取締役　清谷角八、鹽谷孝吉、松田重次郎、鈴木峰次郎、宇都宮德藏▽監査役鈴木榮助、玉井幸雄、久保田榮次郎

【二　月】

一　日（日）

◇帝國製鈑會社の減資
同社（資本金二百萬圓）は休戰の影響を受け九十萬圓の缺損を生じたので、未拂込二十萬圓を徵收し全額拂込とした上、六十萬圓に減資の件を株主總會で可決した

二　日（月）

◇議員歲費增額案、樞密院を通過
樞密院本會議に於て議院法中改正法律案が通過した。貴衆兩院議長の歲費五千圓を七千五百圓に、副議長の三千圓を四千五百圓に、兩院議員の二千圓を三千圓に增額するものである

◇東京瓦斯會社一千萬圓に增資
同社は株主總會を開き資本金二百萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇實川豐壽起訴さる
前年八月雜誌「解放」に「勞働崇拜論」を掲載し、前月二十八日神戸地方裁判所に召喚取調を受けた友愛會神戸支部長賀川豐彥は、新聞紙法違反として起訴された

三　日（火）

◇工業俱樂部の所得稅改正反對決議
日本工業俱樂部理事會は、今議會に提出された所得稅改正法律案は企業の發達を阻止するものであるとの見地から左の決議をなした
今回の所得稅改正法律案の趣旨たる綜合課稅の方法を我邦に實施する時は、資本家をして合法的なる負擔輕減法を圖らしめると共に、株券配當に對する超過累進率の適用は有價證券の所有を困難ならしめる結果、株式投資の方法による企業の發達を阻害する故、姑く株式配當に對しては現行法により、法人所得に對する源泉課稅法を採り、これに超過累進率を以て國費を徵收せられんことを望む

◇東北拓殖會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽理事長小泉策太郎▽理事門田新松、吉田

◇廣島電氣軌道五百萬圓に增資
同社は株主總會を開き資本金二百萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇實川豐壽起訴さる
前年八月雜誌「解放」に「勞働崇拜論」を掲載し、前月二十八日神戸地方裁判所に召喚取調を受けた友愛會神戸支部長賀川豐彥は、新聞紙法違反として起訴された

三　日（火）

◇工業俱樂部の所得稅改正反對決議
日本工業俱樂部理事會は、今議會に提出された所得稅改正法律案は企業の發達を阻止するものであるとの見地から左の決議をなした
今回の所得稅改正法律案の趣旨たる綜合課稅の方法を我邦に實施する時は、資本家をして合法的なる負擔輕減法を圖らしめると共に、株券配當に對する超過累進率の適用は有價證券の所有を困難ならしめる結果、株式投資の方法による企業の發達を阻害する故、姑く株式配當に對しては現行法により、法人所得に對する源泉課稅法を採り、これに超過累進率を以て國費を徵收せられんことを望む

◇東北拓殖會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役大槻久雄（社長）、橫山寅一郎、岡崎久次郎、島津忠膺、金子元三郎、岩間六郎、殿木松造、石川定辰、鹽谷良吉▽監査役佐竹義立、田中小太郎、富永種興

◇ロザノフ將軍、斃死七名
浦鹽政變の結果、ロザノフ將軍は自治派軍の迫害を遁れ、巡洋艦アリヨール及びヤスクの兩艦に家族及び部下五百五十名を收容して敎賀へ入港した

四　日（水）

◇東洋生命社長尾高次郎死去
東洋生命、南洋殖產、東洋電氣工業、城東電鐵、共同精米、千代田護謨の社長尾高次郎は午前五時死去した。享年五十五。埼玉縣出身で、財界の巨人澁澤榮一の緣者。東京高商を出で實業界に入り、前記會社の他朝鮮興業第一火災の取締役であつた

五　日（木）

◇大連株式商品取引所の創立
同取引所（資本金一千萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽理事長小泉策太郎▽理事門田新松、吉田

豐次郎、森巢文、松野鶴平、中村敏雄、郭學純、森上卯平、臼井熊吉▽監査役陸奥元太郎、栗本政、古林治八、雉本爲太郎

◇日本冒遷會社の創立
資本金七十五萬圓を以て設立された同社は創立總會を開き左の重役を選任した
▽社長鈴木眞彦▽專務取締役中野友禮▽取締役渡邊勝三郎、若尾謹之助、武和三郎、辰澤延次郎▽監査役袴田喜四郎、安川雄治市原求

◇唐河鑛業會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役高橋直賢（會長）、小林伊三郎（專務）、古宮新吾（常務）、高山襄坪、栗本市三郎、木村理助、木村準治、横井富次郎、吉田弘喜、伊知地鐐典▽監査役久保勇、井上光三郎、尾崎才治、森名昇、加藤鐵吉▽相談役大倉喜三郎、伊藤儀平、川柳儀雄

◇高砂香料會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役佐伯四郎次（社長）、甲斐莊楠香（專務）、森本辰二（常務）、川上楠次郎、豐島

左の役員を選任した
▽取締役荒井泰治（社長）、長澤倉吉、大島要三、高橋虎太、池上伸三郎、神谷傳兵衛、龍崎三郎助、浦邊襄夫▽監査役上原龍造、井出百太郎、芹澤多根、林松次郎

◇業瀬自動車會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役業瀬長太郎（社長）、大澤喜市、尾花信、梅村四郎、橋戸義雄、鈴木武平、相良亮吉、吉崎良造▽監査役岡野悌二、原安三郎、丹澤善利▽相談役山本条太郎

◇業瀬商事會社の創立
同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役業瀬長太郎（社長）、橋戸義雄、梅村四郎、大澤喜市▽監査役原三郎▽相談役山本条太郎

◇福井銀行五百萬圓に增資
福井市の同行は臨時總會に於て資本金百二十五萬圓を五百萬圓に增資と決定した
十二日（金）

◇憲政會、內閣不信任案を提出す
憲政會は內閣不信任決議案を衆議院に提出した

◇臨時國庫證券一千萬圓發行
政府は臨時國庫證券一千萬圓を發行した。償還期限大正十三年十二月一日迄、利率年五分である

◇東洋拓殖社債五百萬圓發行
同社は社債五百萬圓を左の條件で發行した
▽利率年七分▽發行價格百圓につき九十七圓▽償還期限一ケ年据置後四ケ年內に每半期五十萬圓以上償還

◇松本貿易會社の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役松本孝太郎（社長）、今井市兵衛、松田鳥文、ヘルコンドンカ・カーチス、石井松太郎、大西文次郎、堀田駒吉▽監査役加藤武雄、山口栄吉、和佐善男

◇株式會社日立製作所の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役小平浪平（社長）、角彌太郎、田邊勉吉、六角三郎、高尾直三郎▽監査役堀哲三郎、下河邊健二

◇東京電燈會社の五倍增資
同社は株主總會に於て資本金百萬圓を五百萬圓に增資と決定した
十四日（土）

◇普選案上程、委員附託となる
憲政會武富時敏外六名、國民黨古島一雄外四名及び普選實行會坂本金彌の提出せる衆議院議員選擧法中改正法律案（普選案）は一括して本日の衆議院に上程され、提案理由說明の後二十七名の委員附託となつた
十五日（日）

◇日本生命三百萬圓に借額增資
同社は總會を開き資本金百五十萬圓を三百萬圓に增資と決定した
十六日（月）

◇朝鮮殖産債券五百萬圓發行
朝鮮殖産銀行は債券五百萬圓を發行した。利子年七分、發行價格九十七圓五十錢である

◇北海道拓殖銀行の借額增資
同行は株主總會に於て資本金一千萬圓を二千萬圓に增資と決定した
十七日（火）

◇朝鮮銀行八千萬圓に借額增資
同行は株主總會に於て資本金四千萬圓を八千萬圓に增資と決定した

◇日本傷害火災海上保險會社の增資
同社は株主總會に於て資本金二百萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇八幡製鐵所の同盟罷業
同所職工は昨四日白仁長官に左の陳情書を提出し、同時に代表者を擧げて交涉せんとしたが拒絕せられたので、勞友會職工を中心として本日午前六時の交代時に全職工、人夫一萬五千餘名は事務所前に集合し、罷業を決行した
▽臨時手當を本給に直すこと▽割增金は缺勤者に對し支給せざるの制なるがこれを日割として各人平等に支給すること▽勤務時間を十時間に短縮すること▽住宅料として家族ある者に二十四圓、獨身者に二十二圓を支給すること▽現在の職工賃銀を三割增給すること

◇獨逸媾和委員長、犯罪者引渡を拒絕
獨逸媾和委員長フォン・レルスネルは對獨戰爭犯罪者の引渡要求名簿を伯林に送致することを拒絕して媾和委員長を辭し、巴里を退去することを聲明した

七日（土）

◇全國商業會議所聯合會の所得稅改正反對決議
全國商業會議所聯合會を東京商業會議所に開き、今議會に提出せられた所得稅法改正法律案に反對の決議をなした

◇日米信託、第二日米信託を合併
日米信託會社（資本金二千萬圓）は臨時總會を開き第二日米信託會社（資本金三千萬圓）を合併し五千萬圓に增資を決議した
八日（日）

◇朝鮮東南鐵道會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役長島弘、阪上貞信、秋本茂、中村勝五郎、澁谷元良、堤清六、岡部菊太郎、金澤冬三郎、大內暢三、土屋興▽監査役中村郁次郎、一宮房次郎、梅津五一、手島直兵衛、朝田惣七

◇八幡製鐵所罷業團の幹部檢擧
八幡製鐵所罷業團幹部、西田賢太郎、淺原賢三、吉村眞澄等勞友會幹部七名は、治安警察法違反として檢擧され、令狀を執行された
十日（火）

◇日本建築紙工會社の創立
同社（資本金四百萬圓）は創立總會を開き

◇流行性感冒の患者數と死亡者數
内務省衛生局調査による大正八年九月より本年二月九日迄の全國流行性感冒の患者數は百七十二萬四千二百六十二名、死亡者數六萬五千八百五十二名と發表された

◇埃地利、聯邦制となる
ザルツブルグに於て開催された埃地利各州の代表者會議に於て埃地利の組織を變更して聯邦制となすことを票決した
十八日（水）

◇朝鮮畜產鐵道會社の創立
同社（資本金二千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役藤山雷太（社長）、高山長幸、原田金之祐、岡村左右松、奥澤爾太郎、伊吹震中西練次郎、堀江吉之助、渡邊榮太郎、伊藤利三郎▽監査役松平直平、指田義雄、谷道濤之助、崔熙淳、辻武美
十九日（木）

◇憲政會、內閣不信任案を撤回
憲政會は本月十三日衆議院に提出した內閣不信任決議案を、提出理由中の外交問題に關する字句修正のため一先づ撤回した

◇日立鑛山暴擾事件の續報・重生等有罪
前年十二月茨城縣日立鑛山に於ける暴擾事件で檢擧された友愛會本部理事棚橋小虎、麻生久外十三名は水戸地方裁判所に於て審理中のところ何れも有罪と決定した
二十日（金）

◇日支協會の設立
全國商業會議所聯合大會の決議に基き、實業家を以て日支兩國双互の經濟的發展を圖り且つ兩國民の交誼增進を目的とする日支協會が設立された

◇白木屋吳服店一千萬圓を增資
同店（資本金五百萬圓）は臨時株主總會を開き資本金一千萬圓を增加し總額一千五百萬圓とする件を可決した

◇東京電氣會社一千萬圓に增資
同社は臨時總會を開き資本金六百萬圓を一千萬圓に增資と決定した
二十一日（土）

◇神戸商上火災保險の三倍增資
同社は株主總會に於て資本金五百萬圓を一千五百萬圓に增資と決定した

◇日本水力、北陸電化を合併
日本水力電氣會社（資本金四百萬圓）は臨時總會に於て北陸電化會社（資本金六百萬圓）を合併し一千萬圓に增資と決定した
二十二日（日）

◇臨時產業調査會官制公布さる
臨時產業調査會官制公布され、本日の官報を以て發表された

◇普選運動全國聯合大會の決議
普通選擧全國聯合大會は午後一時より東京芝公園廣場に擧行、小泉又次郎の開會の辭につぎ河野廣中座長席につき、滿場一致を以て左の決議文を可決し、國民黨岡直彥、憲政會烏田三郎、實行會今井嘉幸の演說あり、四時散會した
▽決議　吾人は協力一致本議會に於て普通選擧の達成を期す

◇普選促進全國記者大會の決議
普選促進全國記者大會は帝國ホテルに開かれ、左の決議を行つた
一、吾人は普通選擧即時實行を阻止する政府の更迭を期す
一、吾人は第四十二議會に於て普通選擧案に反對したる代議士を再選せしめざらんことを期す

◇正隆銀行二千萬圓に增資
大連に本店を有する同行は臨時總會を開き

資本金六百萬圓を二千萬圓に增資と決定した

◇共立生命保險會社の借額增資
同社は株主總會に於て資本金百萬圓を二百萬圓に倍額增資と決定した
二十二日（月）

◇政友會、普選案反對に決す
政友會は本部に於て代議士會を開き普選案に對し絕對反對の態度を決定した

◇シベリア駐兵日本軍の歸還聲明
黑龍江地方日本軍司令官は宣言書を發表し同地方民に告別の辭を述べ、本國へ歸還すと聲明した

◇朝鮮開拓會社の創立
同社（資本金七百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役川上佐太郎（社長）、小川清之輔、長部松三郎、橋本圭三郎、岡半右衞門、萩原亘、中野信吾▽監査役松田周平、鷲尾德之助、松村金兵衞
二十四日（火）

◇東洋紡績五千萬圓に借額增資
同社は臨時株主總會に於て資本金二千五百萬圓を五千萬圓に倍額增資と決定した

◇朝鮮殖產銀行三千萬圓に增資
同行は株主總會に於て資本金一千萬圓を三千萬圓に增資と決定した

◇八幡製鐵所職工の暴動
罷業中の同所職工二千名は、本日午前六時本館事務所に集合して喊聲をあげ長官室を始め事務室に投石し暴行を行つたので、警官隊出動し壓制に努めると共に各工場及び機關部を破壞される虞れあるため二十四、二十五の兩日臨時休業する旨發表した
二十五日（水）

◇米子製絲、日本製絲と改稱增資
鳥取縣米子の米子製絲會社は臨時總會に於て資本金五十萬圓を五百萬圓に增資し、日本製絲會社と改稱することに決定した

◇大日本原毛紡績會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役戸水寬人、松島肇、今中富三郎、高橋憲治、俵榮保、中村定、池田重一、佐藤松實、小松達馬、安川安太郎▽監査役永田利一、金澤周太郎、山本文作、山下佐太郎、西俊敦部

◇日本鋼鐵會社一千萬圓に增資
同社は臨時重役會に於て資本金三百萬圓を一千萬圓に增資と決定した

第四十二帝國議會解散さる
本日午後五時十分第四十二帝國議會解散の詔書が降つた。なほ政府は議會解散に對する理由を左の如く聲明した
衆議院議員選擧權の擴張は從來政府の執り來りし方針にして、明治三十三年擴張し昨年又擴張したり。今後も國情に適應せる擴張を行ふも昨年以來未だ一年ならず、且一回も實行せざるに今亦選擧法の改正を試みんとするは立法の威信を損するのみならず、憲法政治の健全なる發達を阻害するものである。今回衆議院に提出されたる改正案は輕率急激にして帝國の國情に則せざる法案である。而もその理由を觀るに、現在の社會組織を脅威せんとするが如き不穩なる思想の潛在せるを見る。事玆に至りては單純なる選擧權擴張の問題たるに止まらず、國家の前途に對し容易ならざる影響を及ぼすものである。衆議院に於ては本案の否決を見るを疑はずと雖も、事態重大なるにより政府は議會を解散して國民の公正なる判斷に訴へたのである

◇大丸呉服店の火事と火保険契約高
大阪南區心斎橋の大丸呉服店より本日午前五時發火、同店を全焼した。損害約百五十萬圓。火災保険は明治火災十萬五千圓、東京火災十一萬圓、日本火災十萬圓、横濱火災十一萬圓、神戸海上火災六萬圓、豊國火災二萬圓千代田火災二十萬圓、東京海上四萬圓、帝國火災三萬圓、三菱海上五十二萬圓、大阪海上二十萬圓、ノーハン四萬五千圓、ヒンックス四萬圓、大倉組引受外國保険二十七萬圓、スカッチ・ユニオン六萬五千圓、合計百九十一萬五千圓の契約があつた

二十七日（金）

◇臨時圓庫證券一億圓借替發行
政府は前年九月十七日發行の臨時國庫證券一億圓借替のため左の條件で臨時國庫證券一億圓を發行した
▽發行價格現金面募九十四圓五十錢、國債乗替面募九十四圓▽償還期限大正十三年三月一日▽利率年五分

◇九州製糖會社の創立
同社（資本金七百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役吉川雄輔（社長）、岡部菊太郎、朝

同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役綿貫助次郎（社長）、桑原次郎（專務）、皆川卯太郎、小泉智海、大葉久吉▽監査役小川市太郎、森久太郎

◇八幡製鐵所の勞働爭議解決
罷業のため休業中の同製鐵所は、今社側が斷然切崩しに成功し本日より操業するに至り職工全部就業した。尚今回の爭議の結果、同所の受けた損害は百萬圓以上で檢擧者の數は百六十名に上つた

二一日（水）

◇東洋紡機會社の創立
同社（資本金三百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役土屋暉（社長）、長倉信一、佐藤博愛、中村愛作、長嶋弘、高橋德之助、長倉巳之吉、南勇太郎、大江元起▽監査役南波禮吉、内田英雄、伊藤清、平沼亮牧三、田瀬太郎

◇東北紡績會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役安部幸之助（社長）、千葉了、堀田

金四郎、吉村鐵之助、高橋虎太、若尾璋八
橋瀬軍之佐、櫻内幸雄、牧山熊二郎▽監査役橋本信次郎、林誠吉、奥村寅次郎

◇關西信託會社の五倍增資
同社は株主總會に於て資本金二百萬圓を五千萬圓に倍額增資と決定した

◇三菱鑛業一億圓に倍額增資
同社は臨時總會に於て資本金五千萬圓を一億圓に倍額增資と決定した

◇義戸辰男・大内兵衛の判決
東京帝國大學助教授森戸辰男、同大内兵衛の兩名にかゝる朝憲紊亂事件の判決は、安寧秩序紊亂罪として東京地方裁判所に於て森戸は禁錮二ケ月、大内は罰金四十圓の判決を言渡された

四日（木）

◇十八銀行一千八百萬圓に增資
同行は臨時總會に於て資本金六百五十萬圓を一千八百萬圓に增資と決定した

◇東京石綿會社の五倍增資
同社は株主總會に於て資本金六十萬圓を三百萬圓に增資と決定した

◇中央證券會社の創立
同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き、

左の役員を選任した
▽取締役小野晢郎（會長）、野村大藏（常務）小野俊三、澁谷米太郎、大石廣吉▽監査役宮下久太郎、原田芳太郎

八日（月）

◇日本皮革會社一千萬圓に增資
同社は臨時總會に於て資本金二百五十萬圓を一千萬圓に增資と決定した

田勢七、秋元清助、秋元豊二郎、安倍午生
淡中幸八郎▽監査役高木七五郎、高橋次太郎、吉田淳一

◇市營鴨猟出張所全從業員を解雇す
東京市電鴨出張所從業員は本月二十四日より怠業をなし日を逐うて險惡となつたので井上市電局長は鴨出張所を閉鎖し、同時に同出張所從業員六百名に對し即日解雇を申渡した

◇大阪機械製作所の創立
株式會社大阪機械製作所（資本金十五萬圓）は創立總會を開き、左の重役を選任した（日不詳）
▽取締役山田多計治、濵島猪之丞、山田又司、坂井權吉▽監査役川上佐太郎、羽室庫之助、杉本直太郎

◇新潟水力電氣の倍額增資
資本金百七十五萬圓の新潟水力電氣會社は倍額增資して、資本金三百五十萬圓となつた（日不詳）

◇貿銖織機會社の創立
同社は資本金二百萬圓を以て濱松市砂山町に設立され、創立總會に於て左の重役を選任した（日不詳）
▽代表取締役寺多又藏▽取締役角田正喬、堀文平、木俣千代八、增井治良作、阪本久五郎▽監査役國澤統介、範田龍太郎、寺田淳平▽支配人上村幸一

【三　月】

一日（月）

◇日本綿花會社五千萬圓に增資
同社は株主總會に於て資本金一千萬圓を五千萬圓に增資と決定した

◇出雲電氣四百四十五萬圓に增資
島根縣の同社は株主總會に於て資本金二百六十萬圓を四百四十五萬圓に增資と決定した

◇東京市電從業員の解雇問題解決
市電從業員中の强硬派たる巢鴨車庫の六百名を解雇せる東京市電氣局當局は、從業員側の希望を容れる條件で復職を承認することに決したので從業員側も怠業を打切り、一と先づ問題は解決した

◇斬支那總理辭表を提出す
新國務總理は時局擔當の力なしとして辭表を提出した

二日（火）

◇笹原土地會社の創立

左の役員を選任した
▽取締役岡田朝太郎（社長）、田中順造、上遠野孝、窪田清市、安田彌兵衛、松本忠之助、山田勘治▽監査役永江林吉、竹村良貞青山晢四郎、牧野藤一郎、西脇晢次▽相談役笠非愛次郎

五日（金）

◇數實銀行の四倍增資
福井縣敦賀町の同行は臨時總會に於て資本金五十萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇田主丸銀行百萬圓に增資
福岡縣田主丸町の同行は臨時總會に於て資本金三十萬圓を百萬圓に增資と決定した

六日（土）

◇日本生絲會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役小野晢郎（會長）、野村大藏（常務）小野俊三、澁谷米太郎、大石廣吉▽監査役宮下久太郎、原田芳太郎

八日（月）

◇日本皮革會社一千萬圓に增資
同社は臨時總會に於て資本金二百五十萬圓を一千萬圓に增資と決定した

◇大阪真大小會社五百萬圓に增資
同社は臨時總會に於て資本金百二十萬圓を五百萬圓に增資と決定した
十　日（水）
◇日本信託銀行の創立
同銀行（資本金五千萬圓）は創立總會を開き、左の役員を選任した
▽取締役林市藏（社長）、横山昌太郎（專務）、島徹藏、小澤爲次郎▽監査役宮崎敬介、小西新右衞門、夏秋十郎
◇朝高製糖二千八百萬圓に增資
同社は臨時總會に於て資本金五百萬圓を二千八百萬圓に增資と決定した
◇大阪住宅經營會社の創立
同社（資本金一千萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役山岡順太郎（社長）、堀田宗一、柿崎欽吾、加島安次郎、河崎助太郎、矢野慶太郎▽監査役田所美治
◇ラサ島鑛業一千六百萬圓に增資
同社は臨時總會に於て、大阪曹粉會社を合併、資本金六百萬圓を一千五百萬圓に增資と決定した
◇日本製鐵製造會社三百萬圓に增資
同社は臨時總會に於て資本金百二十萬圓を三百萬圓に增資と決定した
◇天勢鰹節の岩谷松平死去
實業家岩谷松平が死去した。享年七十二。鹿兒島の出身、明治十三年銀座に鰹節店を開業して成功し、天狗鰹節の名と共に巨萬の富を得た。鰹節專賣實施後は一般商業界に轉身し、日本家畜市場會社々長、博多湾鐵道會社の取締役であつた
十一日（木）
◇スラバヤに領事館開設
蘭領東印度爪哇島スラバヤに帝國領事館を設置、本日開館した
◇松島遊廓誘致
糸崎船渠會社の疑獄事件で廣島地方裁判所に於て取調中の同社相談役元代議士松島駒他三名は商法違反として起訴された
十四日（日）
◇百三十三銀行の三倍增資
滋賀縣彦根町の同行は臨時總會に於て資本金百萬圓を三百萬圓に增資と決定した
十五日（月）
◇日本活動寫眞六百萬圓に增資
同社は臨時總會に於て資本金二百五十萬圓を六百萬圓に增資と決定した
◇肥後銀行一千萬圓に借閒增資
熊本市の同行は臨時總會に於て資本金五百萬圓を一千萬圓に增資と決定した
◇第十銀行五百萬圓に增資
甲府市の同行は臨時總會に於て資本金二百萬圓を五百萬圓に增資と決定した
◇芝浦製作所職工の待遇改善要求
同製作所職工は、日給の高低に拘らず一律に五十錢宛の引上をすること、職工中在鄉軍人等公務に依り召集を受けたる場合は平素の日給を支給すること及び該缺勤は賞與に關係なきこと、賞與は日給半年分の三割を支給されつゝあるも高率にすることの要求を重役に提出した
◇明治會社職工の同盟罷業
同社職工全部二百九十名は、工場委員會の設置、八時間勞働制の實施、日曜公休、賃銀値上等の要求を會社側に提出したが、拒絶されたので同盟罷業を決行した
十六日（火）
◇諸株崩落のため東株立會中止
諸株大崩落し東株一氣に百圓安の三百圓臺に瓦落し、紡績株亦何れも五六十圓安を告げ

て、市場大混亂に陷つたため、東京株式取引所は十六、十七兩日臨時休業した
◇綿糸崩落、東京綿糸立會中止
期米崩落し市場混亂狀態に陷つたので東京米穀取引所は立會を中止した
◇六大都市に電話度數制を實施
通信省は電話料金を改正し、四月一日より東京、大阪、京都、神戸、名古屋、横濱の六大都市に度數制を實施する旨公布した
◇大日本電氣會社の創立
同社（資本金五十萬圓）は創立總會を開き左の役員を決定した
▽取締役宮崎彦藏（社長）、秋本敏雄、吉田喜代治、青木治介、武井定光、根本清六、野村良太郎、▽監査役笠原義文、大内一郎
十七日（水）
◇大阪株式取引所の臨時休會
東京市場休會のため市場の激變を考慮し、大阪株式取引所は帳簿整理を名として臨時休會した
◇東京の三地下鐵道認可さる
鐵道院は認可出願中の左記三地下鐵道に認可の指令を下附した
▽東京鐵道（出願者飯田義一）總延長二十哩六十鎖、經費九千八百萬圓
▽東京高速鐵道（同利光鶴松）總延長八哩六十鎖、經費三千七百萬圓
▽武藏電氣鐵道（同鄕誠之助）總延長五哩七、小西幸道
十八日（木）
◇日本製紙原料會社の創立
同社（資本金百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役河田以儀三（社長）、神林增治、川島延太郎、齋藤榮一郎（常務）、齋藤得二、川田榮吉、高橋通太▽監査役倉成大、伊澤福
◇福本農工銀行の借閒增資
同行は臨時總會に於て資本金百二十萬圓を二百四十萬圓に增資と決定した
◇澁澤同族專務八十島親德死去
澁澤同族會社專務取締役八十島親德は本日死去した。享年四十八。伊豫宇和島の出身。澁澤男の知遇を受け、澁澤系の事業のみならず同家內政上の全責任を帶び、實業界に重きをなしてゐた
十九日（金）
◇芝浦製作所職工の同盟罷業
同製作所職工全部は本日十五日會社側に提出せる待遇改善案の實施につき數回に亘り交渉したが、應諾の模樣なきため總罷業を決行した
二十日（土）
◇大日本人造肥料三千萬圓に增資
同社は臨時總會に於て資本金一千四百三十萬圓を三千萬圓に增資と決定した
◇福助足袋會社二百五十萬圓に增資
同社は株主總會に於て資本金百五十萬圓を二百五十萬圓に增資と決定した
◇堤商加造奏會社の創立
同社（資本金五百萬圓）は創立總會を開き左の役員を選任した
▽取締役小熊幸一郎（社長）、袴信一郎（專務）、眞藤慎太郎（常務）、堤清六、佐々木平次郎、平塚常次郎、坂井定吉、親山藤五郎、山田富次郎▽監査役エフ・エス・ブース田代三吉、岡本康太郎、結城新助
◇大正紙器、太陽統器と改稱
同社（資本金百萬圓）は臨時總會に於て社名を太陽紙器會社と變更に決定し、更に特株の肩替りにより左の如く役員を改選した
▽取締役大井卜新（社長）、若尾晉造（專務）

箕輪治三郎（常務）、九鬼紋七、津村重舎、伊藤小左衛門▽監査役堀内伊太郎、横田孝史

◇住友銀行七千萬圓に増資
同行は臨時総会に於て資本金三千萬圓を七千萬圓に増資と決定した

◇王子電車従業員の罷業
王子電車従業員は、会社が三名の従業員を突如解雇したため、その復職を迫つたが拒絶されたので、電車を全部入庫せしめ、運転を中止した

二十一日（月）

◇滝員鐵工所の勞働爭議
同鐵工所職工四百餘名は、待遇改善に關して要求書を会社重役に提出し罷業を行つたので、会社側は重役令を開き協議の結果、雜具工七十名を除く三百數十名を解雇する旨掲示し、貸與品の返却方を職工側に通告した

◇大塚鐵工所の同盟罷業
東京市芝三田豊岡町の同鐵工所職工二百餘名は賃銀値上を要求し、拒絶されたので同盟罷業を行つた

二十二日（火）

◇片倉製絲紡績會社の創立
同社（資本金五千萬圓）は創立総會を開き左の役員を選任した。尙同社は三十萬株を四十五圓以上のプレミヤム附で公募の結果、該金一千三百七十四萬六千餘圓に達した
▽社長片倉豊太郎▽副社長今井五介▽常務取締役田中新之助、武井覺太郎、片倉武雄、片倉修一▽取締役、林清夫、片倉直人、今井貞平、唐澤晉三、片倉勝衞▽監査役飯島保作、安田善雄、土橋源藏、小口友龜

◇滿蒙生命保險會社の創立
資本金二百萬圓の同社は創立総會を開き、左の役員を選任した
▽取締役河東田經濟、久米伊豫太郎、根岸鎌次郎、吉田長敬、蒔田廣城▽監査役山口巳之吉、佐々木與平

◇福豊炭礦會社の創立
同社（資本金三百五十萬圓）は創立総會を開き、左の役員を選任した
▽取締役阿由葉鎗三郎（社長）、保田元三郎（專務）、吉海親、豊川寅之助、富田基、成井茂七、渡邊俊雄、渡邊巳代吉▽監査役梶川義臨、阿部鋳太郎、近藤鐵次

◇制日家具會社の創立
同社（資本金二百萬圓）は創立総會を開き左の役員を選任した
▽常務取締役設樂秀雄、小林鶴三▽取締役渡邊節、伊東泰二郎▽監査役岩本重四郎

二十四日（水）

◇關南土地會社七百萬圓に増資
同社は株主総會に於て資本金三百萬圓を七百萬圓に増資と決定した

◇外相官邸の爆彈事件眞相
前年十月三十一日天長節祝日の夜、外務大臣官邸裏に點火せる爆彈を裝置した事件については、記事掲載を禁止し、東京地方裁判所に於て中華民國生れ支那公使館料理人張金海（三三）、中華民國生れ露國大使館ボーイ光銳（三八）及び露國大使館門衞邊谷三吉（六四）等を犯人として取調中のところ豫審終結し本日解禁となつた。犯行の動機は張及び光の兩名は極端なる排日漢にして山東問題につき極力排日思想を宣傳すべく、特に天長節祝日當夜外相官邸の夜會場を爆破し、多數の來賓に負傷者を出さしめて外國使臣に日本に對する惡感情を抱かしめ、將來の外交問題に禍根を殘さんとの動機から行つたものである。尙爆彈の發見が早かつたため巡査一名及通行人一名の負傷者を出したのみであつた

二十五日（木）

◇生活必需品の輸入稅免除
大豆、生牛肉、鳥卵、綿絲及び綿織物の輸入稅免除の勅令が公布された

◇國庫債券一千萬圓發行
政府は五分利國庫債券一千萬圓を左の條件で發行する旨告示した
▽發行日大正九年四月二十二日▽賣出價格二十五圓券二十三圓六十二錢、五十圓券四十七圓二十五錢、百圓券九十四圓五十錢、五百圓券四百七十二圓五十錢▽償還期限大正十三年十二月一日迄▽利率年五分

◇鐵道公債四十三萬圓發行
政府は有馬鐵道会社所屬輕便鐵道買收代價に充當するため公債四十三萬四千八百圓を發行した

◇日本紙器三千五百萬圓に増資
日本紙器製造会社は臨時総會に於て資本金一千萬圓を三千五百萬圓に増資と決定した

◇横濱火災一千二百五十萬圓に増資
横濱火災海上運送信用保險会社（資本金五百萬圓）は、臨時株主総會を開き、七百五十萬圓を增資して資本金一千二百五十萬圓となすことに決定した

◇芝浦製作所の爭議解決
罷業開始以來八日間に及ぶ芝浦製作所の勞働爭議は、職工側が提出した左の要求を全部会社側に於て承認することに決定し解決した
一、工場關係職工職員並に組長の間に存する多年の情弊を打破し、工場實務運用につき不都合と認められる點は解消を期せられたきこと
二、職工一般昇給の場合は今後も上級者に薄く、下級者に厚くする方針を採られたきこと
三、職工戰時手當はこれを適當の名稱に改め月給使用人との比率を改正增加の上每期末支給せられたきこと
四、精勤賞の給與は從來の出勤時間數を標準として算出せらるゝも兵役公傷による缺勤時間數は適當に加算せられたきこと
五、勤續手當基金の分配方法は適當に改正せられたきこと

二十六日（金）

◇日本鐵業會社の創立
同社（資本金三百萬圓）は創立総會を開き左の役員を選任した
▽取締役　猪木土彦（專務）、町田昇、金子貞治、今福結藏▽監査役　藤野正年、土田藤吉郎

◇鐸太合同產業會社の創立
同社（資本金二百七十五萬圓）は創立総會を開き、左の役員を選任した
▽會長岡田文次▽專務取締役相江定門▽常務取締役志賀巳之治、田中惣左衞門、辻清太郎▽取締役今西豫二、松尾寬三、松尾要、駒田富三郎、野崎末男、畑木仁三吉、長井永五郎▽監査役伊藤標五郎、山本市太郎、中村嘉壽▽相談役菅原通敬

◇中央機械製作所の創立
同社（資本金百萬圓）は創立総會を開き左の役員を選任した
▽取締役松原曉（專務）、遠山竹三郎、宍具平次郎、小野崎五助、瀧澤永二、竹内節▽監査役館秀緑、横山雄偉、澤全雄

二十七日（土）

◇東洋繭絲紡績會社の五倍增資
同社は臨時総會に於て資本金二百萬圓を一千萬圓に增資と決定した

◇綾部製絲総會社の合併と增資
京都府綾部町の同社は臨時総會に於て、三

東製麻會社（資本金五十萬圓）を合併し、資本金六十萬圓を五百萬圓に增資と決定した

◇神戸信託會社の五倍增資

同社は臨時株主總會に於て資本金二百萬圓を一千萬圓に增資と決定した

二十九日（月）

◇中井銀行の改組

合名會社中井銀行は資本金二百萬圓の株式會社に改組し、左の役員を選任した

▽頭取中井新右門▽常務取締役田口忠藏、岩田音次郎▽取締役野島泰次郎、中井永一、鵜村雄秀、茅野良太郎▽監査役中井喜三郎、川村松三、原島彦七

◇千日土地會社一千萬圓に增資

同社は臨時總會に於て資本金百十萬圓を一千萬圓に增資と決定した

三十日（火）

◇過激派、我が領事館を襲撃

外務省着電によれば、本月十九日日本守備隊と過激派軍との衝突により二コライエフスク領事館は過激派のため燒却され、同副領事石田虎松は行方不明となつた

◇富士瓦斯紡績三千八百萬圓に增資

同社は臨時總會に於て資本金一千八百萬圓を三千八百萬圓に增資と決定した

◇北海電化工業三百五十萬圓に增資

同社は臨時總會に於て資本金百萬圓を五十萬圓に增資と決定した

◇岩手銀行の借額增資

盛岡市の同行は臨時總會に於て資本金百萬圓を二百萬圓に增資と決定した

◇北越製紙會社五百萬圓に增資

長岡市の同社は臨時總會に於て資本金百十萬圓を五百萬圓に增資と決定した

三十一日（水）

◇獨比利亞駐屯軍撤兵に關する聲明

帝國政府は大要左の如き西比利亞駐屯軍撤兵の聲明を發表した

茲に帝國のシベリアに出兵したるは、チエコ・スロヴアキア軍の救援を目的としたるが故に同軍の引揚完了したる上は帝國も撤兵すべきは出兵當時の宣言により明かであるが、帝國のシベリアに對する地理的關係は他の列强とその趣を異にし、特に極東シベリアの政情は直ちに鮮滿地方の情況に波及するのみならず、シベリア地方に於ける多數の居留民は生命財産の安全を期するの外はざる實狀にあり。これ帝國が速かに撤兵を決行する能はざる所以にして、その間露國に對して何等政治的野心あるにあらず。故に我接壤地方の政情安定し鮮滿地方に對する危險除去せられ、我が居留民の生命財産を安固ならしめ、交通の自由保障せらるるに至らば、チエコ・スロヴアキア軍の撤去終了後成るべく速かにシベリア地方より我軍隊を引揚ぐべし。玆に重ねて我が誠意の存する所を聲明す

◇岡三十銀行の借額增資

同行は臨時總會に於て資本金一千萬圓を二千萬圓に增資と決定した

◇第一ラミー紡績五百萬圓に增資

資本金百五十萬圓の第一ラミー紡績會社は三百五十萬圓を增資して資本金五百萬圓となつた（日不詳）

◇武藏野鐵道三百萬圓に增資

資本金百萬圓の武藏野鐵道會社は、二百萬圓を增資して資本金三百萬圓となすに決定した（日不詳）

◇矢作水力、岩村電氣軌道を合併

資本金五百萬圓の矢作水力電氣會社は、岩村電氣軌道會社を合併、七十五萬圓を增資して資本金五百七十五萬圓となすに決定した（日不詳）

◇日本車輛三百萬圓に增資

資本金三百萬圓の日本車輛會社は、百萬圓を增資して資本金四百萬圓となすに決定した（日不詳）

◇函館船渠三百萬圓に借額增資

資本金二百萬圓の函館船渠會社は株主總會を開き、倍額增資して資本金四百萬圓となすに決定した（日不詳）

【四　月】

一　日（木）

◇東京商大官制公布

東京商科大學の官制公布され、東京高商は單科大學に昇格した

◇東京株式市場の暴落

新市發會の東京株式市場は休會中の大阪の暴落を受けて恐怖投物殺到し諸株一齊に暴落東株親三十二圓五十錢、新三十七圓九十錢、鐘紡親二十三圓十錢、新二十一圓六十錢、洋モス十六圓十錢、東京毛織十二圓九十錢方崩落した

◇東京一流銀行、當座貸越日歩引上

三井、三菱、第一、十五の東京の一流銀行は當座貸越日歩を二厘引上げ最低二錢九厘に改定し、本日より實施した

二　日（金）

◇貴島土地建物會社の創立

同社は資本金百萬圓を以て廣島に設立され代表取締役に山川吉太郎、高野一步、監査役に宮尾寬治、小林宗太郎等が就任した

三　日（土）

◇佛蘭西銀行の利上

佛蘭西銀行は通貨を縮小し財界の健全を期するため公定割引歩合を五分から六分に引上げた

四　日（日）

◇沿海州露軍の武裝を解除

浦鹽に於て日本守備隊と過激派軍と衝突し日本軍は浦鹽の露軍全部を武裝解除、又ハバロフスク其他沿海州各地露軍の武裝解除をも行つた

尙外務省は本月十九日同事件に關し何等政治的野心なき旨を聲明した

五　日（月）

◇東京市短期公債一千萬圓發行

東京市電氣事業短期公債一千萬圓は年利六分、發行價格百圓に付九十四圓、大正十年五月十日迄据置後四ケ年間に償還の條件で發行された

六　日（火）

◇帝國ラミー紡織會社の創立

帝國ラミー紡織會社は資本金三百萬圓を以て臺北に設立され、本日創立總會を開き左の役員を選任した

▽取締役平山午介、赤司初太郎、櫻内幸雄、喜多又藏外六名▽監査役渡邊嘉吉、伊藤忠三外四名

七　日（水）

◇增田銀行の破綻と各市場の崩落

大阪市の增田ビルブローカー銀行（資本金五百萬圓）は前月中旬の株式暴落と金融逼迫のため手許不如意を來し、本月五日手形交換を生じ延期の上決濟したが、本日更に二百七十萬圓の手形交換不能に陷り破綻を暴露した

輸入超過、金融緊縮等の悲觀材料に人氣萎縮した東京、大阪の各定期市場は同行破綻暴露の報に一齊大瓦落を來し本日の東京株式市場は東株舊新共十三圓安、鐘紡四十圓安、富士紡二十四圓安、臺灣製糖二十二圓安、秋田木